

工 事 設 計 書 等

工事設計書等のダウンロードにあたって

知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における1次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による2次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

鏡

1. 工事名

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
工事地名	埼玉県さいたま市見沼区大字丸ヶ崎地先 外 1 箇所

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 8 年 6 月	1 2) 設 計 年 月	令和 8 年 7 月
2) 事務所名	大宮国道事務所 工務課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号	2026060009	1 4) 単価適用年月	2026 年 7 月
4) 契約区分	国債（翌債を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2026 年 7 月
5) 変更回数	0 回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	C・C・BOX 工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量		1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	348 日間 自 令和 8 年 9 月 18 日 (当初) 至 令和 9 年 8 月 31 日 (0 回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	埼玉県	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	大宮地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	一般国道 1 6 号	2 2) 処 分 費 等	965,592
		2 3) 公 告 日	令和 8 年 6 月 23 日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日

3. 予算科目

1) 予算科目： 道路環境改善事業費 附帯・受託工事費	2) 目： 無電柱化推進事業費	3) 目の細分： 工事費	4) 事業名： さいたま市
-----------------------------------	--------------------	-----------------	------------------

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電線共同溝			式	1		125, 191, 686			
仮設工			式	1		15, 681, 663			
土留・仮締切工			式	1		2, 289, 663			
軽量鋼矢板(電線共同溝)		LSP-2型 (t=4mm)	式	1		2, 289, 663			内-1号
交通管理工			式	1		13, 392, 000			
交通誘導警備員		交通誘導警備員A	人日	240	28, 800	6, 912, 000			単-1号
交通誘導警備員		交通誘導警備員B	人日	240	27, 000	6, 480, 000			単-2号
舗装版撤去工			式	1		3, 116, 025			
舗装版破碎工			式	1		3, 116, 025			
殻運搬		ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	m3	27	4, 983	134, 541			単-3号
殻運搬		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	20	4, 321	86, 420			単-4号
殻処分		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	48	5, 170	248, 160			単-5号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装版切断		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	1, 000	1, 048	1, 048, 000			単-6号
舗装版切断		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え30cm以下	m	190	2, 054	390, 260			単-7号
舗装版破砕		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2	480	2, 274	1, 091, 520			単-8号
舗装版破砕		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cmを超え35cm以下	m2	89	1, 316	117, 124			単-9号
開削土工			式	1		14, 922, 144			
掘削工			式	1		6, 165, 900			
開削掘削		土砂	m3	850	7, 254	6, 165, 900			単-10号
埋戻し工			式	1		5, 075, 500			
埋戻し・締固め		購入土(再生砂) 中埋砂	m3	230	11, 470	2, 638, 100			単-11号
埋戻し・締固め		発生土 土砂	m3	280	8, 705	2, 437, 400			単-12号
残土処理工			式	1		3, 680, 744			
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	530	2, 236	1, 185, 080			単-13号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
積込(ルース) 【昼間】		土砂 土量50,000m3未満	m3	540	256.3	138,402			単-14号
土砂等運搬 【昼間】 仮置場→処分場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	540	4,229	2,283,660			単-15号
整地 【昼間】		残土受入れ地での処理	m3	540	136.3	73,602			単-16号
電線共同溝工			式	1		74,821,499			
管路工(管路部)			式	1		33,689,669			
埋設管路		電力管 角型 径 130mm	式	1		3,561,032			内-2号
埋設管路		電力管 角型 径 100mm	式	1		8,773,955			内-3号
埋設管路		電力管 径 130mm	式	1		732,443			内-4号
埋設管路		電力管 径 100mm	式	1		201,678			内-5号
埋設管路 (Φ50×5, Φ30×5)		ボデー管 径 200mm	式	1		6,641,953			内-6号
埋設管路 (Φ50×6, Φ30×2)		ボデー管 径 200mm	式	1		2,948,958			内-7号
埋設管路		通信管 径 150mm	式	1		3,421,206			内-8号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋設管路		通信管 角型 径 75m m	式	1		1, 090, 912			内-9号
埋設管路		通信管 角型 径 50m m	式	1		1, 469, 580			内-10号
埋設管路		通信管 径 100mm	式	1		136, 317			内-11号
埋設管路		通信管 径 75mm	式	1		254, 225			内-12号
埋設管路		通信管 径 50mm	式	1		445, 184			内-13号
埋設管路		交通施設通信管 角型 径 75mm	式	1		93, 400			内-14号
埋設管路		交通施設通信管 径 75 mm	式	1		87, 995			内-15号
埋設管路		交通施設通信管 径 80 mm	式	1		240, 185			内-16号
埋設管路		交通施設通信管 径 50 mm	式	1		38, 835			内-17号
露出管路		交通施設通信管 歩道 橋配管	式	1		49, 348			内-18号
ダクトスリーブ		工場取付 φ 50～200	式	1		1, 215, 740			内-19号
ダクトスリーブ		現場取付 φ 50～200	式	1		1, 792, 523			内-20号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋設表示シート		W=400	m	413	539. 6	222, 854			単-17号
埋設表示シート		W=600	m	338	802. 8	271, 346			単-18号
プレキャストボックス工(特殊部)			式	1		41, 131, 830			
プレキャストボックス U-1	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器直上1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	個	1	1, 345, 000	1, 345, 000				単-19号
プレキャストボックス U-2	I型 U型 1200×1350×3500 内幅 1.2m 内高 1.35m	個	1	1, 320, 000	1, 320, 000				単-20号
プレキャストボックス U-3	I型 BOX型 1200×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	個	1	1, 966, 000	1, 966, 000				単-21号
プレキャストボックス U-4	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個	1	1, 955, 000	1, 955, 000				単-22号
プレキャストボックス U-5	I型 BOX型 1200×1800×3800 車道横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	個	1	2, 445, 000	2, 445, 000				単-23号
プレキャストボックス U-6	通信接続枠 BOX型 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	個	1	455, 900	455, 900				単-24号
プレキャストボックス U-7	電力Ⅱ型 BOX型 900×1800×3000 内幅 0.9m 内高 1.8m	個	1	1, 456, 000	1, 456, 000				単-25号
プレキャストボックス U-8	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器横置1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	個	1	1, 492, 000	1, 492, 000				単-26号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
プレキャストボックス U-9		通信接続枠 BOX型 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	個	1	455,900	455,900			単-27号
プレキャストボックス U-10		電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個	1	1,728,000	1,728,000			単-28号
プレキャストボックス U-11		通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個	1	994,000	994,000			単-29号
プレキャストボックス U-12		I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 内幅 1.2m 内高 1.8m	個	1	2,318,000	2,318,000			単-30号
プレキャストボックス U-13		I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 車道横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	個	1	2,705,000	2,705,000			単-31号
プレキャストボックス U分-1～U分-12		電力分岐枠 450×500×900 内幅 0.45m 内高 0.5m	個	12	105,500	1,266,000			単-32号
プレキャストボックス U-8		地上機器ハントホール 395×880×995 開口(900×450) 内幅 0.395m 内高 0.95m	個	1	323,100	323,100			単-33号
プレキャストボックス U-4×2, 10×2, 12, 13		地上機器ハントホール 395×950×995 開口(900×450) 内幅 0.395m 内高 0.95m	個	6	367,300	2,203,800			単-34号
安全施設ハントホール		600×600×600(铸铁蓋含む)	個	9	248,400	2,235,600			単-35号
安全施設ハントホール		600×600×900(铸铁蓋含む)	個	2	266,300	532,600			単-36号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
基礎材		再生ｸﾞﾗｯｼｬｰﾝ 40～φ 7.5cmを超え12.5cm以下	m2	90	2,058	185,220			単-37号
蓋 U-3		鋳鉄蓋 (受枠含む) φ 750 車道用 (調整ブロック H=200)	組	1	331,400	331,400			単-38号
蓋 U-4, 5, 7, 10～13		鋳鉄蓋 (受枠含む) φ 750 歩道用 (調整ブロック H=100)	組	7	326,900	2,288,300			単-39号
蓋 U-1		鋳鉄蓋 (受枠含む) ユ ニット型 1200×4000用 地上機器設置枠直上1 基(歩道用) (嵩上げH=1 00)	組	1	2,122,000	2,122,000			単-40号
蓋 U-2		鋳鉄蓋 (受枠含む) ユ ニット型 1200×3500用 (歩 道用) (嵩上げ H=100)	組	1	1,567,000	1,567,000			単-41号
蓋 U-8		鋳鉄蓋 (受枠含む) ユ ニット型 1200×4000用 (歩 道用) (嵩上げ H=100)	組	1	1,732,000	1,732,000			単-42号
蓋 U-6, 9		鋳鉄蓋 (受枠含む) 通信接続枠 500×200 0用 (歩道用)	組	2	784,400	1,568,800			単-43号
蓋 U分-1～U分-12		鋳鉄蓋 (受枠含む) 電力分岐枠用 450×90 0用 (歩道用)	組	12	295,300	3,543,600			単-44号
蓋 U-4×2, 8, 10×2, 12, 13		地上機器ﾊｯﾄﾞﾎｰﾙ仮蓋 1095×445用 (T-25仕 様)	組	7	85,230	596,610			単-45号
舗装工			式	1		14,292,289			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
アスファルト舗装工 車道部 日々復旧		式	1		936,144				
下層路盤(歩道部)	再生クワッシュラン RC-40 仕上り厚 330mm	m2	88	3,018	265,584			単-46号	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	88	3,798	334,224			単-47号	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	88	3,822	336,336			単-48号	
アスファルト舗装工 歩道一般部 仮復旧		式	1		2,338,008				
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2	366	1,770	647,820			単-49号	
下層路盤(歩道部)	再生クワッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	366	1,398	511,668			単-50号	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	366	3,220	1,178,520			単-51号	
アスファルト舗装工 歩道切下部(1) 仮復旧 4m<W≤8m		式	1		461,924				
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 300mm	m2	68	3,119	212,092			単-52号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
表層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満) 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m ²	68	3,674	249,832			単-53号
アスファルト舗装工 歩道切下部(2) 仮復旧 8m<W			式	1		459,303			
上層路盤(歩道部)		再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 350mm	m ²	39	4,455	173,745			単-54号
基層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満) 再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m ²	39	3,648	142,272			単-55号
表層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m ³ 未満) 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m ²	39	3,674	143,286			単-56号
舗装打換え工 車道仮復旧			式	1		1,844,010			
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m	7	1,048	7,336			単-57号
舗装版破碎		アスファルト舗装版 舗装版厚 10 c m	m ²	88	941.3	82,834			単-58号
殻運搬		舗装版破碎	m ³	8	4,321	34,568			単-59号
殻処分		アスファルト殻	m ³	8	5,170	41,360			単-60号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3	10	1,980	19,800			単-61号
不陸整正工(歩道部)		敷均し補足材なし	m2	88	1,288	113,344			単-62号
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	10	2,536	25,360			単-63号
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	88	5,573	490,424			単-64号
基層(車道・路肩部)		再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	88	7,871	692,648			単-65号
表層(車道・路肩部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	88	3,822	336,336			単-66号
切削オーバーレイ工			式	1		8,252,900			
切削オーバーレイ		7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	m2	1,000	7,460	7,460,000			単-67号
殻運搬(路面切削)		切削殻	m3	100	2,759	275,900			単-68号
殻処分		アスファルト殻	m3	100	5,170	517,000			単-69号
排水構造物工			式	1		799,486			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
作業土工			式	1		12,396			
床掘り		土砂	m3	2	3,662	7,324			単-70号
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	2	2,536	5,072			単-71号
側溝工			式	1		787,090			
L型側溝(1)撤去・復旧		一般部	m	7	28,000	196,000			単-72号
L型側溝(2)撤去・復旧		歩道切下部	m	13	27,390	356,070			単-73号
縦断管撤去・復旧			m	6	39,170	235,020			単-74号
縁石工			式	1		957,000			
縁石工			式	1		957,000			
植樹ブロック撤去・復旧			m	75	12,760	957,000			単-75号
道路付属施設工			式	1		19,550			
道路付属物工			式	1		19,550			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
緑石鋳撤去・設置工		個	5	3,910	19,550			単-76号	
		式	1		524,334				
区画線工		式	1		524,334				
区画線工		式	1		524,334				
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	170	612.1	104,057			単-77号	
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無 黄	m	18	697.7	12,558			単-78号	
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	10	659.9	6,599			単-79号	
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45c m 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	200	1,504	300,800			単-80号	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号 ・文字 15cm換算 厚1.5 mm 排水性舗装無	m	66	1,520	100,320			単-81号	
構造物撤去工		式	1		57,696				
構造物取壊し工		式	1		35,860				
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3	2	17,930	35,860			単-82号	
運搬処理工		式	1		21,836				

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬		コンクリート殻(無筋)	m3	2	5, 043	10, 086			単-83号
殻処分		コンクリート殻(無筋)							
			m3	2	5, 875	11, 750			単-84号
直接工事費			式	1		125, 191, 686			
共通仮設費			式	1		16, 748, 553			
共通仮設費			式	1		2, 477, 553			
運搬費			式	1		225, 328			
建設機械運搬費			台	1	163, 000	163, 000			単-85号
仮設材運搬費			t	5. 3	11, 760	62, 328			単-86号
技術管理費			式	1		64, 225			
道路施設基本データ作成費用			式	1		64, 225			内-21号
現場環境改善費（率計上）			式	1		2, 188, 000			
共通仮設費（率計上）			式	1		14, 271, 000			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
純工事費			式	1		141, 940, 239			
現場管理費			式	1		52, 901, 000			
工事原価			式	1		227, 109, 823			
一般管理費等			式	1		36, 520, 177			
工事価格			式	1		263, 630, 000			
消費税相当額			式	1		26, 363, 000			
工事費計			式	1		289, 993, 000			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電線共同溝			式	1		17,498,584			
仮設工			式	1		3,627,000			
交通管理工			式	1		3,627,000			
交通誘導警備員		交通誘導警備員A	人日	65	28,800	1,872,000			単-1号
交通誘導警備員		交通誘導警備員B	人日	65	27,000	1,755,000			単-2号
舗装版撤去工			式	1		204,061			
舗装版破碎工			式	1		204,061			
殻運搬		アスファルト塊	m3	1	3,738	3,738			単-3号
殻運搬		アスファルト殻	m3	3	2,729	8,187			単-4号
殻処分		アスファルト殻	m3	4	7,050	28,200			単-5号
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m	47	1,048	49,256			単-6号
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m	20	2,054	41,080			単-7号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装版破砕		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m2	26	2, 274	59, 124			単-8号
舗装版破砕		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 30 c m	m2	11	1, 316	14, 476			単-9号
開削土工			式	1		549, 103			
掘削工			式	1		145, 080			
開削掘削		土砂	m3	20	7, 254	145, 080			単-10号
埋戻し工			式	1		158, 225			
埋戻し・締固め		中埋砂	m3	10	11, 470	114, 700			単-11号
埋戻し・締固め		土砂	m3	5	8, 705	43, 525			単-12号
残土処理工			式	1		245, 798			
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	20	2, 236	44, 720			単-13号
積込(ﾙｰｽﾞ) 【昼間】		土砂 土量50, 000m3未満	m3	30	256. 3	7, 689			単-14号
土砂等運搬 【昼間】 仮置場→処分場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	30	6. 310	189. 300			単-15号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
整地 【昼間】		残土受入れ地での処理	m3	30	136. 3	4, 089			単-16号
電線共同溝工									
			式	1		7, 398, 733			
管路工(管路部)			式	1		4, 224, 751			
埋設管路		ECVP 径 130mm	式	1	348, 800	348, 800			単-17号
埋設管路		ECVP 径 100mm	式	1	147, 900	147, 900			単-18号
埋設管路		SUDⅡ-V 径 100mm	式	1	232, 200	232, 200			単-19号
埋設管路		PV 径 50mm	式	1	2, 010, 000	2, 010, 000			単-20号
露出管路 (橋梁添架部)		FRP 径 130mm 支持 金具含む	式	1	142, 500	142, 500			単-21号
露出管路 (橋梁添架部)		FRP 径 100mm	式	1	142, 500	142, 500			単-22号
露出管路 (橋梁添架部)		FRP 径 50mm	式	1	1, 162, 000	1, 162, 000			単-23号
埋設表示シート		W=400	m	72	539. 6	38, 851			単-24号
橋梁架設工									
			式	1		3, 173, 982			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装		外面 F-11	m2	4	21, 280	85, 120			単-25号
素地調整		2種ｸﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)							
現場溶接			m	10	20, 240	202, 400			単-27号
現場孔明		Φ26. 5							
耐火防護		一般部(電力管)	箇所	4	4, 513	18, 052			単-28号
耐火防護		一般部(電力管)							
耐火防護		一般部(通信管)	m2	26	42, 650	1, 108, 900			単-29号
耐火防護		一般部(通信管)							
耐火防護		支持部(電力, 通信管)	m2	29	42, 650	1, 236, 850			単-30号
耐火防護		支持部(電力, 通信管)							
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄﾞ工			m2	12	42, 650	511, 800			単-31号
作業土工									
床掘り		土砂	式	1		80, 436			
埋戻し		土砂							
基面整正			m3	7	5, 586	39, 102			単-32号
			m3	17	463. 6	7, 881			単-33号
			m3	7	5, 586	39, 102			単-34号
			m2	12	885. 8	10, 629			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	9	2,536	22,824			単-35号
プレキャストボックスカルバート据付		【右岸側】	式	1		862,170			
均しコンクリート		各種 敷厚 46 c m	m2	4	37,150	148,600			単-36号
プレキャストボックスカルバート据付			箇所	1	589,900	589,900			単-37号
妻壁コンクリート			箇所	1	61,360	61,360			単-38号
地覆コンクリート			箇所	1	61,990	61,990			単-39号
現場発生品運搬		鋼材撤去	t	0.02	16,040	320			単-40号
プレキャストボックスカルバート据付		【左岸側】	式	1		1,343,103			
基礎材		再生クラッシュラン40～0 12.5cmを超え17.5cm以下	m2	1	2,129	2,129			単-41号
均しコンクリート		各種 敷厚 10 c m	m2	8	6,453	51,624			単-42号
プレキャストボックスカルバート据付			箇所	1	1,147,000	1,147,000			単-43号
妻壁コンクリート			箇所	1	77,330	77,330			単-44号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
地覆コンクリート		箇所	1	65,020	65,020			単-45号	
舗装工		式	1		1,461,235				
アスファルト舗装工 車道部 日々復旧		式	1		133,353				
下層路盤(歩道部)	再生クワッシュラン RC-40 仕上り厚 500mm	m2	11	4,503	49,533			単-46号	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	11	3,798	41,778			単-47号	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	11	3,822	42,042			単-48号	
アスファルト舗装工 歩道一般部 仮復旧		式	1		119,886				
下層路盤(歩道部)	再生クワッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	26	1,391	36,166			単-49号	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	26	3,220	83,720			単-50号	
舗装打換え工 車道仮復旧		式	1		270,119				
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	7	1,048	7,336			単-51号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装版破砕		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 10 c m	m2	11	941. 3	10, 354			単-52号
殻運搬		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	1	2, 729	2, 729			単-53号
殻処分		ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	1	7, 050	7, 050			単-54号
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3	2	1, 980	3, 960			単-55号
不陸整正工(歩道部)			m2	11	1, 288	14, 168			単-56号
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	2	2, 536	5, 072			単-57号
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 200mm	m2	11	12, 330	135, 630			単-58号
表層(車道・路肩部)		再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	11	3, 797	41, 767			単-59号
基層(車道・路肩部)		再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	11	3, 823	42, 053			単-60号
切削オーバーレイ工			式	1		937, 877			
切削オーバーレイ		7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	m2	113	7, 460	842, 980			単-61号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
殻運搬(路面切削)	切削殻	m3	11	1, 577	17, 347			単-62号	
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻								
		m3	11	7, 050	77, 550			単-63号	
排水構造物工		式	1		307, 248				
作業土工									
		式	1		6, 198				
床掘り	土砂	m3	1	3, 662	3, 662			単-64号	
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1	2, 536	2, 536			単-65号	
側溝工		式	1		301, 050				
L形側溝	幅 70 c m 高さ 32 c m 各種 再利用								
		m	9	33, 450	301, 050			単-66号	
防護柵工		式	1		437, 390				
路側防護柵工									
		式	1		437, 390				
ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ	Gp-Cp-2E 塗装品 20m 未満 曲線部補正無	m	12	34, 100	409, 200			単-67号	
転落(横断)防止柵 撤去・再設置	柵高 0.7m コンクリート建込	m	5	5. 638	28. 190			単-68号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
区画線工			式	1		64,359			
区画線工			式	1		64,359			
溶融式区画線		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	40	612.1	24,484			単-69号
溶融式区画線		溶融式手動 実線 20cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	5	711.1	3,555			単-70号
溶融式区画線		溶融式手動 ゼブラ 45c m 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	10	1,504	15,040			単-71号
溶融式区画線		溶融式手動 矢印・記号 ・文字 15cm換算 厚1.5 mm 排水性舗装無	m	14	1,520	21,280			単-72号
構造物撤去工			式	1		1,163,746			
構造物取壊し工			式	1		1,163,746			
コンクリート切断			式	1	973,300	973,300			単-73号
コンクリート構造物取壊し		鉄筋構造物 機械施工	m3	3	32,760	98,280			単-74号
コンクリート構造物取壊し		無筋構造物 機械施工	m3	1	17,930	17,930			単-75号
殻運搬		コンクリート殻(鉄筋)	m3	3	11,290	33,870			単-76号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】(当 初)					事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬		コンクリート殻(無筋)	m3	1	5, 844	5, 844			単-77号
殻処分		コンクリート殻(鉄筋)	m3	3	8, 750	26, 250			単-78号
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3	1	8, 272	8, 272			単-79号
直接工事費			式	1		17, 498, 584			
共通仮設費			式	1		2, 969, 000			
共通仮設費			式	1		593, 000			
運搬費			式	1		163, 000			
建設機械運搬費			台	1	163, 000	163, 000			単-80号
現場環境改善費（率計上）			式	1		430, 000			
共通仮設費（率計上）			式	1		2, 376, 000			
純工事費			式	1		20, 467, 584			
現場管理費			式	1		11, 801, 000			

一式当たり内訳書

軽量鋼矢板(電線共同溝)
第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【管路部】H=2. 5m 10回転 用 25日								
軽量鋼矢板設置・撤去		m	184	6, 610	1, 216, 240			
軽量鋼矢板損料	LSP-2型(t=4mm) H=2. 5m	t	2. 36	19, 900	46, 964			
腹起し材損料 3ヶ月未満(10%)	一般構造用角型鋼管 125×125×3. 2	t	0. 48	17, 700	8, 496			
鋼製切梁材 [°] ト賃料	管理設工事用 調整用 600～1000mm	本	6	1, 661	9, 966			
【特殊部】H=3. 0m 10回転 用 29日								
軽量鋼矢板設置・撤去		m	143	6, 610	945, 230			
軽量鋼矢板損料	LSP-2型(t=4mm) H=3. 0m	t	2. 05	20, 420	41, 861			
腹起し材損料 3ヶ月未満(10%)	一般構造用角型鋼管 125×125×3. 2	t	0. 34	17, 700	6, 018			
鋼製切梁材 [°] ト賃料	管理設工事用 調整用 1200～1800mm	本	4	3, 722	14, 888			
合 計					2, 289, 663			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
管路材設置	埋設部 多条管設置	m	664	5, 363	3, 561, 032			
【やり継手（材料費）は未計上】								
合 計					3, 561, 032			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 3号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
管路材設置	埋設部 多条管設置	m	1, 853	4, 735	8, 773, 955			
【やり継手（材料費）は未計上】								
合 計					8, 773, 955			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 4号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数 量 増 減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置 (直管)	埋設部 単管設置	m	94	5, 702	535, 988			
【曲管】								
管路材設置 (曲管)	埋設部 単管設置	m	17	7, 445	126, 565			
管路受台（スぺーサ）（材 料費）		個	145	482	69, 890			
合 計					732, 443			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 5号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置 (直管)	埋設部 単管設置	m	22	4, 777	105, 094			
【曲管】								
管路材設置 (曲管)	埋設部 単管設置	m	11	6, 584	72, 424			
管路受台（スぺーサ）（材 料費）		個	40	604	24, 160			
合 計					201, 678			

一式当たり内訳書

[埼玉県さいたま市見沼区大字丸ヶ崎地先 外1箇所]

第 6号内訳書 埋設管路
(Φ50×5, Φ30×5)

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【直管】								
管路材設置	埋設部 ボデー管(φ200mm)設置(さや管含む) 標準:10条(φ50)+5条(φ30))	m	341	11,790	4,020,390			
【ロータ管・スライ管】								
管路材設置	埋設部 ボデー管(φ200mm)設置(さや管含む) (ロータ管(ボルト固定式)・標準:10条(φ50)+5条(φ30))	m	17	4,179	71,043			
管路受台(スぺーサ)(材料費)		個	378	619	233,982			
【材料費】								
ベントレ継手	ボデー管φ200	個	35	9,770	341,950			
ロータ管(ボルト固定式)	VPφ200	個	12	43,200	518,400			
スライ管	VPφ200	個	6	34,500	207,000			
さや管	SUφ50 直管	m	1,677	386	647,322			
さや管	SUφ30 直管	m	1,677	258	432,666			
さや管(端末部用短管)	SUφ50 L=1.1m	本	60	1,660	99,600			

一式当たり内訳書

第 6号内訳書 埋設管路 (Φ50×5, Φ30×5)

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
さや管(端末部用短管)	SU φ 30 L=1. 1m	本	60	1, 160	69, 600			
合 計					6, 641, 953			

一式当たり内訳書

[埼玉県さいたま市見沼区大字丸ヶ崎地先 外1箇所]

埋設管路
第 7号内訳書 (Φ50×6, Φ30×2)

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【直管】								
管路材設置	埋設部 ボデー管(φ200mm)設置(さや管含む) 標準:8条(6条(φ50)+2条(φ30))	m	155	11,790	1,827,450			
【ロース管・スライ管】								
管路材設置	埋設部 ボデー管(φ200mm)設置(さや管含む) 標準:8条(6条(φ50)+2条(φ30))	m	8	4,179	33,432			
管路受台(スペーサ)(材料費)		個	168	619	103,992			
【材料費】								
ボデー継手	ボデー管φ200	個	12	9,770	117,240			
ロース管(ボルト固定式)	VPφ200	個	6	43,200	259,200			
スライ管	VPφ200	個	3	34,500	103,500			
さや管	SUφ50 直管	m	912	386	352,032			
さや管	SUφ30 直管	m	304	258	78,432			
さや管(端末部用短管)	SUφ50 L=1.1m	本	36	1,660	59,760			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 7号内訳書 (Φ50×6, Φ30×2)

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
さや管(端末部用短管)	SU φ 30 L=1. 1m	本	12	1, 160	13, 920			
合 計					2, 948, 958			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 8号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数 量 増 減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置	埋設部 FA管設置	m	454	7, 129	3, 236, 566			
管路受台（スぺーサ）（材料費）		個	240	495	118, 800			
【材料費】								
ヤトリ継手	供用FA管 φ150	個	7	9, 120	63, 840			
VP管キャップ（仮止めキャップ）	共用FA管 VP φ150	個	2	1, 000	2, 000			
【EB曲管（材料費）は未計上】								
合 計					3, 421, 206			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 9号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
管路材設置	埋設部 多条管設置	m	292	3, 736	1, 090, 912			
【やり継手（材料費）は未計上】								
合 計					1, 090, 912			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 10号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
管路材設置	埋設部 多条管設置	m	420	3, 499	1, 469, 580			
【やり継手（材料費）は未計上】								
合 計					1, 469, 580			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 11号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数 量 増 減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置 (直管)	埋設部 単管設置	m	11	5, 628	61, 908			
【曲管】								
管路材設置 (曲管)	埋設部 単管設置	m	6	11, 040	66, 240			
管路受台 (スぺーサ) (材 料費)		個	21	389	8, 169			
合 計					136, 317			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 12号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置 (直管)	埋設部 単管設置	m	49	5, 145	252, 105			
管路受台 (スぺーサ) (材 料費)		個	8	265	2, 120			
合 計					254, 225			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 13号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数 量 増 減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置 (直管)	埋設部 単管設置	m	93	4, 152	386, 136			
【曲管】								
管路材設置 (曲管)	埋設部 単管設置	m	8	6, 353	50, 824			
管路受台（スぺーサ）（材 料費）		個	32	257	8, 224			
合 計					445, 184			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 14号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
管路材設置	埋設部 多条管設置	m	25	3, 736	93, 400			
【やり継手（材料費）は未計上】								
合 計					93, 400			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 15号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
【直管】								
管路材設置 (直管)	埋設部 単管設置	m	17	5, 145	87, 465			
管路受台 (スぺーサ) (材 料費)		個	2	265	530			
合 計					87, 995			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 16号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
波付硬質合成樹脂管（F E P）敷設	道路沿い(地中) 新設 FEP 80mm 2条0%	m	143	1, 612	230, 516			
波付硬質合成樹脂管（F E P）敷設	道路沿い(地中) 新設 FEP 80mm 1条0%	m	12	805. 8	9, 669			
合 計					240, 185			

一式当たり内訳書

埋設管路
第 17号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
波付硬質合成樹脂管（F E P）敷設	道路沿い(地中) 新設 FEP 50mm 1条 0%	m	64	606. 8	38, 835			
合 計					38, 835			

一式当たり内訳書

露出管路
第 18号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
厚鋼電線管（G）	呼び径 82 15%	m	5. 3	3, 338	17, 691			
金属製可とう電線管敷設	83mm以下 新設	m	1	8, 857	8, 857			
【材料費】								
信号管	プリカチューブ #83	m	1	6, 680	6, 680			
信号管	異種管接続材 FEP→EP Φ80	個	1	8, 060	8, 060			
信号管	異種管接続材 EP → 厚鋼電線管G82	個	1	8, 060	8, 060			
【信号管歩道橋添架（施工費）は未計上】								
【信号管EPφ80（材料費）は未計上】								
合 計					49, 348			

一式当たり内訳書

ダクトスリーブ
第 19号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ダクトスリーブ取付手間(工場設置)	φ 50～φ 250	箇所	190	2, 530	480, 700			
【材料費】								
ロングヘルマウス	角型FEP φ 130	個	25	2, 840	71, 000			
ロングヘルマウス	角型FEP φ 100	個	66	1, 980	130, 680			
ダクトスリーブ	ECVP φ 130	個	8	5, 960	47, 680			
ダクトスリーブ	ECVP φ 100	個	2	4, 420	8, 840			
ダクトスリーブ	VP φ 200 (インサート付き)	個	18	20, 800	374, 400			
ダクトスリーブ	供用FA管 φ 150	個	16	4, 000	64, 000			
ヘルマウス	VP φ 100	個	2	2, 860	5, 720			
ダクトスリーブ	PV φ 75	個	8	2, 140	17, 120			
ダクトスリーブ	PV φ 50	個	9	1, 670	15, 030			
ヘルマウス	FEP φ 50	個	1	570	570			

一式当たり内訳書

第 19号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【ベ ルマウスLFP φ 80は未計上 】								
【ロングベ ルマウス角形FEP φ 75 、 φ 50は未計上】								
合 計					1, 215, 740			

一式当たり内訳書

ダクトスリーブ
第 20号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ダクトスリーブ取付工【歩掛見積参考】	手間のみ管径問わない(φ250～φ30、壁厚15cm以下)(ハ)	箇所	75	22, 910	1, 718, 250			
ロングヘルマウス	角型FEPφ100	個	24	1, 980	47, 520			
ダクトスリーブ	PVφ75	個	2	2, 140	4, 280			
ヘルマウス	FEPφ80	個	29	657	19, 053			
ヘルマウス	FEPφ50	個	6	570	3, 420			
【ロングヘルマウス角形FEPφ75は未計上】								
合 計					1, 792, 523			

一式当たり内訳書

道路施設基本データ作成費用
第 21号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
技術員		人	1. 75	36, 700	64, 225			
合 計					64, 225			

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一1号	交通誘導警備員	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	28, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	28, 800	28, 800		
計						28, 800		
単価						28, 800	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一2号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	27, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	27, 000	27, 000		
計						27, 000		
単価						27, 000	円／人日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一3号	殻運搬	アスファルト塊	単位	m3	数量	1	単価	4,983
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬（電線共同溝工）		アスファルト塊 有り 10.5km以下	m 3	1	4,983	4,983		
計						4,983		
単価						4,983	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一4号	殻運搬	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	4,321
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要） 有り 12.0km以下 全ての費用	m 3	1	4,321	4,321		
計						4,321		
単価						4,321	円／m3	

1 次単価表

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一5号	穀処分	アスファルト穀	単位	m3	数量	1	単価	5, 170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	5, 170	5, 170		
計						5, 170		
単価						5, 170	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一6号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m	数量	1	単価	1, 048
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	1, 048	1, 048		
計						1, 048		
単価						1, 048	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一7号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	単位	m	数量	1	単価 2,054
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	m	1	2,054	2,054	
計						2,054	
単価						2,054	円/m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一8号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m2	数量	1	単価 2,274
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破碎積込（電線共同溝工）			m 2	1	2,274	2,274	
計						2,274	
単価						2,274	円/m2

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一9号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下	単位	m2	数量		単価	
						1		1, 316
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cmを超え35cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	1, 316	1, 316		
計						1, 316		
単価						1, 316	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一10号	開削掘削	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		7, 254
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り（電線共同溝工）			m 3	1	7, 254	7, 254		
計						7, 254		
単価						7, 254	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-11号	埋戻し・締固め	購入土(再生砂) 中埋砂	単位	m3	数量		単価	
						1		11,470
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し・締固め(電線共同溝工)		中埋砂						
			m 3	1	11,470	11,470		
計						11,470		
単価						11,470	円/m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-12号	埋戻し・締固め	発生土 土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		8,705
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し・締固め(電線共同溝工)		土砂						
			m 3	1	8,705	8,705		
計						8,705		
単価						8,705	円/m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-13号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	
						1		2,236
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬(電線共同溝工)		土砂 有り 3.5km以下						
			m 3	1	2,236	2,236		
計						2,236		
単価						2,236	円/m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-0	
単-14号	積込(ルーズ) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	単位	m3	数量		単価	
						1		256.3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込(ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満						
			m 3	1	256.3	256.3		
計						256.3		
単価						256.3	円/m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一15号	土砂等運搬 【昼間】 仮置場→処分場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土砂等運搬	標準 バックホウ バケット容量0.8m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 31.5km以下	m 3	1	4, 229	4, 229		
	計					4, 229		
	単価					4, 229	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一16号	整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	整地	残土受入れ地での処理	m 3	1	136. 3	136. 3		
	計					136. 3		
	単価					136. 3	円／m3	

1 次単価表

1 次単価表							単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単-17号	埋設表示シート	W=400	単位	m	数量	1	単価	539. 6		
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要			
埋設表示シート（材料費）			m	1	539. 6	539. 6				
計						539. 6				
単価						539. 6	円／m			

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－18号	埋設表示シート	W=600	単位	m	数量	1	単価	802. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設表示シート（材料費）			m	1	802. 8	802. 8		
計						802. 8		
単価						802. 8	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-19号	プレキャストボックス U-1	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器直上1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	単位	個	数量	1	単価 1,345,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420	
【敷板】							
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.127	169,600	21,539.2	
【材料費】							
プレキャストボックス I型		U型 1200×1350×4000 地上機器直上1基付	組	1	883,000	883,000	
端壁（起点用・終点用）1200×1350用		1480×1490×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	85,700	171,400	
敷板		1200×1350×4000型	組	1	157,000	157,000	

1 次単価表

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単-19号	プレキャストボックス U-1	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器直上1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	単位	個	数量		1	単価	1,345,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
計						1,344,189.2			
単価						1,345,000	円／個		

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単ー20号	プレキャストボックス U-2	I型 U型 1200×1350×3500 内幅 1. 2m 内高 1. 35m	単位	個	数量	1	単価	1, 320, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 3無	個	2	26, 350	52, 700		
【端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1. 3無	個	2	11, 710	23, 420		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1. 3無	個	3	11, 710	35, 130		
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 112	169, 600	18, 995. 2		
【材料費】								
プレキャストボックス I 型		U型 1200×1350×3500	組	1	878, 000	878, 000		
端壁（起点用・終点用）1200×1350用		1480×1490×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	85, 700	171, 400		
敷板		1200×1350×3500型	組	1	140, 000	140, 000		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単-20号	プレキャストボックス U-2	I型 U型 1200×1350×3500 内幅 1.2m 内高 1.35m	単位	個	数量	1	単価	1,320,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
計						1,319,645.2		
単価						1,320,000	円／個	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一21号	プレキャストボックス U-3	I型 BOX型 1200×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価	1,966,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	37,250	37,250		
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	26,350	26,350		
【端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130		
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.11	169,600	18,656		
【材料費】								
プレキャストボックス I 型		BOX型 1200×1800×3500	組	1	1,390,000	1,390,000		
端壁（起点用・終点用）1200×1800用		1460×2080×150 ダクトスリフ取付・材料費含まず	個	2	123,000	246,000		

1 次単価表

					単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一21号	プレキャストボックス U-3	I型 BOX型 1200×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価 1, 966, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷板		1200×1800×3500型	組	1	159, 000	159, 000	
計						1, 965, 086	
単価						1, 966, 000	円／個

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一22号	プレキャストボックス U-4	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価 1,955,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420	
【サイドボックス・サイドボックス端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (サイドボックス)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710	
プレキャストボックスブロック設置 (サイドボックス端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710	
【敷板】							
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130	
モルタル練 (本体)		普通 全ての費用	m ³	0.073	169,600	12,380.8	
モルタル練 (サイドボックス)		普通 全ての費用	m ³	0.024	169,600	4,070.4	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単－22号	プレキャストボックス U-4	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価 1,955,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【材料費】							
プレキャストボックス 電力Ⅱ型		BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	組	1	1,300,000	1,300,000	
端壁（起点用・終点用）850×1800用		1110×2080×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	95,500	191,000	
サイドボックス		1000×600×650（開口1000×600用）	個	1	134,000	134,000	
端壁 サイドボックス用		1260×860×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	65,400	65,400	
敷板		850×1800×3000型	組	1	113,000	113,000	
計						1,954,521.2	
単価						1,955,000	円／個

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一23号	プレキャストボックス U-5	I型 BOX型 1200×1800×3800 車道横断付 内幅 1. 2m 内高 1. 8m	単位	個	数量	1	単価	2, 445, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 3無	個	1	26, 350	26, 350		
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1. 3無	個	1	37, 250	37, 250		
【端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1. 3無	個	2	26, 350	52, 700		
【サイドボックス・サイドボックス端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (サイドボックス)		1000kg以下 標準以外 1. 3無	個	1	11, 710	11, 710		
プレキャストボックスブロック設置 (サイドボックス端壁)		1000kg以下 標準以外 1. 3無	個	1	11, 710	11, 710		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1. 3無	個	3	11, 710	35, 130		
モルタル練 (本体)		普通 全ての費用	m 3	0. 119	169, 600	20, 182. 4		

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一23号	プレキャストボックス U-5	I型 BOX型 1200×1800×3800 車道横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価	2, 445, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
モルタル練 (サイトボックス)		普通 全ての費用	m 3	0. 024	169, 600	4, 070. 4		
【材料費】								
プレキャストボックス I 型		BOX型 1200×1800×3800 車道横断付	組	1	1, 630, 000	1, 630, 000		
端壁（起点用・終点用）1200×1800用		1460×2080×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	123, 000	246, 000		
サイトボックス		1000×600×650(開口1000×600用)	個	1	134, 000	134, 000		
端壁 サイドボックス用		1260×860×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	65, 400	65, 400		
敷板		1200×1800×3800型	組	1	170, 000	170, 000		
計						2, 444, 502. 8		
単価						2, 445, 000	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-24号	プレキャストボックス U-6	通信接続柵 BOX型 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	単位	個	数量	1	単価 455,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	26,350	26,350	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420	
モルタル練		普通 全ての費用					
			m ³	0.029	169,600	4,918.4	
【材料費】							
通信接続柵		BOX型 500×1050×2000	個	1	325,000	325,000	
端壁（起点用・終点用）500×1050用		720×1160×100 グラウト剤取付・材料費含まず	個	2	38,100	76,200	
計						455,888.4	
単価						455,900	円／個

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単ー25号	プレキャストボックス U-7	電力Ⅱ型 BOX型 900×1800×3000 内幅 0.9m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価	1,456,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700		
【端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130		
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.076	169,600	12,889.6		
【材料費】								
プレキャストボックス 電力Ⅱ型		BOX型 900×1800×3000	組	1	1,020,000	1,020,000		
端壁（起点用・終点用）900×1800用		1160×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	96,800	193,600		
敷板		900×1800×3000型	組	1	118,000	118,000		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単-25号	プレキャストボックス U-7	電力Ⅱ型 BOX型 900×1800×3000 内幅 0.9m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価	1,456,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
計						1,455,739.6		
単価						1,456,000	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-26号	プレキャストボックス U-8	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器横置1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	単位	個	数量		1	単価	1,492,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
【本体】									
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700			
【端壁】									
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420			
【敷板】									
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130			
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.127	169,600	21,539.2			
【材料費】									
プレキャストボックス I 型		U型 1200×1350×4000 地上機器横置1基付	組	1	1,030,000	1,030,000			
端壁（起点用・終点用）1200×1350用		1480×1490×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	85,700	171,400			
敷板		1200×1350×4000型	組	1	157,000	157,000			

1 次単価表

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単-26号	プレキャストボックス U-8	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器横置1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	単位	個	数量		1	単価	1,492,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
計						1,491,189.2			
単価						1,492,000	円／個		

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-27号	プレキャストボックス U-9	通信接続柵 BOX型 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	単位	個	数量	1	単価 455,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	26,350	26,350	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420	
モルタル練		普通 全ての費用					
			m ³	0.029	169,600	4,918.4	
【材料費】							
通信接続柵		BOX型 500×1050×2000	個	1	325,000	325,000	
端壁（起点用・終点用）500×1050用		720×1160×100 グラウト剤取付・材料費含まず	個	2	38,100	76,200	
計						455,888.4	
単価						455,900	円／個

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-28号	プレキャストボックス U-10	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価 1,728,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420	
【敷板】							
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.073	169,600	12,380.8	
【材料費】							
プレキャストボックス 電力Ⅱ型		BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	組	1	1,300,000	1,300,000	
端壁（起点用・終点用）850×1800用		1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	95,500	191,000	
敷板		850×1800×3000型	組	1	113,000	113,000	

1 次単価表

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単-28号	プレキャストボックス U-10	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価	1,728,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
計						1,727,630.8		
単価						1,728,000	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-29号	プレキャストボックス U-11	通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	単位	個	数量	1	単価 994,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	26,350	26,350	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	11,710	23,420	
モルタル練		普通 全ての費用					
			m ³	0.06	169,600	10,176	
【材料費】							
特殊部 通信Ⅱ型		BOX型 950×1500×2200	個	1	756,000	756,000	
端壁（起点用・終点用）950×1500用		1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	89,000	178,000	
計						993,946	
単価						994,000	円／個

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単-30号	プレキャストボックス U-12	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価 2,318,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【本体】							
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	37,250	74,500	
【端壁】							
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700	
【敷板】							
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.125	169,600	21,200	
【材料費】							
プレキャストボックス I 型		BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基付	組	1	1,710,000	1,710,000	
端壁（起点用・終点用）1200×1800用		1460×2080×150 ダクトスリフ取付・材料費含まず	個	2	123,000	246,000	
敷板		1200×1800×4000型	組	1	178,000	178,000	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単-30号	プレキャストボックス U-12	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	2, 318, 000	摘要
	計					2, 317, 530		
	単価					2, 318, 000	円／個	

1 次単価表

					単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一31号	プレキャストボックス U-13	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 車道 横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価	2,705,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【本体】								
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		4000kgを超え11000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	37,250	74,500		
【端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (端壁)		1000kgを超え4000kg以下 標準以外 1.3無	個	2	26,350	52,700		
【サイドボックス・サイドボックス端壁】								
プレキャストボックスブロック設置 (サイドボックス)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710		
プレキャストボックスブロック設置 (サイドボックス端壁)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710		
【敷板】								
プレキャストボックスブロック設置 (敷板)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	3	11,710	35,130		
モルタル練 (本体)		普通 全ての費用	m ³	0.125	169,600	21,200		
モルタル練 (サイドボックス)		普通 全ての費用	m ³	0.024	169,600	4,070.4		

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数 2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-31号	プレキャストボックス U-13	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 車道 横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	単位	個	数量	1	単価 2,705,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【材料費】							
プレキャストボックス I 型		BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 車道横断	組	1	1,870,000	1,870,000	
端壁（起点用・終点用）1200×1800用		1460×2080×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	123,000	246,000	
サイドボックス		1000×600×650（開口1000×600用）	個	1	134,000	134,000	
端壁 サイドボックス用		1260×860×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	65,400	65,400	
敷板		1200×1800×4000型	組	1	178,000	178,000	
計						2,704,420.4	
単価						2,705,000	円／個

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-32号	プレキャストボックス U分-1～U分-12	電力分岐桝 450×500×900 内幅 0.45m 内高 0.5m	単位	個	数量	1	単価 105,500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストボックスブロック設置		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.013	169,600	2,204.8	
【材料費】							
電力分岐桝		450×500×900	組	1	91,500	91,500	
計						105,414.8	
単価						105,500	円／個

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-33号	プレキャストボックス U-8	地上機器ハットホール 395×880×995 開口(900×450) 内 幅 0.395m 内高 0.95m	単位	個	数量	1	単価 323,100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.013	169,600	2,204.8	
【材料費】							
地上機器ハットホール		395×880×995 開口(900×450)	組	1	245,000	245,000	
鋼製ダクト		900×450用 PL9t 溶融亜鉛めっき	個	1	64,100	64,100	
計						323,014.8	
単価						323,100	円／個

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-34号	プレキャストボックス U-4×2, 10×2, 12, 13	地上機器ハットホル 395×950×995 開口(900×450) 内 幅 0.395m 内高 0.95m	単位	個	数量	1	単価 367,300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストボックスブロック設置 (本体)		1000kg以下 標準以外 1.3無	個	1	11,710	11,710	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.013	169,600	2,204.8	
【材料費】							
地上機器ハットホル		395×950×995 開口(900×450)	組	1	262,000	262,000	
鋼製ダクト		900×450用 PL9t 溶融亜鉛めっき	個	1	64,100	64,100	
取付ダクト		900×450用 PL4.5t	個	1	27,200	27,200	
計						367,214.8	
単価						367,300	円／個

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-35号	安全施設ハンドホール	600×600×600(鋳鉄蓋含む)	単位	個	数量	1	単価 248,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
安全施設ハンドホール設置工【歩掛見積参考】		600×600×600(上段+下段)(蓋設置含む)	個	1	86,990	86,990	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.012	169,600	2,035.2	
【材料費】							
安全施設ハンドホール		600×600×600	組	1	57,300	57,300	
蓋(材料費)			組	1	102,000	102,000	
計						248,325.2	
単価						248,400	円/個

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-36号	安全施設ハンドホール	600×600×900(鋳鉄蓋含む)	単位	個	数量	1	単価 266,300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
安全施設ハンドホール設置工【歩掛見積参考】		600×600×900(上段+中段+下段)(蓋設置含む)	個	1	86,990	86,990	
モルタル練		普通 全ての費用	m ³	0.012	169,600	2,035.2	
【材料費】							
安全施設ハンドホール		600×600×900	組	1	75,200	75,200	
蓋(材料費)			組	1	102,000	102,000	
計						266,225.2	
単価						266,300	円/個

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月	2026. 07	
						歩掛使用年月	2026. 07	
						労務調整係数	1. 000-00-00-2-71	
単－37号	基礎材	再生クラッシャー 40～0 7.5cmを超え12.5cm以下	単位	m2	数量	1	単価	2, 058
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャー 40～0 全ての費用	m 2	1	2, 058	2, 058		
計						2, 058		
単価						2, 058	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-38号	蓋 U-3	鋳鉄蓋（受枠含む）φ750 車道用（調整ブロック H=200）	単位	組	数量	1	単価 331,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	9,348	9,348	
蓋（材料費）			組	1	290,000	290,000	
【材料費】							
調整ブロック		φ750 H=200（ステップ無）	個	1	32,000	32,000	
計						331,348	
単価						331,400	円／組

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単－39号	蓋 U-4, 5, 7, 10～13	鋳鉄蓋（受枠含む） φ750 歩道用(調整ブロック H=100)	単位	組	数量	1	単価 326, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	9, 348	9, 348	
蓋（材料費）			組	1	290, 000	290, 000	
【材料費】							
調整ﾌﾞﾛｯｸ		φ750 H=100（ｽﾃｯﾌﾟ無）	個	1	27, 500	27, 500	
計						326, 848	
単価						326, 900	円／組

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一40号	蓋 U-1	鋳鉄蓋（受枠含む） ユニット型 1200×4000用 地上機器 設置柵直上1基(歩道用) (嵩上げH=100)	単位	組	数量	1	単価	2, 122, 000	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
蓋設置		800kgを超え2000kg以下	組	1	10, 260	10, 260			
蓋（材料費）			組	1	2, 000, 000	2, 000, 000			
【材料費】									
嵩上げ材（1200×1350用）		H=100用 140×100×2000	個	4	19, 500	78, 000			
嵩上げ材（1200×1350用）		H=100用 140×100×1500	個	2	16, 700	33, 400			
計						2, 121, 660			
単価						2, 122, 000	円／組		

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一41号	蓋 U-2	鑄鉄蓋（受枠含む） エット型 1200×3500用（歩道用）（ 嵩上げ H=100）	単位	組	数量	1	単価 1,567,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋設置		800kgを超え2000kg以下	組	1	10,260	10,260	
蓋（材料費）			組	1	1,450,000	1,450,000	
【材料費】							
嵩上げ材（1200×1350用）		H=100用 140×100×2000	個	2	19,500	39,000	
嵩上げ材（1200×1350用）		H=100用 140×100×1500	個	4	16,700	66,800	
計						1,566,060	
単価						1,567,000	円／組

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一42号	蓋 U-8	鑄鉄蓋（受枠含む） エット型 1200×4000用（歩道用）（ 嵩上げ H=100）	単位	組	数量	1	単価 1,732,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋設置		800kgを超え2000kg以下	組	1	10,260	10,260	
蓋（材料費）			組	1	1,610,000	1,610,000	
【材料費】							
嵩上げ材（1200×1350用）		H=100用 140×100×2000	個	4	19,500	78,000	
嵩上げ材（1200×1350用）		H=100用 140×100×1500	個	2	16,700	33,400	
計						1,731,660	
単価						1,732,000	円／組

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一43号	蓋 U-6,9	铸铁蓋（受枠含む） 通信接続枠 500×2000用（歩道用）	単位	組	数量		1	単価 784,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋設置		200kgを超え800kg以下	組	1	9,348	9,348		
蓋（材料費）			組	1	775,000	775,000		
計						784,348		
単価						784,400	円／組	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一44号	蓋 U分-1～U分-12	铸铁蓋（受枠含む） 電力分岐枠用 450×900用（歩道用）	単位	組	数量		1	単価 295,300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋設置		200kg以下	組	1	7,230	7,230		
蓋（材料費）			組	1	288,000	288,000		
計						295,230		
単価						295,300	円／組	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一45号	蓋 U-4×2, 8, 10×2, 12, 13	地上機器ハド ^ホ ール仮蓋 1095×445用 (T-25仕様)	単位	組	数量	1	単価	85, 230
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋設置		200kg以下	組	1	7, 230	7, 230		
蓋 (材料費)			組	1	78, 000	78, 000		
計						85, 230		
単価						85, 230	円／組	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一46号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ ^ン RC-40 仕上り厚 330mm	単位	m2	数量	1	単価	3, 018
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤 (歩道部)		330mm 2層施工 再生クラッシュ ^ン RC-40 全ての費用	m 2	1	3, 018	3, 018		
計						3, 018		
単価						3, 018	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一47号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 3, 798
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン (2 0) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 798	3, 798		
計						3, 798		
単価						3, 798	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一48号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 3, 822
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン (2 0) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 822	3, 822		
計						3, 822		
単価						3, 822	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一49号	フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量		単価	
						1		1,770
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
フィルター層		100mm以上120mm未満	m 2	1	1,770	1,770		
計						1,770		
単価						1,770	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一50号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量		単価	
						1		1,398
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤(歩道部)		100mm 1層施工 再生クラッシュ RC-40 全ての費用	m 2	1	1,398	1,398		
計						1,398		
単価						1,398	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－51号	表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量	1	単価	3, 220
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (歩道部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度アスコン (1 3) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 220	3, 220		
計						3, 220		
単価						3, 220	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－52号	上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 300mm	単位	m2	数量	1	単価	3, 119
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (歩道部)		300mm 2層施工 再生粒度調整碎石 RM-40 全ての費用	m 2	1	3, 119	3, 119		
計						3, 119		
単価						3, 119	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-53号	表層(歩道部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	単位	m2	数量		単価	
						1		3,674
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (歩道部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3,674	3,674		
計						3,674		
単価						3,674	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-54号	上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 350mm	単位	m2	数量		単価	
						1		4,455
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (歩道部)		350mm 3層施工 再生粒度調整碎石 RM-40 全ての費用	m 2	1	4,455	4,455		
計						4,455		
単価						4,455	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－55号	基層(歩道部)	各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 再生粗粒度アスコン(20)) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上	単位	m2	数量		単価	3, 648
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層 (歩道部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 648	3, 648		
計						3, 648		
単価						3, 648	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－56号	表層(歩道部)	各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 再生密粒度アスコン(20)) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上	単位	m2	数量		単価	3, 674
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (歩道部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 各種(2. 30以上2. 40t/m3未満) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 674	3, 674		
計						3, 674		
単価						3, 674	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一57号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m	数量	1	単価	1,048
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	1,048	1,048		
計						1,048		
単価						1,048	円/m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一58号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 10 c m	単位	m2	数量	1	単価	941.3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	941.3	941.3		
計						941.3		
単価						941.3	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一59号	殻運搬	舗装版破碎	単位	m3	数量		単価	
						1		4,321
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 有り 12.0km以下 全ての費用	m 3	1	4,321	4,321		
計						4,321		
単価						4,321	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一60号	殻処分	アスファルト殻	単位	m3	数量		単価	
						1		5,170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	5,170	5,170		
計						5,170		
単価						5,170	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一61号	掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	単位	m3	数量	1	単価	1,980
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m 3	1	1,980	1,980		
計						1,980		
単価						1,980	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一62号	不陸整正工(歩道部)	敷均し補足材なし	単位	m2	数量	1	単価	1,288
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正工【歩掛見積参考】		敷均し補足材なし	m2	1	1,288	1,288		
計						1,288		
単価						1,288	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一63号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	
						1		2,536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0.28m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 3.0km以下	m 3	1	2,536	2,536		
計						2,536		
単価						2,536	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一64号	上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	単位	m2	数量		単価	
						1		5,573
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理材(40) 1.4m未満(1層当たり平均仕上り厚50mmを超え100mm以下) 80mm プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	5,573	5,573		
計						5,573		
単価						5,573	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一65号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満 (1層 当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 7,871
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン (20) タックコート PK-4 全ての費用	m 2	1	4,073	4,073		
基層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン (20) 無し 全ての費用	m 2	1	3,798	3,798		
計						7,871		
単価						7,871	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一66号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当 り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 3,822
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン (20) 無し 全ての費用	m 2	1	3,822	3,822		
計						3,822		
単価						3,822	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一67号	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 50mm 50mm 各種 各種 2.35t/m3 2.35t/m3 タックコート 各種 0L/100m2	m 2	1	7,460	7,460		
	計					7,460		
	単価					7,460	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一68号	殻運搬(路面切削)	切削殻	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	殻運搬 (路面切削)	有り 9.5km以下 全ての費用	m 3	1	2,759	2,759		
	計					2,759		
	単価					2,759	円/m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一69号	処分	アスファルト	単位	m3	数量	1	単価	5,170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m3	1	5,170	5,170		
計						5,170		
単価						5,170	円/m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一70号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	3,662
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	m3	1	3,662	3,662		
計						3,662		
単価						3,662	円/m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一71号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価 2, 536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0. 28m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 3. 0km以下	m 3	1	2, 536	2, 536	
計						2, 536	
単価						2, 536	円／m3

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－72号	L型側溝(1)撤去・復旧	一般部	単位	m	数量	10	単価	28, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【撤去】								
歩車道境界ブロック撤去		再利用	m	10	2, 568	25, 680		
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	1. 58	17, 930	28, 329. 4		
【復旧】								
歩車道境界ブロック		再利用設置 B種(180/205×250×600) 無し 無し	m	10	6, 164	61, 640		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	1. 58	48, 220	76, 187. 6		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	4. 1	16, 640	68, 224		
基礎砕石		7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシャヅン 40～0 全ての費用	m 2	8	2, 058	16, 464		
モルタル練		高炉 全ての費用	m 3	0. 02	169, 600	3, 392		
計						279, 917		
単価						28, 000	円／m	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－73号	L型側溝(2)撤去・復旧	歩道切下部	単位	m	数量	10	単価	27, 390
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【撤去】								
歩車道境界ブロック撤去		再利用	m	10	2, 568	25, 680		
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	1. 58	17, 930	28, 329. 4		
【復旧】								
歩車道境界ブロック		再利用設置 各種(600mm以下、50kg未満) 無し 無し	m	10	5, 561	55, 610		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	1. 58	48, 220	76, 187. 6		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	4. 1	16, 640	68, 224		
基礎碎石		7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシャー 40～0 全ての費用	m 2	8	2, 058	16, 464		
モルタル練		高炉 全ての費用	m 3	0. 02	169, 600	3, 392		
計						273, 887		
単価						27, 390	円／m	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一74号	縦断管撤去・復旧		単位	m	数量	10	単価	39, 170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【撤去】								
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	1. 68	17, 930	30, 122. 4		
【復旧】								
鉄筋コンクリート台付管		据付 300mm 2. 4m/個 全ての費用	m	10	26, 470	264, 700		
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 07	169, 600	11, 872		
U型側溝		据付け L=1000mm 有り 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 著しく有り 無し 無し	m	10	7, 467	74, 670		
基礎碎石		7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	5	2, 058	10, 290		
【敷板（材料費）は未計上】								
計						391, 654. 4		
単価						39, 170	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単-75号	植樹ブロック撤去・復旧	単位	m	数量	10	単価	12,760
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【撤去】							
地先境界ブロック撤去		再利用	m	10	2,568	25,680	
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	0.22	17,930	3,944.6	
【復旧】							
地先境界ブロック		再利用設置 各種(600mm以下、50kg未満) 再生クラッシュラン RC-40 生コンクリート(各種) 無し	m	10	9,789	97,890	
計						127,514.6	
単価						12,760	円/m

1 次単価表

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単一76号	緑石鋳撤去・設置工		単位	個	数量	1	単価	3,910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【緑石撤去及び設置（施工費）は未計上】								
【材料費】								
自然光緑石鋳	ソーラー式		個	1	3,910	3,910		
計						3,910		
単価						3,910	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一77号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	612.1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	612.1	612.1		
計						612.1		
単価						612.1	円/m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単一78号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 黄	単位	m	数量	1	単価	697.7
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 黄 鉛・クロムフリー アスファルト舗装 全ての費用	m	1	697.7	697.7		
計						697.7		
単価						697.7	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一79号	溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 659.9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 破線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	659.9	659.9	
計						659.9	
単価						659.9	円/m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一80号	溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 1,504
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1,504	1,504	
計						1,504	
単価						1,504	円/m

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一81号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水 性舗装無	単位	m	数量	1	単価 1, 520
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1, 520	1, 520	
計						1, 520	
単価						1, 520	円／m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一82号	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価 17, 930
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	1	17, 930	17, 930	
計						17, 930	
単価						17, 930	円／m3

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-83号	殻運搬	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	m 3	1	5,043	5,043		
	計					5,043		
	単価					5,043	円/m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
単-84号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 (m 3)		m 3	1	5,875	5,875		
	計					5,875		
	単価					5,875	円/m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－85号	建設機械運搬費		単位	台	数量	1	単価	163, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車による運搬（1 車 1 回）		路面切削機（ホイール式・廃材積込装置付）2. 0m 19. 4km 無 有 10500円	台	2	81, 500	163, 000		
計						163, 000		
単価						163, 000	円／台	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－86号	仮設材運搬費		単位	t	数量	1	単価	11, 760
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬		北海道・東北・関東・北陸・中部 19. 4km 12m以内 各種（実数入力） 0無 無	t	2	4, 380	8, 760		
仮設材等の積込み、取卸し費		積込み、取卸し（片道分）	t	2	1, 500	3, 000		
計						11, 760		
単価						11, 760	円／t	

参考資料（1）

参考資料（1）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	軽量鋼矢板損料	LSP-2型 (t=4mm) H=2. 5m	単位	t	数量	1	単価	19, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
修理費及び損耗費		LSP-2型 (t=4mm)	t	1	16, 600	16, 600		
軽量鋼矢板損料		90日以内 LSP-2型 (t=4mm)	日	25	132	3, 300		
計						19, 900		
単価						19, 900	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	鋼製切梁材 [°] ト賃料	管理設工事用 調整用 600～1000mm	単位	本	数量	1	単価	1, 661
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼製切梁材 [°] ト賃料 (基本料)		管理設工事用 調整長 600～1000mm	本	1	411	411		
鋼製材 [°] ト賃料		管理設工事用 調整長 600～1000mm	本・日	25	50	1, 250		
計						1, 661		
単価						1, 661	円／本	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	軽量鋼矢板損料	LSP-2型 (t=4mm) H=3.0m	単位	t	数量	1	単価 20,420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	修理費及び損耗費	LSP-2型 (t=4mm)	t	1	16,600	16,600	
	軽量鋼矢板損料	90日以内 LSP-2型 (t=4mm)	日	29	132	3,828	
	計					20,428	
	単価					20,420	円／t

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	鋼製切梁ボルト賃料	管理設工事用 調整用 1200～1800mm	単位	本	数量	1	単価 3,722
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	鋼製切梁ボルト賃料(基本料)	管理設工事用 調整長 1200～1800mm	本	1	822	822	
	鋼製ボルト賃料	管理設工事用 調整長 1200～1800mm	本・日	29	100	2,900	
	計					3,722	
	単価					3,722	円／本

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	28,800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	28,800	28,800		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						28,800		
単価						28,800	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	27,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	27,000	27,000		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						27,000		
単価						27,000	円／人日	

参考資料（1）

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

	処分費（m ³ ）		単位	m ³	数量	100	単価	5,170
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
As殻		(株)ガイアート 白岡合材工場	m ³	100	5,170	517,000		
	計					517,000		
	単価					5,170	円／m ³	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設	道路沿い（地中）新設 FEP 80mm 2条 0%	単位	m	数量	100	単価 1,612
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工			人	1	53,352	53,352	
波付硬質ポリエチレン電線管		FEP 80mm	m	200	539	107,800	
諸雑費（まるめ）			式	1		48	
計						161,200	
単価						1,612	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

	波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設	道路沿い（地中）新設 FEP 80mm 1条 0%	単位	m	数量	100	単価	805.8
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
電工			人	0.5	53,352	26,676		
波付硬質ポリエチレン電線管		FEP 80mm	m	100	539	53,900		
諸雑費（まるめ）			式	1		4		
計						80,580		
単価						805.8	円／m	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設	道路沿い（地中）新設 FEP 50mm 1条 0%	単位	m	数量	100	単価 606.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工			人	0.5	53,352	26,676	
波付硬質ポリエチレン電線管		FEP 50mm	m	100	340	34,000	
諸雑費（まるめ）			式	1		4	
計						60,680	
単価						606.8	円／m

参考資料（1）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	厚鋼電線管（G）	呼び径 82 15%	単位	m	数量	1	単価 3,338
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
厚鋼電線管		G 8 2	m	1	2,903.7	2,903	
附属品費 15%			式	1		435	
計						3,338	
単価						3,338	円／m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	金属製可とう電線管敷設	83mm以下 新設	単位	m	数量	100	単価 8,857
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工			人	16.6	53,352	885,643	
諸雑費（まるめ）			式	1		57	
計						885,700	
単価						8,857	円／m

参考資料（１）

単価使用年月
歩掛使用年月
労務調整係数

2026.07
2026.07
1.000-00-00-2-71

	ダクトスリーブ取付工【歩掛見積参考】	手間のみ管径問わない(φ250～φ30、壁厚15cm以下)(ハ)	単位	箇所	数量	1	単価	22,910
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0.07	55,917	3,914		
	特殊作業員		人	0.2	49,590	9,918		
	普通作業員		人	0.13	44,289	5,757		
	諸雑費（率＋まるめ） 17%		式	1		3,321		
	計					22,910		
	単価					22,910	円／箇所	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	安全施設ハットホル設置工【歩掛見積 参考】	600×600×600(上段+下段)(蓋設置含む)	単位	個	数量	10	単価 86,990
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役			人	3.33	55,917	186,203	
特殊作業員			人	3.33	49,590	165,134	
普通作業員			人	6.67	44,289	295,407	
トラック運転		クレーン装置付 4t車 2.9t吊	日	3.33	67,000	223,110	
諸雑費（まるめ）			式	1		46	
計						869,900	
単価						86,990	円／個

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	安全施設ハットホル設置工【歩掛見積 参考】	600×600×900(上段+中段+下段)(蓋設置含む)	単位	個	数量	10	単価 86,990
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役			人	3.33	55,917	186,203	
特殊作業員			人	3.33	49,590	165,134	
普通作業員			人	6.67	44,289	295,407	
トラック運転		クレーン装置付 4t車 2.9t吊	日	3.33	67,000	223,110	
諸雑費（まるめ）			式	1		46	
計						869,900	
単価						86,990	円／個

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	不陸整正工【歩掛見積参考】	敷均し補足材なし	単位	m2	数量	100	単価 1,288
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	特殊作業員		人	0.41	49,590	20,331	
	普通作業員		人	1	44,289	44,289	
	振動ロー(舗装用)運転	搭乗・コンパインド式 質量3~4t	日	0.5	61,480	30,740	
	小型バックホウ運転	クローラ型・超低騒音型・後方超小旋回型 山積0.09m3 排対	日	0.5	66,880	33,440	
	諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		0	
	計					128,800	
	単価					1,288	円／m2

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 50mm 50mm 各種 各種 2.35t/m3 2.35t/m3 タックコート 各種 0L/100m2	単位	m ²	数量	100	単価 7,460
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	0.199	55,917	11,127		
特殊作業員		人	0.596	49,590	29,555		
普通作業員		人	0.994	44,289	44,023		
アスファルト混合物	改質Ⅱ型粗粒度As(20)	t	12.573	18,500	232,600		
アスファルト混合物	改質Ⅱ型密粒度As(20)	t	12.573	18,700	235,115		
アスファルト乳剤	P K-4 タックコート用	L	43	141	6,063		
アスファルト乳剤	【散布無】	L	0	0	0		
路面切削機運転	7cm超え12cm以下 二層	日	0.199	286,900	57,093		
路面清掃車運転	7cm超え12cm以下 二層	日	0.199	103,100	20,516		
アスファルトフィニッシャ運転	7cm超え12cm以下 二層	日	0.199	209,000	41,591		
ロードローラ運転	7cm超え12cm以下 二層	日	0.199	88,360	17,583		

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月	2026. 07	
						歩掛使用年月	2026. 07	
						労務調整係数	1. 000-00-00-2-71	
	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 50mm 50mm 各種 各種 2. 35t/m3 2. 35t/m3 タックコート 各種 0L/100m2	単位	m 2	数量	100	単価	7, 460
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
タイヤローラ運転		7cm超え12cm以下 二層	日	0. 199	87, 210	17, 354		
諸雑費（率＋まるめ） 14%			式	1		33, 380		
計						746, 000		
単価						7, 460	円／m 2	

参考資料（1）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	5, 170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
切削殻		(株)ガイアート 白岡合材工場	m 3	100	5, 170	517, 000		
計						517, 000		
単価						5, 170	円／m 3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	単位	m 3	数量	1	単価	17, 930
名 称		規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要	
無筋構造物		夜間 機械施工 制約著しく受ける	m 3	1	17, 927	17, 927		
諸雑費（まるめ）			式	1		3		
計						17, 930		
単価						17, 930	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

	U型側溝	据付け L=1000mm 有り 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 著しく有り 無し 無し	単位	m	数量	10	単価	7,467
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g以下 夜 著しく受	m	10	7,467.03	74,670		
	【別途計上】敷板	縦断管D300用 580×100×2400	個	10	0	0		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					74,670		
	単価					7,467	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月
歩掛使用年月
労務調整係数

2026.07
2026.07
1.000-00-00-2-71

	区画線設置	有り 熔融式手動 無し 実線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価	612.1
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置（熔融式）	夜間 豪雪無 実線15cm 制約著しく受ける	m	1,000	432	432,000		
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	kg	570	252	143,640		
	ガラスビーズ	0.106～0.850mm	kg	25	187	4,675		
	接着用プライマー	区画線用	kg	25	655	16,375		
	軽油		L	47	147	6,909		
	諸雑費（率+まるめ） 5%		式	1		8,501		
	計					612,100		
	単価					612.1	円/m	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	区画線設置	有り 熔融式手動 無し 実線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 黄鉛・クロムフリー アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価 697.7
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（熔融式）		夜間 豪雪無 実線15cm 制約著しく受ける	m	1,000	432	432,000	
トラフィックペイント		3種1号 ビーズ15～18 黄鉛・フリー 熔融	kg	570	395	225,150	
ガラスビーズ		0.106～0.850mm	kg	25	187	4,675	
接着用プライマー		区画線用	kg	25	655	16,375	
軽油			L	47	147	6,909	
諸雑費（率+まるめ） 5%			式	1		12,591	
計						697,700	
単価						697.7	円/m

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	区画線設置	有り 熔融式手動 無し 破線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価 659.9
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	区画線設置（熔融式）	夜間 豪雪無 破線15cm 制約著しく受ける	m	1,000	479	479,000	
	トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	kg	570	252	143,640	
	ガラスビーズ	0.106～0.850mm	kg	25	187	4,675	
	接着用プライマー	区画線用	kg	25	655	16,375	
	軽油		L	52	147	7,644	
	諸雑費（率+まるめ） 5%		式	1		8,566	
	計					659,900	
	単価					659.9	円／m

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1, 000	単価	1, 504
名 称		規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
区画線設置（溶融式）		夜間 豪雪無 ゼブラ45cm 制約著しく受ける	m	1, 000	972	972, 000		
トラフィックペイント		3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	k g	1, 700	252	428, 400		
ガラスビーズ		0. 1 0 6～0. 8 5 0 mm	k g	75	187	14, 025		
接着用プライマー		区画線用	k g	75	655	49, 125		
軽油			L	106	147	15, 582		
諸雑費（率＋まるめ） 5%			式	1		24, 868		
計						1, 504, 000		
単価						1, 504	円／m	

参考資料（１）

		単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71			
区画線設置	有り 熔融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1,000	単価	1,520
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置（熔融式）	夜間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約著しく受ける	m	1,200	1,076	1,291,200		
トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	kg	684	252	172,368		
ガラスビーズ	0.106～0.850mm	kg	30	187	5,610		
接着用プライマー	区画線用	kg	30	655	19,650		
軽油		L	139.2	147	20,462		
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		10,710		
計					1,520,000		
単価					1,520	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026.07
歩掛使用年月	2026.07
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	貨物自動車による運搬（１車１回）	路面切削機（ホイル式・廃材積込装置付）2.0m 19.4km 無 有 10500円	単位	台	数量	1	単価	81,500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 20kmまで	台	1	71,000	71,000		
	貨物自動車運送料金	運搬中の賃料（損料）K（K'）	台	1	10,500	10,500		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					81,500		
	単価					81,500	円／台	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-0	
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道・東北・関東・北陸・中部 19.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量		単価	
						1		4,380
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基本運賃区分B		製品長12m以内 20kmまで	t	1	4,380	4,380		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						4,380		
単価						4,380	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-0	
	仮設材等の積込み、取卸し費	積込み、取卸し(片道分)	単位	t	数量		単価	
						1		1,500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込み、取卸し費（仮設材等）			t	1	1,500	1,500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						1,500		
単価						1,500	円／t	

参考資料（2）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
	軽量鋼矢板損料	90日以内 LSP-2型 (t=4mm)	単位	日	数量	1	単価	132
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板（軽量矢板） 軽量型（2型、3型）		90日以内	t	1	132	132		
計						132		
単価						132	円／日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
	軽量鋼矢板損料	90日以内 LSP-2型 (t=4mm)	単位	日	数量	1	単価	132
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼矢板（軽量矢板） 軽量型（2型、3型）		90日以内	t	1	132	132		
計						132		
単価						132	円／日	

参考資料（2）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	トラック運転	クレーン装置付 4t車 2.9t吊	単位	日	数量	1	単価 67,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54,207	54,207	
軽油			L	29	147	4,263	
トラック〔クレーン装置付〕		通称4～4.5t積級 吊能力2.9t	日	1.21	7,050	8,530	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						67,000	
単価						67,000	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンパインド式 質量3~4t	単位	日	数量	1	単価
							61,480
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	運転手（特殊）		人	1	54,207	54,207	
	軽油		L	15	147	2,205	
	振動ローラ（舗装用） [搭乗・コンパインド式]	運転質量3～4 t	日	1.4	3,620	5,068	
	諸雑費（まるめ）		式	1		0	
	計					61,480	
	単価					61,480	円／日

参考資料（2）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	小型バックホウ運転	クローラ型・超低騒音型・後方超小旋回型 山積0.09m3 排対	単位	日	数量	1	単価 66,880
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54,207	54,207	
軽油			L	18	147	2,646	
小型バックホウ損料		クローラ型・超低騒音型・後方超小旋回型 山積0.09m3 排対	供用日	1.78	5,630	10,021	
諸雑費（まるめ）			式	1		6	
計						66,880	
単価						66,880	円／日

参考資料（2）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	路面切削機運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 286,900
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54,207	54,207	
軽油			L	207	147	30,429	
路面切削機〔ホイール式・廃材積込装置付〕		排ガス型（第3次）切削幅×深さ2.0×0.23m	供用日	1.28	158,000	202,240	
諸雑費（まるめ）			式	1		24	
計						286,900	
単価						286,900	円／日

参考資料（2）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	路面清掃車運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 103,100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）			人	1	46,854	46,854	
軽油			L	38	147	5,586	
路面清掃車〔ブラシ・四輪式・路面切削工事用〕		ホッパ収集容量1.5m ³	供用日	1.15	44,000	50,600	
諸雑費（まるめ）			式	1		60	
計						103,100	
単価						103,100	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	アスファルトフィニッシャ運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 209,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54,207	54,207	
軽油			L	65	147	9,555	
アスファルトフィニッシャ〔ホイール型〕		排ガス対策2014年規制 舗装幅2.3～6.0m	供用日	1.41	103,000	145,230	
諸雑費（まるめ）			式	1		8	
計						209,000	
単価						209,000	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	ロードローラ運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 88,360
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54,207	54,207	
軽油			L	32	147	4,704	
ロードローラ [マカダム]		排出ガス対策型（2014年規制） 運転質量10t	供用日	1.28	23,000	29,440	
諸雑費（まるめ）			式	1		9	
計						88,360	
単価						88,360	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	タイヤローラ運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 87,210
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54,207	54,207	
軽油			L	25	147	3,675	
タイヤローラ〔普通型・排ガス対策2014年規制〕		運転質量13～14t	供用日	1.41	20,800	29,328	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						87,210	
単価						87,210	円／日

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一1号	交通誘導警備員	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	28, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	28, 800	28, 800		
計						28, 800		
単価						28, 800	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一2号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	27, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	27, 000	27, 000		
計						27, 000		
単価						27, 000	円／人日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一3号	殻運搬	アスファルト塊	単位	m3	数量	1	単価	3, 738
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬（電線共同溝工）		アスファルト塊 有り 6. 0km以下	m 3	1	3, 738	3, 738		
計						3, 738		
単価						3, 738	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一4号	殻運搬	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	2, 729
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要） 有り 5. 5km以下 全ての費用	m 3	1	2, 729	2, 729		
計						2, 729		
単価						2, 729	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一5号	処分	アスファルト	単位	m3	数量	1	単価	7, 050
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	7, 050	7, 050		
計						7, 050		
単価						7, 050	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一6号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m	数量	1	単価	1, 048
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	1, 048	1, 048		
計						1, 048		
単価						1, 048	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一7号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	単位	m	数量	1	単価	2, 054
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	m	1	2, 054	2, 054		
計						2, 054		
単価						2, 054	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一8号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m2	数量	1	単価	2, 274
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎積込（電線共同溝工）			m 2	1	2, 274	2, 274		
計						2, 274		
単価						2, 274	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一9号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 30 c m	単位	m2	数量		単価	
						1		1, 316
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cmを超え35cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	1, 316	1, 316		
計						1, 316		
単価						1, 316	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一10号	開削掘削	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		7, 254
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り（電線共同溝工）			m 3	1	7, 254	7, 254		
計						7, 254		
単価						7, 254	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－11号	埋戻し・締固め	中埋砂	単位	m3	数量	1	単価	11, 470
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し・締固め（電線共同溝工）		中埋砂	m 3	1	11, 470	11, 470		
計						11, 470		
単価						11, 470	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－12号	埋戻し・締固め	土砂	単位	m3	数量	1	単価	8, 705
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し・締固め（電線共同溝工）		土砂	m 3	1	8, 705	8, 705		
計						8, 705		
単価						8, 705	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一13号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	
						1		2, 236
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬（電線共同溝工）		土砂 有り 3.5km以下						
			m 3	1	2, 236	2, 236		
計						2, 236		
単価						2, 236	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一14号	積込(ルーズ) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	単位	m3	数量		単価	
						1		256. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込（ルーズ）		土砂 土量50,000m3未満						
			m 3	1	256. 3	256. 3		
計						256. 3		
単価						256. 3	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一15号	土砂等運搬 【昼間】 仮置場→処分場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土砂等運搬	標準 バックホウ バケット容量0.8m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60.0km以下	m 3	1	6,310	6,310		
	計					6,310		
	単価					6,310	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一16号	整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	整地	残土受入れ地での処理	m 3	1	136.3	136.3		
	計					136.3		
	単価					136.3	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単一17号	埋設管路	ECVP 径 130mm	単位	式	数量	1	単価	348, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	10	5, 702	57, 020		
管路材設置		埋設部 単管設置	m	34	7, 445	253, 130		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	80	482	38, 560		
計						348, 710		
単価						348, 800	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単一18号	埋設管路	ECVP 径 100mm	単位	式	数量	1	単価	147, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	5	4, 777	23, 885		
管路材設置		埋設部 単管設置	m	17	6, 584	111, 928		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	20	604	12, 080		
計						147, 893		
単価						147, 900	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単一19号	埋設管路	SUDⅡ-V 径 100mm	単位	式	数量	1	単価	232, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	5	5, 628	28, 140		
管路材設置		埋設部 単管設置	m	17	11, 040	187, 680		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	42	389	16, 338		
計						232, 158		
単価						232, 200	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単一20号	埋設管路	PV 径 50mm	単位	式	数量	1	単価	2, 010, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	157	4, 152	651, 864		
管路材設置		埋設部 単管設置	m	191	6, 353	1, 213, 423		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	561	257	144, 177		
計						2, 009, 464		
単価						2, 010, 000	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単一21号	露出管路 (橋梁添架部)	FRP 径 130mm 支持金具含む	単位	式	数量	1	単価	142, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【直管（施工費のみ）】								
管路材設置		露出部 単管設置	m	17	4, 318	73, 406		
【曲管（施工費のみ）】								
管路材設置		露出部 単管設置	m	16	4, 318	69, 088		
【FRP管、異種管継手、支持金具、高力ボルト等								
(材料費) は未計上】								
計						142, 494		
単価						142, 500	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単－22号	露出管路 (橋梁添架部)	FRP 径 100mm	単位	式	数量	1	単価	142, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【直管（施工費のみ）】								
管路材設置		露出部 単管設置	m	17	4, 318	73, 406		
【曲管（施工費のみ）】								
管路材設置		露出部 単管設置	m	16	4, 318	69, 088		
【FRP管、異種間継手（材料費）は未計上】								
計						142, 494		
単価						142, 500	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単-23号	露出管路 (橋梁添架部)	FRP 径 50mm	単位	式	数量	1	単価	1, 162, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【直管（施工費のみ）】								
管路材設置		露出部 単管設置	m	88	4, 318	379, 984		
【曲管（施工費のみ）】								
管路材設置		露出部 単管設置	m	181	4, 318	781, 558		
【FRP管、異種間継手（材料費）は未計上】								
計						1, 161, 542		
単価						1, 162, 000	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1.000-00-00-2-71

単-24号	埋設表示シート	W=400	単位	m	数量	1	単価	539.6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設表示シート（材料費）			m	1	539.6	539.6		
計						539.6		
単価						539.6	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1.000-00-00-2-71
単一25号	現場塗装	外面 F-11	単位	m2	数量	1	単価 21, 280
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
継手部素地調整（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		動力工具処理 著しく有り 有り	m 2	1	8, 332	8, 332	
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 著しく有り 有り	m 2	1	1, 721	1, 721	
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 著しく有り 有り	m 2	1	6, 709	6, 709	
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 中塗り 著しく有り 有り ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m 2	1	1, 933	1, 933	
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 上塗り 著しく有り 有り ふっ素樹脂塗料 淡彩	m 2	1	2, 582	2, 582	
計						21, 277	
単価						21, 280	円／m2

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－26号	素地調整	2種ｸﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	単位	m2	数量	1	単価	5, 430
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		素地調整 無し 著しく有り 有り 2種ｸﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m 2	1	5, 430	5, 430		
計						5, 430		
単価						5, 430	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－27号	現場溶接		単位	m	数量	1	単価	20, 240
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場溶接		すみ肉脚長6mm	m	1	20, 240	20, 240		
計						20, 240		
単価						20, 240	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－28号	現場孔明	Φ26. 5	単位	箇所	数量	1	単価	4, 513
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場孔明（鋼構造物）		作業性の悪い箇所等 全ての費用	本	1	4, 513	4, 513		
計						4, 513		
単価						4, 513	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－29号	耐火防護	一般部（電力管）	単位	m2	数量	26. 1	単価	42, 650
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
耐火防護工【歩掛見積参考】		一般部（電力管）（t=50～13mm）	m2	26. 1	42, 650	1, 113, 165		
【耐火防護材（材料費）は未計上】								
計						1, 113, 165		
単価						42, 650	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－30号	耐火防護	一般部(通信管)	単位	m2	数量	29. 5	単価	42, 650
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
耐火防護工【歩掛見積参考】		一般部（通信管）（t=50～13mm）	m2	29. 5	42, 650	1, 258, 175		
【耐火防護材（材料費）は未計上】								
計						1, 258, 175		
単価						42, 650	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－31号	耐火防護	支持部(電力, 通信管)	単位	m2	数量	12. 2	単価	42, 650
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
耐火防護工【歩掛見積参考】		支持部（電力, 通信管）（t=50～13mm）	m2	12. 2	42, 650	520, 330		
【耐火防護材（材料費）は未計上】								
計						520, 330		
単価						42, 650	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－32号	床掘り	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		463. 6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 無し	m 3	1	463. 6	463. 6		
計						463. 6		
単価						463. 6	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－33号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		5, 586
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m未満	m 3	1	5, 586	5, 586		
計						5, 586		
単価						5, 586	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一34号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価	885. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基面整正			m 2	1	885. 8	885. 8		
計						885. 8		
単価						885. 8	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一35号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	2, 536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0. 28m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 3. 0km以下	m 3	1	2, 536	2, 536		
計						2, 536		
単価						2, 536	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単-36号	均しコンクリート	各種 敷厚 46 c m	単位	m2	数量	4	単価	37, 150
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 養生無し 全ての費用	m 3	2. 21	48, 660	107, 538. 6		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m 2	4. 37	9, 389	41, 029. 93		
計						148, 568. 53		
単価						37, 150	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一37号	プレキャストボックスカルバート据付		単位	箇所	数量	1	単価 589, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 07	169, 600	11, 872	
【材料費】							
ボックスカルバート		RC型 T-245 1000×600×(1267/1606)	本	1	278, 000	278, 000	
ボックスカルバート		RC型 T-245 1000×600×(1228/1567)	本	1	300, 000	300, 000	
【プレキャストボックスカルバート設置（施工費）は未計上】							
計						589, 872	
単価						589, 900	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単-38号	妻壁コンクリート		単位	箇所	数量	1	単価 61, 360
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	1. 86	16, 640	30, 950. 4	
コンクリート		小型構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 24-8-25(早強) 養生無し 全ての費用	m 3	0. 2	49, 060	9, 812	
コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)		30mm以上200mm未満	孔	16	1, 181	18, 896	
モルタル練 間詰め充填用		普通 全ての費用	m 3	0. 01	169, 600	1, 696	
【コンクリートアンカー設置 (施工費) は未計上】							
【差し筋アンカー (材料費) は未計上】							
計						61, 354. 4	
単価						61, 360	円／箇所

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単-39号	地覆コンクリート		単位	箇所	数量	1	単価 61, 990
名 称		規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	1. 06	16, 640	17, 638. 4	
コンク リー ト		小型構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 24-8-25(早強) 養生無し 全ての費用	m 3	0. 14	49, 060	6, 868. 4	
鉄筋工 加工・組立		加工・組立 一般構造物 SD345 D13 標準以外 1. 3無	t	0. 01	559, 600	5, 596	
コンク リー ト削孔 (電動ハンマドリル)		30mm以上200mm未満	孔	27	1, 181	31, 887	
【コンクリートアンカー設置 (施工費) は未計上】							
【差し筋アンカー (材料費) は未計上】							
計						61, 989. 8	
単価						61, 990	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一40号	現場発生品運搬	鋼材撤去	単位	t	数量	1	単価	16, 040
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生品及び支給品運搬		トラック[クレーン装置付]通称2t積級 吊能力2. 9t 有り 17. 0km以下	t	1	16, 040	16, 040		
計						16, 040		
単価						16, 040	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一41号	基礎材	再生クラッシュラン40～0 12. 5cmを超え17. 5cm以下	単位	m2	数量	1	単価	2, 129
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		12. 5cmを超え17. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	1	2, 129	2, 129		
計						2, 129		
単価						2, 129	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

単一42号	均しコンクリート	各種 敷厚 10 c m	単位	m2	数量	8	単価	6, 453
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 養生無し 全ての費用	m 3	0. 81	48, 660	39, 414. 6		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m 2	1. 3	9, 389	12, 205. 7		
計						51, 620. 3		
単価						6, 453	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一43号	プレキャストボックスカルバート据付		単位	箇所	数量	1	単価 1, 147, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	モルタル練	普通 全ての費用	m 3	0. 13	169, 600	22, 048	
	【材料費】						
	ボックスカルバート	RC型 T-245 1200×600×(919/1271)	本	2	266, 000	532, 000	
	ボックスカルバート	RC型 T-245 1200×600×(968/1222)	本	2	296, 000	592, 000	
	【プレキャストボックスカルバート設置（施工費）は未計上】						
	計					1, 146, 048	
	単価					1, 147, 000	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一44号	妻壁コンクリート		単位	箇所	数量	1	単価 77, 330
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 56	16, 640	42, 598. 4	
コンクリート		小型構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 24-8-25(早強) 養生無し 全ての費用	m 3	0. 24	49, 060	11, 774. 4	
コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)		30mm以上200mm未満	孔	18	1, 181	21, 258	
モルタル練 間詰め充填用		普通 全ての費用	m 3	0. 01	169, 600	1, 696	
【コンクリートアンカー設置 (施工費) は未計上】							
【差し筋アンカー (材料費) は未計上】							
計						77, 326. 8	
単価						77, 330	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一45号	地覆コンクリート		単位	箇所	数量	1	単価 65, 020
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 35	16, 640	39, 104	
コンクリート		小型構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 24-8-25(早強) 養生無し 全ての費用	m 3	0. 3	49, 060	14, 718	
鉄筋工 加工・組立		加工・組立 一般構造物 SD345 D13 標準以外 1. 3無	t	0. 02	559, 600	11, 192	
コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)			孔	54	0	0	
【コンクリートアンカー設置 (施工費) は未計上】							
【差し筋アンカー (材料費) は未計上】							
計						65, 014	
単価						65, 020	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一46号	下層路盤(歩道部)	再生クランパン RC-40 仕上り厚 500mm	単位	m2	数量		1	単価 4, 503
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤（歩道部）		500mm 3層施工 再生クランパン RC-40 全ての費用	m 2	1	4, 503	4, 503		
計						4, 503		
単価						4, 503	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一47号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 3, 798
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン（20）無し 全ての費用	m 2	1	3, 798	3, 798		
計						3, 798		
単価						3, 798	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一48号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量	1	単価	3,822
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン (20) 無し 全ての費用	m 2	1	3,822	3,822		
計						3,822		
単価						3,822	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一49号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュアレン RC-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量	1	単価	1,391
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤 (歩道部)		100mm 1層施工 再生クラッシュアレン RC-40 全ての費用	m 2	1	1,391	1,391		
計						1,391		
単価						1,391	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－50号	表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		単価	3, 220
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	表層 (歩道部)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度アスコン (1 3) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 220	3, 220		
	計					3, 220		
	単価					3, 220	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－51号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m	数量		単価	1, 048
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	1, 048	1, 048		
	計					1, 048		
	単価					1, 048	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一52号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 10 c m	単位	m2	数量	1	単価	941. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	941. 3	941. 3		
計						941. 3		
単価						941. 3	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一53号	殻運搬	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	2, 729
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 有り 5. 5km以下 全ての費用	m 3	1	2, 729	2, 729		
計						2, 729		
単価						2, 729	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－54号	処処分	アスファルト敷	単位	m3	数量	1	単価	7, 050
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	7, 050	7, 050		
計						7, 050		
単価						7, 050	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－55号	掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	単位	m3	数量	1	単価	1, 980
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m 3	1	1, 980	1, 980		
計						1, 980		
単価						1, 980	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一56号	不陸整正工(歩道部)		単位	m2	数量	1	単価	1, 288
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正工【歩掛見積参考】		敷均し補足材なし	m2	1	1, 288	1, 288		
計						1, 288		
単価						1, 288	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一57号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	2, 536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0. 28m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 3. 0km以下	m 3	1	2, 536	2, 536		
計						2, 536		
単価						2, 536	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－58号	上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 200mm	単位	m2	数量		1	単価 12, 330
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤（車道・路肩部）		再生瀝青安定処理材（４０） 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下) 100mm プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	6, 253	6, 253		
上層路盤（車道・路肩部）		再生瀝青安定処理材（４０） 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下) 100mm プライムコート(各種) 全ての費用	m 2	1	6, 076	6, 076		
計						12, 329		
単価						12, 330	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－59号	表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	単位	m2	数量		1	単価 3, 797
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層（車道・路肩部）		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン（２０） 無し 全ての費用	m 2	1	3, 797	3, 797		
計						3, 797		
単価						3, 797	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一60号	基層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量	1	単価	3, 823
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層 (車道・路肩部)		1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン (20) 無し 全ての費用	m 2	1	3, 823	3, 823		
計						3, 823		
単価						3, 823	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一61号	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	単位	m2	数量	1	単価	7, 460
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
切削オーバーレイ		7cmを超え12cm以下 二層 50mm 50mm 各種 各種 2. 35t/m3 2. 35t/m3 タックコート 各種 0L/100m2	m 2	1	7, 460	7, 460		
計						7, 460		
単価						7, 460	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一62号	殻運搬(路面切削)	切削殻	単位	m3	数量	1	単価	1, 577
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬（路面切削）		有り 4. 5km以下 全ての費用	m 3	1	1, 577	1, 577		
計						1, 577		
単価						1, 577	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一63号	殻処分	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	7, 050
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	7, 050	7, 050		
計						7, 050		
単価						7, 050	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一64号	床掘り	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		3, 662
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 上記以外(小規模) 全ての費用						
			m 3	1	3, 662	3, 662		
計						3, 662		
単価						3, 662	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一65号	土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	
						1		2, 536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模 バックホウ バケット容量0. 28m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 3. 0km以下						
			m 3	1	2, 536	2, 536		
計						2, 536		
単価						2, 536	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
単一66号	L形側溝	幅 70 c m 高さ 32 c m 各種 再利用	単位	m	数量	10	単価 33, 450
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎碎石		7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	6	2, 051	12, 306	
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 06	169, 600	10, 176	
プレキャストL形側溝（製品長 0. 6 m／個）		据付・撤去 有り 500B 鉄筋コンクリートL形（700×320×600） 全ての費用	m	10	31, 200	312, 000	
計						334, 482	
単価						33, 450	円／m

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一67号	ガードパイプ	Gp-Cp-2E 塗装品 20m未満 曲線部補正無	単位	m	数量		1	単価 34, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵撤去工（ガードパイプ撤去工）		土中建込 有 有	m	1	6, 277	6, 277		
防護柵設置工（ガードパイプ設置工）		土中建込 Gp-Cp-2E 塗装品 2 0 m未満 有 無 無 加算額無し	m	1	27, 820	27, 820		
計						34, 097		
単価						34, 100	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一68号	転落(横断)防止柵 撤去・再設置	柵高 0.7m コンクリート建込	単位	m	数量		1	単価 5, 638
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵（横断・転落防止柵）設置工		コンクリート建込 ビーム式・パネル式 2m 100m未満 有	m	1	3, 582	3, 582		
防護柵（横断・転落防止柵）撤去工		コンクリート建込 ビーム式・パネル式 2m 有	m	1	2, 056	2, 056		
計						5, 638		
単価						5, 638	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一69号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 612.1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 実線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	612.1	612.1	
計						612.1	
単価						612.1	円/m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
単一70号	溶融式区画線	溶融式手動 実線 20cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 711.1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 実線 20cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	711.1	711.1	
計						711.1	
単価						711.1	円/m

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一71号	溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量		単価	
						1		1, 504
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1, 504	1, 504		
計						1, 504		
単価						1, 504	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一72号	溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量		単価	
						1		1, 520
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		有り 溶融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1, 520	1, 520		
計						1, 520		
単価						1, 520	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一73号	コンクリート切断		単位	式	数量	1	単価	973, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート切断工【歩掛見積参考】		水平方向	m2	2. 74	201, 500	552, 110		
コンクリート切断工【歩掛見積参考】		垂直方向	m2	1. 55	271, 700	421, 135		
計						973, 245		
単価						973, 300	円／式	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一74号	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	32, 760
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		鉄筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	1	32, 760	32, 760		
計						32, 760		
単価						32, 760	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一75号	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	17, 930
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	m 3	1	17, 930	17, 930		
計						17, 930		
単価						17, 930	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一76号	殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	11, 290
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 49. 4km以下 全ての費用	m 3	1	11, 290	11, 290		
計						11, 290		
単価						11, 290	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一77号	殻運搬	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	5, 844
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 28. 4km以下 全ての費用	m 3	1	5, 844	5, 844		
計						5, 844		
単価						5, 844	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単一78号	殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	8, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	8, 750	8, 750		
計						8, 750		
単価						8, 750	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
単－79号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	8, 272
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	8, 272	8, 272		
計						8, 272		
単価						8, 272	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－80号	建設機械運搬費		単位	台	数量	1	単価	163, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車による運搬 (1 車 1 回)		路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2. 0m 16. 2km 無 有 10500円	台	2	81, 500	163, 000		
計						163, 000		
単価						163, 000	円／台	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
	交通誘導警備員 A		単位	人日	数量	1	単価 28, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 A			人	1	28, 800	28, 800	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						28, 800	
単価						28, 800	円／人日

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
	交通誘導警備員 B		単位	人日	数量	1	単価 27, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B			人	1	27, 000	27, 000	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						27, 000	
単価						27, 000	円／人日

参考資料（１）

参考資料（1）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	7, 050
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
As殻		大林道路(株) 越谷アスファルト混合所	m 3	100	7, 050	705, 000		
計						705, 000		
単価						7, 050	円／m 3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	継手部素地調整（新橋現場・新橋継 手部現場塗装）	動力工具処理 著しく有り 有り	単位	m 2	数量	100	単価	8, 332
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 新橋素地調整		夜間 動力工具処理 ISO St3 制約著受ける	m 2	100	8, 332	833, 200		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						833, 200		
単価						8, 332	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手 部現場塗装）	ミストコート 変性ポキシ樹脂塗料(1層) 著しく有り 有り	単位	m ²	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	新橋塗装 下塗り	夜間 ミストコート 変性ポキシ樹脂(1層) 制約著受ける	m ²	100	1,720.8	172,080		
諸雑費（まるめ）			式	1		20		
計						172,100		
単価						1,721	円／m ²	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手 部現場塗装）	超厚膜形ポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 著しく有り 有り	単位	m ²	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	新橋塗装 下塗り	夜間 超厚膜形ポキシ(2回塗り/層) 制約著受ける	m ²	100	6,708.96	670,896		
諸雑費（まるめ）			式	1		4		
計						670,900		
単価						6,709	円／m ²	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継 手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 中塗り 著しく有り 有り ふっ素樹脂塗料用 淡彩	単位	m ²	数量		単価	1,933
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	新橋塗装 中塗り	夜間 ふっ素樹脂塗料用 淡彩 制約著受ける	m ²	100	1,932.48	193,248		
諸雑費（まるめ）			式	1		52		
計						193,300		
単価						1,933	円／m ²	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71	
	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継 手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 上塗り 著しく有り 有り ふっ素樹脂塗料 淡彩	単位	m ²	数量		単価	2,582
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	新橋塗装 上塗り	夜間 ふっ素樹脂 淡彩 制約著受ける	m ²	100	2,581.92	258,192		
諸雑費（まるめ）			式	1		8		
計						258,200		
単価						2,582	円／m ²	

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月	2026. 07	
						歩掛使用年月	2026. 07	
						労務調整係数	1. 000-00-00-2-71	
	塗替塗装	素地調整 無し 著しく有り 有り 2種ケレン(動力工具と手工具の併用)	単位	m 2	数量	100	単価	5, 430
名 称		規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要	
橋梁塗装工 塗替塗装		夜間 素地調整 2種ケレン 制約著受ける	m 2	100	5, 430	543, 000		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						543, 000		
単価						5, 430	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	耐火防護工【歩掛見積参考】	一般部（電力管）（t=50～13mm）	単位	m2	数量	10	単価 42, 650
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	1. 43	55, 917	79, 961	
	特殊作業員		人	5. 71	49, 590	283, 158	
	普通作業員		人	1. 43	44, 289	63, 333	
	諸雑費（まるめ）		式	1		48	
	計					426, 500	
	単価					42, 650	円／m2

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	耐火防護工【歩掛見積参考】	一般部（通信管）（t=50～13mm）	単位	m2	数量	10	単価 42, 650
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	1. 43	55, 917	79, 961	
	特殊作業員		人	5. 71	49, 590	283, 158	
	普通作業員		人	1. 43	44, 289	63, 333	
	諸雑費（まるめ）		式	1		48	
	計					426, 500	
	単価					42, 650	円／m2

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	耐火防護工【歩掛見積参考】	支持部（電力, 通信管）（t=50～13mm）	単位	m2	数量	10	単価	42, 650
名 称		規 格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	1. 43	55, 917	79, 961		
特殊作業員			人	5. 71	49, 590	283, 158		
普通作業員			人	1. 43	44, 289	63, 333		
諸雑費（まるめ）			式	1		48		
計						426, 500		
単価						42, 650	円／m2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

	鉄筋工 加工・組立	加工・組立 一般構造物 SD345 D13 標準以外 1.3無	単位	t	数量		1	単価	559, 600
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
鉄筋工 加工		SD345 D13 標準以外 1.3無	t	1	292, 900	292, 900			
鉄筋工 組立		一般構造物 SD345 D13 標準以外 1.3無	t	1	266, 700	266, 700			
	計					559, 600			
	単価					559, 600	円／ t		

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	不陸整正工【歩掛見積参考】	敷均し補足材なし	単位	m2	数量	100	単価 1, 288
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	特殊作業員		人	0. 41	49, 590	20, 331	
	普通作業員		人	1	44, 289	44, 289	
	振動ロー(舗装用)運転	搭乗・コンパインド式 質量3~4t	日	0. 5	61, 480	30, 740	
	小型バックホウ運転	クローラ型・超低騒音型・後方超小旋回型 山積 0. 09m3 排	日	0. 5	66, 880	33, 440	
	諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		0	
	計					128, 800	
	単価					1, 288	円／m2

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 50mm 50mm 各種 各種 2. 35t/m3 2. 35t/m3 タックコート 各種 0L/100m2	単位	m 2	数量	100	単価	7, 460	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役			人	0. 199	55, 917	11, 127			
特殊作業員			人	0. 596	49, 590	29, 555			
普通作業員			人	0. 994	44, 289	44, 023			
アスファルト混合物		改質Ⅱ型粗粒度As(20)	t	12. 573	18, 500	232, 600			
アスファルト混合物		改質Ⅱ型密粒度As(20)	t	12. 573	18, 700	235, 115			
アスファルト乳剤		P K－4 タックコート用	L	43	141	6, 063			
アスファルト乳剤		【散布無】	L	0	0	0			
路面切削機運転		7cm超え12cm以下 二層	日	0. 199	286, 900	57, 093			
路面清掃車運転		7cm超え12cm以下 二層	日	0. 199	103, 100	20, 516			
アスファルトフィニッシャ運転		7cm超え12cm以下 二層	日	0. 199	209, 000	41, 591			
ロードローラ運転		7cm超え12cm以下 二層	日	0. 199	88, 360	17, 583			

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

	切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 50mm 50mm 各種 各種 2.35t/m3 2.35t/m3 タックコート 各種 0L/100m2	単位	m 2	数量	100	単価	7, 460
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	タイヤローラ運転	7cmを超え12cm以下 二層	日	0. 199	87, 210	17, 354		
	諸雑費（率＋まるめ） 14%		式	1		33, 380		
	計					746, 000		
	単価					7, 460	円／m 2	

参考資料（１）

参考資料（1）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	7, 050	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
切削殻		大林道路(株) 越谷アスファルト混合所	m 3	100	7, 050	705, 000			
計						705, 000			
単価						7, 050	円／m 3		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	防護柵撤去工（ガー ドパイプ撤去工 ）	土中建込 有 有	単位	m	数量	1	単価	6, 277
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ガー ドパイプ撤去工 土中建込用		G p－A p、B p、C p－2 E	m	1	6, 277. 5	6, 277		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						6, 277		
単価						6, 277	円／m	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	防護柵設置工（ガードパイプ設置工）	土中建込 Gp-Cp-2E 塗装品 20m未満 有 無 無 加算額無し	単位	m	数量	1	単価 27,820
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードパイプ設置工 土中建込用		G p - C p - 2 E 塗装	m	1	27,819	27,819	
諸雑費（まるめ）			式	1		1	
計						27,820	
単価						27,820	円／m

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	防護柵（横断・転落防止柵）設置工	コンクリート建込 ビーム式・パネル式 2m 100m未満 有	単位	m	数量	100	単価 3,582
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工 コンクリート建込用		ビーム式・パネル式	m	100	3,581.92	358,192	
防護柵（P種）		撤去再設置	m	100	0	0	
諸雑費（まるめ）			式	1		8	
計						358,200	
単価						3,582	円／m

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	防護柵（横断・転落防止柵）撤去工	コンクリート建込 ビーム式・パネル式 2m 有	単位	m	数量	100	単価	2, 056
名 称		規 格	単位	数量	単価	金額	摘 要	
横断・転落防止柵撤去工 コンクリート建込用		ビーム式・パネル式	m	100	2, 055. 2	205, 520		
諸雑費（まるめ）			式	1		80		
計						205, 600		
単価						2, 056	円／m	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	区画線設置	有り 熔融式手動 無し 実線 15cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価 612.1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（熔融式）		夜間 豪雪無 実線15cm 制約著しく受ける	m	1,000	432	432,000	
トラフィックペイント		3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	k g	570	252	143,640	
ガラスビーズ		0.106～0.850mm	k g	25	187	4,675	
接着用プライマー		区画線用	k g	25	655	16,375	
軽油			L	47	147	6,909	
諸雑費（率＋まるめ） 5%			式	1		8,501	
計						612,100	
単価						612.1	円／m

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	区画線設置	有り 熔融式手動 無し 実線 20cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1,000	単価 711.1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（熔融式）		夜間 豪雪無 実線20cm 制約著しく受ける	m	1,000	473	473,000	
トラフィックペイント		3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	k g	760	252	191,520	
ガラスビーズ		0.106～0.850mm	k g	33	187	6,171	
接着用プライマー		区画線用	k g	33	655	21,615	
軽油			L	51	147	7,497	
諸雑費（率＋まるめ） 5%			式	1		11,297	
計						711,100	
単価						711.1	円／m

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	区画線設置	有り 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1,000	単価 1,504
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式）		夜間 豪雪無 ゼブラ45cm 制約著しく受ける	m	1,000	972	972,000	
トラフィックペイント		3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	kg	1,700	252	428,400	
ガラスビーズ		0.106～0.850mm	kg	75	187	14,025	
接着用プライマー		区画線用	kg	75	655	49,125	
軽油			L	106	147	15,582	
諸雑費（率＋まるめ） 5%			式	1		24,868	
計						1,504,000	
単価						1,504	円／m

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71	
	区画線設置	有り 熔融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 著しく有り 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1, 000	単価	1, 520
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置（熔融式）		夜間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約著しく受ける	m	1, 200	1, 076	1, 291, 200		
トラフィックペイント		3種1号 ビーズ15～18 白 熔融型	k g	684	252	172, 368		
ガラスビーズ		0. 106～0. 850mm	k g	30	187	5, 610		
接着用プライマー		区画線用	k g	30	655	19, 650		
軽油			L	139. 2	147	20, 462		
諸雑費（率＋まるめ） 5%			式	1		10, 710		
計						1, 520, 000		
単価						1, 520	円／m	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	コンクリート切断工【歩掛見積参考】	水平方向	単位	m2	数量	10	単価 201,500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	4.08	55,917	228,141	
	特殊作業員		人	4.08	49,590	202,327	
	コンクリート壁面カット損料（13欄）	直付式ワイヤー 2m	日	4.08	58,900	240,312	
	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 出力45kVA	日	4.08	8,242	33,627	
	散水車運転	トラック架装型 タンク容量3800L	日	4.08	66,990	273,319	
	ダイヤモンドワイヤー	湿式用	m	21.84	35,000	764,400	
	諸雑費（率＋まるめ） 28%		式	1		272,874	
	計					2,015,000	
	単価					201,500	円／m2

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	コンクリート切断工【歩掛見積参考】	垂直方向	単位	m2	数量	10	単価 271, 700
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	6. 94	55, 917	388, 063		
特殊作業員		人	6. 94	49, 590	344, 154		
コンクリート壁面カット損料（13欄）	直付式ワイヤー 2m	日	6. 94	58, 900	408, 766		
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 出力45kVA	日	6. 94	8, 242	57, 199		
散水車運転	トラック架装型 タンク容量3800L	日	6. 94	66, 990	464, 910		
ダイヤモンドワイヤー	湿式用	m	16. 81	35, 000	588, 350		
諸雑費（率＋まるめ） 28%		式	1		465, 558		
計					2, 717, 000		
単価					271, 700	円／m2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	単位	m 3	数量	1	単価 32,760
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物		夜間 機械施工 制約著しく受ける	m 3	1	32,752.2	32,752	
諸雑費（まるめ）			式	1		8	
計						32,760	
単価						32,760	円／m 3

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026.07 2026.07 1.000-00-00-2-71
	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 著しく有り 有り 必要	単位	m 3	数量	1	単価 17,930
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物		夜間 機械施工 制約著しく受ける	m 3	1	17,927	17,927	
諸雑費（まるめ）			式	1		3	
計						17,930	
単価						17,930	円／m 3

参考資料（１）

単価使用年月
歩掛使用年月
労務調整係数

2026. 07
2026. 07
1. 000-00-00-2-0

	貨物自動車による運搬（１車１回）	路面切削機（ホイル式・廃材積込装置付）2. 0m 16. 2km 無 有 10500円	単位	台	数量	1	単価	81, 500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 20kmまで	台	1	71, 000	71, 000		
	貨物自動車運送料金	運搬中の賃料（損料）K（K'）	台	1	10, 500	10, 500		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					81, 500		
	単価					81, 500	円／台	

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	鉄筋工 加工	SD345 D13 標準以外 1.3無	単位	t	数量	1	単価 292, 900
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	0. 2	55, 917	11, 183	
	鉄筋工		人	2. 3	56, 772	130, 575	
	普通作業員		人	0. 2	44, 289	8, 857	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	最大吊上能力 2 5 t 吊	日	0. 04	69, 160	2, 766	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD 3 4 5 D 1 3	t	1. 03	118, 000	121, 540	
	諸雑費（率＋まるめ） 12%		式	1		17, 979	
	計					292, 900	
	単価					292, 900	円／ t

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	鉄筋工 組立	一般構造物 SD345 D13 標準以外 1.3無	単位	t	数量	1	単価 266, 700
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	0. 5	55, 917	27, 958	
	鉄筋工		人	3. 5	56, 772	198, 702	
	普通作業員		人	0. 3	44, 289	13, 286	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	最大吊上能力 2 5 t 吊	日	0. 11	69, 160	7, 607	
	諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		19, 147	
	計					266, 700	
	単価					266, 700	円／ t

参考資料（２）

単価使用年月
歩掛使用年月
労務調整係数

2026. 07
2026. 07
1. 000-00-00-2-71

	振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンバインド式 質量3~4t	単位	日	数量	1	単価	61, 480
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	1	54, 207	54, 207		
軽油			L	15	147	2, 205		
振動ローラ（舗装用） [搭乗・コンバインド式]			日	1. 4	3, 620	5, 068		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						61, 480		
単価						61, 480	円／日	

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	小型バックホウ運転	ｸﾚｰﾅ型・超低騒音型・後方超小旋回型 山積 0.09m3 排	単位	日	数量	1	単価 66, 880
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54, 207	54, 207	
軽油			L	18	147	2, 646	
小型バックホウ損料		ｸﾚｰﾅ型・超低騒音型・後方超小旋回型 山積0.09m3 排対	供用日	1. 78	5, 630	10, 021	
諸雑費（まるめ）			式	1		6	
計						66, 880	
単価						66, 880	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	路面切削機運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 286, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54, 207	54, 207	
軽油			L	207	147	30, 429	
路面切削機〔ホイール式・廃材積込装置付〕		排ガス型（第３次）切削幅×深さ２．０×０．２３m	供用日	1. 28	158, 000	202, 240	
諸雑費（まるめ）			式	1		24	
計						286, 900	
単価						286, 900	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	路面清掃車運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 103, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）			人	1	46, 854	46, 854	
軽油			L	38	147	5, 586	
路面清掃車〔ブラシ・四輪式・路面切削工事用〕		ホッパ収集容量1． 5 m 3	供用日	1. 15	44, 000	50, 600	
諸雑費（まるめ）			式	1		60	
計						103, 100	
単価						103, 100	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	アスファルトフィニッシャ運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 209, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54, 207	54, 207	
軽油			L	65	147	9, 555	
アスファルトフィニッシャ〔ホイール型〕		排ガス対策２０１４年規制 舗装幅２．３～６．０m	供用日	1. 41	103, 000	145, 230	
諸雑費（まるめ）			式	1		8	
計						209, 000	
単価						209, 000	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	ロードローラ運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 88, 360
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54, 207	54, 207	
軽油			L	32	147	4, 704	
ロードローラ [マカダム]		排出ガス対策型（２０１４年規制） 運転質量１０ｔ	供用日	1. 28	23, 000	29, 440	
諸雑費（まるめ）			式	1		9	
計						88, 360	
単価						88, 360	円／日

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	タイヤローラ運転	7cm超え12cm以下 二層	単位	日	数量	1	単価 87, 210
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）			人	1	54, 207	54, 207	
軽油			L	25	147	3, 675	
タイヤローラ [普通型・排ガス対策2014年規制]		運転質量13～14 t	供用日	1. 41	20, 800	29, 328	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						87, 210	
単価						87, 210	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 出力45kVA	単位	日	数量	1	単価	8, 242
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油			L	40	147	5, 880		
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]		4 5 k V A	日	1. 27	1, 860	2, 362		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						8, 242		
単価						8, 242	円／日	

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	散水車運転	トラック架装型 タンク容量3800L	単位	日	数量	1	単価 66, 990
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）			人	1	46, 854	46, 854	
軽油			L	31	147	4, 557	
散水車〔トラック架装型〕		タンク容量３８００L	供用日	1. 7	9, 160	15, 572	
諸雑費（まるめ）			式	1		7	
計						66, 990	
単価						66, 990	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-71

	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 出力45kVA	単位	日	数量	1	単価	8, 242
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油			L	40	147	5, 880		
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]		4 5 k V A	日	1. 27	1, 860	2, 362		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						8, 242		
単価						8, 242	円／日	

参考資料（２）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-71
	散水車運転	トラック架装型 タンク容量3800L	単位	日	数量	1	単価 66, 990
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）			人	1	46, 854	46, 854	
軽油			L	31	147	4, 557	
散水車〔トラック架装型〕		タンク容量３８００L	供用日	1. 7	9, 160	15, 572	
諸雑費（まるめ）			式	1		7	
計						66, 990	
単価						66, 990	円／日

R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事

(当 初) 請負工事費計算書

(1) 直接工事費	142, 690, 270
(2) 共通仮設費	19, 717, 553
(3) 純工事費	162, 407, 823

(1)+(2)

(4) 現場管理費	64, 702, 000
(5) 工期延長等に伴う現場維持等の費用	0

(6) 工事原価	227, 109, 823
-----------	---------------

(3)+(4)+(5)+(18)

(7') 一般管理費等(計上額)	36, 520, 177
------------------	--------------

(8') その他費目計	0
-------------	---

(9) 業務委託料等	0
-------------	---

(10) 工事価格	263, 630, 000
-----------	---------------

(6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)

(11) 消費税相当額	26, 363, 000
-------------	--------------

(12) 請負工事価格	289, 993, 000
-------------	---------------

(10)+(11)

(13) 入札書比較価格	263, 630, 000
--------------	---------------

(請負工事費の100/110)

(14) 調査基準価格	263, 142, 000
-------------	---------------

(15) 調査基準価格の100/ 110	239, 220, 000
----------------------	---------------

(万円未満切り捨て)

(16) 工場製作純工事費	0
---------------	---

(17) 工場管理費	0
------------	---

(18) 工場製作原価	0
-------------	---

(16)+(17)

((7) 一般管理費等(計算額)	36, 525, 510	)
-------------------	--------------	---

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： C・C・BOX工事			合算工事： 0			
対象工事費	142,690,270	直接工事費	142,690,270	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	965,592	現工事	0	合算工事 0
非対象額計（－）		0				
管理費区分1		0	（橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2, 7		0	（工場原価）			
管理費区分5		0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9		0	（間接費非対象額）			
管理費区分T		0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		142,690,270		現工事	0	合算工事 0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		141,724,678			0	0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		7.51 %		0	%	
施工地域等補正		1.5	ICT施工補正	1		
率（補正後）		11.27 %				
計上額		16,081,000		0		0
比較結果						
	当該追加工事	A				
	0	0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	141,724,678	直接工事費	142,690,270		
非対象額計（一）	965,592				
管理費区分1	0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2，7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	965,592	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	141,724,678	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	1.72 %	0	%	0	%
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	1.72 %				
計上額	2,437,000	0		0	
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	452,553				
運搬費	388,328	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	64,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					18,970,553

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： C・C・BOX工事			合算工事： 0			
対象工事費	125,191,686	直接工事費	125,191,686	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額	単独（追加工事）	818,270	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）	0					
管理費区分1	0	（橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費）				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）				
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）				
管理費区分9	0	（間接費非対象額）				
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）				
対象額 支給品（＋）	0					
無償貸付機械評価額（＋）	0					
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）	125,191,686	現工事	0	合算工事	0	
全処分費等を除く共通仮設費対象額	124,373,416		0		0	
共通仮設費（率分）						
率（補正前）	7.6 %		0 %			
施工地域等補正	1.5	ICT施工補正	1			
率（補正後）	11.4 %					
計上額	14,271,000		0		0	
比較結果						
当該追加工事	A					
	0	0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	124,373,416	直接工事費	125,191,686		
非対象額計（一）	818,270				
管理費区分1	0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	818,270	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	124,373,416	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	1.76 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	1.76 %				
計上額	2,188,000		0		0
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	289,553				
運搬費	225,328	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	64,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					16,748,553

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： C・C・BOX工事				合算工事： 0		
対象工事費	17,498,584	直接工事費	17,498,584	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	147,322	現工事	0	合算工事 0
非対象額計（－）		0				
管理費区分1		0	（橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2, 7		0	（工場原価）			
管理費区分5		0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9		0	（間接費非対象額）			
管理費区分T		0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		17,498,584		現工事	0	合算工事 0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		17,351,262			0	0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		9.05 %		0	%	
施工地域等補正		1.5	ICT施工補正	1		
率（補正後）		13.58 %				
計上額		2,376,000		0		0
比較結果						
	当該追加工事	A				
	0	0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	17,351,262	直接工事費	17,498,584		
非対象額計（一）	147,322				
管理費区分1	0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2，7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	147,322	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	17,351,262	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	2.48 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	2.48 %				
計上額	430,000		0		0
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	163,000				
運搬費	163,000	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					2,969,000

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	161,660,823	単独（追加工事）直接工事費	142,690,270	単独（追加工事）共通仮設費	18,970,553
非対象額計（－）	0				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	161,660,823	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	160,695,231		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	30.16 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	36.19 %		0 %		
計上額	58,505,000		0		0
			10,439,748	（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果 当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	141,940,239	単独（追加工事）直接工事費	125,191,686	単独（追加工事）共通仮設費	16,748,553
非対象額計（－）	0				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	141,940,239	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	141,121,969		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	31.06 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	37.27 %		0 %		
計上額	52,901,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果 当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	20,467,584	単独（追加工事）直接工事費	17,498,584	単独（追加工事）共通仮設費	2,969,000
非対象額計（－）	0				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	20,467,584	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	20,320,262		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	48.05 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	57.66 %		0 %		
計上額	11,801,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果 当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	大宮国道事務所 工務課	工事番号	2026060009	第 0 回変更
発注年月	令和08年06月	契約区分	国債（翌債を含む）の分任官	主工種
			C・C・BOX工事	

工事原価	220,165,823				
純工事費	161,660,823	現場管理費	58,505,000	工期延長等に伴う現場維持費	0
非対象額計（一）	0				
管理費区分 9	0	（支給品を除く間接費非対象額）			
管理費区分 T	0	（全処分費等のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額）			
一般管理費等対象工事原価					
単独（追加工事）	220,165,823	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く					
一般管理費等対象工事原価	219,200,231	現工事	0	合算工事	0
（調整工事入力で使用）					
前払金支出割合による補正係数	1	現工事			
財団法人等による補正係数	1				
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	220,165,823				
契約保証に係る補正值	0.04 %				
一般管理費率					
単独（追加工事）	16.55 %	現工事	0 %	合算工事	0 %
一般管理費	36,520,177				
業務委託料等	0				
調査基準価格	263,142,000				
調査基準価格の100/110	239,220,000	（ 90.74 % ）			

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 工務課

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
電線共同溝		式		1		
仮設工		式		1		
土留・仮締切工		式		1		
軽量鋼矢板 (電線共同溝)	LSP-2型 (t=4mm)	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員	交通誘導警備員A	人日		240		
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日		240		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		
殻運搬	アスファルト塊	m3		27		
殻運搬	アスファルト殻	m3		20		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
殻処分	アスファルト殻	m3		48		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		1, 000		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m		190		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		480		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下	m2		89		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削	土砂	m3		850		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め	購入土(再生砂) 中埋砂	m3		230		
埋戻し・締固め	発生土 土砂	m3		280		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
残土処理工		式		1		
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		530		
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	m3		540		
土砂等運搬 【昼間】 仮置き場→処分場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		540		
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	m3		540		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路	電力管 角型 径 130mm	式		1		
埋設管路	電力管 角型 径 100mm	式		1		
埋設管路	電力管 径 130mm	式		1		
埋設管路	電力管 径 100mm	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
埋設管路 (Φ50×5, Φ30×5)	ホテイ管 径 200mm	式		1		
埋設管路 (Φ50×6, Φ30×2)	ホテイ管 径 200mm	式		1		
埋設管路	通信管 径 150mm	式		1		
埋設管路	通信管 角型 径 75mm	式		1		
埋設管路	通信管 角型 径 50mm	式		1		
埋設管路	通信管 径 100mm	式		1		
埋設管路	通信管 径 75mm	式		1		
埋設管路	通信管 径 50mm	式		1		
埋設管路	交通施設通信管 角型 径 75mm	式		1		
埋設管路	交通施設通信管 径 75mm	式		1		
埋設管路	交通施設通信管 径 80mm	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
埋設管路	交通施設通信管 径 50mm	式		1		
露出管路	交通施設通信管 歩道橋配管	式		1		
ダクトスリーブ	工場取付 φ 50～200	式		1		
ダクトスリーブ	現場取付 φ 50～200	式		1		
埋設表示シート	W=400	m		413		
埋設表示シート	W=600	m		338		
プレキャストボックス工 (特殊部)		式		1		
プレキャストボックス U-1	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器 直上1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	個		1		
プレキャストボックス U-2	I型 U型 1200×1350×3500 内幅 1.2 m 内高 1.35m	個		1		
プレキャストボックス U-3	I型 BOX型 1200×1800×3500 内幅 1 .2m 内高 1.8m	個		1		
プレキャストボックス U-4	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地 上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1. 8m	個		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プレキャストボックス U-5	I型 BOX型 1200×1800×3800 車道横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		
プレキャストボックス U-6	通信接続桧 BOX型 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	個		1		
プレキャストボックス U-7	電力Ⅱ型 BOX型 900×1800×3000 内幅 0.9m 内高 1.8m	個		1		
プレキャストボックス U-8	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器横置1基付 内幅 1.2m 内高 1.35m	個		1		
プレキャストボックス U-9	通信接続桧 BOX型 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	個		1		
プレキャストボックス U-10	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		
プレキャストボックス U-11	通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		
プレキャストボックス U-12	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		
プレキャストボックス U-13	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 車道横断付 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		
プレキャストボックス U分-1～U分-12	電力分岐桧 450×500×900 内幅 0.45m 内高 0.5m	個		12		
プレキャストボックス U-8	地上機器ハントホール 395×880×995 開口 (900×450) 内幅 0.395m 内高 0.95m	個		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プレキャストボックス U-4×2, 10×2, 12, 13	地上機器ハットホール 395×950×995 開口 (900×450) 内幅 0.395m 内高 0.95m	個		6		
安全施設ハットホール	600×600×600 (鋳鉄蓋含む)	個		9		
安全施設ハットホール	600×600×900 (鋳鉄蓋含む)	個		2		
基礎材	再生クラッシャー 40～0 7.5cmを超え12.5cm以下	m2		90		
蓋 U-3	鋳鉄蓋 (受枠含む) φ750 車道用 (調整ブロック H=200)	組		1		
蓋 U-4, 5, 7, 10～13	鋳鉄蓋 (受枠含む) φ750 歩道用 (調整ブロック H=100)	組		7		
蓋 U-1	鋳鉄蓋 (受枠含む) ユニット型 1200×4000用 地上機器設置枠直上1基 (歩道用) (嵩上げH=100)	組		1		
蓋 U-2	鋳鉄蓋 (受枠含む) ユニット型 1200×3500用 (歩道用) (嵩上げ H=100)	組		1		
蓋 U-8	鋳鉄蓋 (受枠含む) ユニット型 1200×4000用 (歩道用) (嵩上げ H=100)	組		1		
蓋 U-6, 9	鋳鉄蓋 (受枠含む) 通信接続枠 500×2000用 (歩道用)	組		2		
蓋 U分-1～U分-12	鋳鉄蓋 (受枠含む) 電力分岐枠用 450×900用 (歩道用)	組		12		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
蓋 U-4×2, 8, 10×2, 12, 13	地上機器ハト ^ホ ール仮蓋 1095×445用 (T-25仕様)	組		7		
舗装工		式		1		
アスファルト舗装工 車道部 日々復旧		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 330mm	m2		88		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		88		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		88		
アスファルト舗装工 歩道一般部 仮復旧		式		1		
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2		366		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 100mm	m2		366		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		366		
アスファルト舗装工 歩道切下部(1) 仮復旧 4m<W≤8m		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
上層路盤 (歩道部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 300mm	m2		68		
表層 (歩道部)	各種 (2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m2		68		
アスファルト舗装工 歩道切下部 (2) 仮復旧 8m<W		式		1		
上層路盤 (歩道部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 350mm	m2		39		
基層 (歩道部)	各種 (2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m2		39		
表層 (歩道部)	各種 (2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m2		39		
舗装打換え工 車道仮復旧		式		1		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		7		
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 10 c m	m2		88		
殻運搬	舗装版破碎	m3		8		
殻処分	アスファルト殻	m3		8		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		10		
不陸整正工(歩道部)	敷均し補足材なし	m2		88		
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		10		
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2		88		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		88		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		88		
切削オーバーレイ工		式		1		
切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	m2		1,000		
殻運搬(路面切削)	切削殻	m3		100		
殻処分	アスファルト殻	m3		100		
排水構造物工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	m3		2		
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		2		
側溝工		式		1		
L型側溝(1)撤去・復旧	一般部	m		7		
L型側溝(2)撤去・復旧	歩道切下部	m		13		
縦断管撤去・復旧		m		6		
縁石工		式		1		
縁石工		式		1		
植樹ブロック撤去・復旧		m		75		
道路付属施設工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
道路付属物工		式		1		
縁石鋸撤去・設置工		個		5		
区画線工		式		1		
区画線工		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		170		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 黄	m		18		
溶融式区画線	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		10		
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		200		
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		66		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		2		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		2		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		2		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
建設機械運搬費		台		1		
仮設材運搬費		t		5.3		
技術管理費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】						(当 初)
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
電線共同溝			式		1		
仮設工			式		1		
交通管理工			式		1		
交通誘導警備員		交通誘導警備員A	人日		65		
交通誘導警備員		交通誘導警備員B	人日		65		
舗装版撤去工			式		1		
舗装版破碎工			式		1		
殻運搬		アスファルト塊	m3		1		
殻運搬		アスファルト殻	m3		3		
殻処分		アスファルト殻	m3		4		
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m		47		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m		20		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		26		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 30 c m	m2		11		
開削土工		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削	土砂	m3		20		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め	中埋砂	m3		10		
埋戻し・締固め	土砂	m3		5		
残土処理工		式		1		
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		20		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	m3		30		
土砂等運搬 【昼間】 仮置場→処分場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		30		
整地 【昼間】	残土受入れ地での処理	m3		30		
電線共同溝工		式		1		
管路工(管路部)		式		1		
埋設管路	ECVP 径 130mm	式		1		
埋設管路	ECVP 径 100mm	式		1		
埋設管路	SUDⅡ-V 径 100mm	式		1		
埋設管路	PV 径 50mm	式		1		
露出管路 (橋梁添架部)	FRP 径 130mm 支持金具含む	式		1		
露出管路 (橋梁添架部)	FRP 径 100mm	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
露出管路 (橋梁添架部)	FRP 径 50mm	式		1		
埋設表示シート	W=400	m		72		
橋梁架設工		式		1		
現場塗装	外面 F-11	m2		4		
素地調整	2種ｸﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2		2		
現場溶接		m		10		
現場孔明	Φ26.5	箇所		4		
耐火防護	一般部(電力管)	m2		26		
耐火防護	一般部(通信管)	m2		29		
耐火防護	支持部(電力, 通信管)	m2		12		
プレキャストボックスカルバート工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】						(当 初)
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
作業土工			式		1		
床掘り		土砂	m3		17		
埋戻し		土砂	m3		7		
基面整正			m2		12		
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		9		
プレキャストボックスカルバート据付		【右岸側】	式		1		
均しコンクリート		各種 敷厚 46 c m	m2		4		
プレキャストボックスカルバート据付			箇所		1		
妻壁コンクリート			箇所		1		
地覆コンクリート			箇所		1		
現場発生品運搬		鋼材撤去	t		0.02		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プレキャストボックスカルバート据付	【左岸側】	式		1		
基礎材	再生クラッシュラン40～0 12.5cmを超え17.5cm以下	m2		1		
均しコンクリート	各種 敷厚 10 c m	m2		8		
プレキャストボックスカルバート据付		箇所		1		
妻壁コンクリート		箇所		1		
地覆コンクリート		箇所		1		
舗装工		式		1		
アスファルト舗装工 車道部 日々復旧		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 500mm	m2		11		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		11		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		11		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
アスファルト舗装工 歩道一般部 仮復旧		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 100m m	m2		26		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm 以下)	m2		26		
舗装打換え工 車道仮復旧		式		1		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		7		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 10 c m	m2		11		
殻運搬	アスファルト殻	m3		1		
殻処分	アスファルト殻	m3		1		
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		2		
不陸整正工(歩道部)		m2		11		
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		2		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 200mm	m2		11		
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		11		
基層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		11		
切削オーバーレイ工		式		1		
切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	m2		113		
殻運搬(路面切削)	切削殻	m3		11		
殻処分	アスファルト殻	m3		11		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	m3		1		
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
側溝工		式		1		
L形側溝	幅 70 c m 高さ 32 c m 各種 再利用	m		9		
防護柵工		式		1		
路側防護柵工		式		1		
ガードパイプ	Gp-Cp-2E 塗装品 20m未満 曲線部補正無	m		12		
転落(横断)防止柵 撤去・再設置	柵高 0.7m コンクリート建込	m		5		
区画線工		式		1		
区画線工		式		1		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		40		
溶融式区画線	溶融式手動 実線 20cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		5		
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		10		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】						(当 初)
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
溶融式区画線		溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		14		
構造物撤去工			式		1		
構造物取壊し工			式		1		
コンクリート切断			式		1		
コンクリート構造物取壊し		鉄筋構造物 機械施工	m3		3		
コンクリート構造物取壊し		無筋構造物 機械施工	m3		1		
殻運搬		コンクリート殻(鉄筋)	m3		3		
殻運搬		コンクリート殻(無筋)	m3		1		
殻処分		コンクリート殻(鉄筋)	m3		3		
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3		1		
直接工事費			式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事【草加地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
建設機械運搬費		台		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

令和 8 年度

R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事

特記仕様書

令和 8 年 6 月

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

第 1 章 総 則

第 1 条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和 8 年度版)(以下「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>

4. 本工事における「条件明示」については、別紙ー 1 「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第 2 条 主任技術者等（契約書第10条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第 3 条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。
4. 主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第 4 条 専任特例 1 号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第26条第 3 項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第 5 条 専任特例 2 号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第 2 6 条第 3 項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例 2 号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。
 - （１）建設業法第 2 6 条第 3 項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - （２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第 2 7 条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例 2 号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

- (3) 監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - (4) 同一の専任特例2号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。
(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。)
 - (5) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務できる工事は埼玉県内の工事ではない。
 - (6) 専任特例2号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - (7) 専任特例2号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - (8) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
2. 現場の安全管理体制について、平成7年4月21日付基発第267号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とする。」とされていることから、施工体制に留意すること。
3. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること
- 1) 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）
 - 2) 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））
 - 3) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（CORINSの写し）
4. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第1項(5)～(8)について施工計画書へ記載し、提出すること。
5. 本工事において、専任特例2号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（CORINS）への登録・修正を適切に行うこと。

第6条 コリンズ（CORINS）への登録

- 1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。
- 2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
- 3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第7条 コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工

事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

見沼地区 起点 埼玉県さいたま市見沼区大字丸ヶ崎地先
緯度 35° 57′ 35″ 経度 139° 39′ 10″
終点 埼玉県さいたま市見沼区大字丸ヶ崎地先
緯度 35° 57′ 25″ 経度 139° 39′ 29″
草加地区 起点 埼玉県草加市花栗三丁目地先
緯度 35° 50′ 23″ 経度 139° 47′ 20″
終点 埼玉県草加市北谷一丁目地先
緯度 35° 50′ 24″ 経度 139° 47′ 19″

第8条 コリنز（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7 コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例）※1

本工事は、一般国道〇号〇〇道路における、舗装・標識工事である。

主な工種は舗装工・標識工であり、それぞれ〇〇m²、〇基を予定している。

※1 具体的な記載内容については、入札公告1. 工事の概要（3）工事内容、（4）工事概算数量に記載する文章と同じでよい。

第9条 コリنز（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7 コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリنزへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
R 2 大宮国道管内電線共同溝詳細設計業務	4041071472
R 4 大宮国道管内電線共同溝詳細設計業務	4048558529
平成28年度大宮国道管内電線共同溝詳細設計業務委託	4028043434

第10条 工事用地等の使用

受注者は、残土仮置場・資機材置場として以下のとおりとする。

1. 借地場所、面積、時期（期間）、費用について

現場条件、経済性を考慮し、仮置き場を設営するものとする。

事前に監督職員と協議し、変更の対象とする。

2. 当初発注時の積算条件

借地料は見込んでいない。

残土仮置き場までの運搬距離を、3.0kmと定めている。

第 11 条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。

監理（主任）技術者	
写真 2cm×3cm 程 度	氏名 ○○ ○○ 工事名 ○○改良工事 工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日 会社 ◇◇建設株式会社 印

注意 1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意 2）所属会社の写真とする。

第 12 条 調査・試験に対する協力（低入札価格調査制度調査対象工事について）

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
2. 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合には、受注者は「低入札価格調査制度調査対象工事に係る監督体制の強化」の追加として下記の調査に協力しなければならない。
 - （1）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - （2）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - （3）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は、大宮国道事務所のホームページにより公表する。
 - （4）低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了した後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資料名	内 訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－1	積算内訳書の発注者と元請けにおける当初と実績の比較表
比較表－2	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－3	元請の手持ち資料の当初と実績の比較表
比較表－4	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－5	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－6	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－7	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－8	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表

諸経費動向調査 (工事費)	元請、下請の工事費内訳
------------------	-------------

第13条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第14条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

①電線共同溝工

第15条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第16条 工事書類の作成

1. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和8年3月）」に基づき実施するものとする。
2. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和8年3月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
3. 「工事関係書類一覧表」（別紙様式－15）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
4. 電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第17条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によるものとする。

第18条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事の情報共有システム活用ガイドライン」（令和8年3月版）に基づき実施すること。
2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
 - ・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.8）令

和8年3月版 国土交通省（国土技術政策総合研究所）

3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
 - ②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第19条 「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に1回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第20条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第21条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第22条 ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
 - ・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和5年12月）に基づき、取り組むものとする。
5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第23条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

- ① 本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。
- ② 受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第24条 設計変更等

設計変更等については、契約書第18条から第25条及び共通仕様書共通編1-1-1-17から1-1-1-19に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によることとする。

第25条 スライド条項

工事請負契約書第26条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不相当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不相当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第26条 工事現場発生品

1. 本工事箇所から発生する現場発生品の引き渡し場所は、第2項のとおりとする。
2. 現場発生品は下表のとおりとする。

品目	規格	単位	数量	引渡場所	運搬距離	摘要
鋼材	75×40×5×7 L=1.2m	kg	27.2	春日部出張所	16.7km	夜間運搬
	75×40×5×7 L=0.87m					
	75×40×5×7 L=0.5m					

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

3. 現場発生品は、再使用するものとする。ただし、破損等が甚大で再使用出来ないものについては監督職員の確認を受けなければならない。

第27条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領
(土木)

1. 受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	As量4.0%再生瀝青安定処理	上層路盤（車道）
	As量5.0%粗粒再生	基層（車道、歩道）
	As量5.5%密粒再生	表層（車道、歩道）
再生粒度調整碎石	RM-40	上層路盤（車道、歩道）
再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤（車道、歩道）
再生コンクリート砂	Rs	フィルター層

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

また、上記に示す再生コンクリート砂の使用箇所は、透水性を有し、浸透した水が土壌又は公共用水域へ拡散するおそれのある箇所であることから、六価クロムについて、土壌の汚染に係る環境基準に適合していなければならない。確認方法は、平成3年8月23日付け環境庁告示46号に規定される測定方法に基づき実施するものとする。また、測定試料は再生コンクリート砂製品を直接使用し、1購入先当たり1検体の測定試験を実施するものとする。

2. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号 最終改正令和4年6月17日法律68号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「8 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程ごと作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (舗装版撤去工、舗装工、排水構造物工、構造物撤去工)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

地区	特定建設資材の廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
見沼 地区	アスファルト (掘削殻・切削屑・電線共同溝)	(株) ガイアート 白岡合材工場	埼玉県白岡市篠津字 立野834-4
	コンクリート(無筋)	鹿島道路(株) 栗橋合 材製造所	埼玉県久喜市高柳260 0-1
草加 地区	アスファルト (掘削殻・切削屑・電線共同溝)	大林道路(株) 越谷ア スファルト混合所	埼玉県越谷市七左町5 -68
	コンクリート(鉄筋)	鹿島道路(株) 栗橋合 材製造所	埼玉県久喜市高柳260 0-1
	コンクリート(無筋)	(株) ガイアート 白岡合材工場	埼玉県白岡市篠津字 立野834-4

上記(2)については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

(3) 受入時間

(株) ガイアート 白岡合材工場 : 17時00分～8時00分
 鹿島道路(株) 栗橋合材製造所 : 20時00分～8時00分
 大林道路(株) 越谷アスファルト混合所 : 20時00分～5時00分

3. 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

- ・再生資源化等が完了した年月日
- ・再生資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再生資源化等に要した費用

4. 工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第28条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手(建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。)するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第29条 コンクリート副産物から再生された資源について

1. コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。
2. 受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。
3. 受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。
4. 受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5022(再生骨材Mを用いたコンクリート)、JIS A 5023(再生骨材Lを用いたコンク

リート）により実施しなければならない。また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

5. 再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第1編3－3－3 配合」に従うものとする。

第30条 工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第2版）（国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月）に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第31条 工事完成図の作成、納品

完成図等の作成について

受注者は、「道路工事完成図等作成要領（国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月）」に基づいて作成した電子データを、電子媒体で提出しなければならない。

受注者は、本要領に基づき、国土技術政策総合研究所がホームページ上に無償で公開している本要領に対応したチェックプログラムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施した上で出力資料を含む（別紙等での提出も可能）電子データを提出しなければならない。

提出資料

【電子データ（CD入り）】

- ・ 完成平面図SXF データ（.P21）
- ・ 完成縦断図SXF データ（.P21）
- ・ 完成平面図：属性XML データ（拡張子 .saf）

【出力資料（道路工事完成図等作成要領p73 参照）】

- ・ チェック結果記録
- ・ 完成平面図
- ・ 完成縦断図
- ・ 「完成平面図」チェック結果記録
- ・ 道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ

なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第32条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値（令和8年度版）によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和8年度版）によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
3. 本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ICT活用工事実施要領（令和8年3月改定）の関連要領等一覧（URL「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第33条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和8年度版）（以下、写真管理基準）「2-2撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア、（一社）施工管理ソフトウェア産業協会、<https://www.jcomsia.org/kokuban>。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会
<https://www.jcomsia.org/kokuban>。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの

選定に限定するものではない。なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第34条 ICT活用工事（舗装工（修繕工））について

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。

2. 定義

（1）i-Constructionとは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事（ICT活用工事）を実施するものとする。

（2）ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICTを活用する工事である。また、以下の①～⑤の段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事という。

対象は、切削オーバーレイ工事または路面切削工事とする。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、ICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4～8によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. 原則、本工事においては上記①～⑤の段階でICT施工技術を活用することとし舗装工（修繕工）について施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び対象範囲を監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

5. ICT施工技術を用い、以下の施工を実施する。

① 3次元起工測量

（発注者から3次元測量データを貸与できる場合）

発注者から貸与する3次元測量データ（地上移動体搭載型レーザースキャナー等を用いたデータ）を活用することを基本とする。なお、必要に応じて3次元測量データを取得する場合は、以下1）～3）から選択（複数可）して測量を行うものとする。

ただし、前工事及び設計段階での3次元データが活用できる場合や、管理断面及び変化点の計測による測量により効率的な確認ができる場合においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択し、監督職員と協議する。

- 1）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 2）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3）TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量

（発注者から3次元測量データを貸与できない場合）

受注者は、交通規制を削減し、以下1）～3）から選択（複数可）して測量を行うものとする。

ただし、前工事及び設計段階での３次元データが活用できる場合や、管理断面及び変化点の計測による測量により効率的な確認ができる場合においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択する。

- １）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- ２）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- ３）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量

② ３次元設計データ等作成

受注者は、５．①で得られた測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、施工指示に用いる切削計画を作成する。また、ＩＣＴ建設機械による施工、及び３次元出来形管理を行う場合は３次元設計データを作成する。

③ ＩＣＴ建設機械による施工

５．②で作成した３次元設計データを用い、以下１）２）に示すＩＣＴ建設機械により施工を実施するものとし、切削指示値等に積極的に３次元設計データ等を活用するものとする。

なお、ＩＣＴ建設機械の調達が困難な場合は、監督職員と協議して従来型建設機械による施工を実施してもＩＣＴ活用工事とする。

位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和７年３月３１日 国土交通省告示第２４０号）付録１ 測量機器検定基準２－６の性能における検定基準を満たすこと。

- １）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械
- ２）３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術、または、建設機械の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイムに計測・記録する施工管理の機能を有する技術を用いて、路面切削を実施する。

なお、建設機械の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイムに切削深さの計測・記録する方法としては、外部計測機による切削装置の計測の他切削装置に表示される指示値を取得する方法などがある。

④ ３次元出来形管理等の施工管理

５．③による工事の施工管理において、以下のとおり出来形管理を行うものとする。

なお、監督職員と協議のうえ、従来型建設機械による施工を実施した場合は従来手法による施工管理を実施する。

（１）出来形管理

３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械を使用した場合の出来形管理にあたっては、管理断面及び変化点の計測による出来形管理とし、以下１）

２）から選択（複数以上可）して実施するものとする。

- １）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
- ２）地上写真測量を用いた出来形管理

３次元位置を用いた施工管理システムを使用した場合の出来形管理にあたっては、建設機械の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイム

に計測・記録する施工管理システムから得られる施工履歴データにより以下３）により実施するものとする。

３）施工履歴データを用いた出来形管理

⑤ ３次元データの納品

５．①②④により作成した３次元データを工事完成図書として電子納品する。

３次元データの納品形式は、「３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」によるものとする。

- ６．上記５．①～④の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。
- ７．土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。
- ８．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。
- ９．活用方式が複数該当する場合は、契約後、協議により実施を決定する。

第３５条 ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

１．図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ（以下「３次元データ」という。）等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第３６条 ＩＣＴ活用工事の費用について（舗装工（修繕工））

- １．受注者が、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき各段階を設計変更の対象とする。

・ ＩＣＴ活用工事（舗装工（修繕工））積算要領

（１）３次元起工測量・３次元設計データの作成費用

３次元起工測量・３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積りの提出がない場合は、「３次元起工測量・３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

また、「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれているため、費用の計上はしないものとする。

- ２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３７条 ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査

ＩＣＴ活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ＩＣＴ活用工事

の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第38条 現場環境改善（快適トイレの設置）

1. 内容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- （１）洋式（洋風）便器
- （２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- （３）臭い逆流防止機能
- （４）容易に開かない施錠機能
- （５）照明設備
- （６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等
（耐荷重を5kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- （７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- （９）サンタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- （１０）鏡と手洗器
- （１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- （１２）室内寸法900mm×900mm 以上（面積ではない）
- （１３）擬音装置（機能を含む）
- （１４）着替え台
- （１５）臭気対策機能の多重化
- （１６）室内温度の調整が可能な設備
- （１７）小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要な性を協議の上、決定する。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督

職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

4. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第39条 BIM/CIM適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（受注者希望型）である。受注者が希望する場合、3次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し実施する。

（参考）3次元モデル作成の目安

詳細度	200～300程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する（BIM/CIM 取扱要領「附属資料3 オブジェクト分類」を参照）。

1. BIM/CIM実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIMの実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM実施（変更）計画書を作成する。

また、作成したBIM/CIM実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

- 1) 工事概要
- 2) 整理すべき課題
- 3) BIM/CIMの実施内容（3次元モデルの活用内容、期待する効果等）
- 4) 3次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの仕様等）
- 5) 3次元モデル作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- 6) 3次元モデル閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
- 7) 3次元モデルの作成・活用に要する費用

2. BIM/CIM実施報告書の作成

BIM/CIM実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM実施報告書を作成する。以下の内容をBIM/CIM実施計画書に追記して作成する。

- 8) 後段階への引継事項（データかつ用事の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）
- 9) 省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等）

3. 成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

- 1) BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）
- 2) BIM/CIM 実施報告書（3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む）
- 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-

LandXML形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）

4. その他

最新の情報はBIM/CIMポータルサイト (<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>) で提供されているので、適宜参照すること。

第40条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。

なお、令和8年度における重点的安全対策項目は以下の7項目である。

- I. 架空線等上空施設の損傷事故防止
- II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
- III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
- IV. 足場・法面等からの墜落事故防止
- V. 地下埋設物の損傷事故防止
- VI. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
- VII. 事故防止

2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

- ①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
- ②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
- ③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和6年2月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

5. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工種	作業区分	交通整理員（延人数）	備考
見沼地区	夜間作業	480人（うち有資格誘導員240人）	交代要員含む
草加地区	夜間作業	130人（うち有資格誘導員 65人）	交代要員含む
合計		610人（うち有資格誘導員305人）	

6. 試掘及び埋設物の防護

電線共同溝工の施工にあたり、地下埋設物に影響を与える箇所について埋設物の管理者等と協議し、必要と判断された場合は、試掘の実施について監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

また、現場条件等により埋設物の防護が必要な場合には、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

7. UAV 等を使用する際の安全面への配慮について

受注者は、起工測量等においてUAV 等を使用する場合、安全面への配慮として下記URLに基づいてUAV 等を使用すること。

URL <https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41042.html>

第41条 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1. 本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。

(1) 真夏日の定義

日最高気温が30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。

(2) 試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数(WBGT)が日最高25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)が25℃以上となる日を、真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が30℃以上の日を、真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が30℃以上、又はWBGTが25℃以上の場合、真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としては計上しない。

④上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

(3) 工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まれない。

(4) 基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

(5) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 = 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

(6) 現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費に加算する。なお、補正は契約変更において行うものとする。

・補正値(%) = 真夏日率 × 補正係数※

※真夏日補正係数：1. 2

第42条 安全管理推進技術査等認定について

1. 概要

関東地方整備局(港湾・空港部・営繕部関係を除く)が発注した工事(以下、「直轄工事」という)において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」(以下、「認定技術者」という)として認定する

2. 認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

- ・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。
- ・直轄工事にて、認定技術者として過去5回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

3. 認定技術者の認証

- ・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。
- ・紛失等による認定書の再発行は行わない。
- ・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

4. 認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

5. 不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第43条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）1名以上を充て、他は経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第44条 路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第45条 交通規制日数の報告

現道上での（改築・維持修繕）工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第46条 環境対策

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後(工期が令和9年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで)に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第47条 環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機第58号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第48条 ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輛の使用

1. 受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輛（以下、本工事関係車輛という。）が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県ディーゼル車排出ガス規制条例（以下、関係法令等という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車輛を使用しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輛の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輛の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
3. 受注者は、本工事関係車輛にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輛を把握しなければならない。
4. 受注者は、取締りにより本工事関係車輛に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
5. 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第49条 舗装版切断時に発生する濁水の適正な処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、地方公共団体の取扱規則等に基づき適正に処理しなければならない。

なお、舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理費用については当初見込んでいないが、建設資材廃棄物に該当するため、適正な処理方法について選定し監督職員と協議すること。

なお、濁水の運搬・処理費用等、必要と認められる経費についても契約変更の対象とする。

「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第50条 交通安全管理（工事現場管理）

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等

過積載を助長することのないようにすること。

4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし柢装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第51条 交通安全管理（特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出）

共通仕様書 1-1-1-37 交通安全管理第14項における道路法第47条の2に基づく通行許可の確認は下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

- ① 当該車両に関する特殊車両通行許可証
- ② 現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
- ③ 車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書 1-1-1-40 官公庁等への手続等第3項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第52条 通行許可等

1. 受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第47条第1項、車両制限令第3条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
2. 受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第53条 工事現場の現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。
 - （1）仮設備関係
緑化・花壇を実施するものとする。
 - （2）営繕関係
現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）・現場休憩所の快適化を実施するものとする。
 - （3）安全関係
工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）を実施するものとする。
 - （4）地域連携
社会貢献を実施するものとする。
2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の100%を上限として設計変更の対象とする。

第54条 工期

1. 工期は、雨天、休日等を見込み、契約の翌日から令和9年8月31日までとする。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏期休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

項 目	日数又は期間	摘 要
① 準備期間	90日間	
② 後片付け期間	20日間	
③ 雨休率（猛暑日補正無し）（実働工期日数に休日と悪天候による作業不能日※を見込むための係数）	0.70	
④ GW工事抑制期間	令和9年 4月25日～令和9年 5月 5日	車線規制を伴う工種が施工不可
⑤ 旧盆夏休工事抑制期間	令和9年 8月 8日～令和9年 8月15日	
⑥ 年末年始工事抑制期間	令和8年12月26日～令和9年 1月 3日	
⑦ 年度末工事抑制期間	令和9年 3月 1日～令和9年 3月31日	

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日：25日間

（過去5か年（2021年～2025年）の気象庁（さいたま観測所）より年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日））

2. 著しい悪天候や気象状況より工程（官積算）で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
3. 後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
4. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式－16により、工事の始期及び終期を通知すること。
余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。
5. 全体工期：契約締結日の翌日から令和9年8月31日まで
契約締結後において、工期の始期の変更が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

第55条 工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリ

ティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ②著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第56条 工事工程表の開示の試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。
2. 工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙－5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第57条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。
工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。
なお、本工事の降雨降雪日は、さいたま観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量が10mm以上/日の日を想定している。
2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第58条 担い手確保・育成貢献について

本工事は建設産業の担い手の確保・育成工事に関する取り組みが優れた工事について、企業に対して表彰を行う「大宮国道事務所建設産業担い手確保・育成貢献工事表彰制度」の対象工事であり、受注者は、自ら立案実施した担い手の確保対策や育成貢献のための取り組みにおいて評価できる項目について、工事完成時までに所定の様式「別紙－8（1）～（2）」により、監督職員に提出する事ができる。

第59条 個人情報の取扱いについて

1. 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取り扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第1号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

2. 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3. 取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

4. 利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

5. 複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

6. 再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第4号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

7. 事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

8. 資料等の返却等

（1）受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙－2）を発注者に提出しなければならない。

（2）前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り

扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

9. 管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

10. 管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

11. 従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第60条 施工時期及び施工時間の変更

1. 作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施工区分	標準作業時間
昼間作業	積込（ルーズ）（仮置場） 土砂等運搬（仮置場→処分場） 整地（処分場） 建設機械運搬費 仮設材運搬費	9時00分～18時00分
夜間作業	上記を除く全ての工事	21時00分～5時00分

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場所は、監督職員の協議をするものとする。

2. 夜間作業における道路使用許可の時間帯は、21時～5時を見込んでいる。

第61条 時間的制約

本工事は、下記に示す工種について時間的制約がかかる工事である。下記により難しい場合は監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

1. 対象工種

夜間作業の全工種

2. 時間的制約条件

現道の交通量の多い時間帯

3. 制約をうける作業時間

21:00～5:00

4. 補正割増係数

時間的制約状況の程度	作業時間／日	補正割増係数
昼間施工 (時間的制約を受けない場合)	8時間／日	1.00
夜間施工 (時間的制約を著しく受ける場合)	4時間／日を超え 7時間／日以下	1.71

第62条 他工事との調整

1. 下記工事の請負業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。

2. 本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名

R8国道16号見沼(2)電線共同溝工事

工期(予定)

令和8年10月頃～令和9年9月頃

第63条 新技術の活用「新技術の定義」

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

2. 新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

- ①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
- ②公共工事等において実用段階に達している技術
- ③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
- ④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

3. 対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

- 1) 新技術情報提供システム(NETIS)登録技術
URL <https://www.netis.mlit.go.jp>
- 2) NETISのテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術
- 3) 新技術導入促進(Ⅱ)型により活用する技術
- 4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。

なお、NETIS掲載期間終了技術は対象外とする。

第64条 新技術の活用(施工者選定型)

1. 本工事は、施工者が原則1技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。
2. 本工事において、第63条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術がNETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。
3. 受注者は、選定した新技術が第63条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。
4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。

5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたりNETIS申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用はNETIS申請者が負担する。
6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS申請者の負担とする。
7. 受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－V E」以外のNETIS登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第65条 建設現場における遠隔臨場の実施

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

（1）段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声をWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（2）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手にとって歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（3）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web会議システム（teams、zoom等）」等、何れのシステムを利用してよい。

(4) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(5) フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-19を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事实施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月12日（国不建第121号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第66条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）とWEB会議システム等を介して工事实施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事实施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

	工事实施	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実施	書類	実施	書類	実施
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

3. 遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

4. 実施内容

（1）技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）により取得した映像及び音声をWEB会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

（2）機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）やWEB会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

（3）遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

（4）効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（5）費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

（6）不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月12日（国不建第121号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第67条 契約後VE方式

1. 定義

「VE提案」とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

2. VE提案の意義及び範囲

①受注者がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

②以下の提案は、VE提案の範囲に含まないものとする。

（1）施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

（2）契約書第18条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

（3）提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提

案。

3. VE提案書の提出

- ①受注者は、前項のVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書（別紙様式－01～04）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - （1）設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - （2）VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - （3）VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - （4）発注者が別途発注する関連工事との関係
 - （5）工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項
 - （6）その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
- ②発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- ③受注者は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する35日前までに、発注者に提出できるものとする。
- ④VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

4. VE提案の審査

提出されたVE提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、VE提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

5. VE提案の採否等

VE提案の採否について、原則として、VE提案の受領後14日以内に書面（別紙様式－05）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、VE提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

6. VE提案を採用した場合の設計変更等

- ①VE提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
- ②前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。
- ③前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額（以下「VE管理費」という。）を削減しないものとする。
- ④VE提案を採用した後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、VE管理費については、原則として変更しないものとする。

7. VE提案の活用と保護

評定の結果、当該VE提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

8. 責任の所在

発注者がVE提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第68条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

2. 試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第63条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

3. 工事成績評価

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認出来た場合は加点を行うこととする。

4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第69条 出来高部分払方式

本工事は部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」[国土交通省HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照]に基づき行うものとする。

第70条 施工箇所の点在

本工事は、施工箇所が点在する工事であり、国道16号見沼地区、国道4号草加地区（伝右川橋）で施工を行う工事である。

第71条 直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査（試行）

（受注者希望方式）

1. 本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。
2. 受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。
3. 発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。
4. 発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第72条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

第 7 3 条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託する予定としている。また、本工事は施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ASP）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ASP）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第 7 4 条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年法律第 127 号 最終改正令和 6 年 12 月 13 日）第 15 条 3 により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ASP）により「閲覧」し、点検する。
7. 施工体制調査員は、第 1 回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているWEB会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。
ただし、立会や打合せ等においてWEB会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第 7 5 条 品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式ー 12 によるものとする。

第 7 6 条 工事完成図書の納品

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領（令和 8 年 2 月）：（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和 8 年 2 月）」を参考とするものとする。
2. 本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。
オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。
なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第77条 技術検査

1. 本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は2回以上を原則とする。
なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。
2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。
実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。
3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第78条 書類限定検査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

- ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外
3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第79条 ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウィルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第2章 土 工

第80条 建設発生土の受け入れ地

1. 発生土の受け入れ場所は、埼玉県行田市大字樋上地先（熊谷BP）とする。
（運搬距離 見沼地区 L=31.1km 草加地区 L=48.0km）
2. 発生土の受け入れ条件（小割、仮置き等）は、次のとおりとする。
 - (1) 捨土の種類
最大寸法40mm以下の塊を含む発生土は可。

(2) 受け入れ時間

9時00分～17時00分

(3) 夜間発生土は、仮置して運搬受け入れするものとする。

仮置場所は、特記仕様書第10条工事用地等の使用条件に基づいた借地場所とする。

3. 搬出調書を作成し、監督職員に提出しなければならない。

4. 受け入れ地での処理方法は、整地を見込んでいる。

5. 工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

6. 受注者は、本工事から建設発生土を100m³以上搬出する場合は、別紙様式-08により搬出前に搬出先市区町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX等で提出しなければならない。なお、情報提出後速やかにその写しを監督職員に提出しなければならない。

1) 工事件名、工事概要、工事場所

2) 工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先

3) 工事受注業者名、現場代理人名、連絡先

4) 建設発生土の運搬業者名

5) 建設発生土の受入先名（搬出先事業所名等）、住所

6) 建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路

7) 建設発生土の搬出時期（搬出期間）

8) 建設発生土の土質（砂、ローム等）、土量（m³）

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

第81条 レディーミクストコンクリート

1. コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

No	使用区分	呼び強度	粗骨材の最大寸法	水セメント比	セメントの種類	摘要
		N/mm ²	mm	%以下		
1	側溝工	18	25	60	早強	
2	縁石工	18	25	60	早強	

No	参考スランプ ※注1
	cm
1	8
2	8

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

※注1

本工事の特記仕様書、数量総括表及び図面に記載されたスランプは、積算上の参考値である。

現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成29年3月）」

を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。契約後に受発注者間でスランプ値の確認を行い、施工条件等により、協議の上、スランプを指定することができる。

ただし、（１）使用するコンクリートの単位水量、単位セメント量、水セメント比を配合計画書により確認する（２）使用するコンクリートの目標スランプが12cmを超える場合には、（１）に加え、試し練りを行い材料分離抵抗性を確認すること。

2. コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成14年8月一部改正）により行うものとする。
3. レディーミクストコンクリートの単価について、当初契約時は夜間割増を含んでいない。レディーミクストコンクリートの夜間割増については、監督員と協議の上、変更の対象とする。

第82条 配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

- ・仮設構造物（建設後数年の内に撤去するもの。）
- ・最大高さ1m未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
- ・管（函）渠等（φ600未満、600mm×600mm未満）の構造物。
- ・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
- ・耐久性を期待しない構造物。

第83条 モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、普通セメントでセメント量は530kg/m³以上（又は、1：3）とする。

第4章 材 料

第84条 その他の砂利、碎石、砂

構造物の基礎にはRC-40を使用するものとする。

第85条 一般瀝青材料

ストレートアスファルトの針入度は下表のとおりとする。

用 途	針入度	摘要
表層・基層	40～60	施工時期が冬期間にかかる場合は60～80を使用しても差し支えない。
上層路盤・歩道等	60～80又は80～100	40～60を使用しても差し支えない。

第86条 区画線

塗装厚は、下表のとおりとする。

1. 熔融式

幅 (cm)	厚 (mm)	摘 要
15	1.5	夜間の視認性が優れたもの。
30		
45		

※別添－０２

第５章 一般施工

第８７条 作業土工（床掘り・埋戻し）

構造物の掘削により発生した土砂は埋戻しに流用するものとする。
 なお、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。

第８８条 防護柵設置工における出来形確保対策について

- 受注者は、防護柵設置工の出来形管理方法について、防護柵設置工着手前に監督職員と協議しなければならない。
- 受注者は、支柱の建て込み時に現地の状況等により建て込みが困難な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
- 受注者は、防護柵の所定の根入れ長を確保するため、非破壊試験による出来形管理を行う。ただし、以下の場合はビデオカメラによる出来形管理とすることができる。
 - 防護柵が「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領（案）」（以下「測定要領（案）」という。）[国土交通省ＨＰ <http://www.mlit.go.jp/t ec/seki san/sekou.html>参照]の適用範囲外の場合
 - 受注者が測定機器を調達できない場合
 - 測定機器が測定要領（案）で定める性能基準を満たさない場合
 - 非破壊試験による出来形管理が妥当ではないと判断される場合
 - その他非破壊試験によって出来形管理ができない場合
- 非破壊試験による出来形管理にあたっては、測定要領（案）に従い行う。
- ビデオカメラによる出来形管理にあたっては、以下の状況をビデオカメラにより全本数分撮影する。
 - 支柱建て込み前の根入れ長測定状況
 - 支柱建て込み直前（機械セット時）から建て込み完了まで連続撮影
 なお、撮影したビデオテープ等の記録媒体は施工確認書（案）（別紙様式－１３）とともに監督職員へ提出する。
- これらに定められていない場合は、監督職員と協議する。
- 非破壊試験費用は見込んでいないが、監督職員と協議のうえ非破壊試験による出来形管理を行うこととした場合は設計変更の対象とする。

第８９条 路側防護柵工

受注者は、既設防護柵の撤去時に支柱の状況を確認するとともに、支柱の切断等が発見された場合には、その内容を監督職員に直ちに報告しなければならない。

第９０条 歩道舗装

- 本工事の施工にあたっては、低騒音、低振動型の建設機械を使用するものとする。
- 工事を行う際は舗装切断を行うなど適切な措置を行うものとする。
- 施工にあたり、横断方向の勾配は２％を標準とする。縦断方向の勾配は５％以下とするが、沿道の状況等によりやむを得ない場合には８％以下とすることがで

きる。また、交通の支障とならないようにするものとする。なお、縦断勾配を設ける箇所には、横断勾配は設けないものとする。段差箇所付近には「段差あり」の標識を設置しなければならない。

4. 工事着手前に工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、現状を十分把握しておくこと。
5. 本工事区画内の境界杭・境界鉄について調査を行い、破損等がある場合には監督職員と協議するものとする。
6. 歩道の施工に際しては、車椅子等の通行を考慮し、極力勾配を少なくするよう段差・切下げ等について配慮すること。（別添－０３）
 なお、詳細については監督職員と協議するものとする。
7. 横断勾配箇所は、車椅子等の通行を考慮し、横断勾配の低減を行い配慮すること。
8. 横断歩道等に接続する歩道等の部分の縁端は、車道等の部分より高くするものとし、その段差は２センチメートルを標準とするものとする。
9. 詳細については監督職員と協議するものとする。

第 6 章 舗 装

第 9 1 条 材料

1. 粒状路盤材クラッシャーランは、RC-40とする。
2. 粒度調整路盤材料は、RM-40とする。
3. 加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径は、下記のとおりとする。

呼び名	混 合 物 の 種 類	最大粒径 (mm)	アスファルト量 (%)	摘 要
RAst	生瀝青安定処理	40	4.0	上層路盤
RA①	再生粗粒度アスコン	20	5.0	基層
RA②	再生密粒度アスコン	20・13	5.5	表層
改ⅡA①	改質Ⅱ型粗粒度アスコン	20	5.0	基層
改ⅡA②	改質Ⅱ型密粒度アスコン	20	5.5	表層

第 9 2 条 ポリマー改質アスファルト

1. 配合設計

耐流動対策の配合設計は、骨材粒度範囲の中央値以下を目標にし、75 μ m ふるい通過質量百分率は小さめにする。75 μ m ふるい通過分のうち、回収ダスト分は30%を越えないものとする。最適アスファルト量は、下表のマーシャル基準値を満足するアスファルト量の共通範囲の中央値かそれ以下とする。

安定度 S (kN)	フロー値 F (1/100cm)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	S / F (kN/m)
7.35kN以上	土木工事共通仕様書による			2500以上

注) 突き固め回数は75回とする。

耐流動化対策を行う場合は、最適アスファルト量でホイールトラッキング試験を行い、DS値を確認し監督職員の承諾を得るものとする。

DS値の目標値は下表のとおりとするが、目標値に達しない場合は、監督職員と協議するものとする。

(単位：回／mm程度)

種 別	交通量区分 N6		交通量区分 N7	
	一般部	交差点部	一般部	交差点部
表 層	3,000	4,000	4,000	5,000
基 層		4,000	4,000	5,000

注) 上表は一般部と交差点部のDSの目標値を分けて施工する場合の記載例であり、一般部と交差点部のDSの目標値を同一にする場合は交差点部のDS値に合わせるものとする。

2. 混合

混合時間は、骨材にアスファルトの被覆が十分に行われ、均一に混合できる時間とする。混合温度は、アスファルトの動粘度が150～300センチストークス（セイボルトフロール度75～150秒）を示す温度範囲から選ぶことを原則とするが、製品により望ましい温度が異なるため留意するものとする。

3. 混合物の運搬

混合物の運搬にあつたては、十分な保温措置を施すものとする。

4. 敷均し・転圧

混合物の舗設は、通常のアスファルト混合物より高い温度で行う必要があり、しかも製品により望ましい温度が異なるため、特に温度管理に留意し、速やかに敷均しを行い十分に転圧を行うものとする。

5. 施工計画

一般部、交差点部の標準的な1日当りの施工工程を施工計画に記載するものとする。なお、作成にあたり、夏期においては初期わだち掘れに影響を与える交通開放温度に、冬期においては締固め度に影響を与えるアスファルト混合物の温度低下に留意するものとする。

第93条 加熱アスファルト混合物

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物（以下「混合物」という。）で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

第94条 区画線工

作業の実施上消去した区画線は、熔融式で復旧するものとする。

第7章 電 線 共 同 溝

第95条 工事の遵守事項

受注者は、「電線共同溝管理規程（案）」（平成11年6月7日）、「電線共同溝保安細則（案）」（平成11年6月7日）及び「電線共同溝・情報ボックス管理マニュアル（案）Ver.2TYPE-B」（平成15年10月）、「電線共同溝参考資料（案）」（令和元年12月）、「電線共同溝工事における監督・検査体制の強化について（試行）」（平成20年3月25日）を遵守しなければならない。

第96条 低コスト化のための比較検討

管路部及び特殊部について、当初設計においては従来手法により積算・発注しているが、原則として、無電柱化における管路部等の低コスト化に資する技術を用いることとし、「NETISテーマ設定型の比較表：無電柱化における管路部等の低

コスト化に資する技術」も参考に、現地状況等を踏まえつつ比較検討を行い、採用する技術を決定すること。なお、比較検討の結果、異なる手法が選定された場合は、検討費用も含め設計変更の対象とする。（参考）NETIS「テーマ設定型の比較表」（国土交通省）<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubtheme/themesettings>

第97条 電線共同溝管路

電線共同溝設置の位置・線形については、事前に地下埋設物（現況及び将来計画）及び工事区間の現状について測量及び調査を行い、詳細設計成果に対する照査を十分に行うものとする。変更の必要がある場合は、現況平面図、縦断図、横断図（20m間隔）を作成し、監督職員と協議するものとする。

第98条 段階確認

本工事は、電線共同溝の管路機能を確保するための監督・検査体制の強化試行工事である。

受注者は、下記の工種の施工段階においては、段階確認を受けなければならない。

この際、受注者は、種別、細別、確認の予定時期を監督職員に書面により報告しなければならない。

ただし、段階確認の実施時期及び実施箇所等は監督職員が定めるものとする。

種別	細別	施工段階	確認項目	確認の程度	備考
電線共同溝	特殊部	設置完了後	施工位置	全数	
			基準高	1回／特殊部5	
	管路部	管路敷設完了時	管路埋設深さ	1回／5接続部間	
		管路敷設完了後	管路延長	1回／5接続部間	管路埋戻し前に
			通過試験	1回／5管路※2	

※1 接続部間とは、特殊部から特殊部の間。

特殊部間5スパンのうち、1回の確認を行うこと。5スパンに満たない場合は1回の確認とする。

※2 1接続部間で5管路のうち、1管路通過試験を行うこと。5管路に満たない場合は1管路通過試験を行う。

第99条 管路材

1. 管路材は、別紙－9（1）～（9）の規格を満たすものを使用するものとし、伸縮性を考慮した構造とする。
2. 当工事は低コスト管路材を採用している。
3. 管枕は、2mピッチ程度を標準とし、短尺管は1本に1箇所以上設置するものとする。
なお、使用する管路材については規格を満たす資料を添付し、監督職員の承諾を得るものとする。
4. 現場条件等から上記により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第100条 舗装版切断及び路面復旧

1. 舗装版の取壊しに先立ち、施工範囲のカッター切断を行い、周辺の舗装に影響

の無いよう施工するものとする。

2. 路面は即日復旧を原則とし、周辺の現況舗装と段差が発生しないよう留意し交通解放するものとする。

なお、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。

また、舗装版先行破碎及び舗装仮復旧が一連の作業（即日復旧）を、日々繰返し行う必要が有る場合は、協議するものとする。

第101条 仮設工（簡易土留）

電線共同溝施設の設置に伴う仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については請負者において十分検討を行い、請負者の責任において決定し、施工するものとする。

なお、掘削する地山は地下水位の影響が無く、安定した地山を想定しているが、現地の条件がこれにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第102条 埋戻し工

1. 電線共同溝の特殊部、管路部（管上5cm以浅）の埋戻しには、流用土（現場発生土）を用い、管路部（管上5cm以深）の埋戻しには、購入土（再生砂）を用い施工後ひび割れ、陥没等が発生しないよう十分転圧しなければならない。ただし、発生土が埋戻しに適さない場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 管路部（管上5cm以深）の埋戻しは、水締めを標準とする。
3. 現場状況等から上記により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第103条 管路防護

1. 電線共同溝参考資料（案）に記載の最小土被り（舗装厚を含む）が確保できない箇所は、鋼板等により防護を施すものとする。
2. 鋼板防護は管上10cmの位置に敷設するものとし、敷設幅は管路幅に40cmを加えた幅とする。なお、鋼板防護は隙間が生じないように敷設するものとする。
3. 防護部の埋設シートは、鋼板防護の直上に敷設するものとする。
4. 現場状況等から上記により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第104条 埋設シート

1. 道路掘削等に対する保安上の対策として、管の上部に埋設シートを敷設するものとする。
2. 埋設シートの敷設範囲は、管路の全幅とし、幅40cmと60cmを組み合わせ敷設するものとする。また、敷設位置は、歩道部：管上20cm、車道部：管上30cmを標準とするが、管路の土被りとの関係上舗装との離隔が確保できない場合は、どちらも10cmまで縮小出来るものとする。さらに管天端が舗装下端に等しいときは、舗装下端に敷設するものとする。
3. なお、現地状況、施工条件等に変更が生じたことに伴い、上記の施工方法が変更となる場合は監督職員と協議しなければならない。

第105条 特殊部蓋

電線共同溝特殊部蓋等のシリンダー挿入型ロック装置については、契約後、監督職員と協議するものとする。

第106条 通過試験

管路の組立と並行して通過試験を行い、仮復旧完了後に再度、通過試験を行わな

なければならない。

第107条 地上機器

地上機器が設置される特殊部やハンドホールについては、設計時に沿道関係者の了解を得ているが、必要に応じて、沿道関係者へ地上機器設置箇所について説明を行うものとする。

なお、設置箇所に変更が生じた場合は、監督職員と協議を行い、設計変更の対象とする。

第8章 道路修繕

第108条 路面切削工

1. 切削後の基準高の変更は、行わないものとする。
2. 縦断方向の段差は原則としてつくってはならない。やむを得ず施工する場合は、交通に支障のないよう摺付を行うものとする。
3. 段差箇所付近には「段差あり」の標識を設置しなければならない。

第109条 オーバーレイ工

横断測量は、20m間隔に行うものとする。

第9章 その他

第110条 舗装台帳

舗装台帳等の資料作成は、監督職員の指示により作成し、工事完成時に下記の資料を提出するものとする。

提出資料 各2部（原稿1部、コピー1部）

- （1）舗装台帳
- （2）舗装施工データシート（別紙様式－14）
- （3）舗装施工概略図
- （4）位置図（1／5万）
- （5）平面図（完成平面図）

（注）道路標識台帳の資料作成のみの場合は、舗装台帳等の資料を道路標識台帳の資料に置き換える。

第111条 全国道路施設点検データベース（舗装）への登録について

1. 受注者は、必要に応じ管理運営団体の定める方法によりユーザー登録を行った上で、舗装工事のデータを、全国道路施設点検データベース（舗装）（以下「点検DB（舗装）」）に登録する。登録するデータは、「道路舗装データベース 登録・利用マニュアル」によるものとし、事前に監督職員と協議しなければならない。登録するデータに係る権利は、第112条に定めるとおりとする。なお、点検DB（舗装）の管理運営団体に支払う登録料については契約変更の対象とする。

また、上記マニュアルは、全国道路施設点検データベース（舗装）の管理運営団体のホームページ（https://www.jice.or.jp/pavement_db/）で閲覧できる。

2. 受注者は、状況写真や地形図を含む一般図などの画像データ等において、個人情報が表示されないよう加工を施したものを使用するとともに、点検DB（舗装）へ登録するデータに個人情報が含まれないことを確認しなければならない。また、登録するデータに個人情報が含まれないことを確認する手法について施工計画書に明記し、個人情報が含まれないことを確認した書類として「別紙－7」に

示すチェックリストを提出すること。

なお、受注者と発注者の双方がチェックリストにより、個人情報が含まれないことを確認した後でなければ、データ登録を行ってはならない。

第 1 1 2 条 登録するデータに係る権利について

1. 本工事の成果として点検DB（舗装）へ登録されるデータ及びこれに係る特許、実用新案登録、意匠登録等を受ける権利及び当該権利に基づき取得する産業財産権並びに著作権（著作権法第27条及び第28条に定める権利を含む。）その他の知的財産権（ノウハウ等に関する権利を含む。）は、すべて登録・確定と同時に発注者に帰属する。
2. 点検DB（舗装）へ登録されるデータに係る知的財産権のうち、受注者又は第三者が従前から保有していた知的財産権が含まれる場合、受注者は、発注者、発注者が指定する者及び点検DB（舗装）を利用する者（以下「発注者等」という。）に対し、当該知的財産権の利用を許諾し、又は許諾させるものとする。
3. 受注者は、自ら（受注者に所属する者を含む。）又は第三者をして、発注者等に対し、点検DB（舗装）へ登録されるデータを構成する著作物に係る著作者人格権を行使せず又は行使させない。
4. 前三項の場合において、受注者は、発注者に知的財産権を帰属させ若しくは発注者が適法に知的財産権を行使するため、又は発注者等による点検DB（舗装）の運用及び利用のために必要となる一切の手続（第三者からの許諾取得を含む。）を履践するものとする。
5. 発注者及び受注者は、前四項に定める権利の帰属及び不行使並びに手続履践の対価が委託料に含まれることを相互に確認する。
6. 受注者は、点検DB（舗装）へ登録されるデータが知的財産権を含む第三者の権利を侵害しないことを表明及び保証し、受注者がかかる表明保証に違反したことにより発注者が第三者から訴訟を提起され又は権利を主張される等の紛争が生じた場合には当該紛争の解決に協力するとともに、発注者に生じた損害、損失及び費用（合理的な範囲の弁護士費用を含む。）について、発注者に対してこれを補償するものとする。

第 1 1 3 条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第 1 1 4 条 道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

1. 道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物及び 付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I. T. V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施

	C080	歩道及び自転		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシート		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路BOX等		E220	CAB電線共同溝
	D090	横断BOX等		E230	植栽
	D100	パイプカバー		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標(反		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標(自		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ヒートポンプ

2. 道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル(案)』によるものとする。
3. 道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。
4. 道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、CORINS登録時の「工事契約コード番号」とする。
5. 道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。
 - ①道路施設台帳作成総括表
 - ②道路施設基本データ総括表
 - ③道路施設基本データ一覧表
 - ④道路施設台帳チェックシート
 - ⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑦工事数量総括表

第115条 「問合せ番号」及び「路上規制情報提供システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第116条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	■他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期	第 6 2 条
	■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。	第 6 1 条
	■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第 5 4 条
用地関係	■ 工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。	第 1 0 条
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	第 4 6 条～第 4 8 条
	■ 濁水、湧水等の処理で特別の対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。	第 4 9 条
安全対策関係	■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。	第 4 0 条
建設副産物関係	■ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。	第 8 0 条
	■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第 2 7 条
その他	■ 工事用資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。	第 1 0 条
	■ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。	第 2 6 条

概路工事工程表
工事名：R8国道16号見沼外電線共同溝工事

工 種		単位	数 量	令和8年度								令和9年度				備考		
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	
準備工		式	1	余 裕 期 間														・90日間
	仮設工	式	1															・1pt
舗装版撤去工	式	1																・1pt
開削土工	式	1																・1pt
電線共同溝工	式	1																・1pt
舗装工	式	1																・1pt ・アスファルト舗装工、切削オーバーレイ工 ・区画線工含む
排水構造物工	式	1																・1pt
縁石工	式	1																・1pt ・構造物撤去工、防護柵工含む
舗装版撤去工	式	1																・1pt
開削土工	式	1																・1pt
電線共同溝工	式	1																・1pt ・プレキャストボックスカルバート工含む
舗装工	式	1																・1pt ・アスファルト舗装工、切削オーバーレイ工 ・区画線工含む
排水構造物工	式	1															・1pt	
縁石工	式	1															・1pt ・構造物撤去工含む	
後片付け工	式	1															・20日間	
関係機関協議	交通管理者																・道路使用許可申請が必要です。	
R8国道16号見沼(2)電線共同溝工事	－																令和8年10月～令和9年9月	
年末年始、お盆	－																・12月下旬～1月上旬 ・8月中旬	
路上工事抑制	－																・3月	

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

全国道路施設点検データベースにおける個人情報掲載のチェックリスト

1. 業務等名称

2. 受注者名

3. 個人情報掲載の確認結果【受注者】

☐ 個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除を確認済

4. 発注担当課

5. 個人情報掲載の確認結果【発注者】

☐ 個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除を確認済

担い手確保・育成に関する実施状況（概要報告）

工 事 名	〇〇工事	受注者名	△△建設(株)
項 目		実施内容	
☐ 建設業界への入職のきっかけづくりとなる取組		・子供、学生等に対する現場見学会、インターンシップの実施 - 建設工事の施工体験、測量機器等の操作体験 等	
☐ 建設業の社会的意義・役割や魅力・やりがいを知ってもらうための取組		・地域の防災訓練に参加、災害時に地域住民等を支援 ・建設現場での新技術の活用、i-Construction・情報化施工等の取組を社会にアピール 等	
☐ 建設現場の労働環境を改善する取組		・労働者に対する週休2日の確保を徹底 ・働きやすい環境(更衣室、休息場所の設置など)の整備	
☐ 若手技術者育成、女性技術者育成のための取組		・当該工事現場をフィールドにした若手技術者、女性技術者に対する研修や講習会等を実施 等	
☐ その他			

担い手育成・確保

担い手確保・育成に関する実施状況（詳細報告）

担当出張所名: □□出張所

工 事 名	〇〇工事	受注者名	〇〇建設(株)
項 目	前頁の「項目」を記載		
実施内容	前頁の「実施内容」を記載		
実施日(期間)	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日(〇日間)	対象者・人数	〇〇高校、〇名
他工事との合同実施	☐ 有り ☐ 無し	合同実施工事名	(〇〇工事)
マスコミ取材	☐ 有り ☐ 無し	取材会社名	(〇〇新聞社、△△テレビ)
(具体的な実施内容の説明)			
(添付図・写真)			

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

電力用管路材規格（ $\phi 100$ 、 $\phi 130$ ）
（硬質塩化ビニル管、複合管、波付硬質合成樹脂管、強化可とう管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5$ 、 -0mm 、曲管内径 $-5+0.5$ 、 -0mm の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	品質、外観、形状、寸法及び表示について点検
	静摩擦試験	最大 0.9 、平均 0.8 以下
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	規定なし
	圧縮強度試験	JIS C 3653を満足すること 塩化ビニル管 JIS K 6741 樹脂管 JIS C 3653 附属書1又は3
	支圧強度試験	規定なし
	曲げ強度試験	規定なし
	扁平試験	$23^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ で外径の $1/2$ まで圧縮し、ワレ、ヒビを生じない。 (JIS K 6741による)
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと	
	水密性試験	外圧 50KPa [$0.5\text{kgf}/\text{cm}^2$] 5分間
	気密性試験	—
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	JIS A 8902「ショベルおよびスコップ」に規格されたショベル丸型の刃先を供試管の管軸に直角に当て、緩衝材（CRゴム：厚さ 10mm 、硬度 35 ）を下面に貼りつけた 10kg の錘を 13cm の高さ H から自然落下させ供試管の山部および谷部をそれぞれ打撃する。 供試管の長さは約 30cm とし、あらかじめ $60 \pm 2^{\circ}\text{C}$ ならびに $0 \pm 2^{\circ}\text{C}$ の雰囲気の中で1時間以上状態調整したものを用い、すみやかに試験を行い、スコップ先端が管路内に露出しないこと。
耐久性	長期にわたり劣化しないこと	
	耐候性試験	規定なし
	耐薬品性試験	規定なし
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380ゴムパッキン材質またはJIS K 6353水道用ゴムⅠ類A（ゴムの硬さ $50 \sim 60$ ）に適合すること。
耐震性		管路材の伸縮しろ長は管の引き抜きおよび押し込みを考慮し、管路材長の $1/50$ 以上を確保する。 または、管路材の伸縮しろ長は管の引き抜きを考慮し、管路材長の $1/100$ 以上を確保する。また、押し込みに対しては、管路材長の $1/100$ の長さを管軸方向に押し込んだときに継手に亀裂、その他有害な欠点が生じないこと。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	炎が自然に消えること。（JIS C 8430-1993による）
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	60°C 3時間加熱後、室温まで放冷し、変化率 $\pm 1\%$ 以内
	ビカット軟化温度試験	塩化ビニル管 80°C 以上（JIS K 7206 B-50法による。） 樹脂管 115°C 以上（JIS K 6922-1）

電力用管路材規格（φ１００，φ１３０）
（鋼管、軽量鋼管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5, -0\text{mm}$ 、曲管内径 $-5+0.5, -0\text{mm}$ の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	品質、外観、形状、寸法及び表示について点検。
	内面摩擦	最大０．９、平均０．８以下
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	290N/mm ² 以上（伸び、縦30%以上、横25%以上） （JIS G 3452、JIS Z 2241による）
	圧縮強度試験	規定荷重Pに対し亀裂等なく、たわみ量が2.5%以下 規定荷重 $P = F \times L \times S$ （F：1.84×平均半径R、L：試験体の長さ、S：安全率＝3）
	支圧強度試験	規定なし
	曲げ強度試験	曲げ強度試験により規定荷重Pに対し異常がないこと。 $P = W \times d_1 \times ((L_1)^2) / (6 \times L)$ （W：上載荷重＝6.94(tf/m ²)、 d_1 ：試験体の外径(m)、 L ₁ ：規定の空洞幅＝2(m)、L：支持間隔＝1(m)）
	継手部曲げ強度試験	同上
	せん断強度試験	規定なし
	扁平試験	外径の2/3まで扁平時、ワレ、傷を生じないこと。 （JIS G 3452による）
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと	
	水密性試験	外圧0.5kgf/cm ² 5分間
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	規定なし
耐久性	長期にわたり劣化しないこと	
	耐候性試験	規定なし
	溶融亜鉛メッキの付着量試験	肉厚4.5mmの場合、付着量550g/m ² 以上、 肉厚3.0mmの場合、付着量400g/m ² 以上
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380工業用ゴムパッキン材質による。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	規定なし
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	規定なし
	ビカット軟化点試験	規定なし

電力用管路材規格（φ１００，φ１３０）
（ポリエチレン被覆鋼管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5, -0\text{mm}$ 、曲管内径 $-5+0.5, -0\text{mm}$ の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	品質、外観、形状、寸法及び表示について点検
	内面摩擦	最大０．９、平均０．８以下
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	290N/mm ² 以上（伸び、縦30%以上、横25%以上） （JIS G 3452、JIS Z 2241による）
	圧縮強度試験	規定荷重Pに対し亀裂等なく、たわみ量が2．５%以下 規定荷重 $P = F \times L \times S$ （F：1.84×平均半径R、L：試験体の長さ、S：安全率＝3）
	支圧強度試験	規定なし
	曲げ強度試験	曲げ強度試験により規定荷重Pに対し異常がないこと。 $P = W \times d_1 \times ((L_1)^2) / (6 \times L)$ （W：上載荷重＝6.94(tf/m ²)、 d_1 ：試験体の外径(m)、 L ₁ ：規定の空洞幅＝2(m)、L：支持間隔＝1(m)
	継手部曲げ強度試験	同上
	せん断強度試験	規定なし
	扁平試験	外径の2／3まで扁平時、ワレ、傷を生じないこと。 （JIS G 3452による）
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと。	
	水密性試験	外圧0．5kgf/cm ² 5分間
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	規定なし
耐久性	長期にわたり劣化しないこと	
	耐候性試験	規定なし
	溶融亜鉛メッキの付着量試験	肉厚4．5mmの場合、付着量550g/m ² 以上、 肉厚3．0mmの場合、付着量400g/m ² 以上
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380工業用ゴムパッキン材質による。
	被覆厚さ試験	P 1（ポリエチレン1層仕上げ）：被覆厚さ：2．0－0．4mm（※） P 2（ポリエチレン2層仕上げ）：被覆厚さ：被覆：0．8－0．2mm（※） 包装：1．1－0．3mm（※） （JIS G 3469による） ※：許容値は、一値のみ規定し、+値は規定しないものとする ※2：P 2に使用するポリエチレンの外側の層
	ピンホール試験	ホリデーディレクターを用い、接触型の場合は、10,000～12,000V、非接触型の場合は20,000～40,000Vの電圧をかけて、ピンホールの有無を確認する （JIS G 3469による）
	ピール強度試験	P 1の被覆された鋼管において、ピール強度試験により、35N／10mm（3．57kgf／10mm）幅以上であること。 （JIS G 3469による）
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	規定なし
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	規定なし
	ビカット軟化点試験	規定なし

電力用管路材規格（ $\phi 100$ ， $\phi 130$ ）
（合成樹脂製・陶製・コンクリート製多孔管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5, -0\text{mm}$ 、曲管内径 $-5+0.5, -0\text{mm}$ の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	品質、外観、形状、寸法及び表示について点検
	内面摩擦	最大 0.9 、平均 0.8 以下
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	規定なし
	圧縮強度試験	圧縮強度： $3920\text{N}/\text{cm}^2$ 以上
	支圧強度試験	ひび割れ荷重： 117.72KN 以上
	曲げ強度試験	ひび割れモーメント： $9.81\text{KN}\cdot\text{m}$ 以上
	継手部曲げ強度試験	同上
	せん断強度試験	継手部せん断破壊荷重： 16.68KN 以上
	扁平試験	規定なし
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと	
	水密性試験	外圧 $0.5\text{kgf}/\text{cm}^2$ ５分間
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	規定なし
耐久性	長期にわたり劣化しないこと。	
	耐候性試験	規定なし
	溶融亜鉛メッキの付着量試験	規定なし
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380工業用ゴムパッキン材質による。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	規定なし
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	規定なし
	ビカット軟化点試験	規定なし

通信用管路材規格（ $\phi 100$ ， $\phi 150$ ）
（硬質塩化ビニル管、複合管、合成樹脂管、強化可とう管、
鋼管・軽量鋼管、合成樹脂製・陶製・コンクリート製多孔管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5, -0\text{mm}$ 、曲管内径 $-5+0.5, -0\text{mm}$ の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	規定なし
	静摩擦試験	規定なし
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	23℃における引張強度 45MPa {460kgf/cm ² } 以上。 （JIS K 6741による）
	圧縮強度試験	規定なし
	支圧強度試験	規定なし
	曲げ強度試験	規定なし
	扁平試験	23℃ $\pm$ 2℃で管の扁平が外径の1/2になった時に、ワレ、ヒビがないこと。 （JIS K 6741、JIS C 8430による）
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと	
	水密性試験	規定なし
	気密性試験	管接合部に所定の気圧（ -3.9kPa （ -0.4kgf/cm^2 ））を20分間加えたとき漏れのないこと（JIS K 6741による）
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	規定なし
耐久性	長期にわたり劣化しないこと	
	耐候性試験	規定なし
	耐薬品性試験	酸・アルカリ等による浸せき試験の結果、試験後の質量変化量が $\pm 0.2\text{mg/cm}$ 以下であること （JIS K 6741-1999による）
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380ゴムパッキン材質またはJIS K 6353水道用ゴムⅠ類A（ゴムの硬さ50～60）に適合すること。
耐震性		管路材の伸縮しろ長は管の引き抜きおよび押し込みを考慮し、管路材長の1/50以上を確保する。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	炎が自然に消えること。（JIS C 8430-1993による）
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	規定なし
	ビカット軟化温度試験	ビカット軟化温度試験76℃以上 （JIS K 7206 試験荷重：B-50法）

通信用管路材規格（φ 75）
（硬質塩化ビニル管、複合管、合成樹脂管、強化可とう管、
鋼管・軽量鋼管、合成樹脂製・陶製・コンクリート製多孔管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5, -0\text{mm}$ 、曲管内径 $-5+0.5, -0\text{mm}$ の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	規定なし
	静摩擦試験	規定なし
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	23℃における引張強度 47.1MPa {480kgf/cm ² } 以上。 (JIS K 6741による)
	圧縮強度試験	規定なし
	支圧強度試験	規定なし
	曲げ強度試験	規定なし
	扁平試験	23℃±2℃で管の扁平が外径の1/2になった時の圧縮荷重が2450N（250kgf）以上であり、試験後荷重を除去時に試験片の内外面にヒビ、ワレ等を生じないこと (JIS K 6741、JIS C 8430による)
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと	
	水密性試験	規定なし
	気密性試験	管接合部に所定の気圧（294及び－78kPa（3.0及び－0.8kgf/cm ² ））を20分間加えたとき漏れのないこと (JIS K 6741による)
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	衝撃試験（重錘25.8kgを規定の高さ、管体部150cm、継ぎ手部60cmから落下させる）結果、試験片が分離、亀裂を生じない。
耐久性	長期にわたり劣化しないこと	
	耐候性試験	規定なし
	耐薬品性試験	酸・アルカリ等による浸せき試験の結果、試験後の質量変化量が±0.2mg/cm以下であること (JIS K 6741-1999による)
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380ゴムパッキン材質またはJIS K 6353水道用ゴムⅠ類A（ゴムの硬さ50～60）に適合すること。
耐震性		管路材の伸縮しろ長は管の引き抜きおよび押し込みを考慮し、管路材長の1/50以上を確保する。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	炎が自然に消えること。（JIS C 8430-1993による）
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	規定なし
	ビカット軟化温度試験	ビカット軟化温度試験85℃以上 (JIS K 7206 試験荷重：A-50法)

通信用管路材規格（φ５０）
（硬質塩化ビニル管、複合管、合成樹脂管、強化可とう管、
鋼管・軽量鋼管、合成樹脂製・陶製・コンクリート製多孔管）

項 目	要 求 性 能	
ケーブル導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	導通試験	導通試験器（直管内径 $-2+0.5, -0\text{mm}$ 、曲管内径 $-5+0.5, -0\text{mm}$ の球）が管路内を容易に通過できること。
	継手部導通試験	
	外観・構造試験	規定なし
	静摩擦試験	規定なし
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	23℃における引張強度 47.1MPa {480kgf/cm ² } 以上。 （JIS K 6741による）
	圧縮強度試験	規定なし
	支圧強度試験	規定なし
	曲げ強度試験	規定なし
	扁平試験	23℃±2℃で試験片が割れることなく内面が接触するまで加圧し、最大荷重を求めた結果、ワレが生じることなく、かつ、2550N（260kgf）以上であること （JIS K 6741、JIS C 8430による）
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと	
	水密性試験	規定なし
	気密性試験	管接合部に所定の気圧（ -3.9kPa （ -0.4kgf/cm^2 ））を20分間加えたとき漏れの無いこと（JIS K 6741による）
耐衝撃性	運搬、施工時等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること	
	耐衝撃性試験	規定なし
耐久性	長期にわたり劣化しないこと	
	耐候性試験	規定なし
	耐薬品性試験	酸・アルカリ等による浸せき試験の結果、試験後の質量変化量が±0.2mg/cm以下であること （JIS K 6741-1999による）
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性試験	JIS K 6380ゴムパッキン材質またはJIS K 6353水道用ゴムⅠ類A（ゴムの硬さ50～60）に適合すること。
耐震性		管路材の伸縮しろ長は管の引き抜きおよび押し込みを考慮し、管路材長の1/50以上を確保する。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること	
	耐燃性試験	炎が自然に消えること。（JIS C 8430-1993による）
耐熱性	電線の発熱または周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること	
	耐熱性試験	規定なし
	ビカット軟化温度試験	ビカット軟化温度試験85℃以上 （JIS K 7206 試験荷重：A-50法）

さや管(電力・情報通信・放送用)〔φ30, 35, 50, 100〕

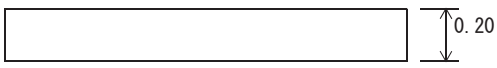
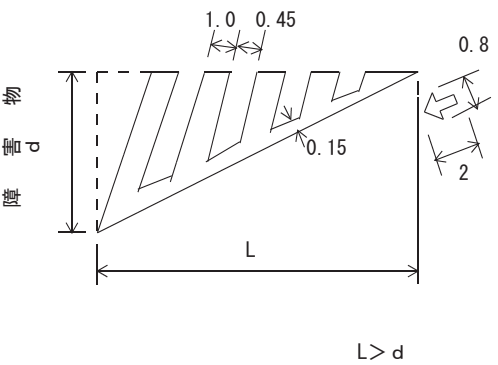
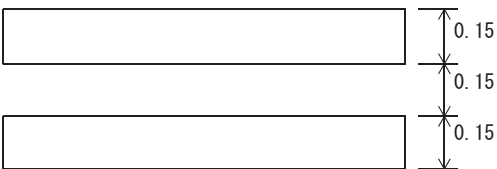
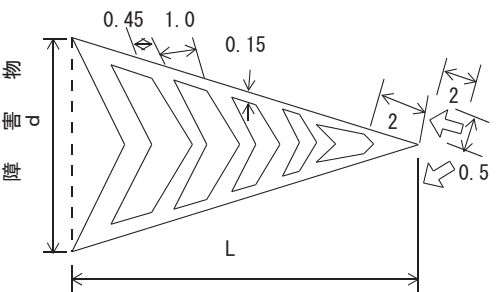
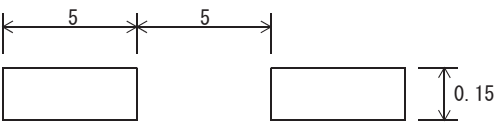
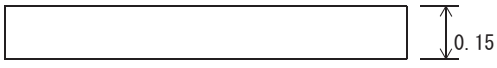
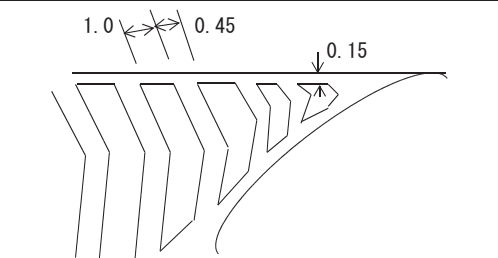
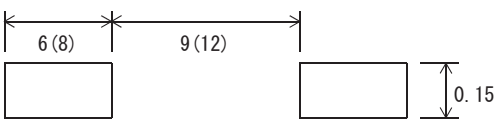
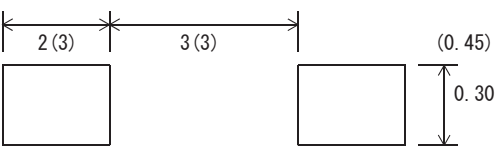
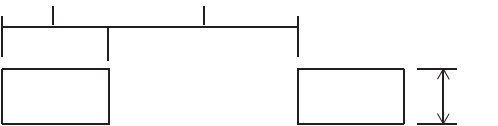
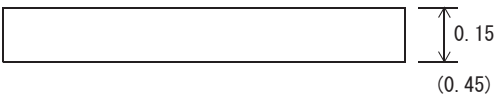
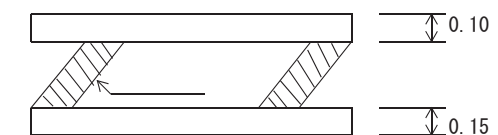
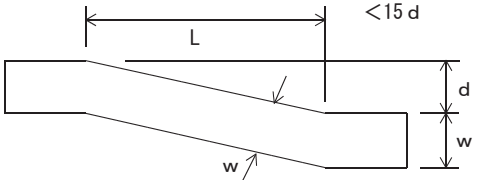
項 目	要 求 性 能	
ケーブル 導通性	突起等がなく、所要の内空が保たれており、電線の敷設及び撤去に支障とならないこと	
	外観・構造試験	品質，外観，形状，寸法及び表示について点検。
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	23℃における引張強度 45MPa〔460kgf／cm ² 〕以上。 (JIS K 6741による) 曲線部用可とうさや管は23℃における引張強度30.4 MPa以上。
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること。	
	耐燃性試験	炎が自然に消えること。 (JIS C 8430－1993による)

共用FA系管路(共用FA管およびボディ管)〔φ150, 200, 250〕

項 目	要 求 性 能	
形状	通信管路材に適した形状であること。	
	外観・構造試験	品質, 外観, 形状, 寸法及び表示について規定の項目を満足する。
強度	地中埋設時及び埋設後の車両等の重量、土圧等に対して長期にわたり所要の強度が確保出来ること	
	引張強度試験	23℃における引張強度45MPa(460kgf/cm ²)以上 (JIS K 6741による)
	圧縮強度試験	規定の荷重を加えたとき、亀裂、その他有害な欠点が発生しないこと、また、外径のたわみ率が2.5%以下であること。 (規定荷重P) $P=66.6 \times R \times L$ (kN/m) R: 管の肉厚中心半径 (m)、L: 試験体長 (m)
	曲げ強度	規定の荷重を加えたとき、たわみ量が50mm以下であること。 (規定荷重P) φ150:2.82kN, φ200:3.69kN, φ250:4.57kN
	へん平試験	23±2℃で管のへん平量が外径の1/2になるまで圧縮し試験荷重除去時に試験片の内外面にヒビ、ワレ等を生じないこと。 (JIS K 6741による。)
水密性	管内に土砂、水等が侵入しないこと。	
	気密性試験	管接合部に所定の気圧(－39kPa)を20分加えたとき漏れの無いこと。
	水密性試験	規定なし
耐衝撃性	運搬、施工等に受ける衝撃に対して所要の強度を有すること。	
	耐衝撃性試験	147 Nの重錘を高さ50cmから落下させたとき、先端部が試験体を貫通したり、分離、亀裂を生じない。
耐久性	長期にわたり劣化しないこと。	
	耐薬品性試験	酸・アルカリ等による浸せき試験の結果、試験後の質量変化量が±0.2mg/cm ² 以下であること。 (JIS K 6741－1999による。)
	防水パッキンのゴムの強度、耐久性	JIS K6353-1997水道用ゴムに規定するⅠ類Aの物性に適合すること。
耐震性、 不等沈下	継手部は地震時のひずみ量(1/100)を吸収する構造とする。	
耐燃性	不燃性または自消性のある難燃性であること。	
	耐燃性試験	炎が自然に消えること。 (JIS C 8430－1993による)
耐熱性	周囲の土壌の温度の影響による温度変化によっても、所要の強度が確保出来ること。	
	ビカット軟化温度試験	76℃以上。 (JIS K 6741による。)

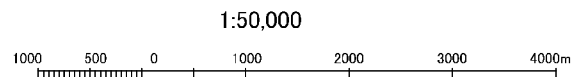
区画線設置様式（例）

（単位：m）

区 分		幅 ・ 長 さ ・ 間 隔	区 分	幅 ・ 長 さ ・ 間 隔
車 道 中 央 線 (101)	実 線 1 本		路 の 上 障 害 物 近 接 (106)	
	実 線 2 本			
	破 線			
車 線 境 界 線 (102)	実 線		導 流 帯 (107)	
	破 線			
登 坂 加 減 速 バ ス 停 (103)	登 坂 加 減 速 バ ス 停		路 駐 車 場 上 場 (108)	
車 外 道 側 線 (103)	車 外 道 側 線		チャ ッ タ パ ー ン に よ る 分 離 帯	
車 道 幅 員 変 更 (105)	車 道 幅 員 変 更			

（ ）内は自動車専用道路に適用

S=1:50,000



工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事						
図面名	位 置 図 (1)						
作成年月日	令和 8 年 6 月 日						
縮 尺	1:50,000		図面番号		1 / 99		
会社名	株式会社 長 大						
所長	副所長	副所長 副所長 副所長	課長	課長	専門調査官	設計	
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所						

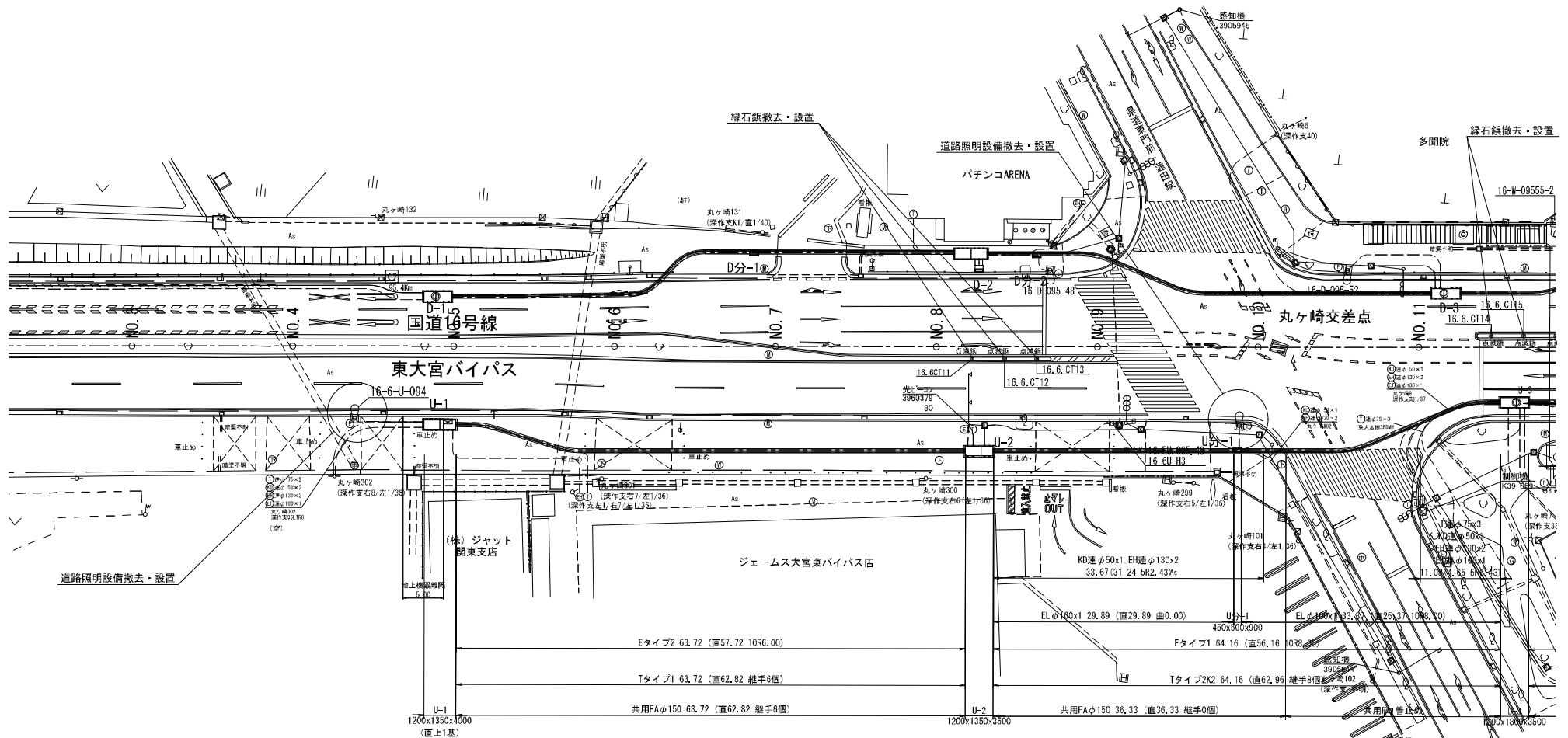
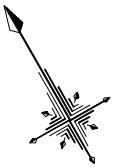
S=1:50,000



工事名	R8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	位 置 図 (2)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:50,000	図面番号	2 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

平面図(1)

S=1:250



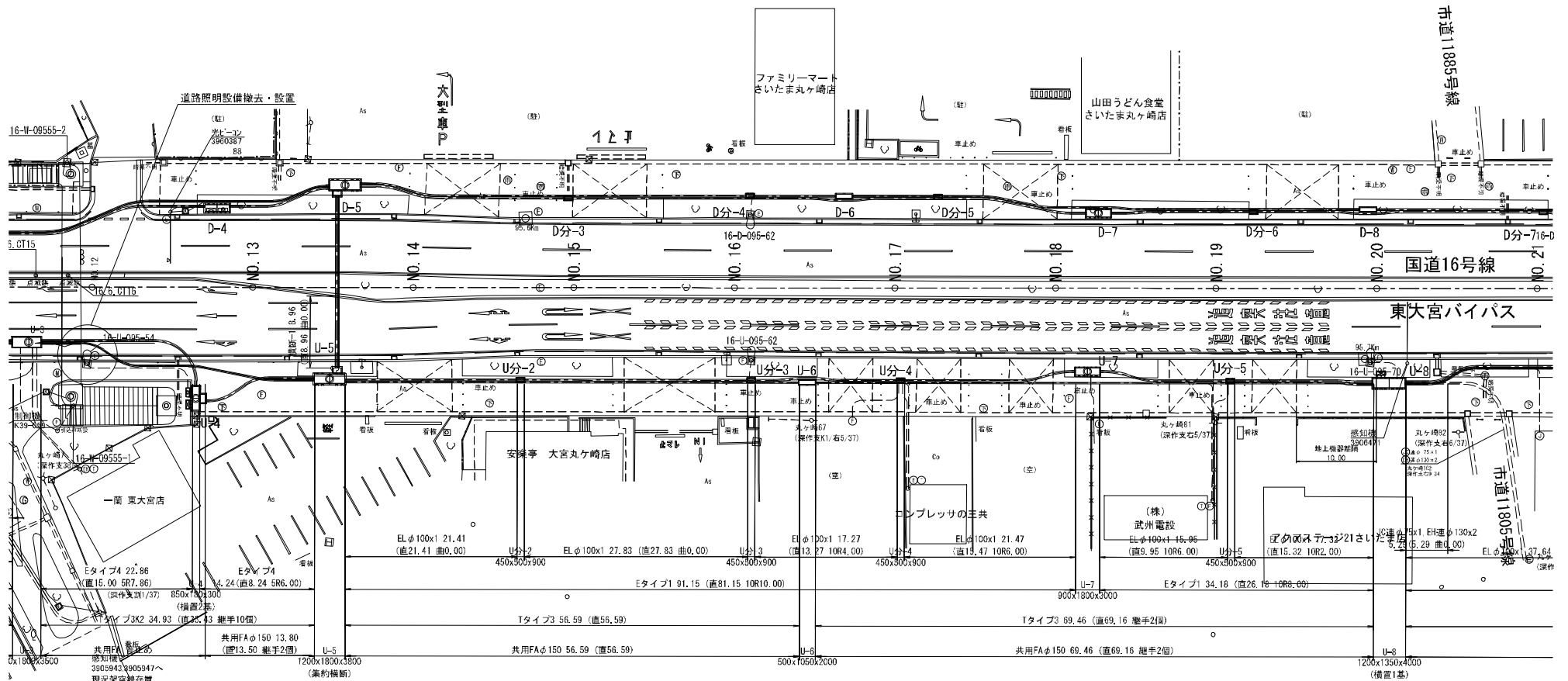
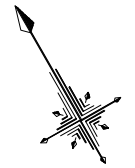
電力地上設備凡例	
記号	種別
	多回路開閉器(自鎖)
	多回路開閉器
	3相スイッチ
	変圧器
	PMT
	分岐箱
	将来設備

- 注)
- ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
 - ・施工前に特殊部・信号ハンドホール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。
 - ・本体内工事で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
 - ・本体内工事で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
 - ・本体内工(本管、特殊部)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
 - ・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
 - ・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名 R8国道16号沿外電線共同溝工事	
図面名	平面図(1)
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	1:250 図面番号 3 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

S=1:250



電力地上機器凡例	
記号	種別
	多回路開閉器(自鎖)
	多回路開閉器
	3回路開閉器
	変圧器
	PMT
	分岐機器
	倍率装置

(注)

- ・国道沿道区域外の信号機も集中化の対象としているため、施工期にわたる各市との協議を行うこと。
- ・施工期に特殊車、借入の一般用自動車等の試験運行を行い、建設物を確認すること。
- ・本体内工事内で「照明の維持方法等の計画」、「照明配置による日よけの変更」「配電配置」を行うこと。
- ・本体内工事内で交通安全施設工事については、委託先と協議を行い、東電、NTTと調整すること。
- ・本体内工事（本署、待合所）に工事管理上の責任が既設施設管理に近接する場合は、埋設物管理責任者に立会いを依頼すること。

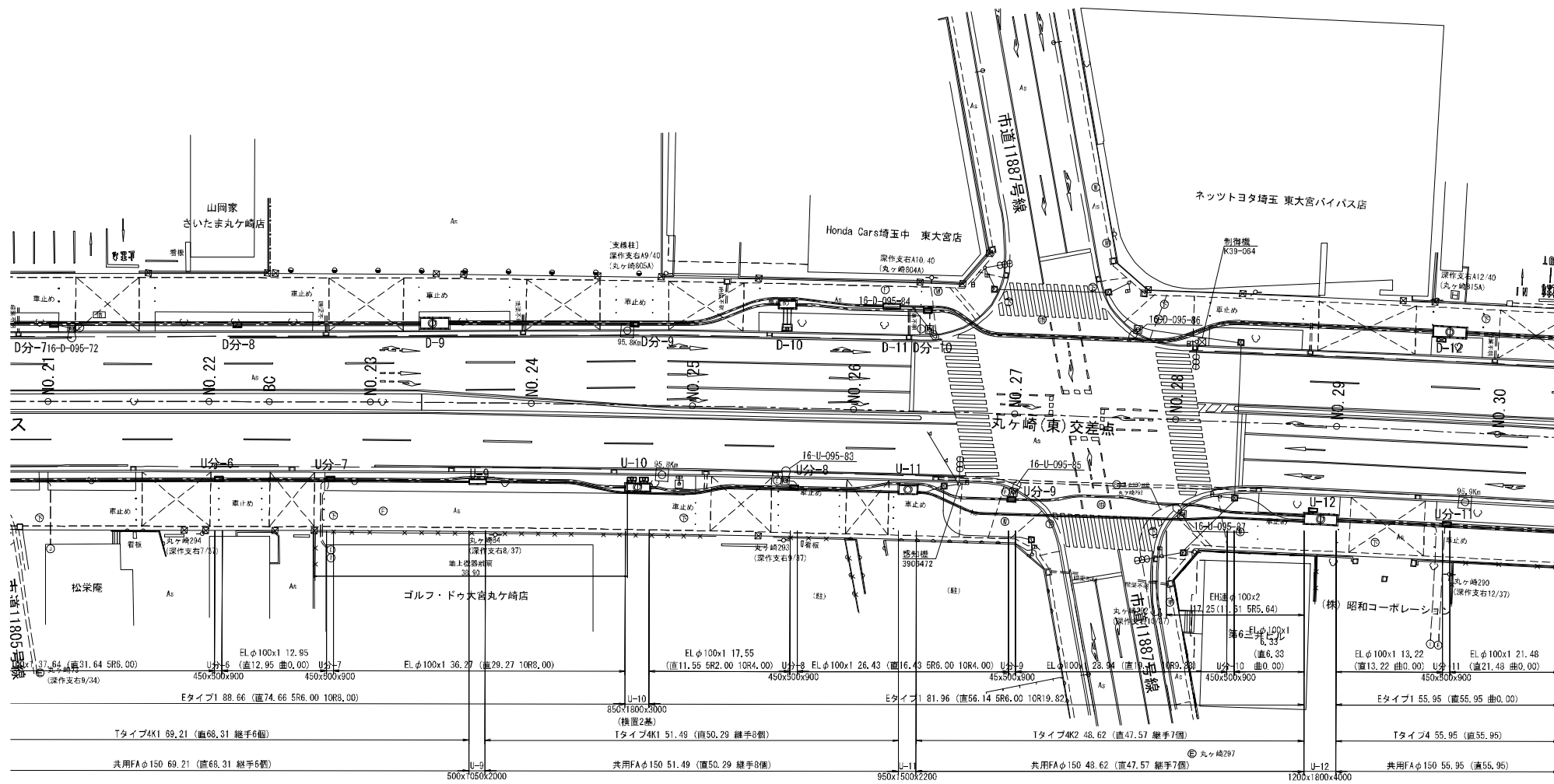
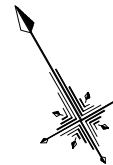
特に工事と近接する箇所は、またまた水道局環境管理課に立会いを依頼すること。

・工事に伴う近接機や電圧基準値、水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R8 国道 16 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	平 面 図 (2)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:250	図面番号	4 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

S=1:250



記号	種別
	多回路開閉巻(自働)
	多回路開閉巻
	3回路開閉巻
	変圧器
	P.M.T.
	分岐機器
	タップ装置

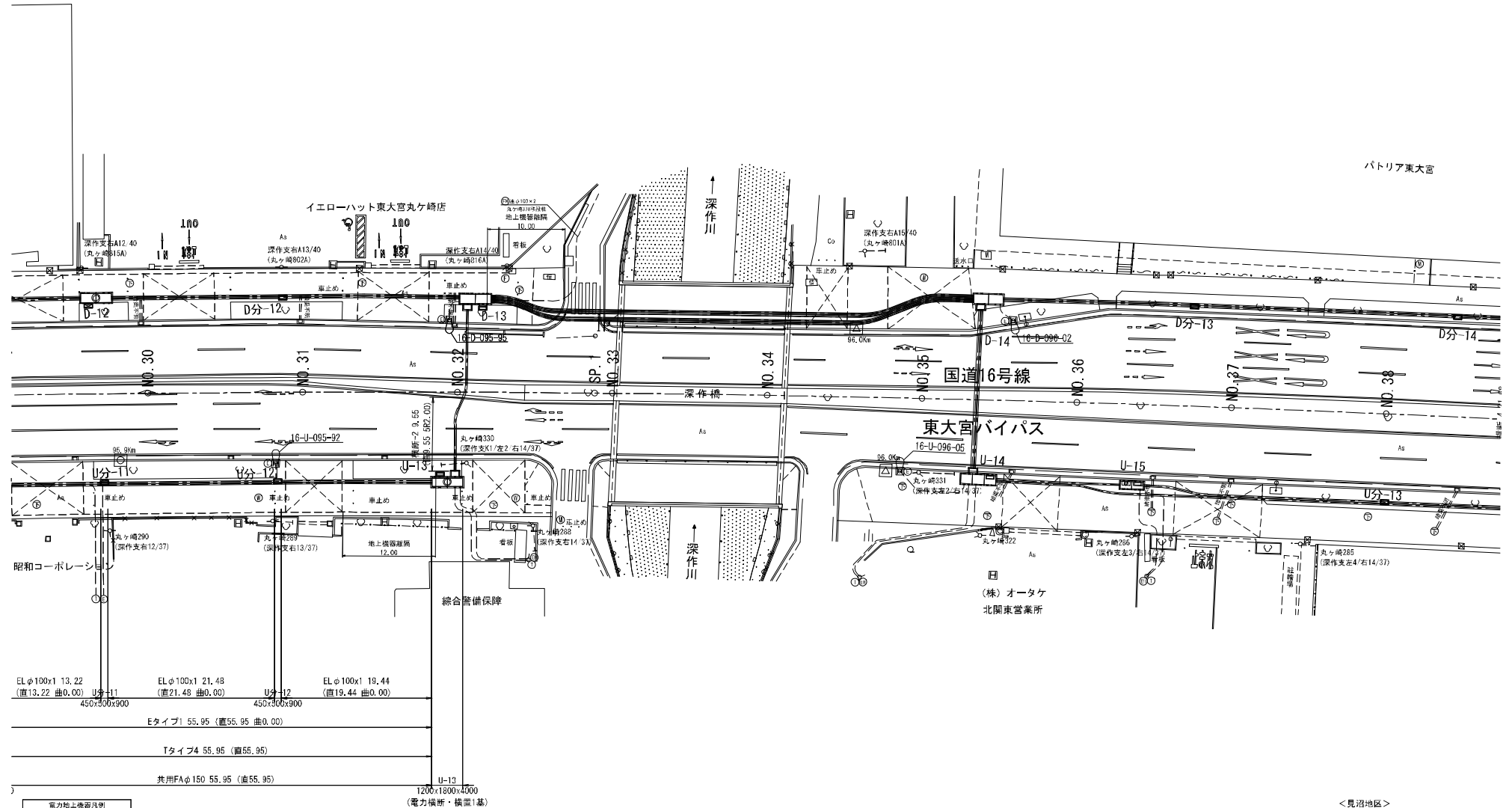
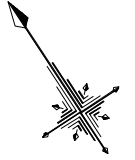
(注) ① 国道沿道区域外の停車場も集中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
② 施工前に特設設、借留(借上)ホール設置等の試験を行い、建築物を破壊すること。
③ 本体内事内で「照度の契約方式の策定」、「給気設備による日よけの必要」、「配電設備」を行うこと。
④ 本体内事内で「電圧施工の予定には、素子工事に比べがけによる、電電、ITと調整すること」。
⑤ 本体内事内で「特設設備」や引込管工事の順に「既設設備改修と近接工事の管理、設備管理責任者に立会いを依頼すること」。
⑥ 水圧工事と近接となる箇所は、さいたま市水道局管理施設に立会いを依頼すること。
⑦ 工事による道路幅や水圧点を撤去する場合は、現況図面を提出すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

＜見沼地区＞			
工事名	R 8 園道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	平 面 図 (3)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	1:250	図面番号	5 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

平面図(4)

S=1:250



記号	種類
	多回路開断器(自働)
	多回路開断器(手動)
	3相遮断器
	変圧器
	PMT
	分設変圧器
	将来設備

注)

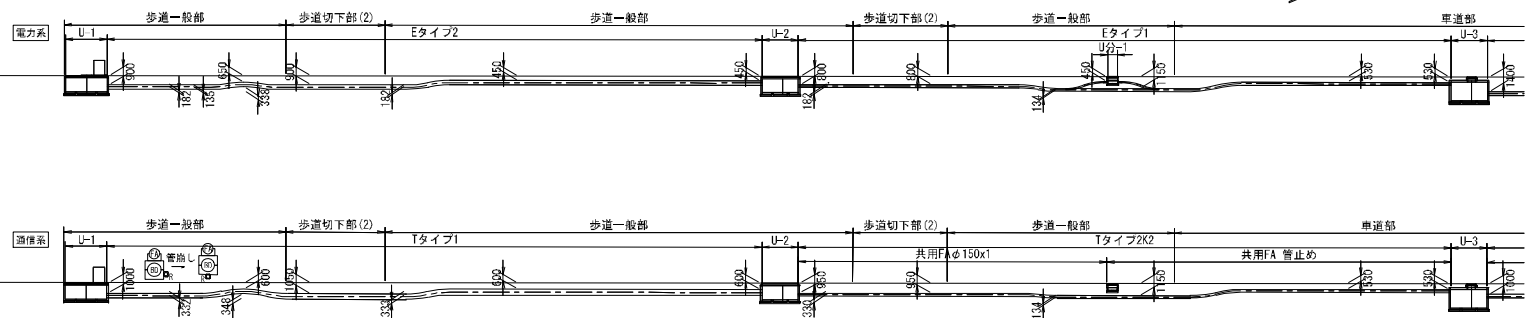
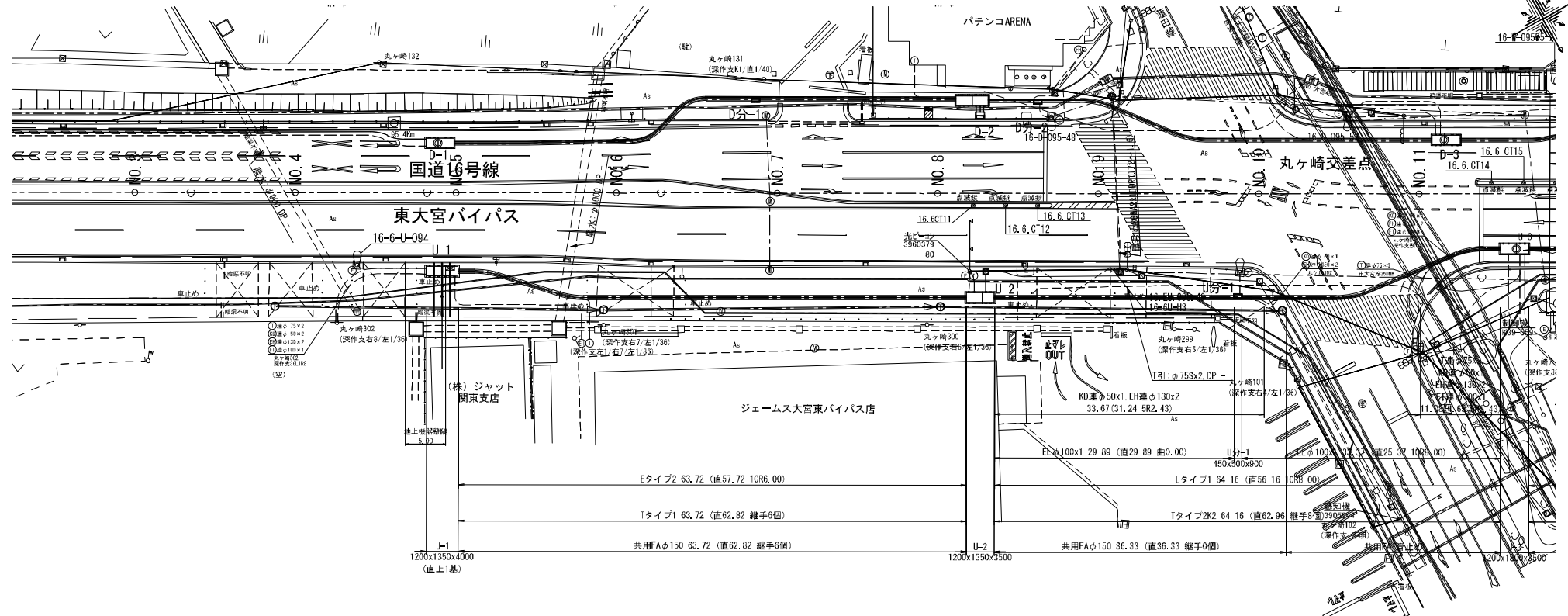
- ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
- ・施工前に特殊部・信号ハンドホール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。
- ・本体内工事で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
- ・本体内工事で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
- ・本体内工事(本管、特殊部)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
- ・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
- ・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>			
工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	平面図(4)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:250	図面番号	6 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

縦断図 (1)

S=1:250



参照・引用実例	
記号	略称
E	東京電力(PG)(株)
T	NTT東日本(株)
KD	KDDI(株)
TO	(株)TOKAIコミュニケーションズ
JIC	(株)JIC(株)埼玉・東日本
D/S	さいたま市下水道局
II	さいたま市水道局
G	東京ガス(株)
情	情報局
K	埼玉県警
R	道路管理署

注)
・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
・施工前に特殊部・信号ハンドホール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。
・本体内工事で「照壁の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
・本体内工事で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
・本体内工事(本管、特殊部)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

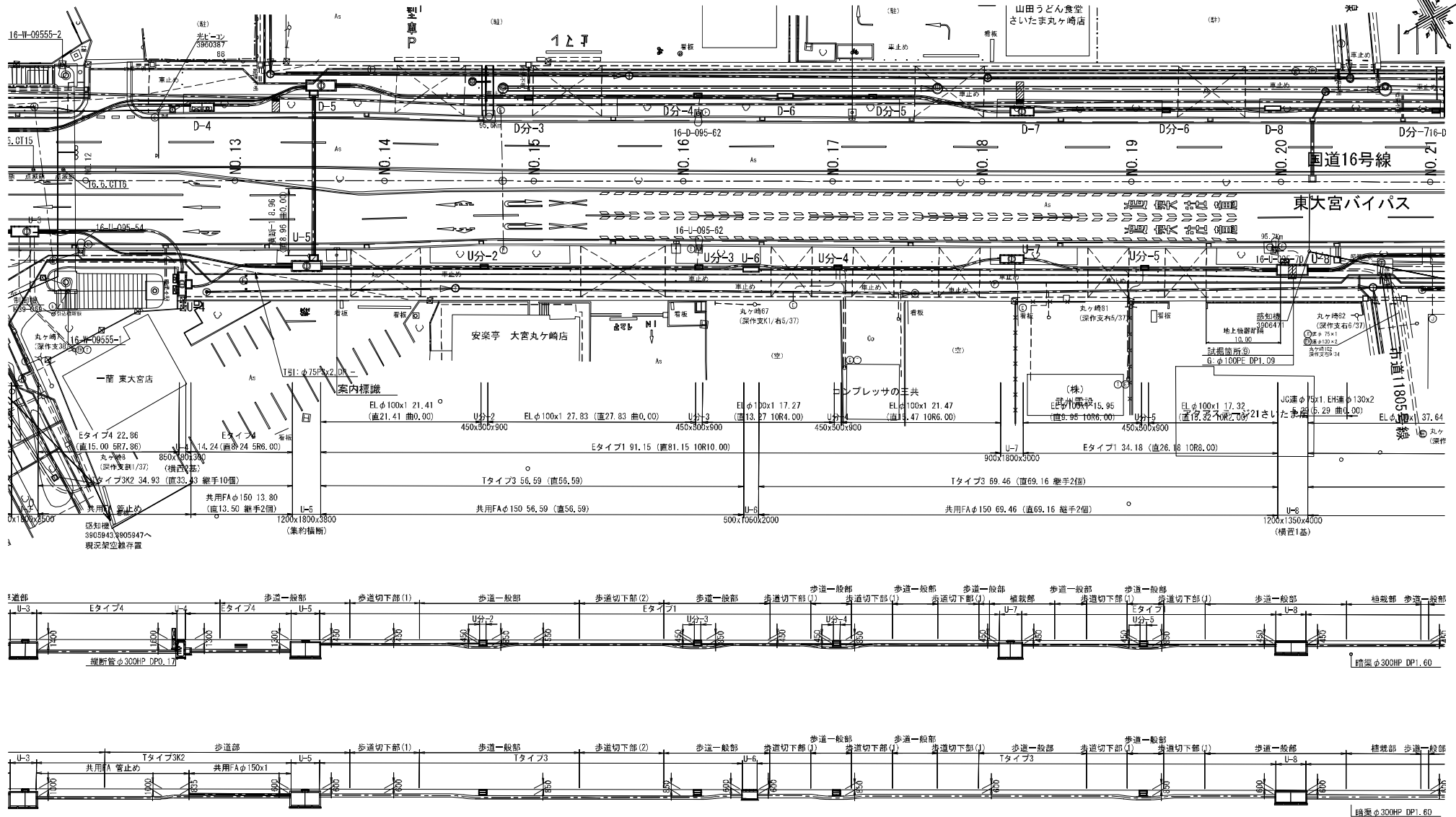
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名 R 8 国道 1 6 号見沼沿外電線共同溝工事	
図面名	縦断図 (1)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1:250 図面番号 7 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

縦断図 (2)

S=1:250



- 注)
- ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
 - ・施工前に特殊部・信号ハンドホール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。
 - ・本体内工事で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更（暫定措置）」を行うこと。
 - ・本体内工事で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
 - ・本体内工事（本管、特殊部）や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
 - ・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
 - ・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

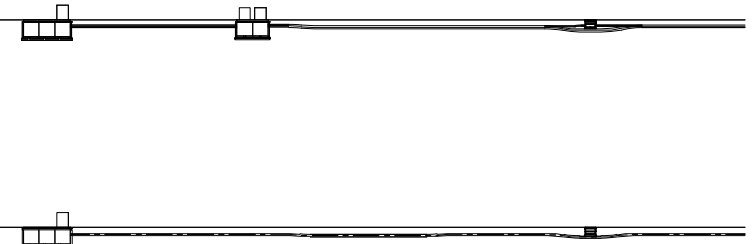
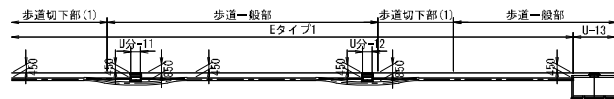
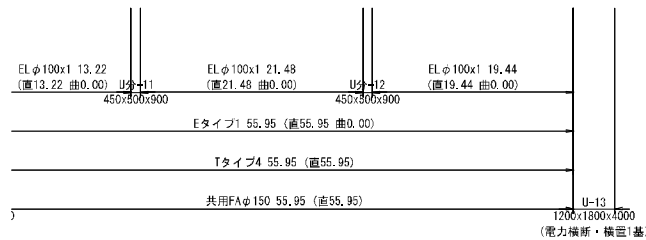
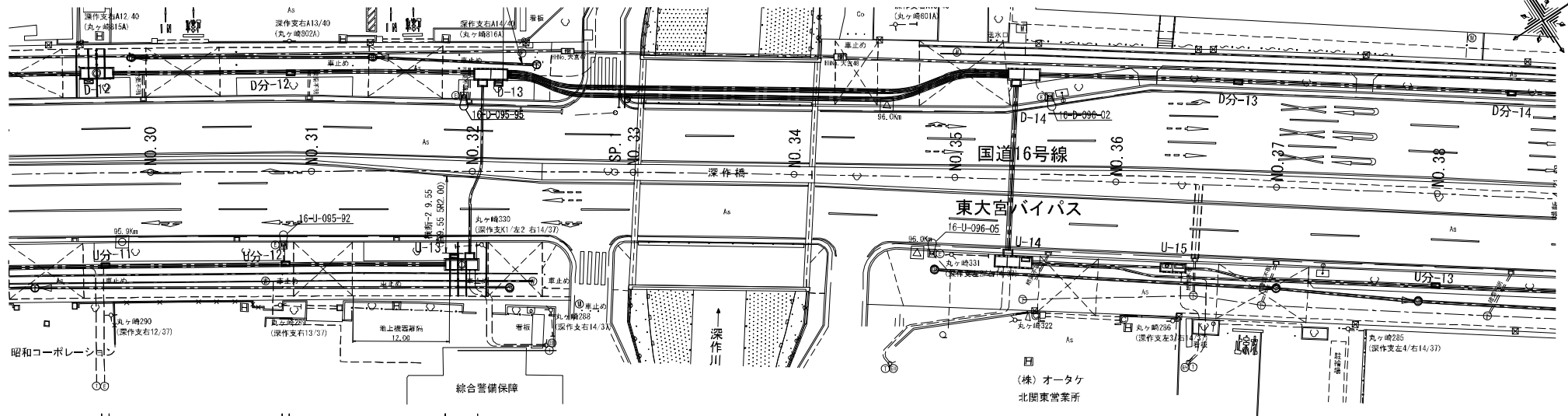
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	縦断図 (2)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:250	図面番号	8 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

縦断図 (4)

S=1:250



- 注)
- ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
 - ・施工前に特殊部・信号ハンドポール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。
 - ・本体内工内で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更（暫定措置）」を行うこと。
 - ・本体内工事で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
 - ・本体内工事（本管、特殊部）や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
 - ・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
 - ・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	縦断図 (4)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:250	図面番号	10 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

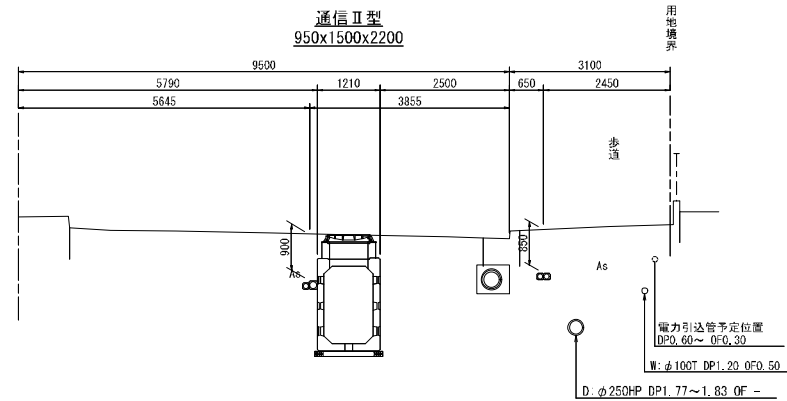
S=1:50



工事名	R8国道16号足沼外電線共同溝工事		
図面名	標準横断図(1)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:50	図番番号	11 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

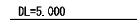
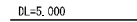
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:50



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:100



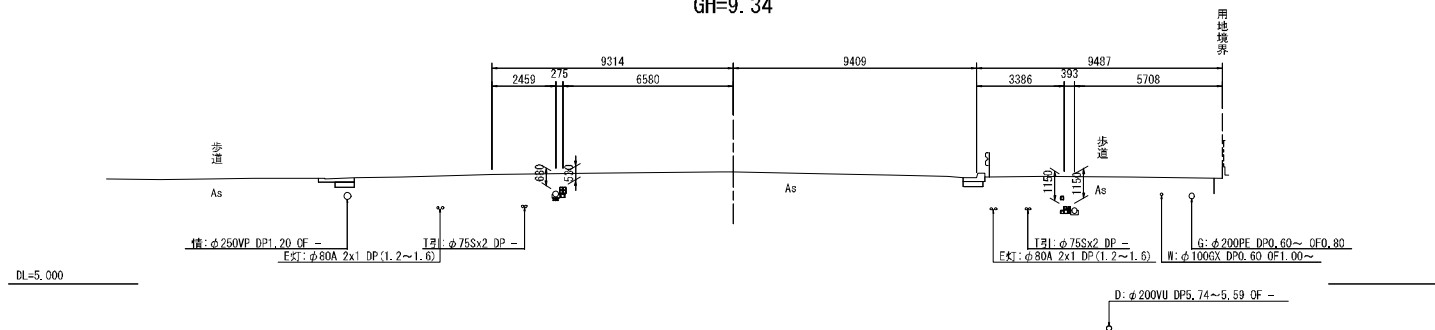
工事名	R8国道16号沿外電線共同溝工事		
図面名	横 所 図 (1)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:100	図面番号	13 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

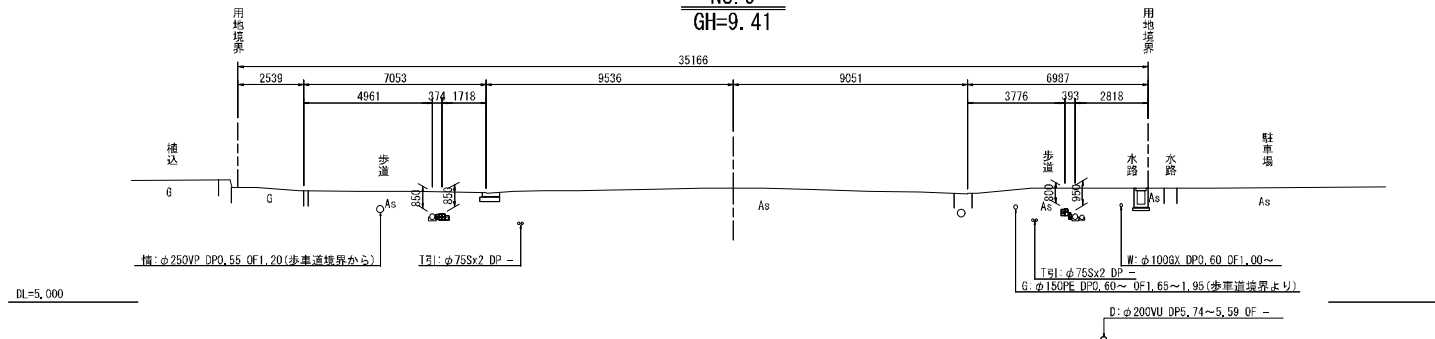
横断図 (2)

S=1:100

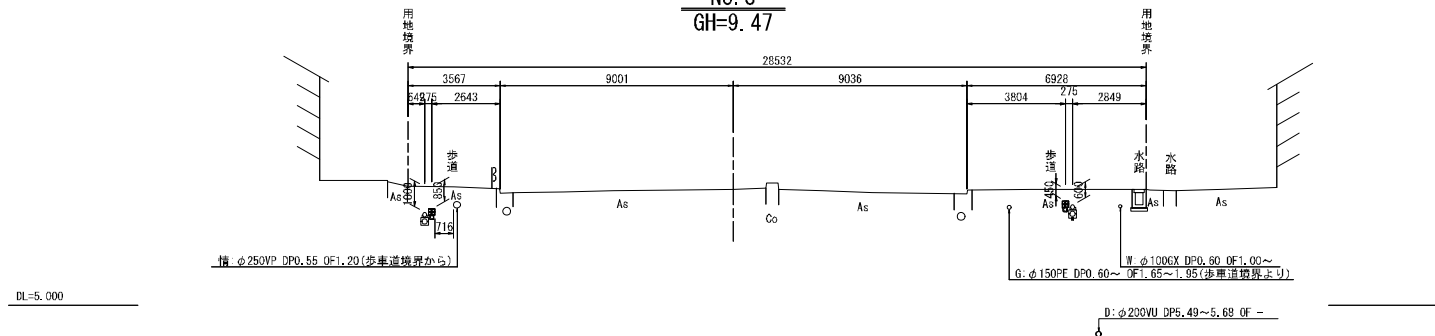
NO. 10
GH=9.34



NO. 9
GH=9.41



NO. 8
GH=9.47



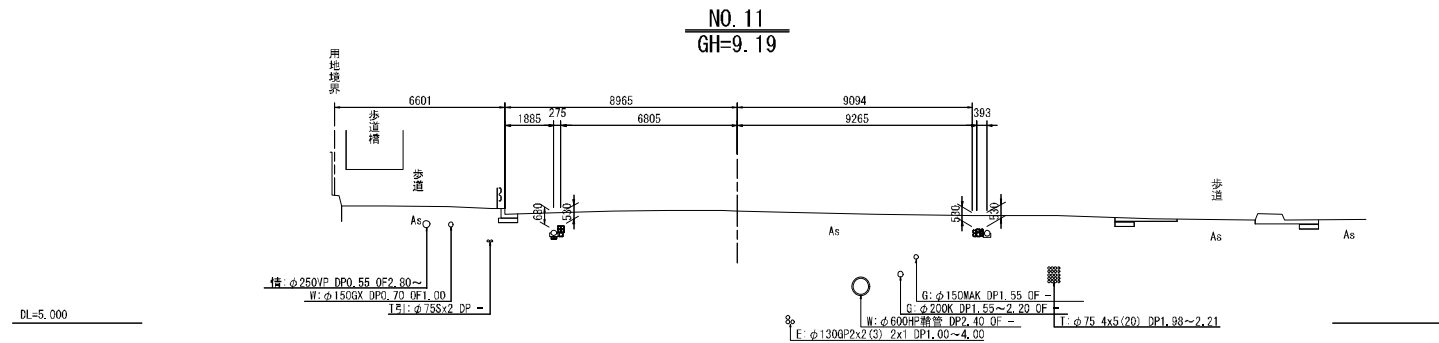
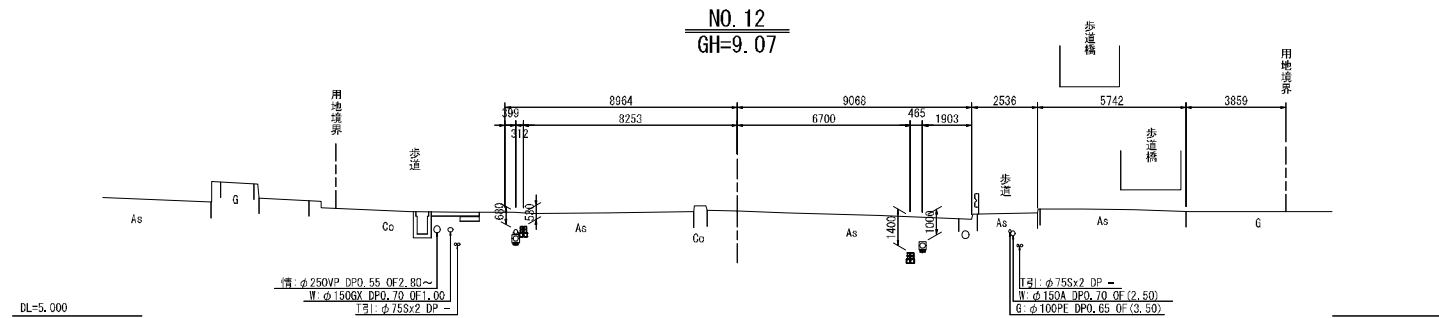
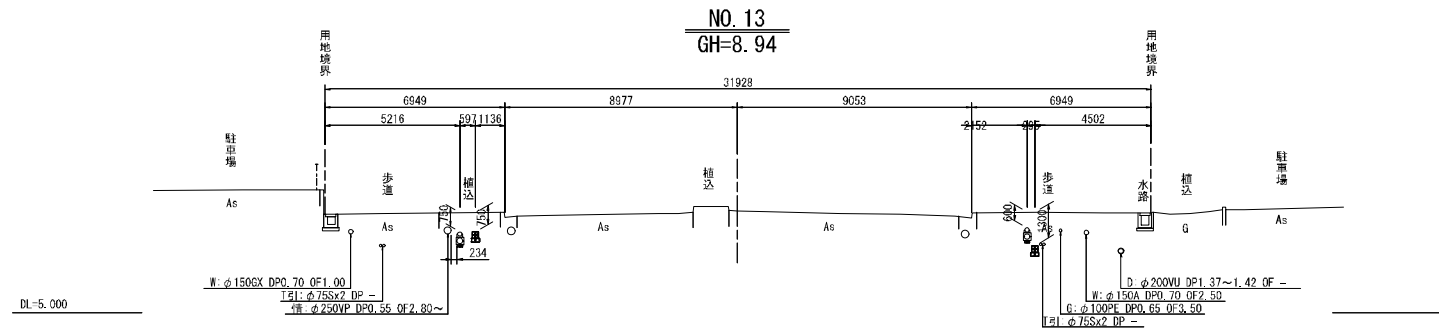
※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	横断図 (2)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:100	図面番号	14 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

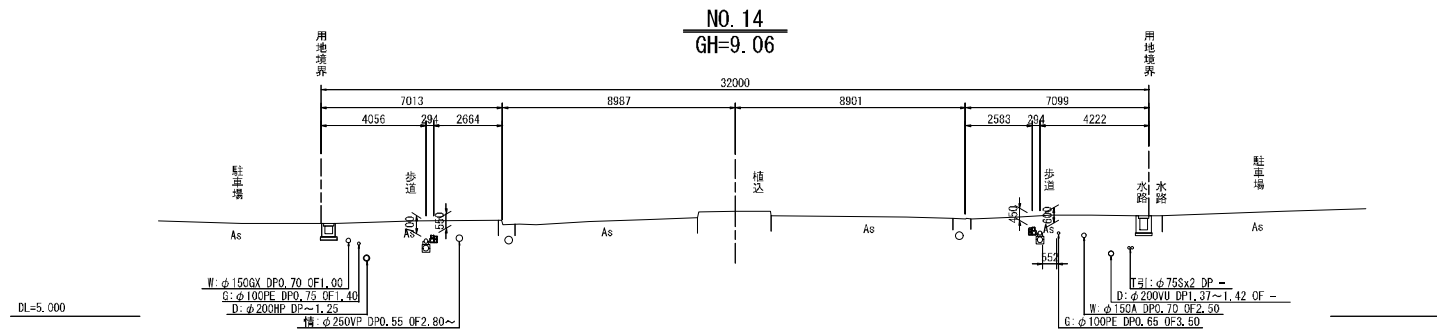
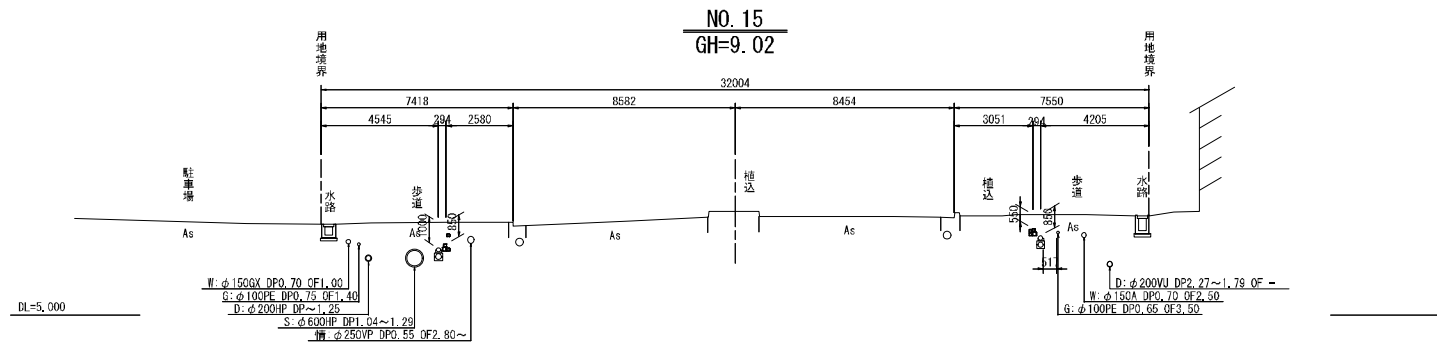
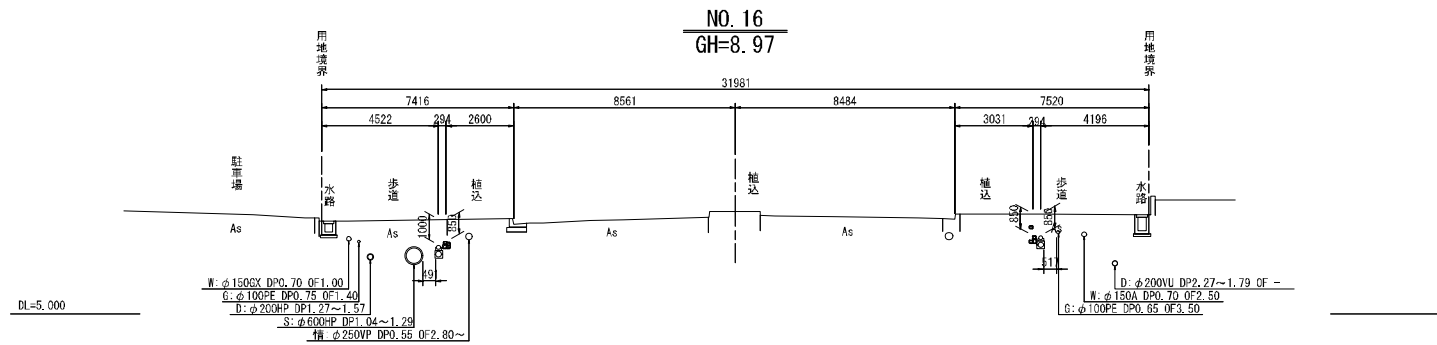
S=1:100



※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

＜見沼地区＞			
工事名	R8 国道 16 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	横 断 図 (3)		
作成年月日	令和	8 年	6 月 日
縮 尺	1:100	図面番号	15 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		



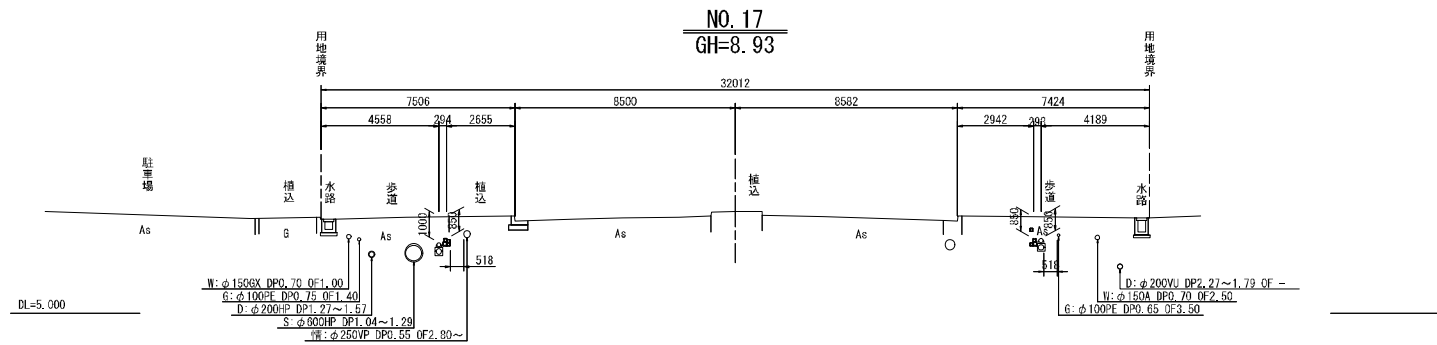
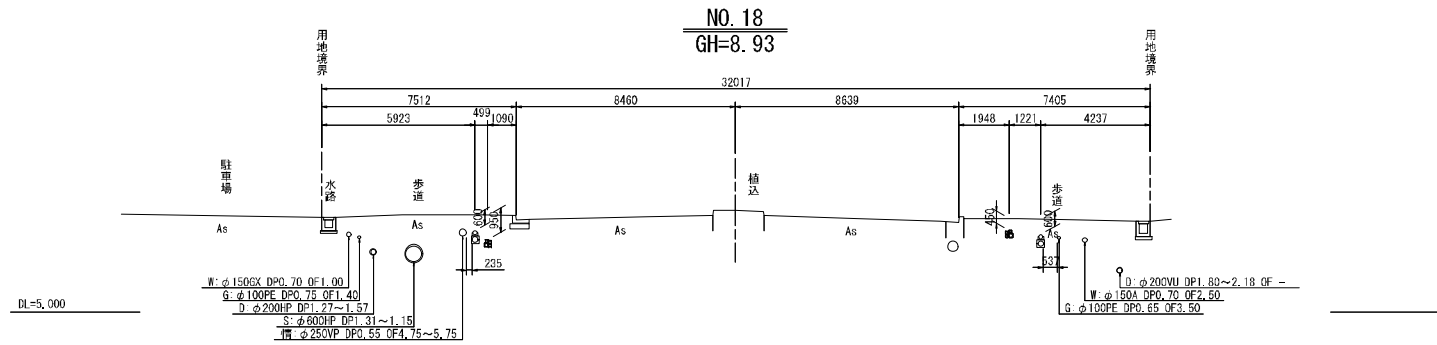
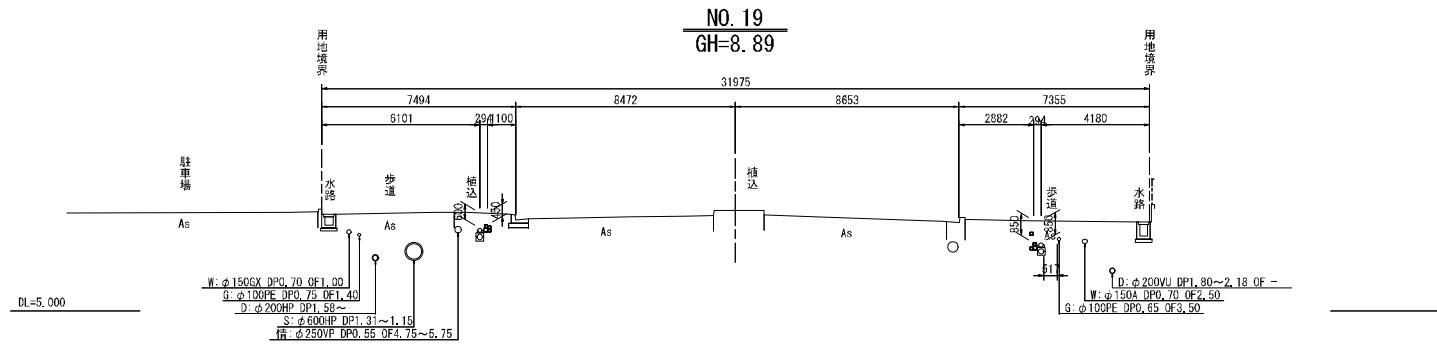
※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

＜見沼地区＞	
工事名	R8 国道 16 号見沼外電線共同溝工事
図面名	横 断 図 (4)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮 尺	1 : 100 図面番号 16 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

横断図 (5)

S=1:100



<見沼地区>

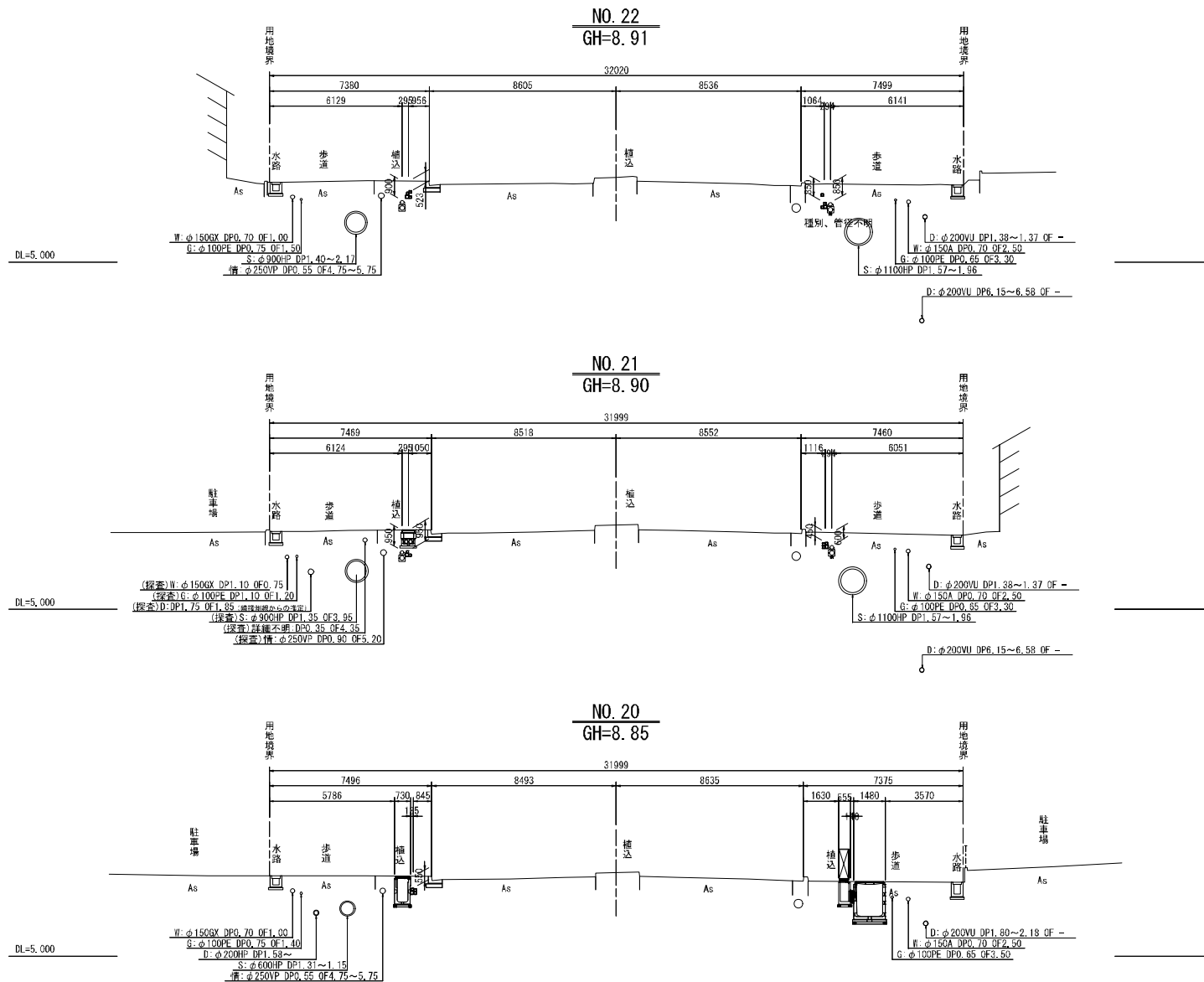
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	横断図 (5)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:100	図面番号	17 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

横断図 (6)

S=1:100



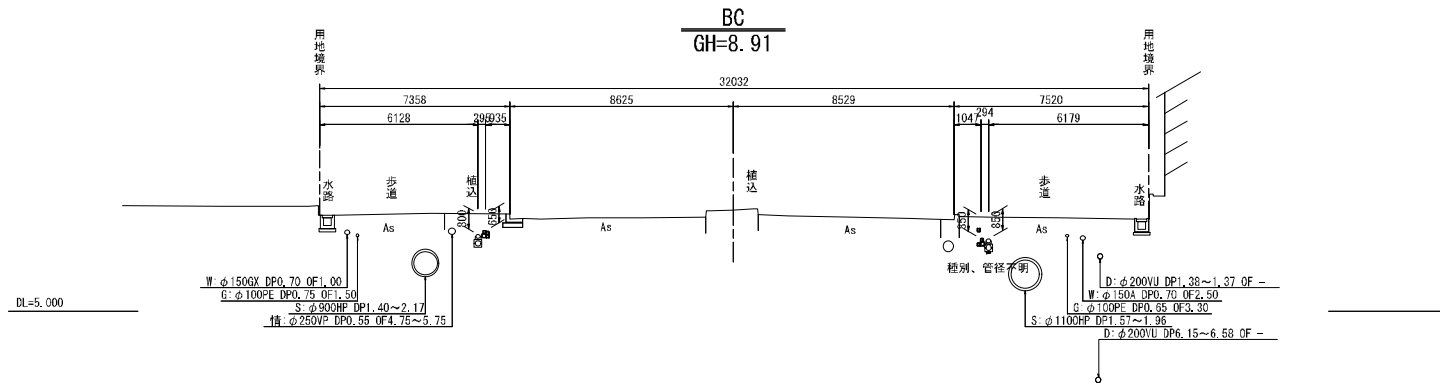
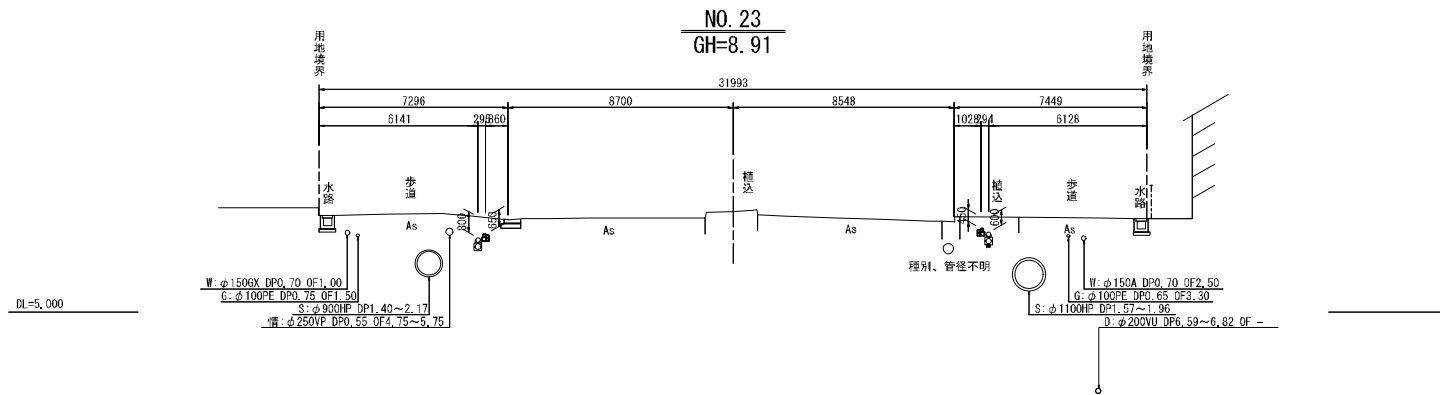
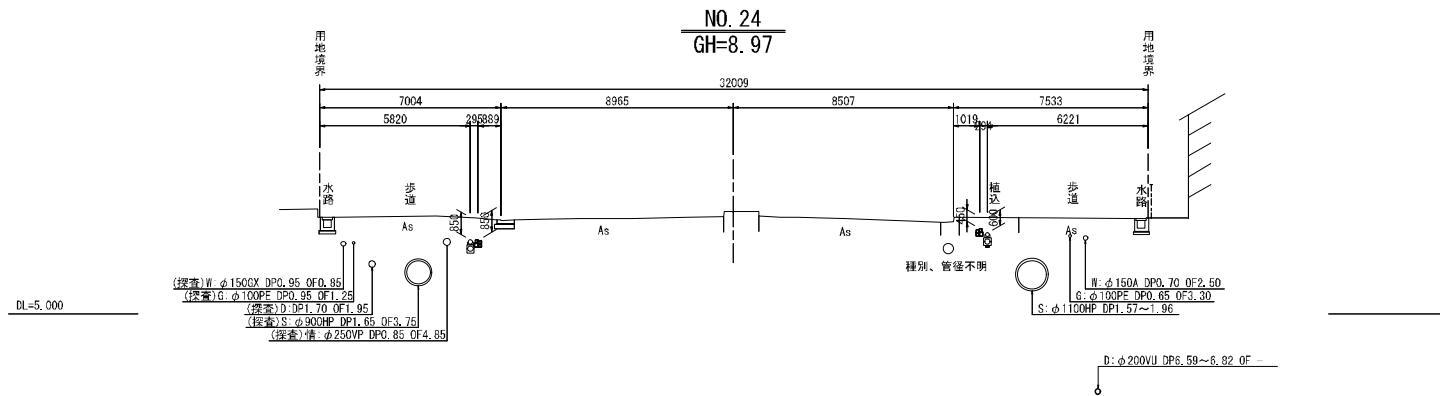
※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>	
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	横断図 (6)
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	1:100 図面番号 16 / 99
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

横断図 (7)

S=1:100



※今回施工は上り線のみ

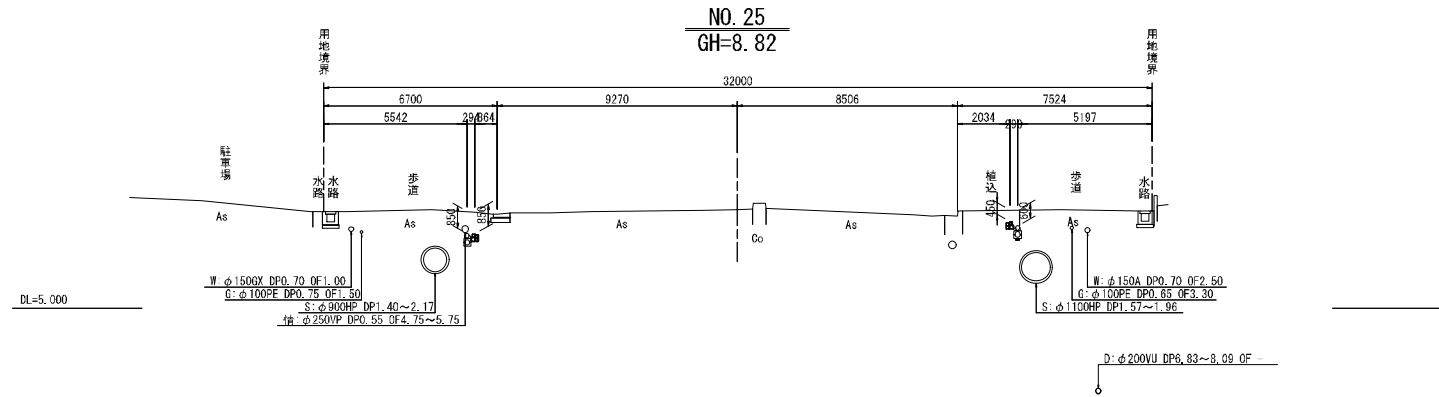
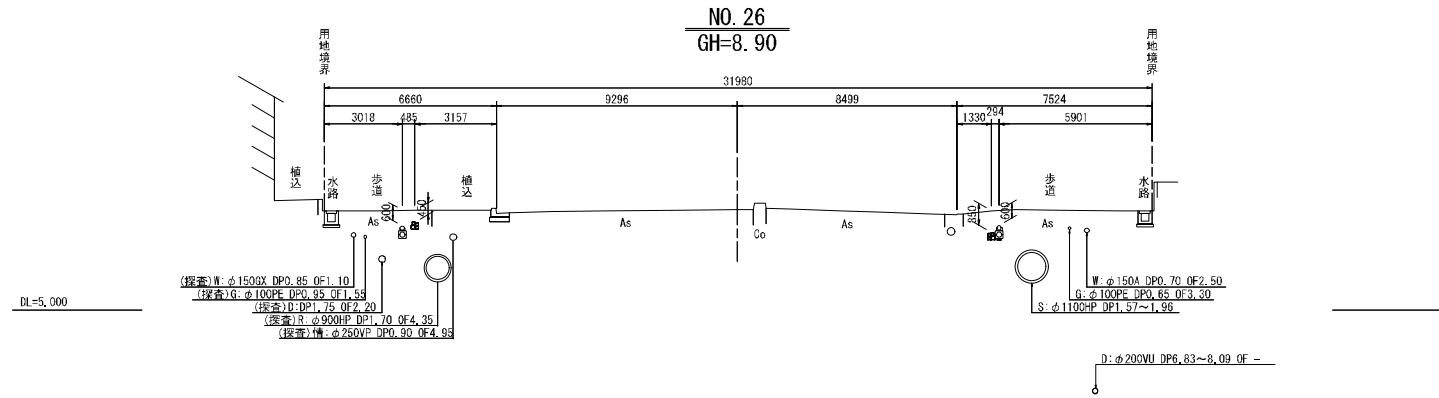
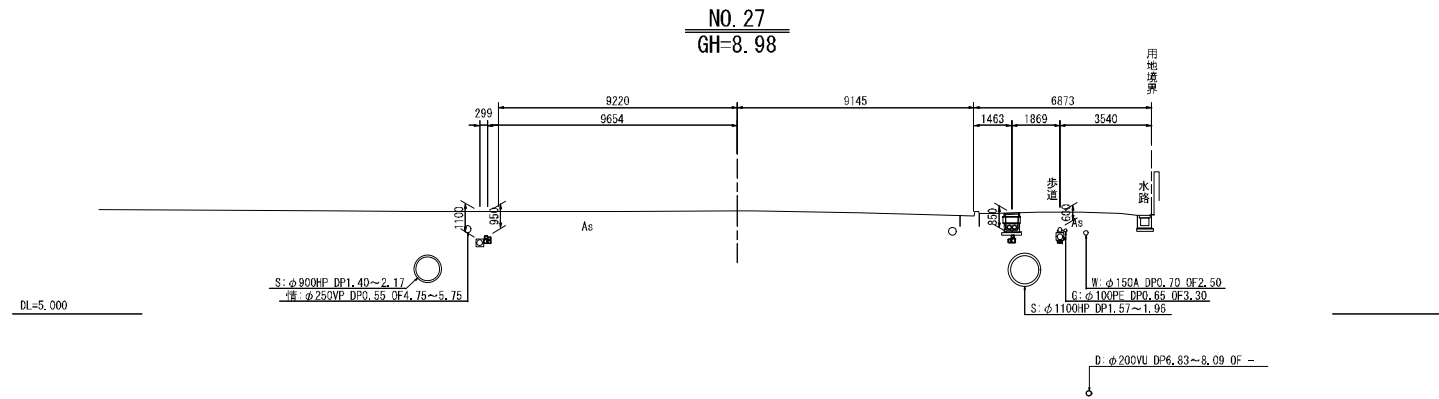
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	横断図 (7)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:100	図面番号	19 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横断図 (8)

S=1:100



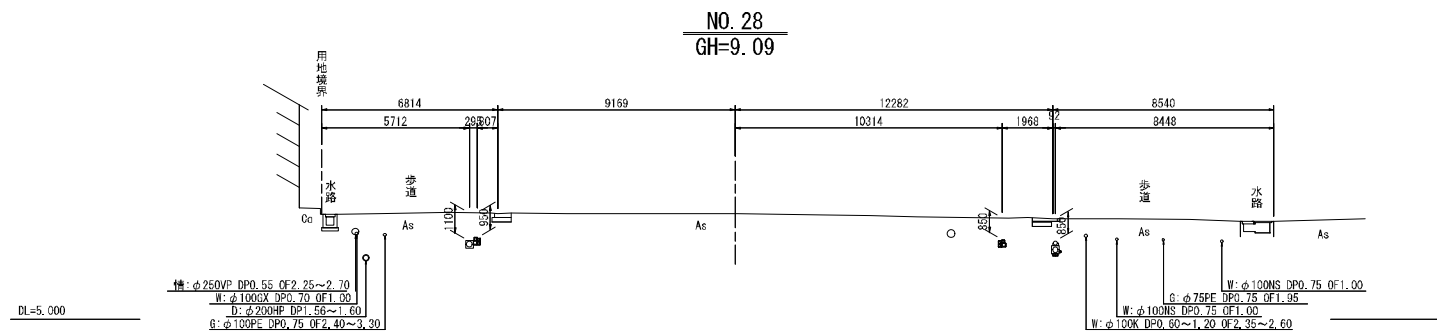
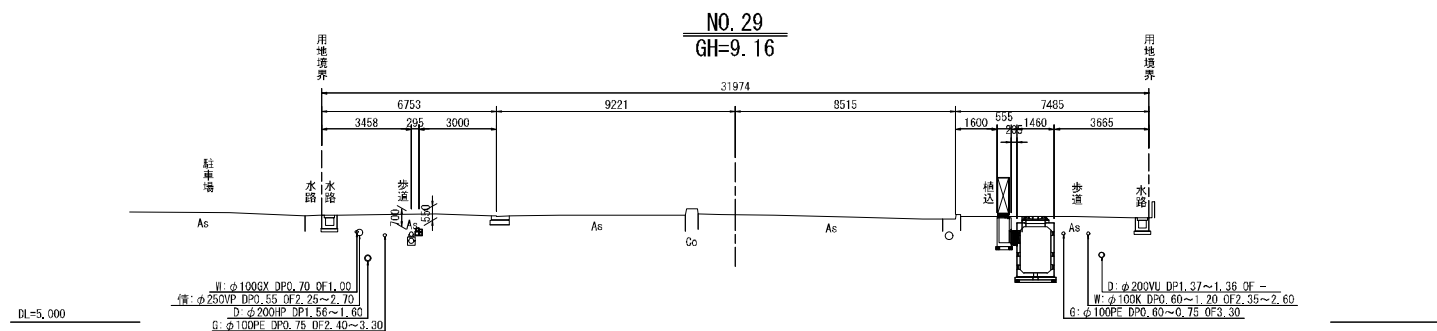
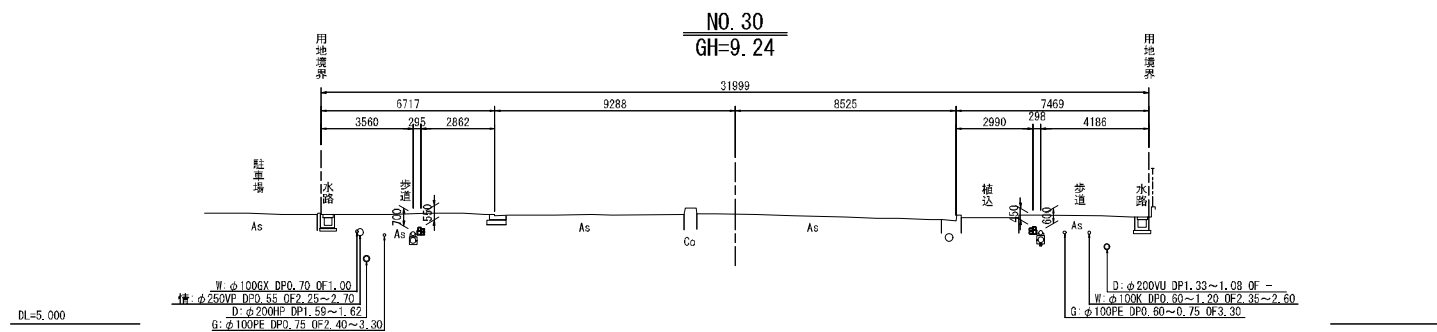
※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>			
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	横断図 (8)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:100	図面番号	20 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

横断図 (9)

S=1:100



<見沼地区>

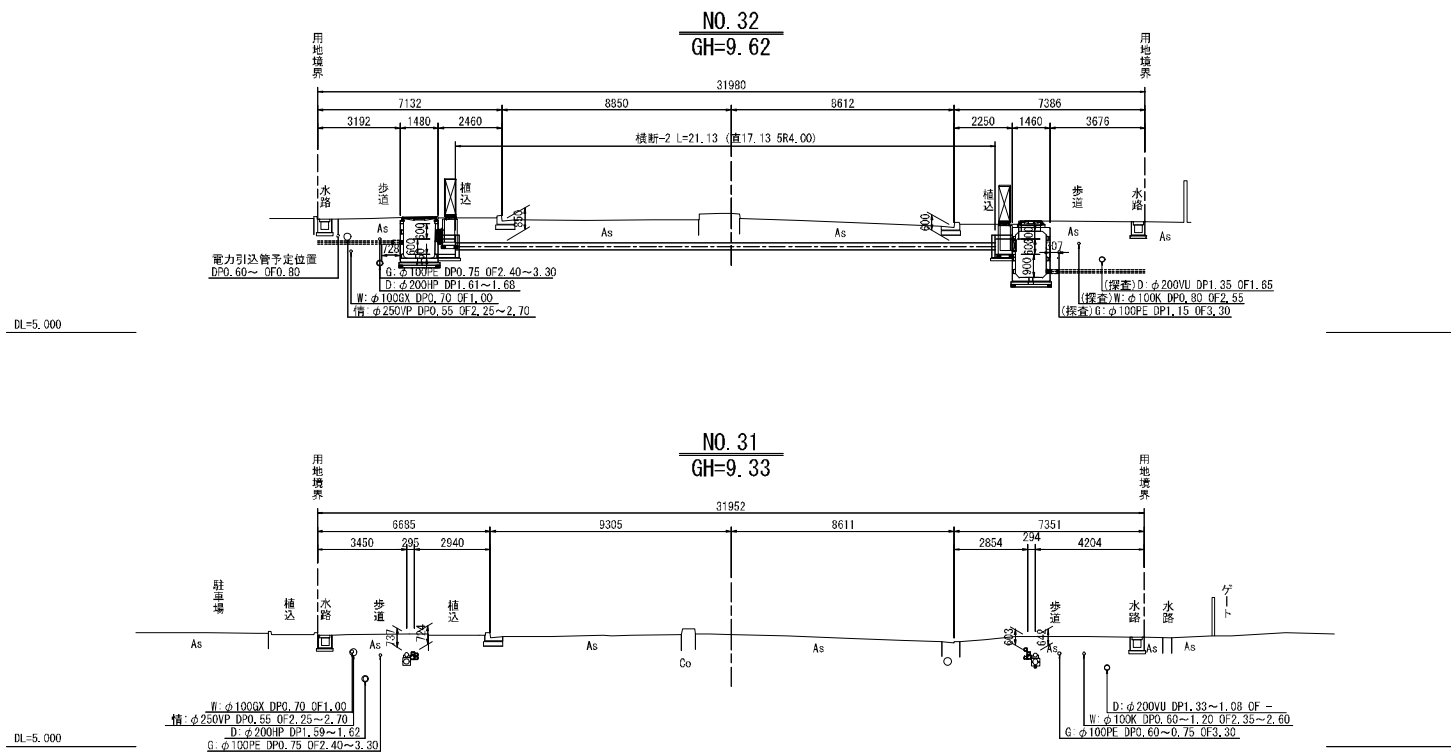
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	横断図 (9)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:100	図面番号	21 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

※今回施工は上り線のみ

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

横断図 (10)

S=1 : 100



※今回施工は上り線のみの

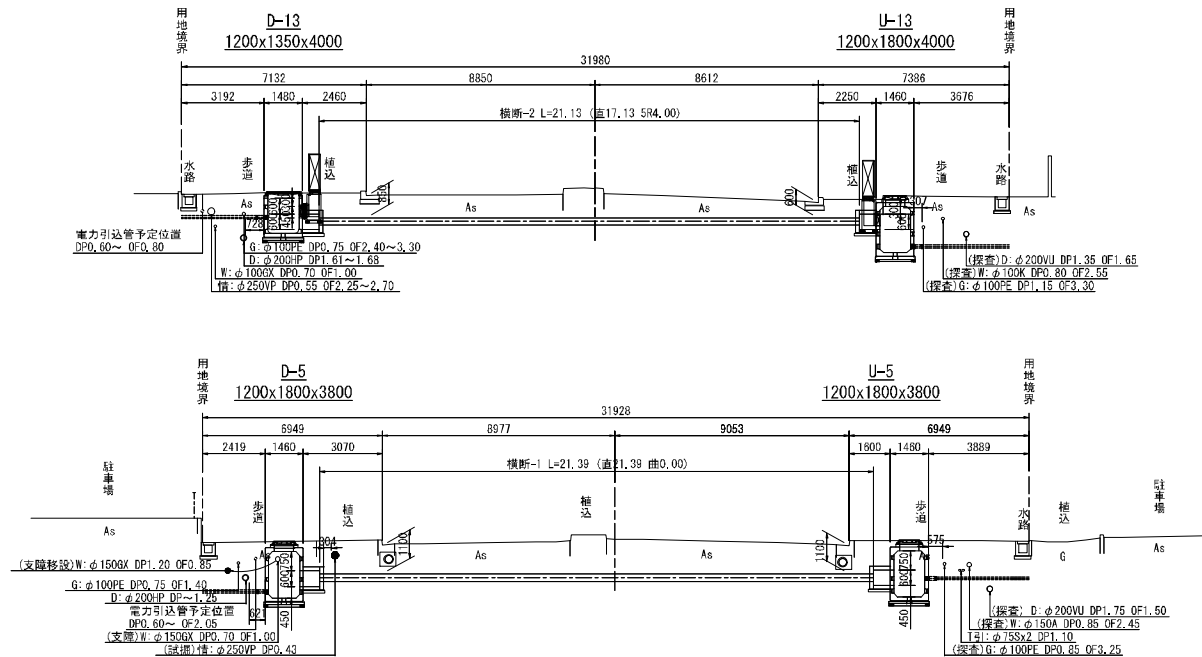
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>	
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	横断図 (10)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1 : 100
図面番号	22 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業省名	国土交通省 大宮国道事務所

特殊部横断図(1)

本線横断部

S=1:100



<見沼地区>

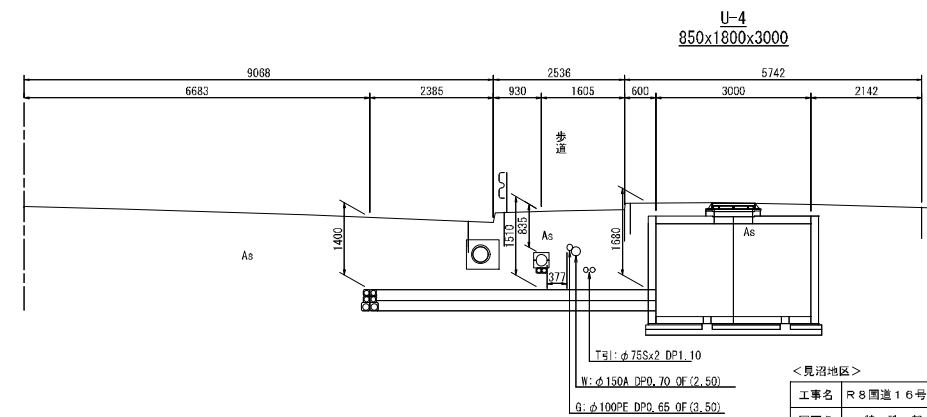
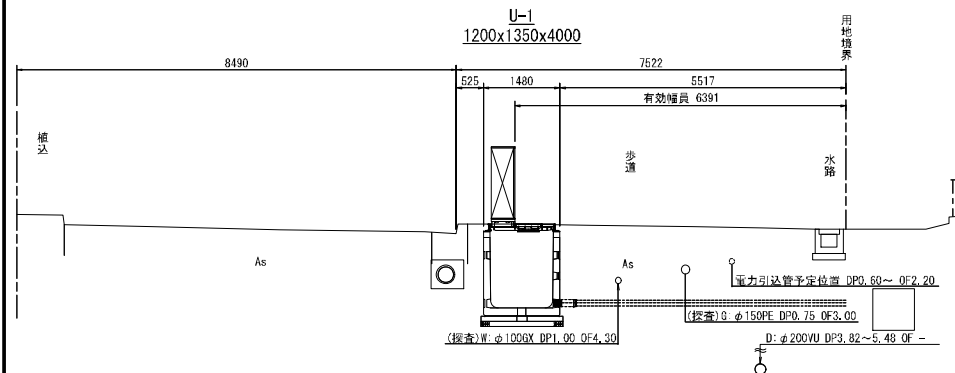
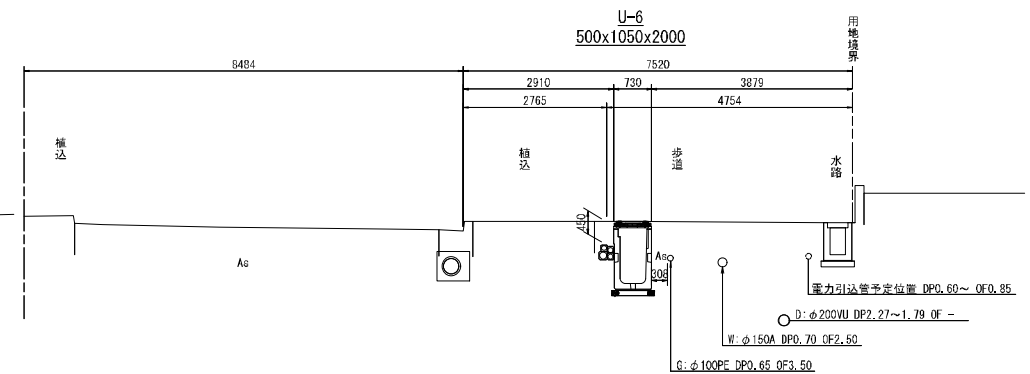
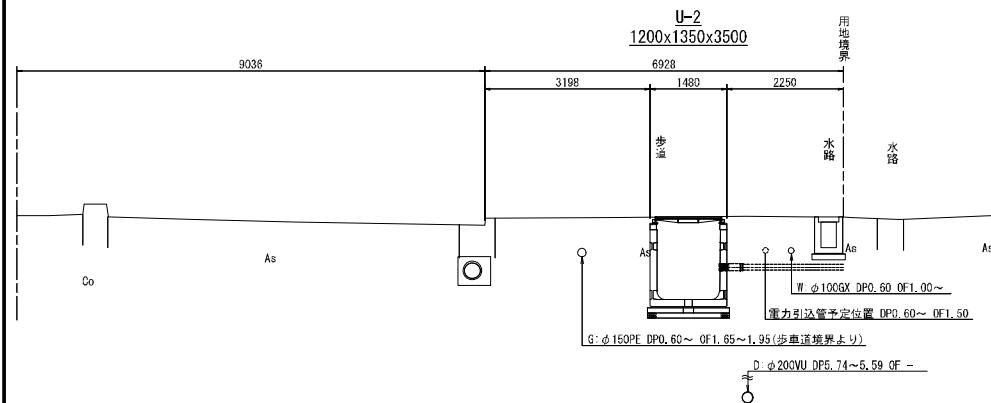
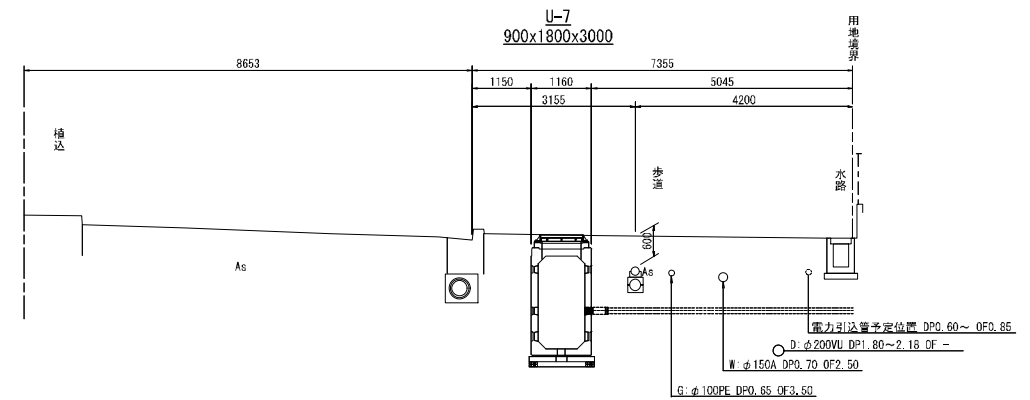
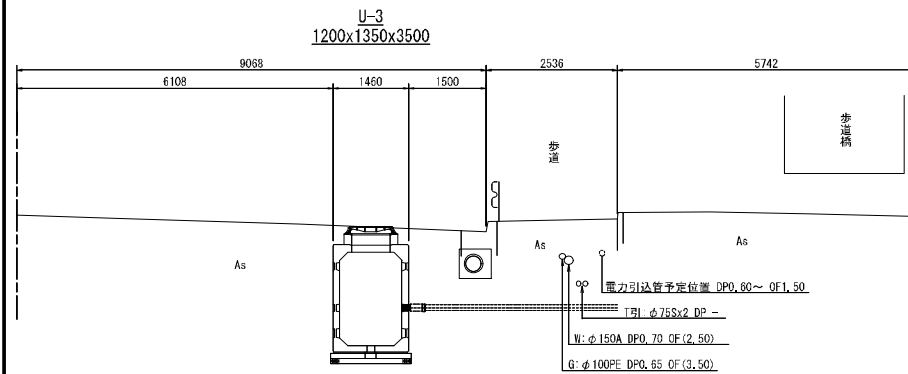
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	特殊部横断図(1)		
作成年月日	令和8年	6月	日
縮尺	1:100	図面番号	23 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注) 電力引込管の敷設位置が変更となる場合は他の埋設物管理者と調整すること

特殊部横断図(2)

S=1:50



<見沼地区>

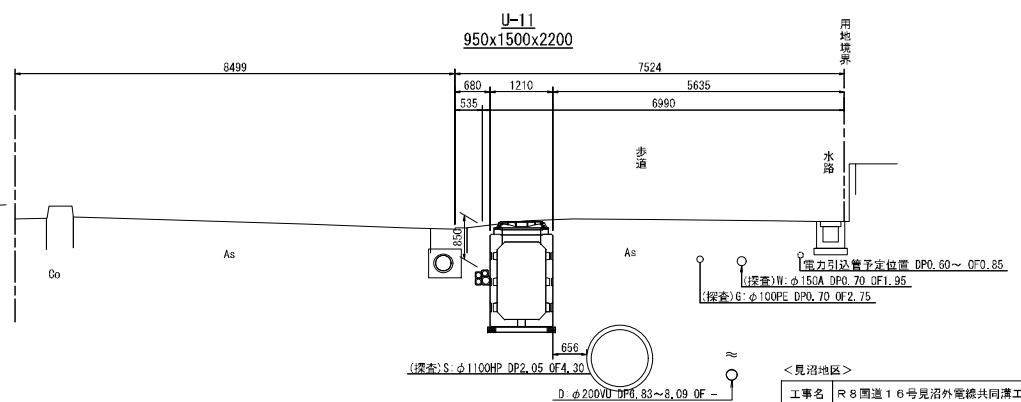
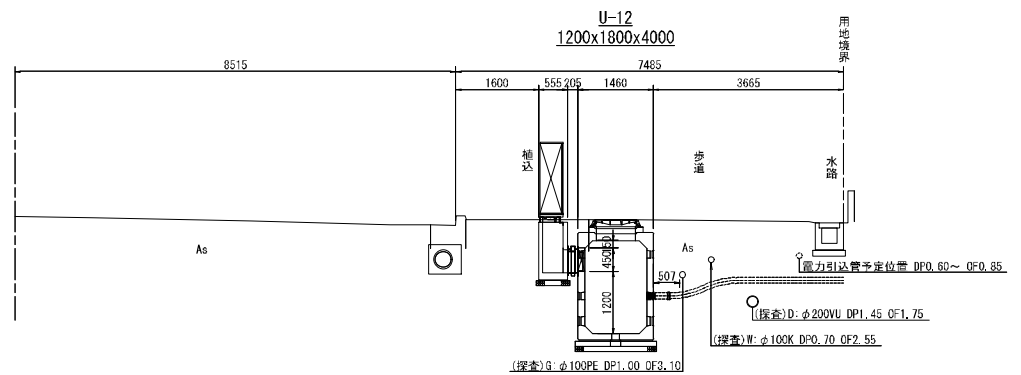
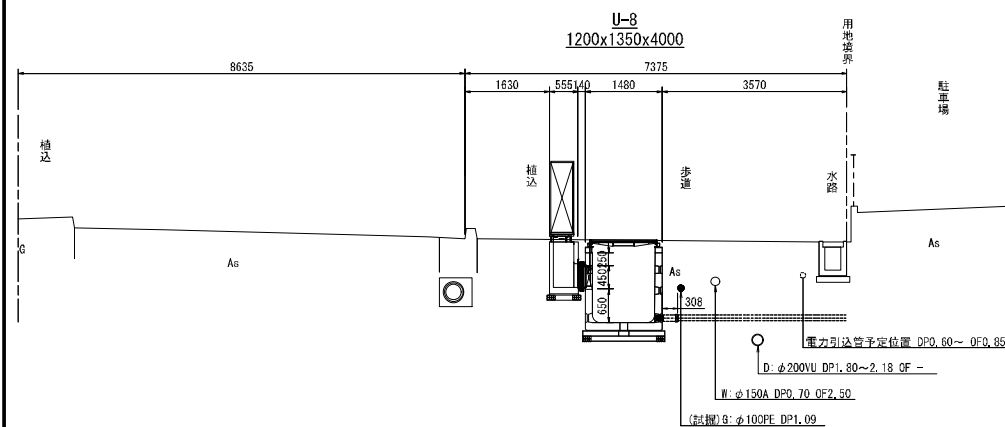
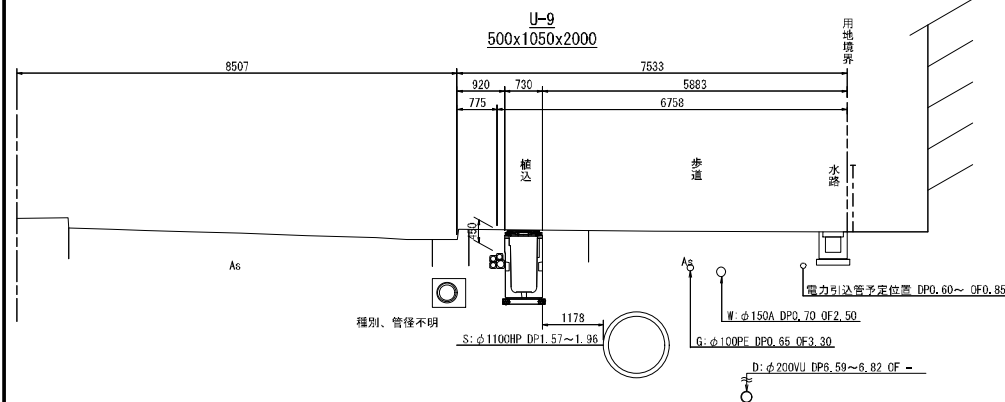
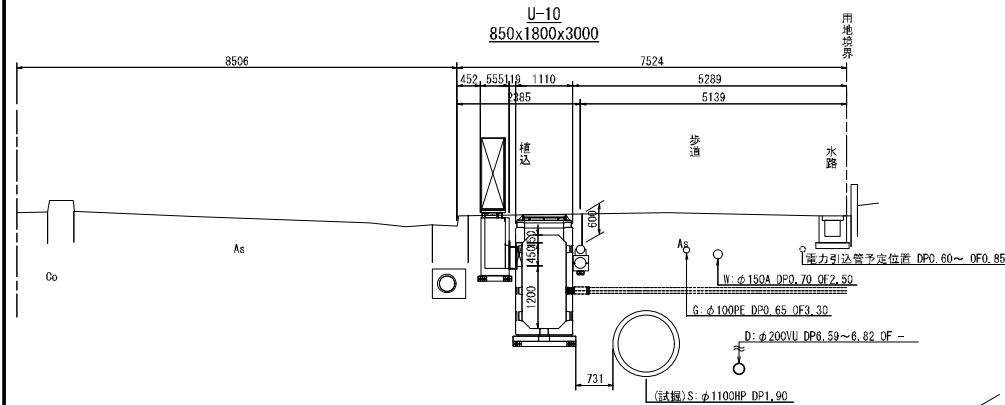
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	特殊部横断図(2)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:50	図面番号	24 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注) 電力引込管の敷設位置が変更となる場合は他の埋設物管理者と調整すること

特殊部横断図(3)

S=1:50



<見沼地区>

工事名	R8 圃道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	特殊部横断図(3)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮尺	1:50	図面番号	25 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注) 電力引込管の敷設位置が変更となる場合は他の埋設物管理者と調整すること

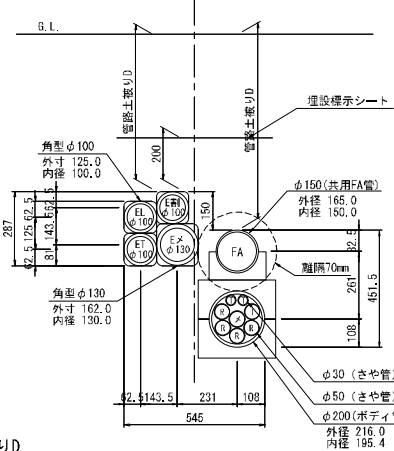
管 路 部 收 容 形 態 図 (1)

管路部標準断面図

U側

車道側

民地側



管路土被りD

單位：mm

管徑	鋼裝標別						
	歩道一般部		歩道入部			車道部	
	下り線	上り線	I 種	II 種		支道	本線
電力/通信半臂	450	450	450	450	550	400	530 900
FA管、80管	電力150	電力150	電力150	電力150	電力150	電力150	電力150

※この表の管路土被りは、舗装種別毎の標準土被りを示したものであるため、乗入部の連続性、埋設物等の現地状況により、表中の管路土被りとは異なることがある。

企業別		ケーブル種別		記 号	ケーブル条数	種別	生ケーブル		【 管 路 部 】				【 特 殊 部 】 分岐部・接続部		占用位置	参入方式	備 考			
							径：D (mm)	最小曲げ半径 (mm)	管 種	呼び径 (mm)	条 数	最小曲げ半径 (導 通) (mm)	棚 数	棚の位置						
①	道路管理者	大宮国道事務所		R・予	必要数	弱電	—	—	ボディ管内 SU	φ50 φ30	2または4 0	5.0	1	民地側 (車道側)	ボディ管	共用FA方式	情報BOX整備済 情報BOX未整備 φ50×2 φ50×4			
②	一般電気事業者 (東京電力FG)	高圧	幹 線	E H	1～4	高圧	86.0	826	角型FEP	φ100,130 φ100	1～4 1	5.0	5	車道側	管路部	単管路方式	最大径間長100mm 特殊部内空高さは1300mm以上希望			
			割 管	E 割	1		52.0	416			1									
		低圧	幹 線	E L	1	低圧	64.0	614			1									
			保安通信	幹 線	E T	1～4	光・メタル	9.5～35			500							1		
		運 系	E H	2～4	高圧	79.0	758	SUDⅡ-VP	φ100 φ130	2～4										
			E T	1～4	光・メタル	9.5～35	500		φ100 φ130	1										
		引 込	E H	1	高圧	66.0	634	L F P	φ130	1										
			E L	1	低圧	52.0	499		φ80	1										
		電力メンテナンス	E M	1	—	—	—	角型FEP	φ100 φ130	1										
③	電気通信事業者	N T T	T	1	メタル	33.0	60	ボディ管内 SU	φ50 φ30	1 2	10.0 (最小5.0)	3	民地側	ボディ管	共用FA方式	メンテナンス管全線必要 最大径間長70mm ※表中の条数にはメンテナンス管を含まない				
				2	光	10.5	300		φ30	2				単管路						
				引 込	幹 線 と 同 じ												F A管			
					1	光・メタル	—	—	F A管 V P	φ150				1						
④		K D D I	連 系	K D	1～2	光	15.0	450	ボディ管内 SU	φ30	1～2	5.0	1	民地側	ボディ管	共用FA方式	メンテナンス管要望なし 特殊部の間隔は200mm以上希望 特殊部棚は上から2段目希望・共用不可 引込管の共用不可 最大径間長150mm			
					1～2	光	15.0	450	P V	φ50	1～2				単管路					
					引 込	1	光	12.0	450	F A管 V P	φ150				1			F A管		
						⑤	ジェイコム	連 系	J C	1	同軸				15.3			306	ボディ管内 SU	φ30
1～2		同軸	15.3	306	P V	φ75				1～2										
2	光	21.0	420																	
引 込	1	同軸	7.7	100	F A管 V P	φ150				1	1.0	F A管								
⑥	通信メンテナンス	幹 線	M	1	—	—	—	ボディ管内 SU	φ50	1 (共用)	—	—	—	ボディ管	共用FA方式	NTT、ジェイコム要望 (各社の参画区間内)				
⑦	埼玉県警	幹 線	K	1～2	弱電	—	—	角型FEP	φ50,75	1～2	5.0	1 (道路管理者と共用)	民地側 (車道側)	単管路	共用FA方式					

＜見沼地区＞

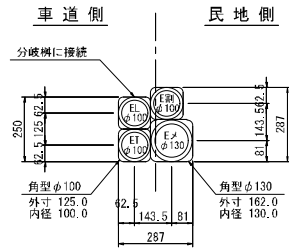
工事名	R8 国道 16 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	管 路 部 収 容 形 態 図 (1)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	—	図面番号	26 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国造事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

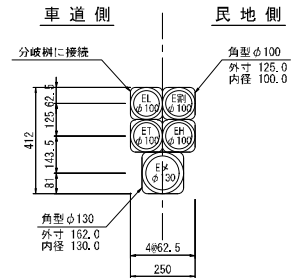
S=1:10

電力管

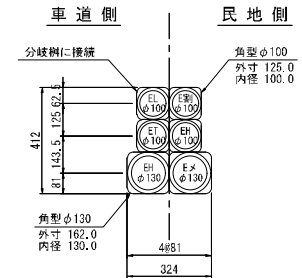
Eタイプ^o1



Eタイプ2



Eタイプ4



Eタイプ1

参画企業名	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	導管	
				φ130	φ100
東京電力PG	E割	高圧（割）（OV160 52mm）	1条		1
	EL	低圧（CVQ250 64mm）	1条		1
	ET	保安通信（光・F/M 9.5～35mm）	1～4条		1
	Eメ	---	1条	1	

Eタイプ2

参画企業名	記号	収容ケーブル	ケーブル本数	管径	
				φ130	φ100
東京電力PG	EH	高圧 (CVT150 66mm)	1条		1
	E割	高圧 (割) (CVT60 52mm)	1条		1
	EL	低圧 (GV250 54mm)	1条		1
	ET	保友温槽 (洗・押 10~35mm)	1~4条		1
	Eメ	—	1条	1	

Eタイプ4

参照全業者	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	導管	
				φ130	φ100
東京電力PG	EH	高圧 (CVI325 86mm)	1条		
	EH	高圧 (CVI150 66mm)	1条		1
	E割	高圧 (割) (CVI60 52mm)	1条		1
	EL	低圧 (CVG250 64mm)	1条		1
	ET	受変電機 (丸・片 9.5~35mm)	1~4条		1
	E	—	1条	1	

<見沼地区>

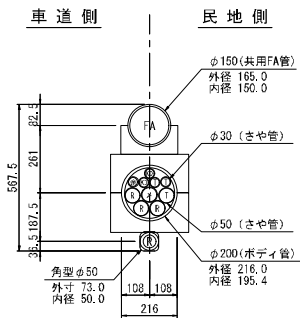
工事名	R8 国道 16 号見沼外環線共同溝工事		
図面名	管 路 部 収 容 形 態 図 (2)		
作成年月日	令和	8 年	6 月 日
縮 尺	1:10	図面番号	27 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

管路部収容形態図(3) S=1:10

通信管
U側

Tタイプ1

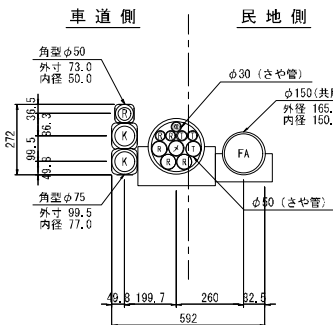


ボディ管内さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



Tタイプ2K2

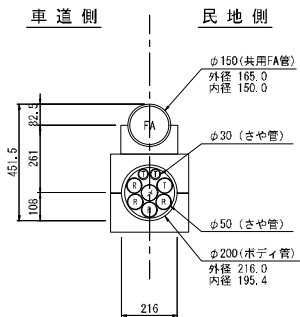


ボディ管内さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側

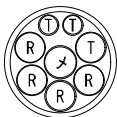


Tタイプ3

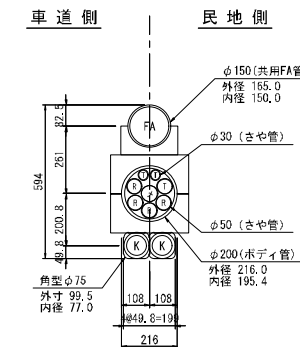


ボディ管内さや管
φ200(φ50×6, φ30×2)

車道側 民地側

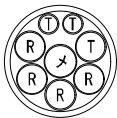


Tタイプ3K2



ボディ管内さや管
φ200(φ50×6, φ30×2)

車道側 民地側



※Tタイプ3K2の さや管構成はTタイプ3に同じ。

Tタイプ1

参画企業者	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	ボディ管φ200		側管		
				φ50	φ30	φ150	φ75	φ50
N T T	T	光纤 4-400P 33.0mm	1条	1				
K D D 1	KD	光 40SM 10.5mm	2条		2			
通信マシナ	メ	MTT使用	-	1				
道路管理者	R	-	-	3				1
余割管	余	-	-		1			
共用F A管	FA	-	-			1		
ボディ管内さや管合計				5	5			

Tタイプ2K2

※Tタイプ2K2には信号機用管路(埼玉県管)を設ける。

参画企業者	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	ボディ管φ200		側管		
				φ50	φ30	φ150	φ75	φ50
N T T	T	光纤 4-400P 33.0mm	1条	1				
K D D 1	KD	光 40SM 10.5mm	2条		2			
通信マシナ	メ	MTT使用	-	1				
埼玉県管	K	-	-				2 ※K2	
道路管理者	R	-	-	3				1
余割管	余	-	-		2			
共用F A管	FA	-	-			1		
ボディ管内さや管合計				5	5			

Tタイプ3、3K2

※Tタイプ3K2には信号機用管路(埼玉県管)を設ける。

参画企業者	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	ボディ管φ200		側管		
				φ50	φ30	φ150	φ75	φ50
N T T	T	光纤 4-400P 33.0mm	1条	1				
K D D 1	KD	光 40SM 10.5mm	2条		2			
通信マシナ	メ	MTT使用	-	1				
埼玉県管	K	-	-				2 ※K2	1 ※K1
道路管理者	R	-	-	4				
共用F A管	FA	-	-			1		
ボディ管内さや管合計				6	2			

<見沼地区>

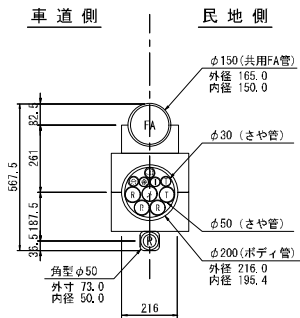
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事			
図面名	管路部収容形態図(3)			
作成年月日	令和 8 年	6 月	日	
縮 尺	1:10	図面番号	28 / 99	
会社名	株式会社 長 大			
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所			

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

管路部収容形態図(4) S=1:10

通信管
U側

Tタイプ

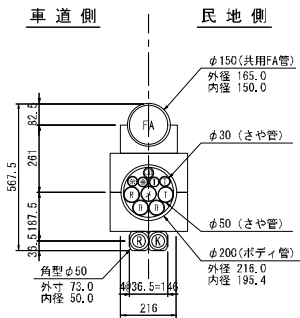


ボディ管内さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



Tタイプ4K1



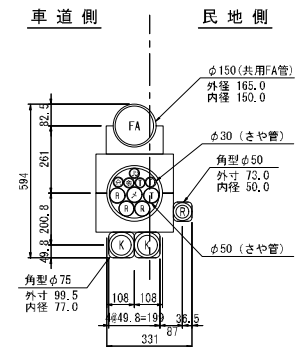
ボディ管内さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



※Tタイプ4K1の さや管構成はTタイプ4に同じ。

Tタイプ4K2



ボディ管内さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



※Tタイプ4K1の さや管構成はTタイプ4に同じ。

Tタイプ4, 4K1, 4K2 ※Tタイプ4K1および4K2には信号機用管路(埼玉県警)を設ける。

参画企業名	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	ボディ管φ200		配管		φ50
				φ50	φ30	φ150	φ75	
NTT	T	フibre 4-400P 33.0mm	1条	1				
		光 40SM 10.5mm	2条		2			
ジェイコム	JC	同軸 12C 15.3mm	1条		1			
通信パナソニック	メ	NTT, JCOM使用	-	1				
埼玉県警	K	-	-				2 ※K2	1 ※K1 2 ※K2-2
道路管理者	R	-	-	3				1
余剰管	余	-	-		2			
共用FA管	FA	-	-			1		
ボディ管内さや管合計				5	5			

<見沼地区>

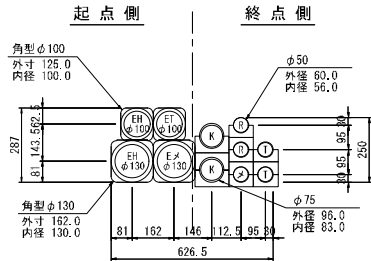
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事			
図面名	管路部収容形態図(4)			
作成年月日	令和	8年	6月	日
縮尺	1:10	図面番号	29	/ 99
会社名	株式会社 長 大			
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所			

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

管 路 部 収 容 形 態 図 (5) S=1:10

横 断 部

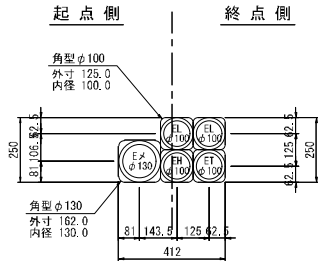
横断-1



横断-1

参画企業者	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	単管			
				φ130	φ100	φ75	φ50
東京電力PG	EH	高圧 (CVT150 86mm)	1条		1		
	EH	高圧 (CVT325 86mm)	1条	1			
	ET	保安通信 (光・径φ 9.5~35mm)	1~4条		1		
	Eメ	—	1条	1			
N T T	T	径φ 4-400P 33.0mm	1条				1
		光 100SW 12.5mm	1条				1
通信メカニクス	メ	NTT使用	-				1
埼玉県警	K	-	-			2	
道路管理者	R	-	-				2

横断-2



横断-2

参画企業者	記号	収容ケーブル	ケーブル条数	単管			
				φ130	φ100	φ75	φ50
東京電力PG	EH	高圧 (CVT150 86mm)	1条		1		
	EL	低圧 (CVQ250 64mm)	2条		2		
	ET	保安通信 (光・径φ 9.5~35mm)	1~4条		1		
	Eメ	—	1条	1			

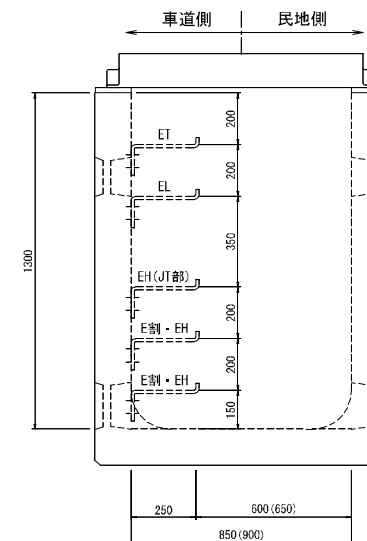
<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	管 路 部 収 容 形 態 図 (5)		
作成年月日	令和 8 年 6 月	日	
縮 尺	1:10	図面番号	30 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:10

電力Ⅱ型
850 (900) × 1300型



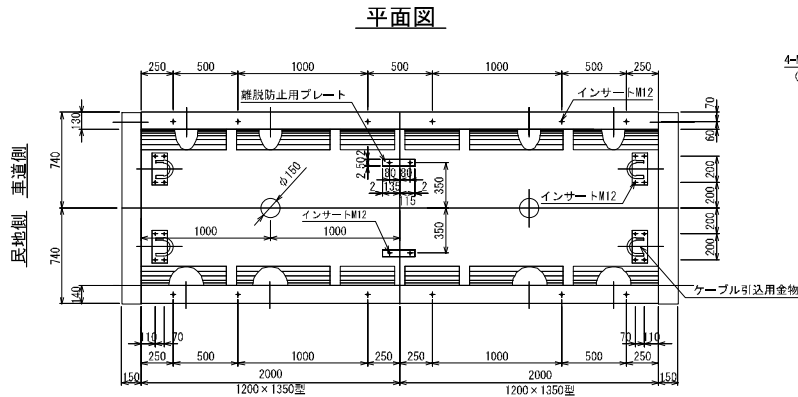
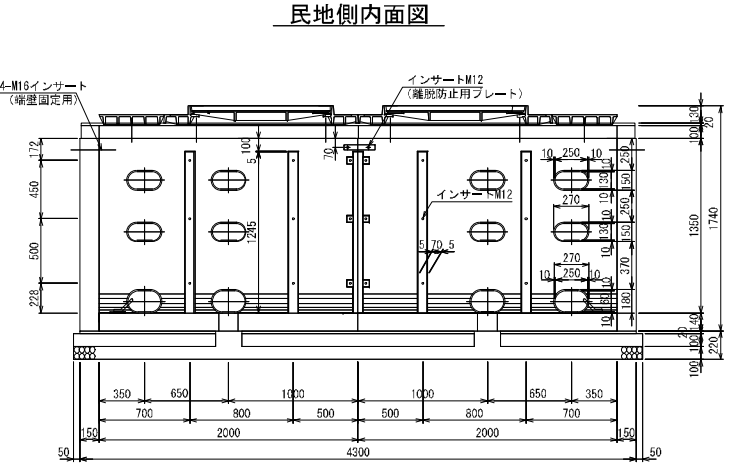
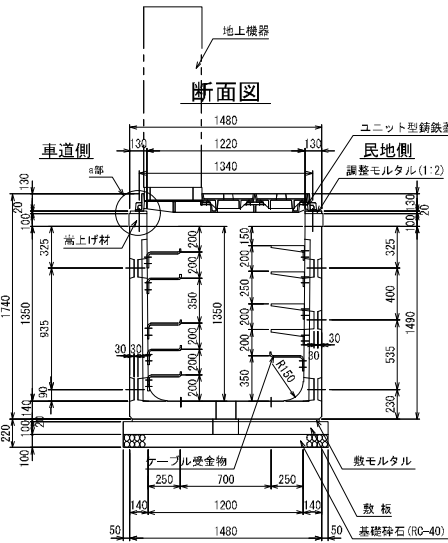
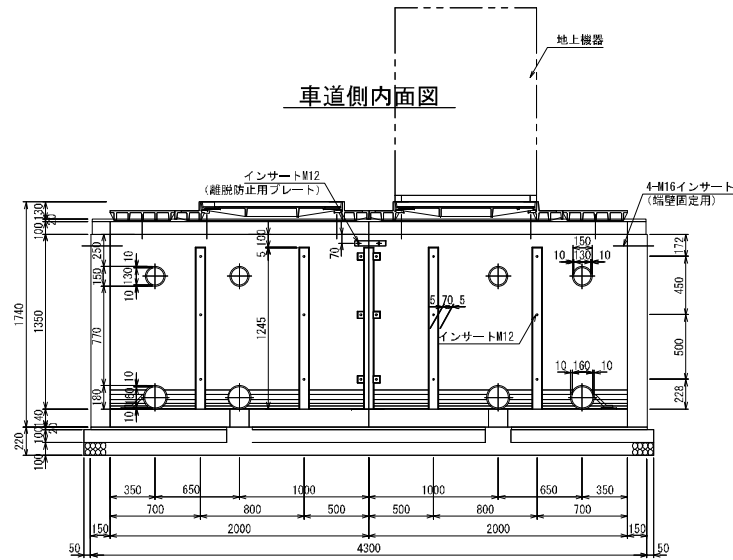
KDDIはU-1～U-3のみ参画
JCOMはU-8～U-13のみ参画

種 別	参 画 事 業 者 名	記 号	管 種
電 力	東京電力PG (株)	幹線・高圧用	EH・E調
		幹線・低圧用	EL
		幹線・保安通信用	EI
		幹線・7-M7用機用	EM
通 信	NTT東日本 (株)	幹線用(ボディ管内)	T
	KDDI (株)	幹線用(ボディ管内)	KD
	(株) ソフトバンク・東日本	幹線用(ボディ管内)	JC
	通信ベンチナナス	幹線用(ボディ管内)	M
	埼玉県警	単管路	K
	大宮国造事務所	予 備 管	予
		幹線用(ボディ管内)	R
		幹線用(ボディ管内)	R
	道路管理課	単管路	R

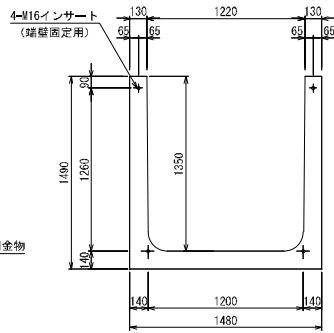
工事名	R8 国道 16 号見沼外環橋共同溝工事		
図面名	特 殊 部 収 容 形 態 図		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	1:10	図面番号	31 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部構造図(1) S=1:20
I型 1200×1350×4000 嵩上げ+100 地上機器直上1基付き 設置箇所; U-1



端壁取付インサート位置

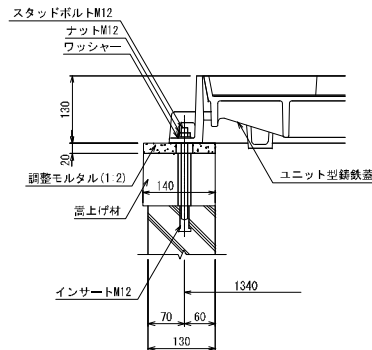


設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 50kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリートU型断面
内寸寸法(幅×高さ)	1200×1350
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数	$Ka=0.251$
使用材料	コンクリート 設計基準強度 $f'_{ck}=35\text{N/mm}^2$ 鉄筋 SD295
参考質量	本体 2780 kg × 2 個 端壁 830 kg × 2 個

注) : 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

a部詳細図 S=1:5



材料表

種別	規格	数量
U型本体	1200×1350×2000	2 個
端壁	1480×1490×150	2 個
嵩上げ材	140×100×2000	4 個
インサート	140×100×1500	2 個
ケーブル引込用金物	SUS304 M12	60 個
インサート	SUS304 M12	12 個
インサート	メッキ仕上 M16	8 個
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12	60 個
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上 M16×150	8 個
角型丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	10 個
スタッドボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M12×190	12 個
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1210	8 個
Bタイプ (連結部)	SS400 HDZT63 L=1210	2 個
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	5 個
離脱防止用プレート	SS400 HDZT77 M12	4 個
ユニット型鉄筋蓋	1200×4000 (地上機器1基) 用	1 組
ケーブル引込用金物	SR235 SS400 HDZT77	4 個
敷モルタル	1:3	0.127 m ³
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	6,952 m ²
敷板	$f'_{ck}=21 \text{ N/mm}^2$	1 式

プレキャスト製品とする。

<見沼地区>

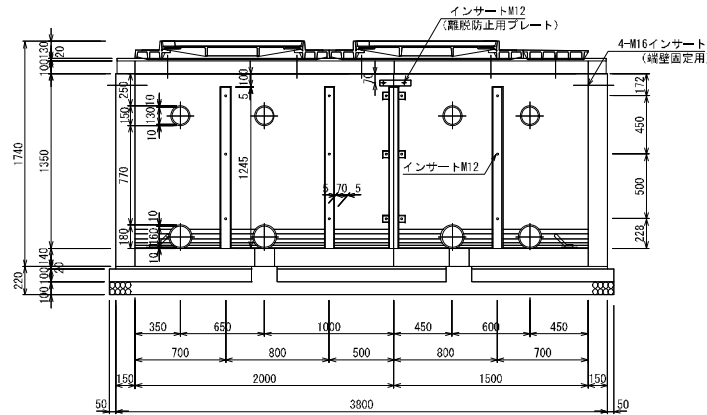
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図(1)
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	図示 図面番号 32 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

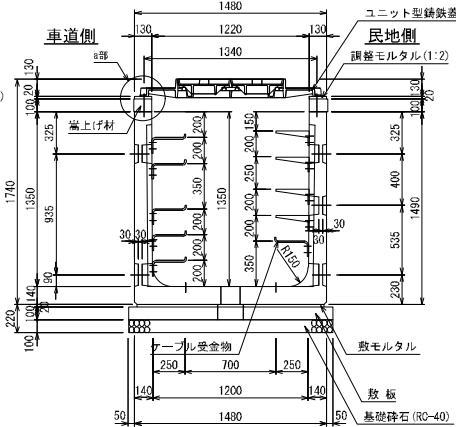
特殊部構造図(2)
I型 1200×1350×3500 嵩上げ+100 設置箇所; U-2

S=1:20

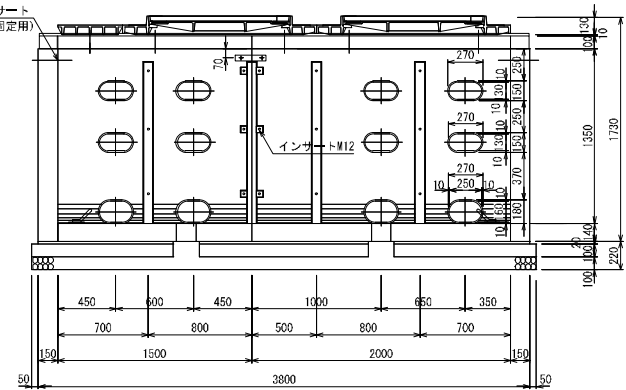
車道側内面図



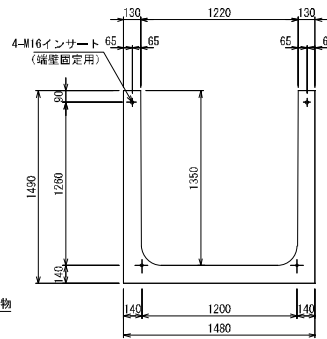
断面図



民地側内面図



端壁取付インサート位置



設計条件

設計荷重	活荷重 1歩 50kN
衝撃	衝撃 1=0 底版 1=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリートU型断面
内空寸法(幅×高さ)	1200×1350
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数	$Ka=0.251$
使用材料	コンクリート 設計基準強度 $f'_{ck}=35 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295
参考質量	本体 ① 2760 kg ② 2050 kg
端壁	830 kg × 2 個

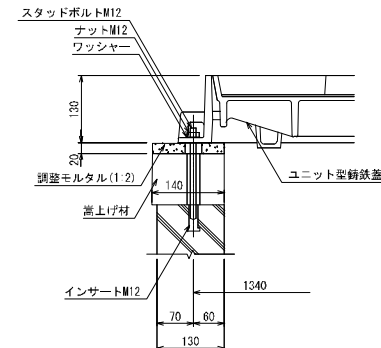
(注) : 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

材料表

種別	規格	数量
U型本体	1200×1350×2000	1 個
"	1200×1350×1500	1 "
端壁	1480×1490×150	2 "
嵩上げ材	140×100×1500	2 "
"	140×100×2000	2 "
"	140×100×1500	2 "
インサート	SUS304 M12	54 個
インサート	SUS304 M12	10 "
インサート	メッキ仕上げ M16	8 "
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12	54 "
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上げ M16×150	8 "
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12	8 "
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12×190	10 "
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1210	6 "
" Bタイプ (連結部)	SS400 HDZT63 L=1210	2 "
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	4 "
端壁防止用プレート	SS400 HDZT77 M12	4 "
ユニット型鋼鉄蓋	1200×3500用	1 組
ケーブル引込金物	SR235, SS400 HDZT77	4 個
基礎	1.3	0.112 m ²
基礎	RC-40 (t=10cm)	6.162 m ²
敷板	$f'_{ck}=21 \text{ N/mm}^2$	1 式

プレキャスト製品とする。

a部詳細図 S=1:5



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

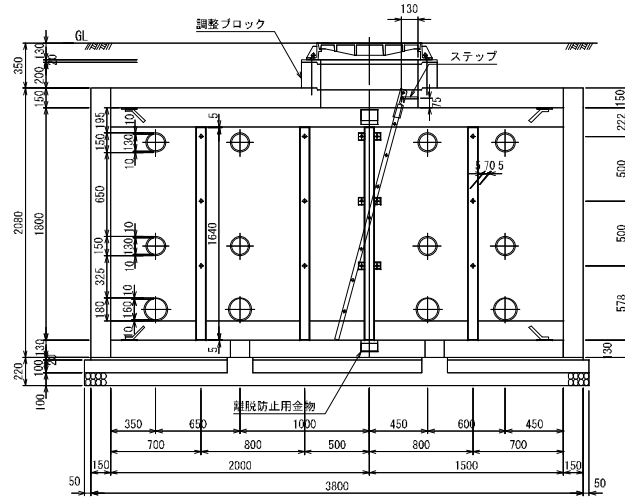
<見沼地区>

工事名	R8 圃道 16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図(2)
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	図示 図面番号 33 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

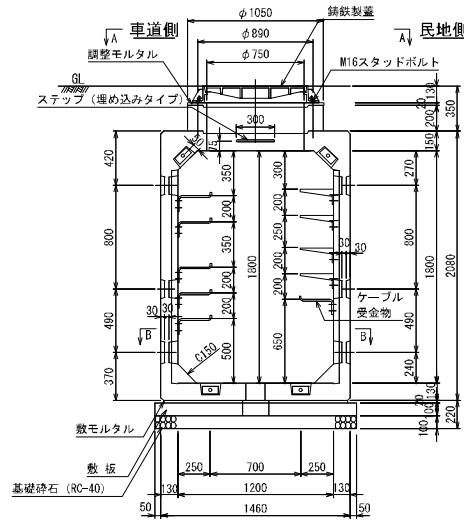
特殊部構造図(3)
BOX I型(車道用) 1200×1800×3500 設置箇所; U-3

S=1:20

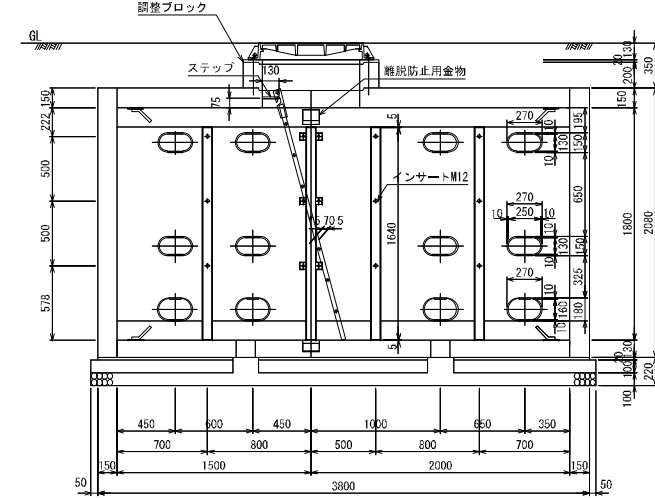
車道側内面図



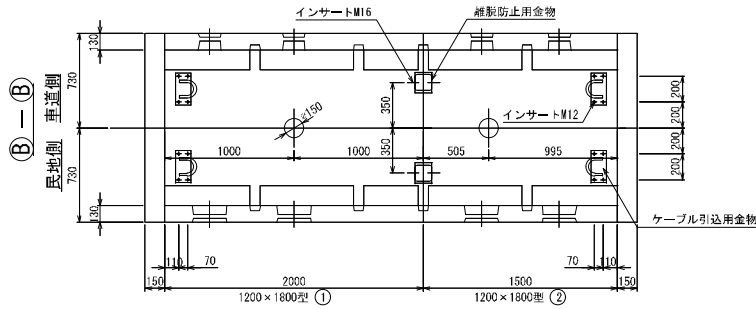
断面図



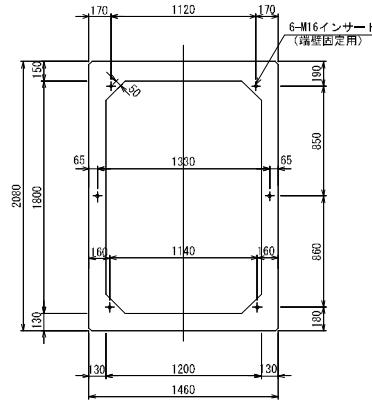
民地側内面図



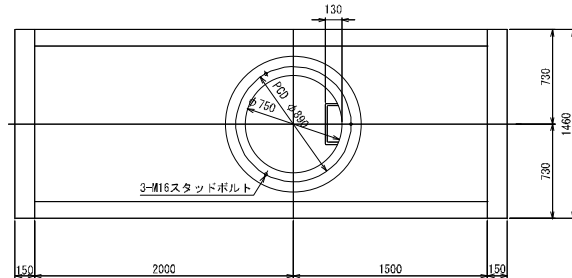
平面図



端壁取付インサート位置



上部平面図



材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	1200×1800×1500 (φ750分割孔付)	1 個
"	1200×1800×2000 (φ750分割孔付)	1 "
端壁	1460×2080×150	2 "
調整ブロック	φ750 H=200	1 "
インサート (ケーブル引込用金物・立金物用)	SUS304 M12	62 "
インサート (受金物・離脱防止用金物用)	SUS304 M16	11 "
インサート (端壁固定用)	メッキ仕上げ M16	12 "
六角ボルト・ワッシャー (ケーブル引込用金物・立金物用)	SUS304 M12	62 "
六角ボルト・ワッシャー (端壁固定用)	SUS304 M16×50	8 "
六角ボルト・ワッシャー (端壁固定用)	メッキ仕上げ M16×150	12 "
角根丸頭ボルト・ナット	SUS304 M12	8 "
スタッドボルト・ナット・ワッシャー	SUS304 M16×300	3 組
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1610	6 個
" Bタイプ (運転部)	SS400 HDZT63 L=1610	2 "
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	4 "
離脱防止用金物	SS400 HDZT77	4 "
錆蝕防止金物	FC0700 φ750用	1 組
ケーブル引込用金物	SR235, SS400 HDZT77	8 個
昇降用ハシゴ	SR235, SS400 HDZT77 L=2000	1 "
ハシゴ取付用ステップ	SR235 HDZT77	1 "
基礎 敷モルタル	1:3	0.107 m ³
基礎 基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	6.149 m ²
敷板	f'ck = 21 N/mm ²	1 式

フレキャスト製品とする。
注1: スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 100kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.4
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法(幅×高さ)	1200×1800
土の単位重量	γ=19.0 kN/m ³
土圧係数	Ko=0.5
使用材料	コンクリート 設計基準強度 f'ck=30N/mm ²
鉄筋	SD295
本体	① 4 380 kg ② 3 250 kg
参考質量	端壁 1 140 kg × 2 個

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

<見沼地区>

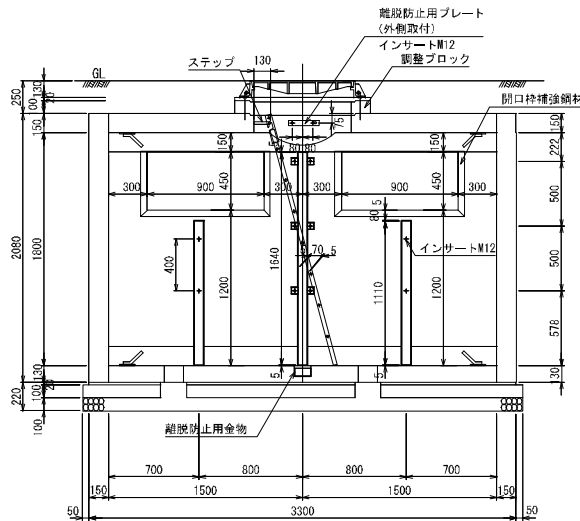
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図(3)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1:20 図面番号 34 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

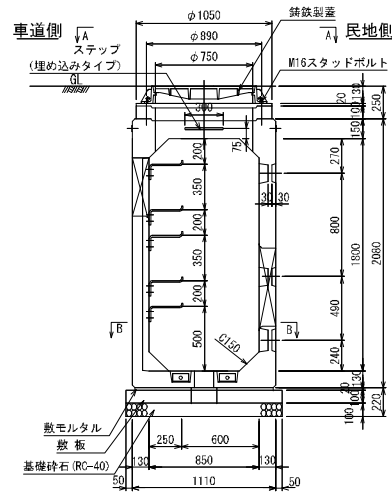
特殊部構造図(4)
BOX 電力II型(歩道用) 850×1800×3000 地上機器側方2基 設置箇所; U-4

S=1:20

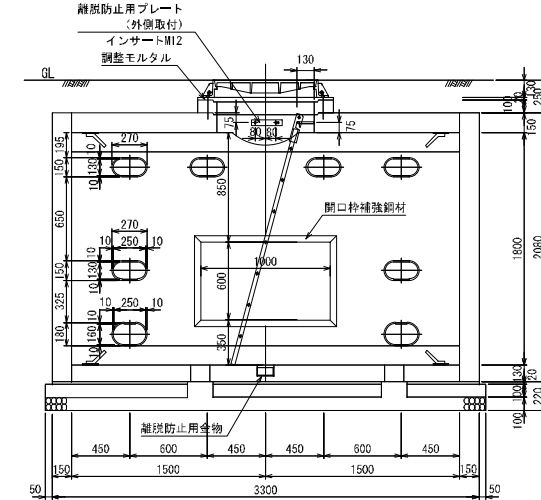
車道側内面図



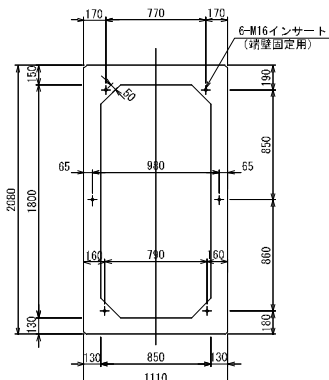
断面図



民地側内面図

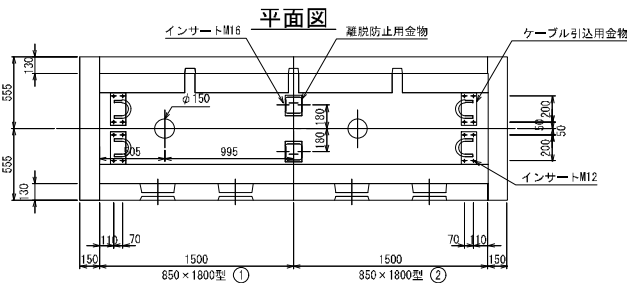


端壁取付インサート位置



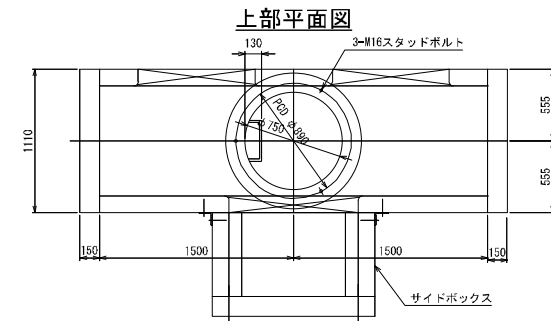
①-②

民地側 車道側

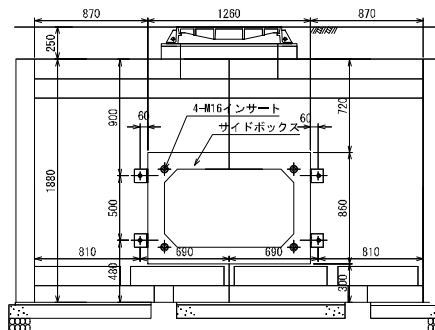


①-②

民地側 車道側



民地側外面図



材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	850×1800×1500 (φ750分割孔付)	2 個
端壁	1110×2080×150	2 個
調整ブロック	φ750 H=100	1 個
インサート	SUS304 M12	42 個
ケーブル引込用金物	SUS304 M12	4 個
インサート	SUS304 M12	4 個
端壁取付用金物	SUS304 M16	7 個
インサート	メッキ仕上げ M16	12 個
大角ボルト	SUS304 M12	42 個
ケーブル引込用金物	SUS304 M12	4 個
大角ボルト	SUS304 M16×50	4 個
大角ボルト	メッキ仕上げ M16×150	12 個
角鉄丸頭ボルト	SUS304 M12	1 個
スタッドボルト	SUS304 M16×200	3 個
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1060	2 個
〃 Bタイプ	SS400 HDZT63 L=1610	1 個
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	1 個
端壁取付用金物	SS400 HDZT77	2 個
端壁取付用プレート	SS400 HDZT77 M12	2 個
鉄製蓋	FCB700 φ750用	1 個
ケーブル引込用金物	SR235, SS400 HDZT77	8 個
昇降用ハシゴ	SR235, SS400 HDZT77 L=2000	1 個
ハシゴ取付用ステップ	SR235 HDZT77	1 個
開口枠補強鋼材	SS400 HDZT63 PL6×900×450 (一体型)	2 個
開口枠補強鋼材	SS400 HDZT63 PL6×1000×600 (一体型)	1 個
サイドボックス	1000×600×650	1 個
基礎工	機モルタル 1:3	0.073 ㎡
基礎工	基礎砕石 RC-40 (t=10cm)	4.114 ㎡
敷板	f'ck = 21 N/mm²	1 式

注) : スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。
プレキャスト製品とする。

設計条件

設計条件	活荷重	1輪 50 kN
設計荷重	側壁 i=0 底版 i=0.1	
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面	
内空寸法(幅×高さ)	850×1800	
土の単位重量	γ=19.0 kN/m³	
土圧係数	Ko=0.5	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 f'ck= 30 N/mm²
鉄筋	SD295	
参考質量	本体	2 700 kg × 2 個
	端壁	870 kg × 2 個

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

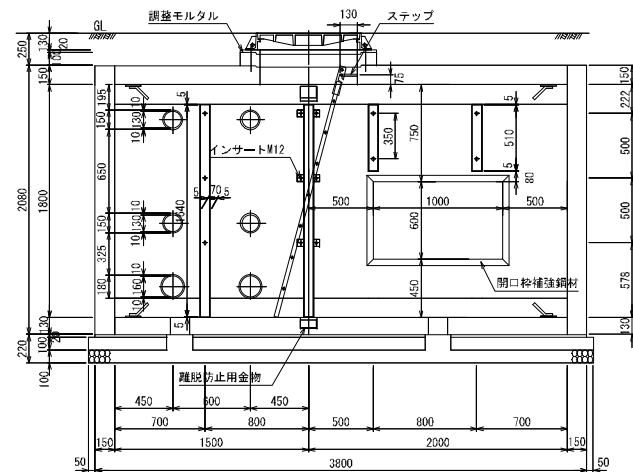
<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図 (4)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1:20 図面番号 35 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

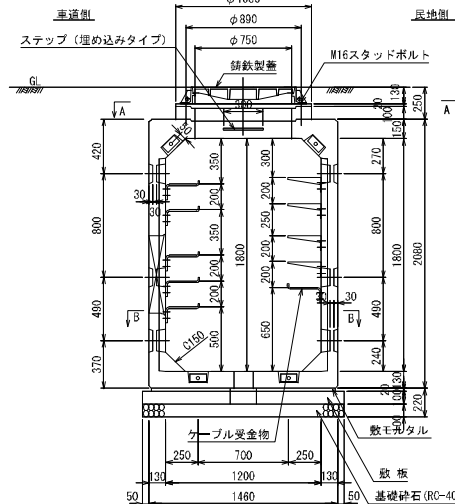
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部構造図(5) S=1:20
BOX I型(歩道用) 1200×1800×3800 車道横断付 設置箇所; U-5

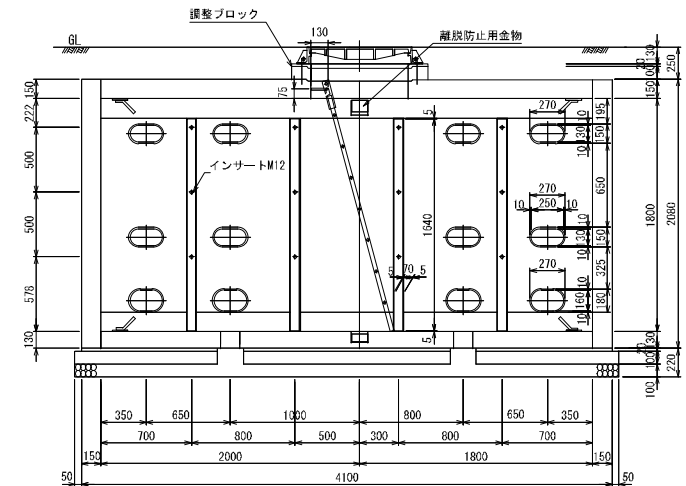
車道側内面図



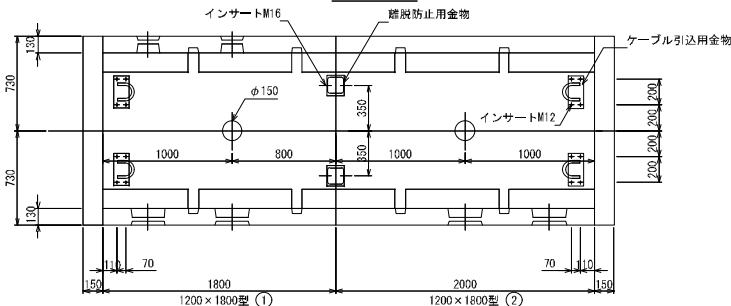
断面図



民地側内面図



平面図

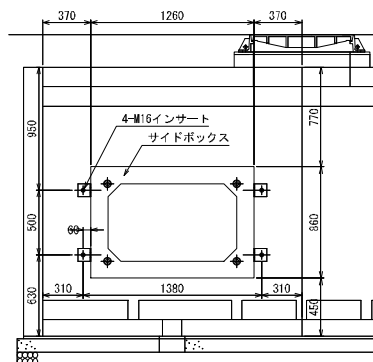


設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 50kN
橋型	側壁 i=0 底版 i=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法(幅×高さ)	1200×1800
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数	$K_0=0.5$
使用材料	コンクリート 設計基準強度 $f'_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 鉄筋 SD295
参考質量	本体 ① 3 220 kg ② 4 250 kg 端壁 1 140 kg × 2 個

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

車道側外面図



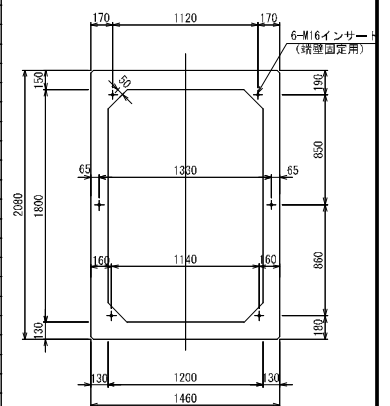
材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	1200×1800×1800 (φ750孔分割付)	1 個
	1200×1800×2000 (φ750孔分割付)	1 "
端壁	1460×2060×150	2 "
調整ブロック	φ750 H=100	1 "
インサート	SUS304 M12	54 "
ケーブル引込用金物(立金物)	SUS304 M16	11 "
インサート	SUS304 M16	4 "
インサート	メッキ仕上げ M16	12 "
六角ボルト(ワッシャー)	SUS304 M12	54 "
六角ボルト(ワッシャー)	SUS304 M16×50	8 "
六角ボルト(ワッシャー)	メッキ仕上げ M16×150	12 "
角型丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	8 "
スタッドボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M16×200	3 組
立金物 Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1610	6 個
	SS400 HDZT63 L=460	2 "
ケーブル引込金物	SS400 HDZT77 (250用)	4 "
離脱防止用金物	SS400 HDZT77	4 "
鋼鉄製蓋	FC0700 φ750用	1 組
ケーブル引込用金物	SR235 SS400 HDZT77	8 個
昇降用ハシゴ	SR235 SS400 HDZT77 L=2000	1 "
ハンゴ取付用ステップ	SR235 HDZT77	1 個
開口枠補強鋼材	SS400 HDZ55 PL6×1000×600 (分割型)	1 "
サイドボックス	1000×600×650	1 個
敷モルタル	1:3	0.119 m ³
基礎工 基礎砂石	RC-40 (t=100mm)	6.552 m ³
敷板	$f'_{ck}=21 \text{ N/mm}^2$	1 式

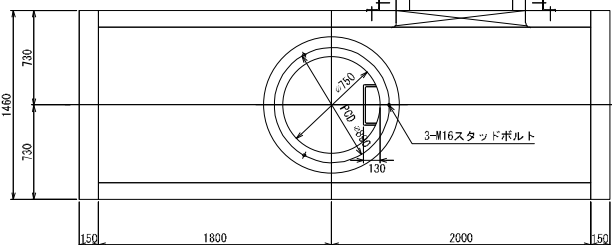
プレキャスト製品とする。

注) : スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

端壁取付インサート位置



上部平面図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

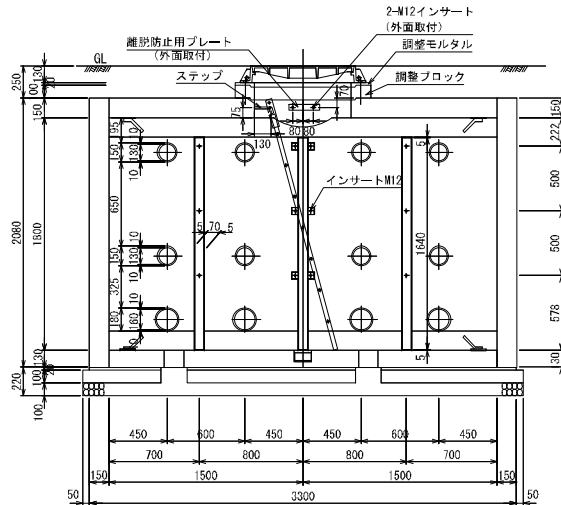
<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部 構造図 (5)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1:20 図面番号 36 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

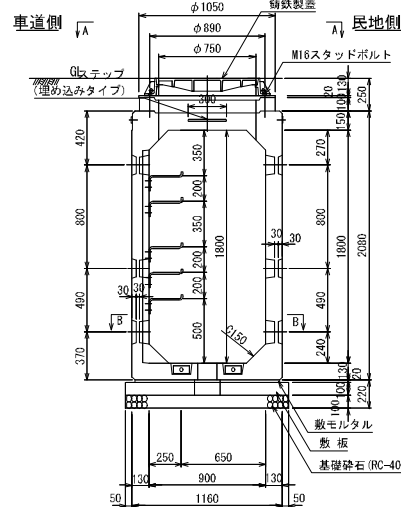
特殊部構造図(6)
BOX 電力II型(歩道用) 900×1800×3000 設置箇所: U-7

S=1:20

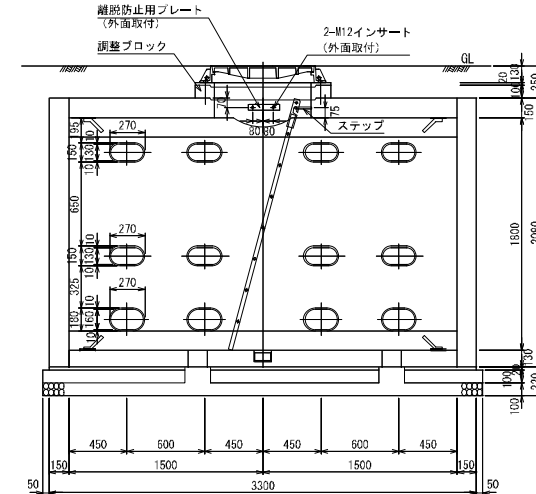
車道側内面図



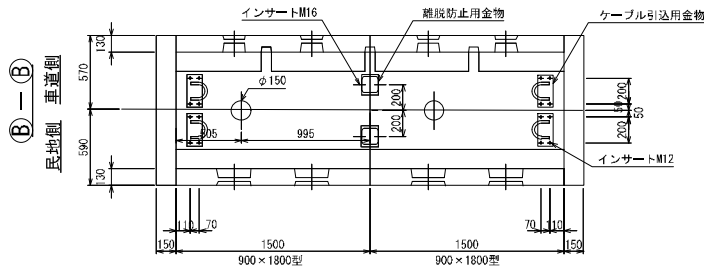
断面図



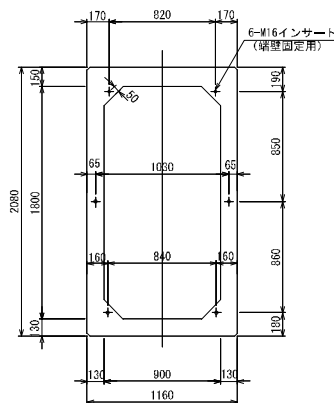
民地側内面図



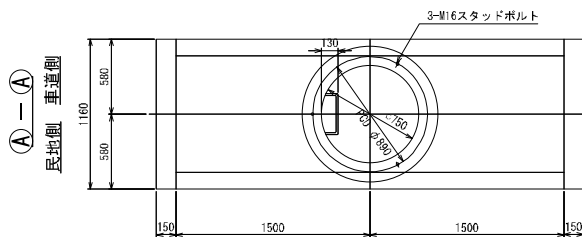
平面図



端壁取付インサート位置



上部平面図



材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	900×1800×1500 (φ750孔分割付)	2個
端壁	1160×2080×150	2個
調整ブロック	φ750 H=100	1個
インサート (立金物)	SUS304 M12	12個
インサート (ケーブル引込用金物)	SUS304 M12	32個
インサート (離脱防止用金物)	SUS304 M12	4個
インサート (離脱防止用金物)	SUS304 M16	3個
インサート (離脱防止用金物)	SUS304 M16	4個
インサート (端壁固定用)	メッキ仕上 M16	12個
六角ボルト (立金物)	SUS304 M12	12個
六角ボルト (ケーブル引込用金物)	SUS304 M12	32個
六角ボルト (端壁固定用)	SUS304 M12	4個
六角ボルト (立金物)	SUS304 M16×50	4個
六角ボルト (端壁固定用)	メッキ仕上 M16×150	12個
角鉄丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	1組
スタッドボルトナット、ワッシャー	SUS304 M16×200	3組
立金物Aタイプ	SS400 HDZT83 L=1610	2個
「B」タイプ (端壁部)	SS400 HDZT83 L=1610	1個
ケーブル束金物	SS400 HDZT77 (250用)	1個
離脱防止用プレート	SS400 HDZT77 M12	2個
離脱防止用金物	SS400 HDZT77	2個
鉄製蓋	FGD700 φ750用	1個
ケーブル引込用金物	SR235, SS400 HDZT77	8個
昇降用ハシゴ	SR235, SS400 HDZT77 L=2000	1個
ハシゴ取付用ステップ	SR235 HDZT77	1個
基礎	1:3	0.076 m ³
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	4.284 m ²
敷板	f _{ck} = 21 N/mm ²	1式

プレキャスト製品とする。
注: スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 50 kN
側壁	側壁 i=0 底壁 i=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法 (幅×高さ)	900×1800
土の単位重量	γ=19.0 kN/m ³
土圧係数	Ko=0.5
使用材料	コンクリート 設計基準強度 f _{ck} =30 N/mm ²
鉄筋	SD295
本体	2 930 kg × 2 個
端壁	900 kg × 2 個

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

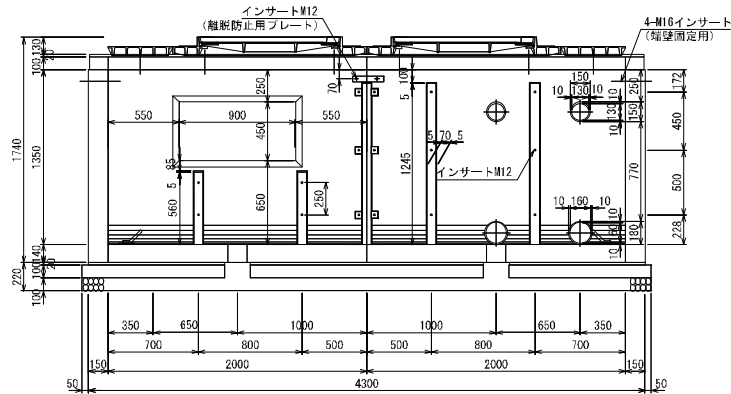
<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図 (6)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1:20 図面番号 37 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

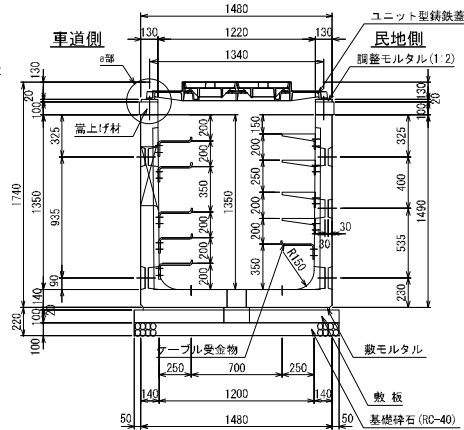
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部構造図(7) S=1:20
I型 1200×1350×4000 嵩上げ+100 地上機器横置1基 設置箇所;U-8

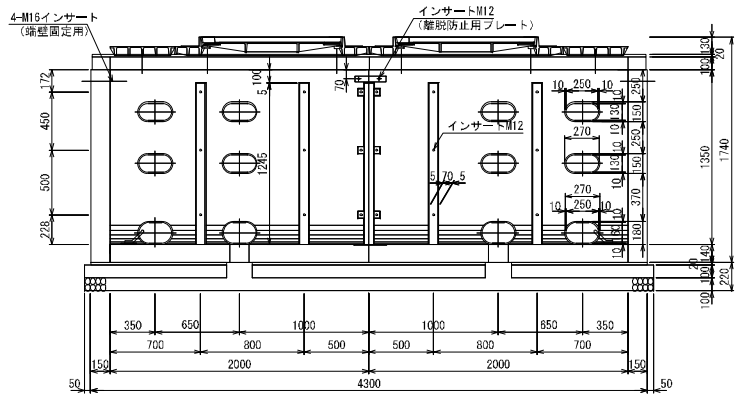
車道側内面図



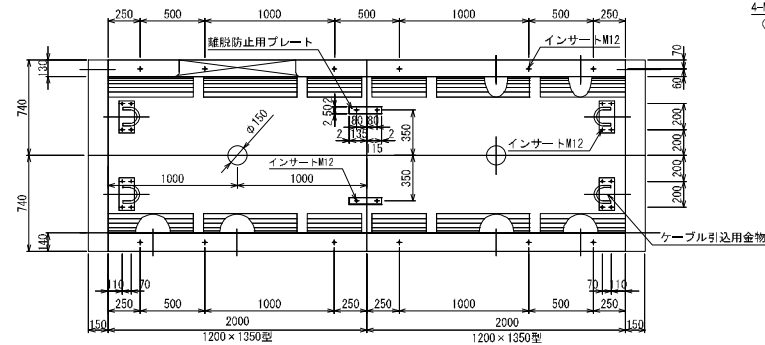
断面図



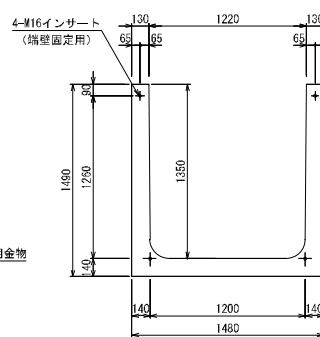
民地側内面図



平面図



端壁取付インサート位置



設計条件

設計荷重	活荷重	1輪 50kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.1	
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリートU型断面	
内空寸法(幅×高さ)	1200×1350	
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$	
土圧係数	$K=0.251$	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck}=35 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295	
本体	① 2 580 kg ② 2 720 kg	
参考質量	端壁	830 kg × 2 個

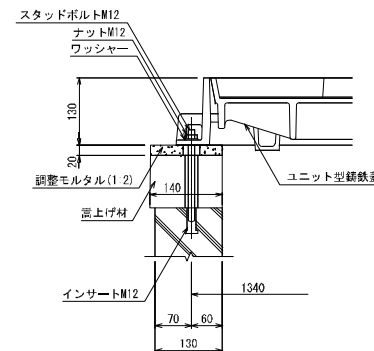
(注) : 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

材料表

種別	規格	数量
U型本体	1200×1350×2000	2 個
端壁	1480×1490×150	2 個
嵩上げ材	140×100×2000	4 個
インサート	140×100×1500	2 個
ケーブル引込用金物	SUS304 M12	58 個
インサート	SUS304 M12	12 個
インサート	メッキ仕上げ M16	8 個
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12	58 個
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上げ M16×150	8 個
角形丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	10 個
スタッドボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M12×190	12 個
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=510	2 個
立金物Bタイプ	SS400 HDZT63 L=1210	2 個
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	5 個
離脱防止用プレート	SS400 HDZT77 M12	4 個
ユニット型鉄鉄差	1200×4000用	1 組
ケーブル引込用金物	SR235, SS400 HDZT77	4 個
開口枠鉄鋼材	SS400 HDZT77 PL6×900×450 (一体型)	1 個
基礎	1:3	0.127 m ³
基礎	RC-40 (t=10cm)	6.952 m ²
敷板	$f'_{ck}=21 \text{ N/mm}^2$	1 式

プレキャスト製品とする。

a部詳細図 S=1:10



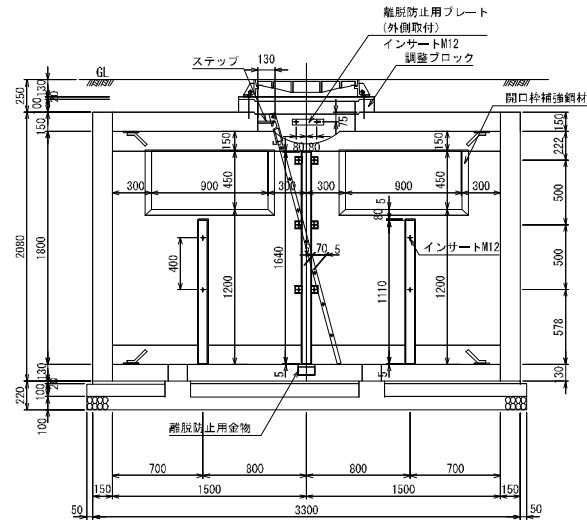
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

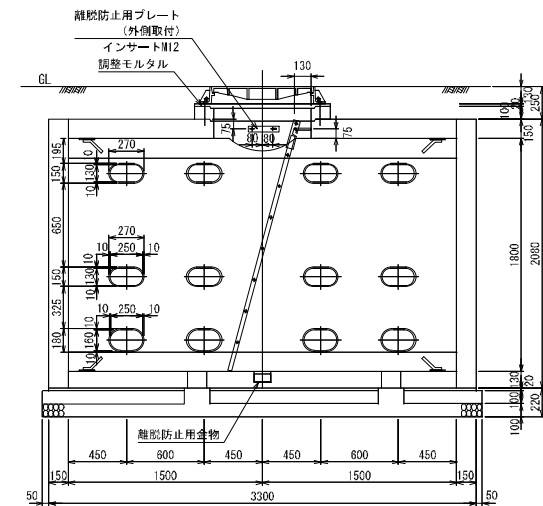
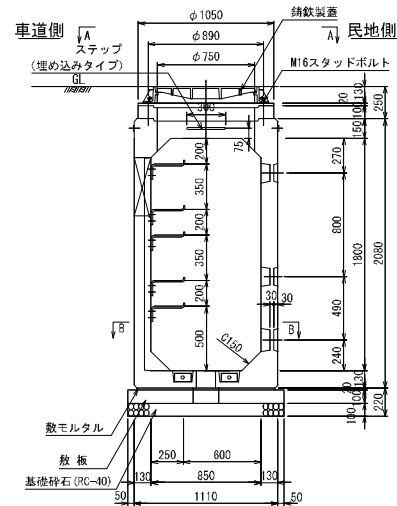
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	特 殊 部 構 造 図 (7)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮 尺	図示 図面番号 38 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

S=1:20

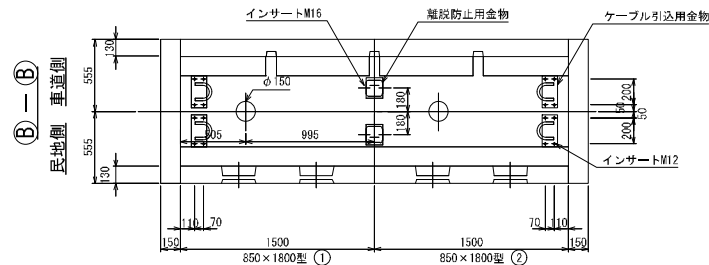
民地側内面図



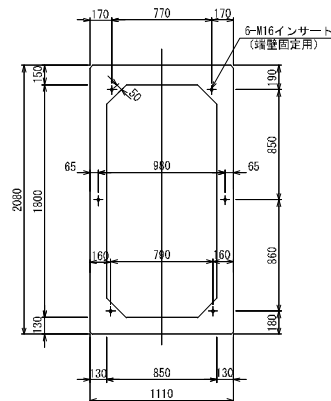
断面図



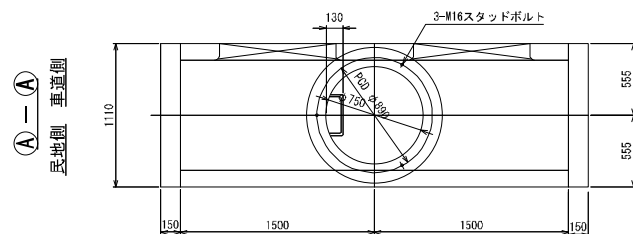
平面图



端壁取付インサート位置



上部平面图



材料表

種 別	規 格	数 量
BOX型本体	850×1800×1500 (φ750分割引付)	2
端壁	1110×2080×150	2
調整ブロック	φ750 H=100	1
インサート ケーブル引込用金物(立金物用)	SUS304 M12	4
インサート 縦壁固定用プレート用	SUS304 M12	42
インサート 縦壁固定用金物(立金物用)	SUS304 M16	6
インサート 縦壁固定用プレート	メッキ仕上げ M16	12
六角ボルト ワッシャー ケーブル引込用金物(立金物用)	SUS304 M12	42
六角ボルト ワッシャー 縦壁固定用プレート用	SUS304 M12	4
六角ボルト ワッシャー 縦壁固定用金物(立金物用)	SUS304 M16×50	4
六角ボルト ワッシャー 縦壁固定用プレート	メッキ仕上げ M16×150	12
角鉄丸頭ボルト ナット	SUS304 M12	3
スタッドボルト ナット ワッシャー	SUS304 M16×200	8
立金物 Aタイプ	SS400 HDZT163 L=1060	2
■ Bタイプ (運転部)	SS400 HDZT163 L=1610	2
ケーブル受金物	SS400 HDZT777 (250用)	—
縦壁防止用金物	SS400 HDZT163	2
縦壁防止用プレート	SS400 HDZT777 M12	2
鉄線製蓋	FCD700 φ750用	1
ケーブル引込用金物	SR235, SS400 HDZT777	8
昇降用ハシゴ	SR235, SS400 HDZT777 L=2000	1
ハシゴ取付用ステップ	SR235 HDZT777	2
開口枠補強鋼材	SS450 HDZT777 PL6×900×450 (一体系)	1
基礎工 ■ 敷モルタル	1 : 3	0.073 ㎡
■ 基礎砕石	RC-40 (≧10cm)	4.114 ㎡
敷板	φ k = 21 N/mm ²	1

注) : スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

設計条件

設計荷重	活荷重	1輪 50 kN
	衝力	側壁 $i=0$ 底版 $i=0.1$
構造形式	工	工場品 鉄筋コンクリート箱型断面
内寸法(幅×高さ)		850×1800
土の単位重量		$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数		$K=0.5$
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
	鉄筋	SD295
参考質量	本体	2 800 kg × 2 個
	端壁	870 kg × 2 個

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

<見沼地区>

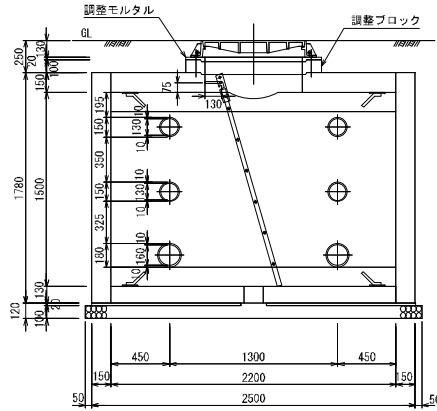
工事名	R8 國道 16 号 沿外電線共同溝工事		
図面名	特 殊 部 構 造 図 (溝)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	1:20	図面番号	39 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

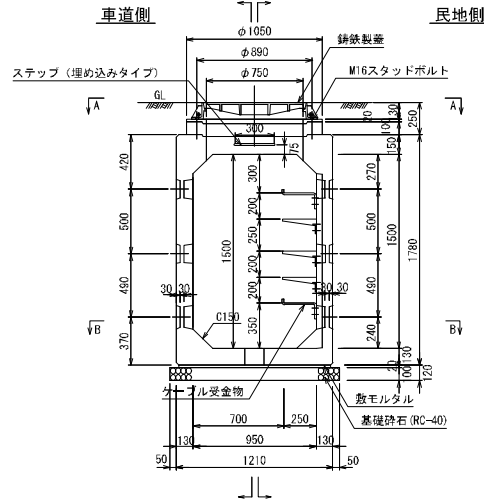
特殊部構造図(9)
BOX 通信II型(歩道用) 950×1500×2200 設置箇所; U-11

S=1:20

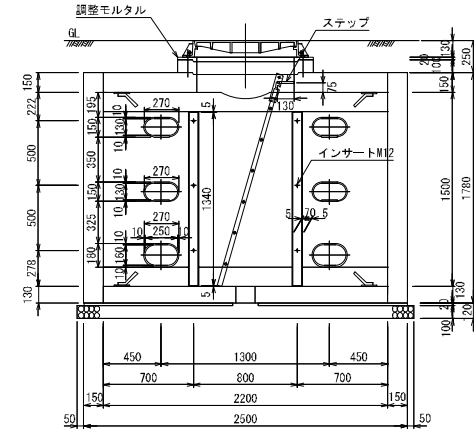
車道側内面図



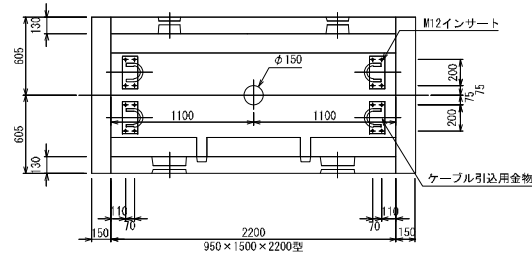
断面図



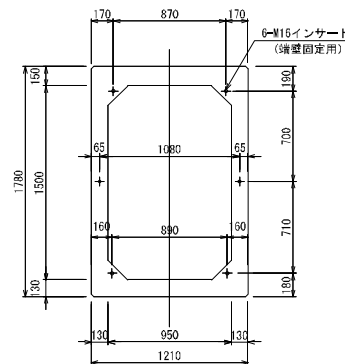
民地側内面図



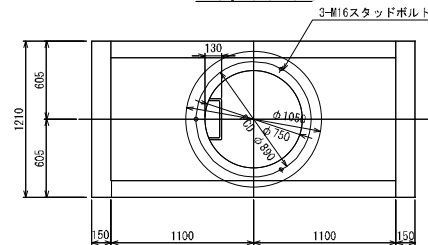
平面図



端壁取付インサート位置



上部平面図



設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 50kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面
内寸寸法(幅×高さ)	950×1500
土の単位重量	$\gamma=18.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数	$K_0=0.5$
使用材料	コンクリート 設計基準強度 $f'_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄筋 SD295
参考質量	本体 4,000 kg
	端壁 810 kg × 2 個

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	950×1500×2200 (φ750孔付)	1 個
端壁	1210×1780×150	2 個
調整ブロック	φ750 H=100	1 個
インサート	SUS304 M12	6 個
インサート	SUS304 M12 (ケーブル引込用金物用)	32 個
インサート	SUS304 M16 (壁面用)	3 個
インサート	メッキ仕上げ M16 (壁面用)	12 個
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12 (端壁用)	6 個
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12 (ケーブル引込用金物用)	32 個
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上げ M16×150 (壁面用)	12 個
角継手ボルト、ナット	SUS304 M12	4 個
スタッドボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M16×200	3 個
立金物 A タイプ	SS400 HDZT63 L=1310	2 個
ケーブル受金物	SS400 HDZT63 (250用)	2 個
鉄筋製蓋	FCD700 φ750用	1 組
ケーブル引込用金物	SR235, SS400 HDZT77	8 個
昇降用ハシゴ	SR235, SS400 HDZT77 L=1700	1 個
ハシゴ取付用ステップ	SR235 HDZT77	1 個
基礎	1:3	0.060 m ³
基礎	基礎砕石 RC-40 (t=10cm)	3,406 m ²

注) スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

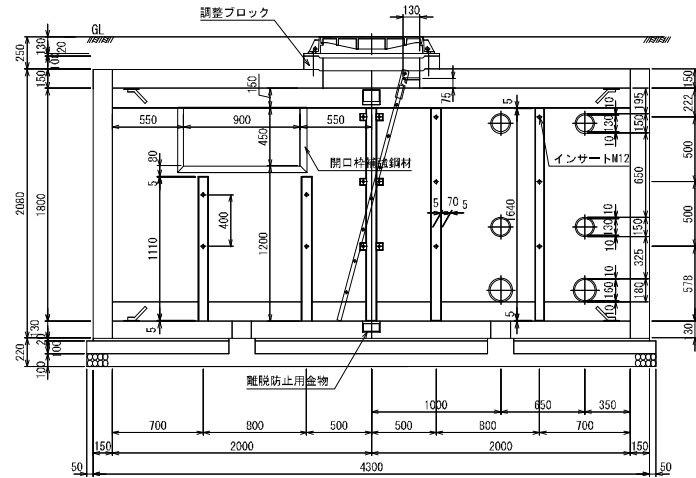
<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	特殊部構造図 (9)		
作成年月日	令和 8 年 6 月	日	
縮尺	1:20	図面番号	40 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

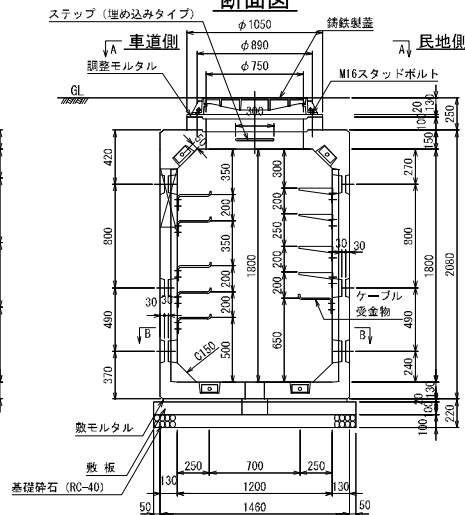
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部構造図(10) S=1:20
BOX I型(歩道用) 1200×1800×4000 地上機器側方1基 設置箇所; U-12

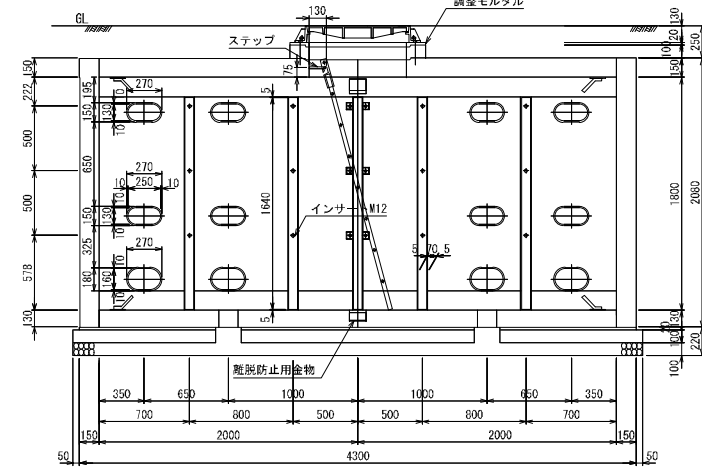
車道側内面図



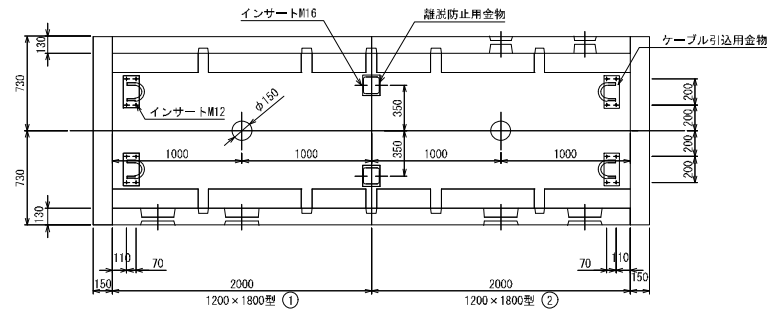
断面図



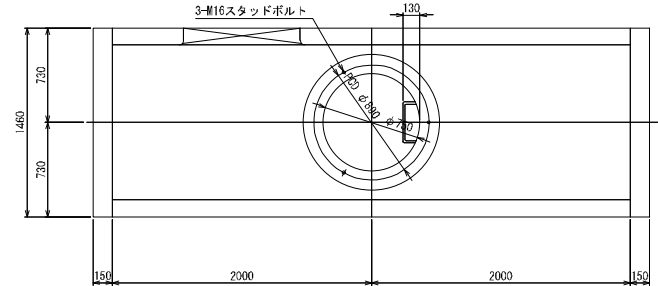
民地側内面図



平面図



上部平面図



設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 50kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法(幅×高さ)	1200×1800
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数	$K_0=0.5$
使用材料	コンクリート 設計基準強度 $f_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295
本体	① 4 280 kg ② 4 380 kg
参考質量	端壁 1 140 kg × 2 個

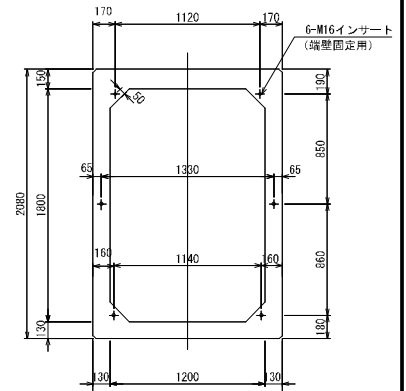
注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	1200×1800×2000 (φ750孔分割付)	2 個
端壁	1460×2080×150	2 個
調整ブロック	φ750 H=100	1 個
インサート	SUS304 M12	66 個
ケーブル引込用金物 (立金物用)	SUS304 M16	11 個
インサート (端壁固定用)	メッキ仕上げ M16	12 個
六角ボルト、ワッシャー (端壁固定用)	SUS304 M12	66 個
六角ボルト、ワッシャー (端壁固定用)	SUS304 M16×50	8 個
六角ボルト、ワッシャー (端壁固定用)	メッキ仕上げ M16×150	12 個
角根丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	10 個
スタッドボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M16×200	3 組
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1610	6 個
立金物Bタイプ (連結部)	SS400 HDZT63 L=1610	2 個
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	5 個
離脱防止用金物	SS400 HDZT77	4 個
鉄筋製蓋	FD700 φ750用	1 組
ケーブル引込用金物	SP235 SS400 HDZT77	8 個
昇降用ハシゴ	SP235 SS400 HDZT77 L=2000	1 個
ハンゴ取付用ステップ	SP235 HDZT77	1 個
開口枠補強鋼材	SS400 HDZT77 PL6×900×450 (一体型)	1 個
敷モルタル	1:3	0.125 m ³
基礎工 基礎砕石	RC-40 (≧10cm)	6.864 m ²
敷板	$f'_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$	1 式

プレキャスト製品とする。
注: スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

端壁取付インサート位置



<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図(10)
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	1:20 図面番号 41 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

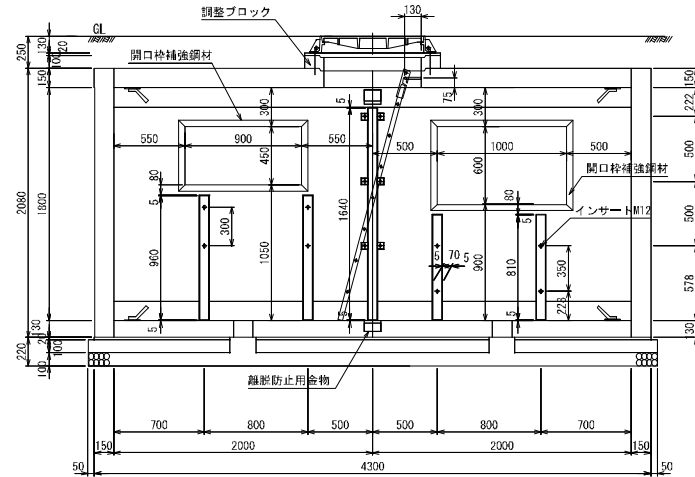
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部構造図(11)

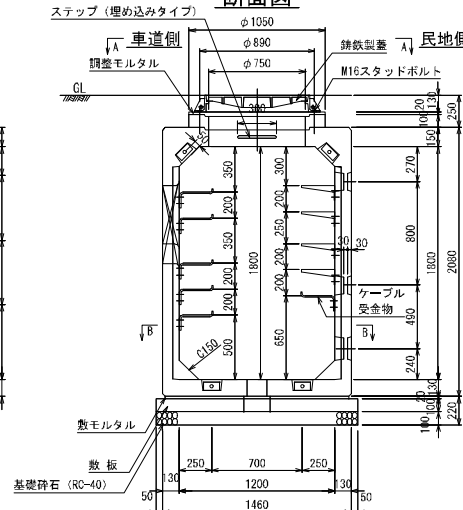
S=1:20

BOX I型(歩道用) 1200×1800×4000 地上機器側方1基 道路横断付 設置箇所; U-13

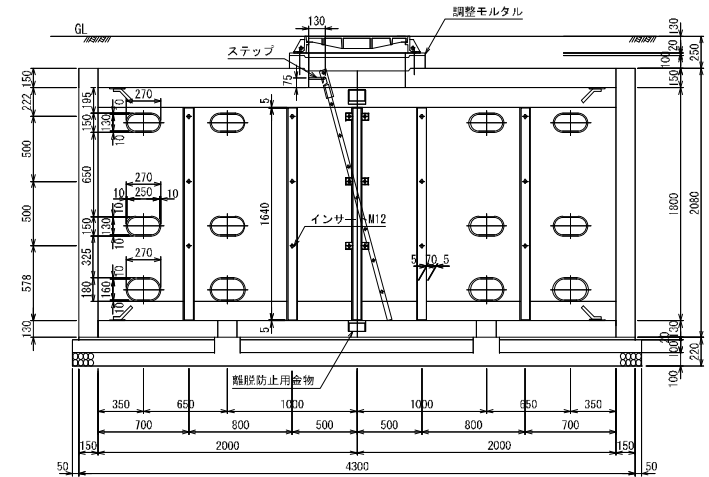
車道側内面図



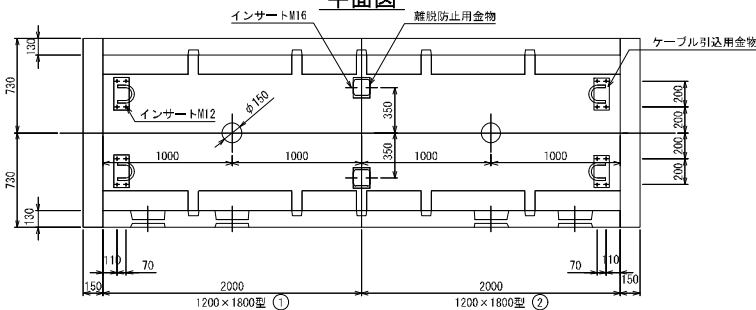
断面図



民地側内面図



平面図



設計条件

設計荷重	活荷重 1輪 50kN
調整側壁	i=0 底版 i=0.1
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法(幅×高さ)	1200×1800
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数	$K=0.5$
コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295
参考質量	本体 ① 4 280 kg ② 4 220 kg
端壁	1 140 kg × 2 側

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

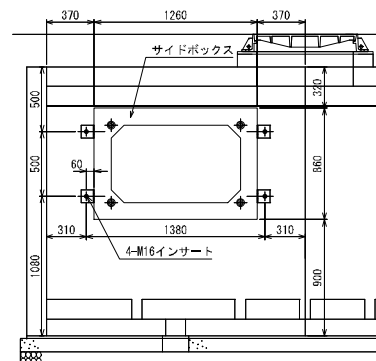
材料表

種別	規格	数量
BOX型本体	1200×1800×2000 (φ750孔分割付)	2 個
端壁	1460×2080×150	2 個
調整ブロック	φ750 H=100	1 個
インサート	SUS304 M12	64 個
インサート	SUS304 M16	11 個
インサート	SUS304 M16	4 個
インサート	メッキ仕上げ M16	12 個
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12	64 個
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M16×50	8 個
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上げ M16×150	12 個
角型丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	10 個
スタッドボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M16×200	3 組
立金物Aタイプ	SS400 HDZT63 L=1610	4 個
	SS400 HDZT63 L=910	2 個
	SS400 HDZT63 L=760	2 個
Bタイプ(連結部)	SS400 HDZT63 L=1610	2 個
ケーブル受金物	SS400 HDZT77 (250用)	5 個
離脱防止用金物	SS400 HDZT77	4 個
鉄板製蓋	FCD700 φ750用	1 組
ケーブル引込用金物	SR235 SS400 HDZT677	8 個
昇降用ハシゴ	SR235 SS400 HDZT77 L=2000	1 個
ハシゴ取付用ステップ	SR235 HDZT77	1 個
開口枠補強鋼材	SS400 HDZT77 PL6×900×450 (一体型)	1 個
	SS400 HDZT77 PL6×1000×600 (一体型)	1 個
サイドボックス	1000×600×650	1 個
敷モルタル	1:3	0.125 m ³
基礎砕石	RC-40 (t=10cm)	6.864 m ³
敷板	$f'_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$	1 式

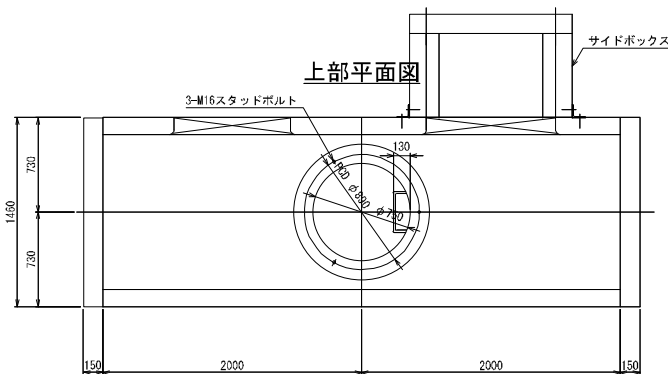
プレキャスト製品とする。

注: スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。

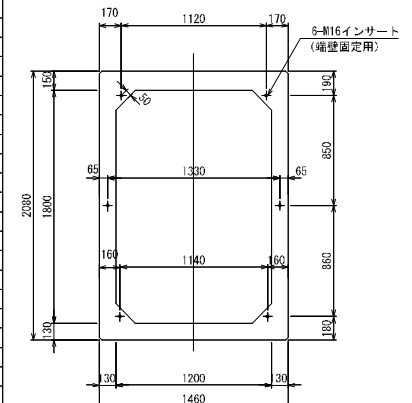
車道側外面図



上部平面図



端壁取付インサート位置

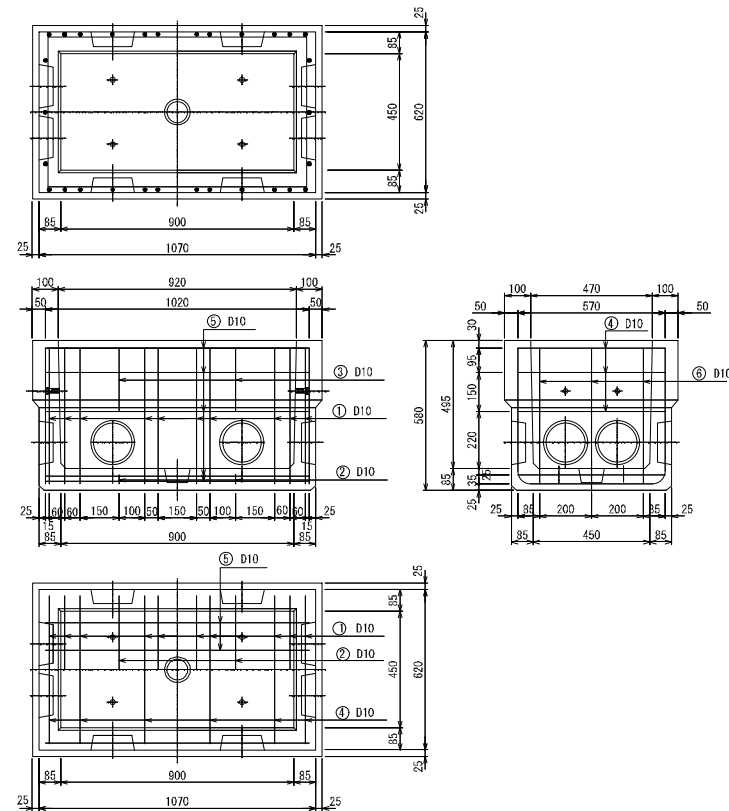


<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部構造図(11)
作成年月日	令和8年6月 日
縮尺	1:20 図面番号 42 / 99
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国庫事務所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:10



① $D10 \times 1580 - 10$ 本

② $D10 \times 610 - 2$ 本

[illegible]

工事名	R8国道16号見沼外環線共同溝工事		
図面名	電力分岐架構造図		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:10	図面番号	43 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

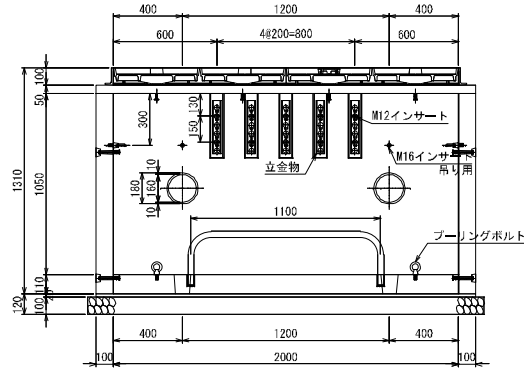
通信接続桧構造図

500×1050×2000 設置箇所：U-6, U-9

S=1:15

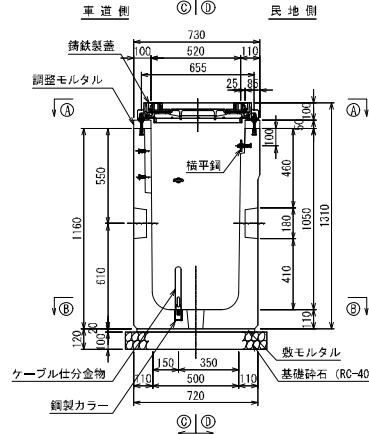
内側側面図

①-①



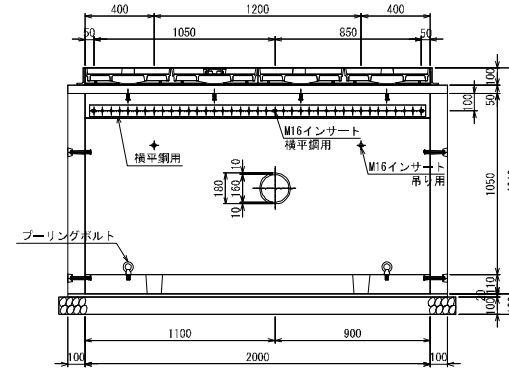
断面図

②-②

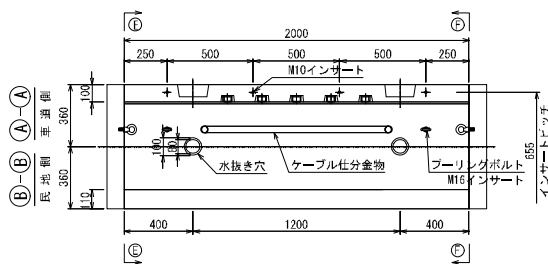


内側側面図

③-③

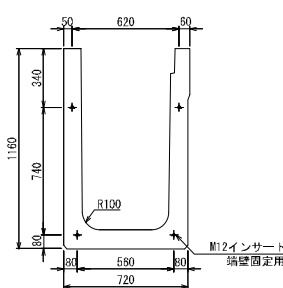


平面図



端壁取付断面

④-④, ⑤-⑤



設計条件 (通信接続桧)

設計荷重	活荷重	T-25 (1輪 50kN)
衝撃	側壁	i=0.1 底版 i=0.1
構造形式	工場製品鉄筋コンクリート	
内室寸法 (幅×高さ×長さ)		500×1050×2000
土の単位重量		$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数		$K_a=0.251$
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
	鉄筋	SD295
参考質量	本体	1498 kg
	端壁 (1枚)	209 kg

注) 水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

設計条件 (蓋 鋼鉄製品)

設計荷重	活荷重	T-25 (1輪 50kN)
衝撃	歩道部	i=0.1
寸法 (幅×長さ×高さ)		520×2000×100
使用材料	蓋本体	FCD 700
	受枠	FCD 600
参考質量	鋼鉄材	200 kg
	舗装材	297 kg

注) 仮舗装をする場合はシート等にて縁切りを行う。

材料表 (通信接続桧)

種別	規格	数量
U型本体	500×1050×2000	1 個
鋼鉄製蓋	通信接続桧用	1 組
端壁	720×1160×100	2 個
インサート (金物取付用)	SUS304 M16	7 本
〃	SUS304 M12	10 本
〃 (蓋取付用)	SUS304 M10	8 本
〃 (端壁取付用)	メッキ仕上 M12	8 本
〃 (吊り用)	〃 M16	4 本
ボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M16 (N2, W2)	3 本
六角ボルト、ワッシャー	SUS304 M12	10 本
〃	メッキ仕上 M12	8 本
スリットボルト、ナット、ワッシャー	SUS304 M10×120	8 本
機平鋼	S4400 HDZ177 L=1950	1 本
立金物	S4400 HDZ163 L=310	5 本
ケーブル仕分金物	SGP HDZ177 φ34.0	1 本
鋼製カラー	SGP HDZ177 φ42.7	2 本
フーリングボルト	SUS304 M16 アイボルト	4 本
基礎	放きモルタル	1 : 3
土	基礎砕石 (t=10cm)	1.886 m ³

プレキャスト製品とする。

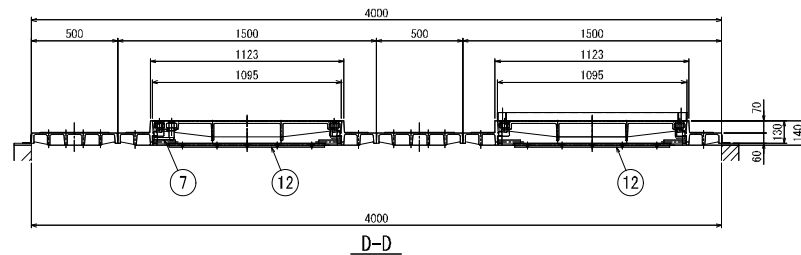
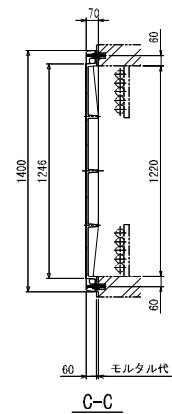
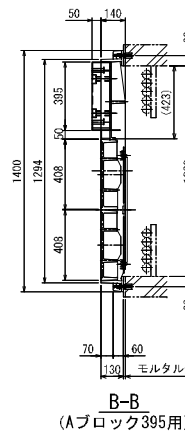
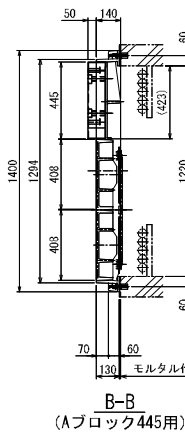
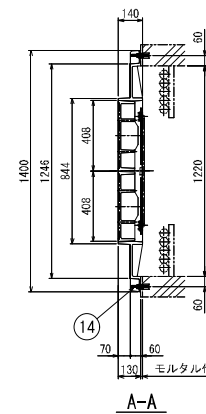
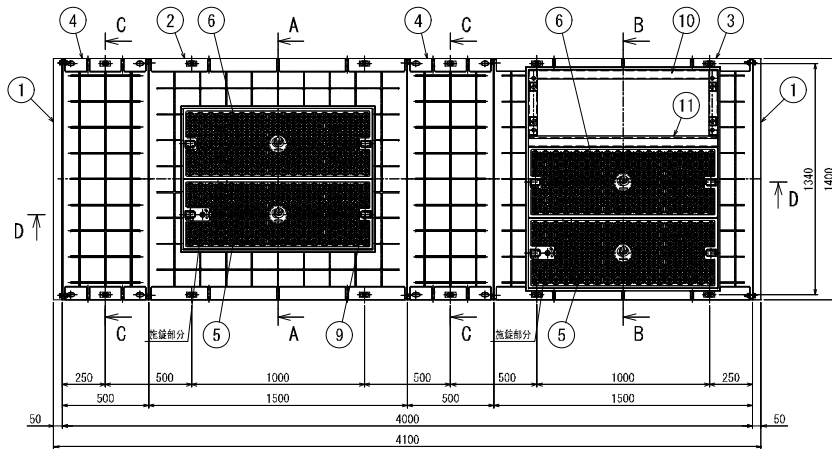
<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	通信接続桧構造図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:15	図面番号	44 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

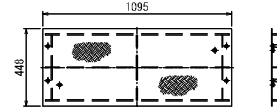
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部蓋構造図(1) S=1:15
ユニット型 地上機器設置柵直上1基用铸铁蓋(歩道-As舗装) 1200x4000用

ボックスNo. : U-1



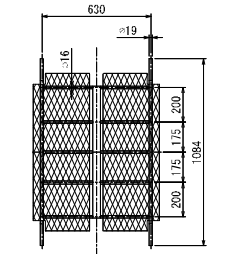
⑬ 機器部仮蓋 S=1:15



設計条件

活荷重	1輪 50kN
面積	i=0.1

⑫ 落下防止金具 S=1:15



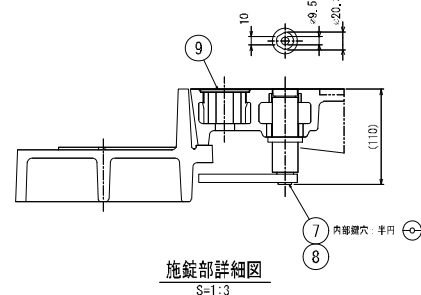
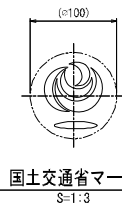
部番	重量表	
1	エンドフレーム重量	4.3kg 2組
2	点検部ユニット重量	220kg 1組
3	機器部ユニット重量	165kg 1組
4	閉塞蓋板重量(铸铁材)	105kg 2組
5,7,9	蓋版重量(铸铁材)	77kg 2組
	(仮)舗装材重量(比重2.3)	
	蓋版重量(仮舗装材含む)	77kg 2組
6,9	蓋版重量(铸铁材)	76kg 2組
	(仮)舗装材重量(比重2.3)	
	蓋版重量(仮舗装材含む)	76kg 2組
1~9	総重量	909.6kg
	参考	
	铸铁材のみ	909.6kg
	仮舗装材含む	909.6kg

注: 部番(10,11)の重量は含まず。
注: 落下防止金具、仮蓋の重量は含まず。

材料表

部番	品名	数量	材質	備考
1	エンドフレーム	2	SS400	HD2777
2	点検部ユニット	1	FC9700-2	
3	機器部ユニット	1	FC9700-2	
4	閉塞蓋	2	FC9700-2	
5	蓋(旋錠用)	2	FC9700-2	
6	蓋(スライド用)	2	FC9700-2	
7	旋錠装置	2	SGS13	
8	シリンドー錠	(2)		別途施工
9	ゴムキャップ	8	CR	
10	スブロック(395,445)	(1)	SPコンクリート	東京電力機務品
11	スパーサ	(1)	SUS304	
12	落下防止金具	2	SS400	HD2777
13	機器部仮蓋(スライド)	1	SS400	HD2777
14	蓋と明蓋ホルト #12		SUS	Nx2, PwX2

* 旋錠部分面以外は、スライド方式とする。
* 部番(10,11)は、電力で用意。



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

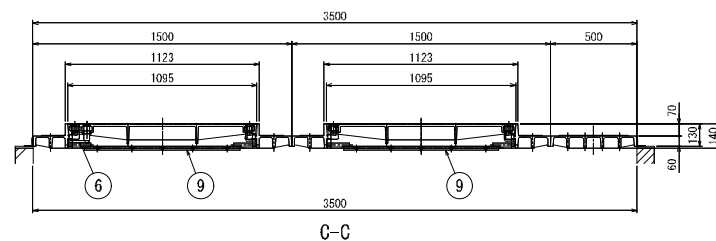
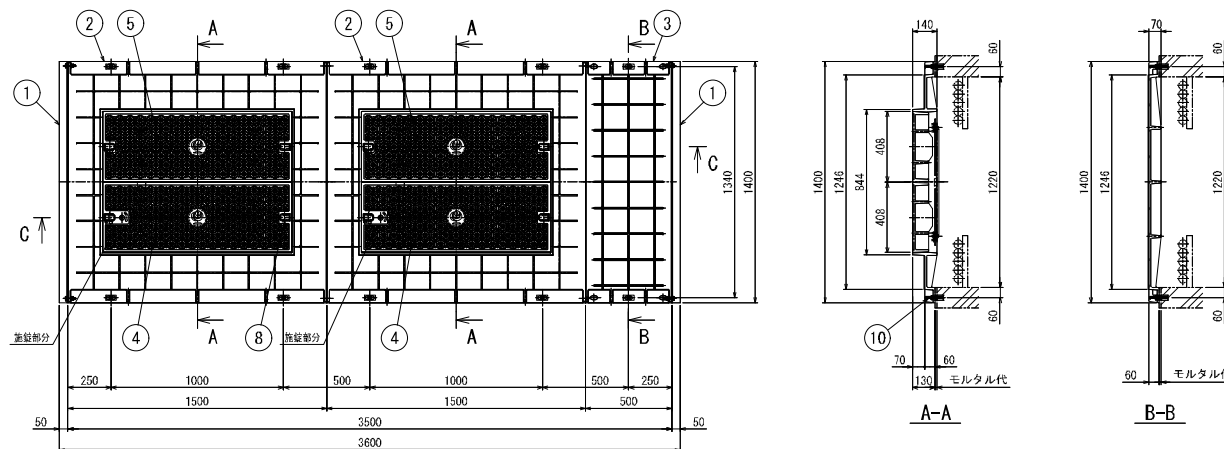
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部蓋構造図(1)
作成年月日	令和8年6月日
縮尺	図示 図面番号 45 / 99
会社名	株式会社 長大
事業名	国土交通省 大宮国道事務所

特殊部蓋構造図(2)

ユニット型鉄蓋(歩道-As舗装) 1200x3500用

S=1:15

ボックスNo. : U-2



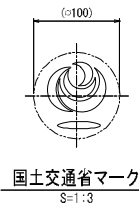
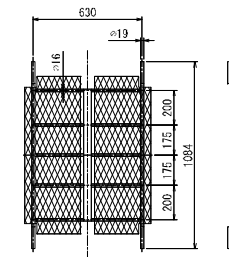
設計条件

設計商標	
活荷重	1輪 50kN
衝撃	i=0.1

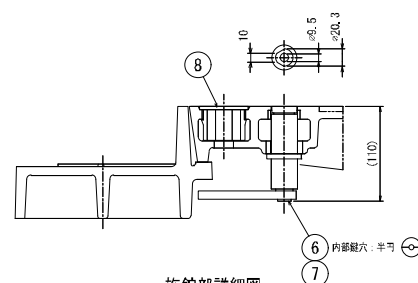
部番	重量表
1	エンドフレーム重量 4.3kg 2組
2	点検部ユニット重量 220kg 2組
3	閉塞蓋部重量(鉄材) 105kg 1組
4, 6, 8	蓋版重量(鉄材) 77kg
	(鉄) 鋪設材重量(比重2.3) 2組
	蓋版重量(仮設材) 参考 77kg
5, 8	蓋版重量(鉄材) 76kg
	(鉄) 鋪設材重量(比重2.3) 2組
	蓋版重量(仮設材) 参考 76kg
7	総重量 859.6kg
8	鉄材のみ 859.6kg
	仮設材含まず 859.6kg
	仮設材含む 859.6kg

注: 落下防止金具の重量は含まず。

⑨ 落下防止金具 S=1:15



施錠部詳細図 S=1:3



材料表

部番	品名	数量	材質	備考
1	エンドフレーム	2	SS400	HD2177
2	点検部ユニット	2	FC0700-2	
3	閉塞蓋	1	FC0700-2	
4	蓋(庇用)	2	FC0700-2	
5	蓋(スライド用)	2	FC0700-2	
6	施錠装置	2	SCS13	
7	シリランダー錠	(2)		別添施工
8	ゴムキャップ	8	CR	
9	落下防止金具	2	SS400	HD2177
10	高さ調整ボルト M12		SUS	Nx2, Pw2

* 施錠部分箇所以外は、スライド方式とする。

<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部蓋構造図(2)
作成年月日	令和8年6月 日
縮尺	図示 図面番号 46 / 99
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

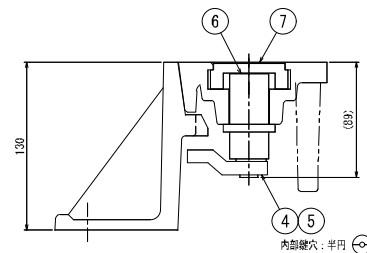
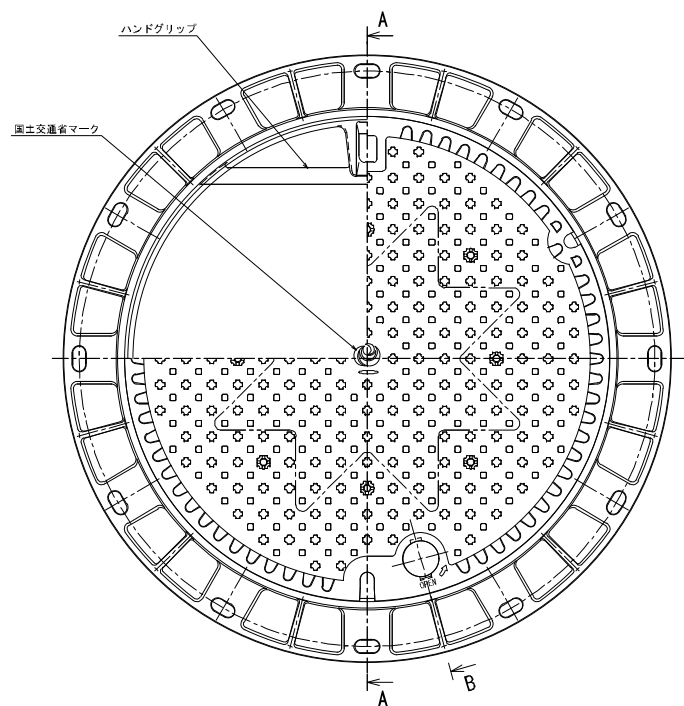
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部蓋構造図(3)

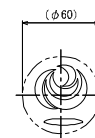
铸铁製マンホール蓋(車道-As舗装)φ750用

S=1:4

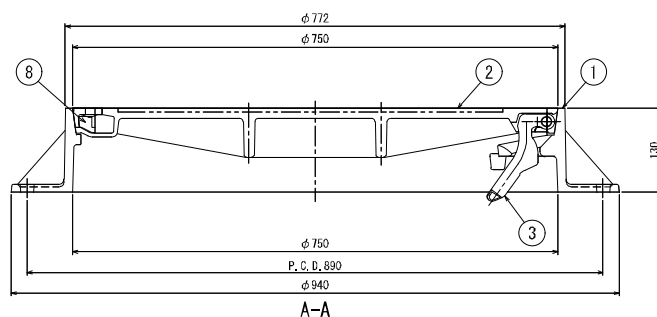
ボックスNo. : U-3



B-(施錠部)断面図
S=1:2



紋章部
S=1:2



A-A

材料表

部番	品名	数量	単位	重量	材質	備考
1	炭弁	1	個	59	FCB600-3	
2	蓋	1	個	68	FCB700-2	
3	鋳造金物	1	個	0.7	FCB450-10	
4	施錠装置	1	個	1.0	SCS13	
5	シリコンダー錠	(1)	個			別途発行
6	ステンレスキャップ	1	個		SUS304	
7	ゴムキャップ	1	個		CR	
8	ゴムキャップ	1	個		CR	

設計条件

設計条件	
活荷重	100kN
街路	i=0.4

重量表

蓋板重量(鋳鉄材)	60.7kg
(仮)鋳鉄材重量(仕様2.3)	
蓋板重量(鋳鉄材含む) 参考	69.7kg
受枠重量(1組分)	59kg
総重量	128.7kg
鋳鉄材	
鋳鉄材含む 参考	

<見沼地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部蓋構造図(3)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	図示 図面番号 47 / 99
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

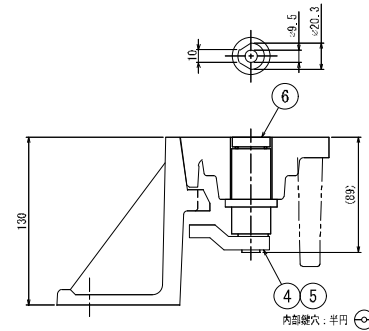
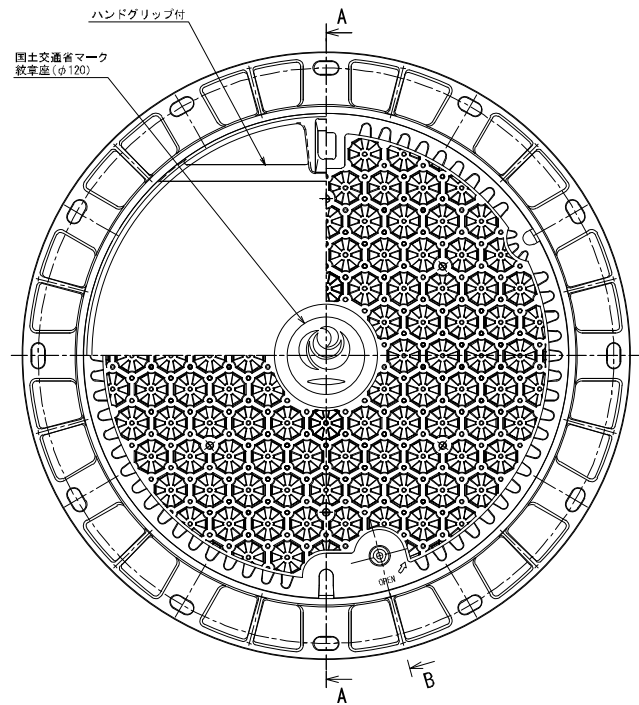
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部蓋構造図(4)

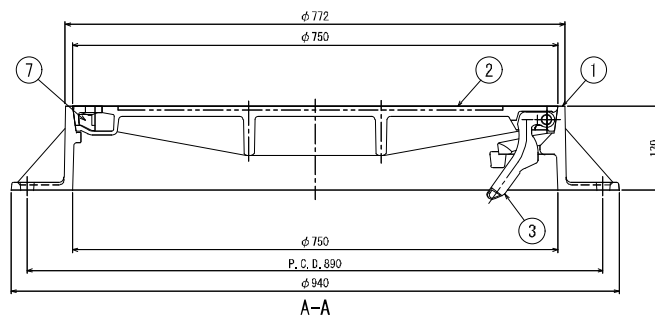
鋳鉄製マンホール蓋(歩道-As舗装)φ750用

S=1:4

ボックスNo. : U-4、5、7、10、11、12、13



B-(施錠部)断面図
S=1:2



材料表

部番	品名	個数	重量	材質	備考
1	受枠	1	59	FC0500-3	
2	蓋	1	68	FC0700-2	
3	緩衝金物	1	0.7	FC0450-10	
4	施錠装置	1	1.0	SCS13	
5	シリンダー錠	(1)			別途施工
6	施錠部キャップ	1		SUS	
7	ゴムキャップ	1		CR	

設計条件

設計荷重
活荷重 1輪 50kN
街路 1=0.1

重量表

蓋板重量(鋳鉄材)	60.7kg
(仮)舗装材重量(仕様2.3)	
蓋板重量(仮舗装材含む) 参考	69.7kg
受枠重量(1組分)	59kg
総重量	128.7kg
舗装材含む 参考	

<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	特殊部蓋構造図(4)		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	48 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

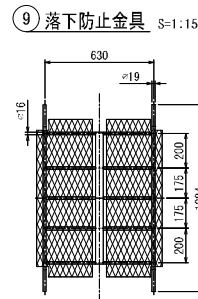
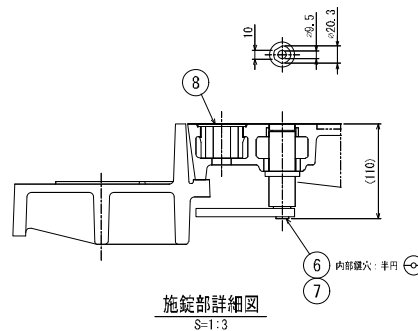
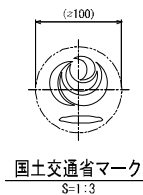
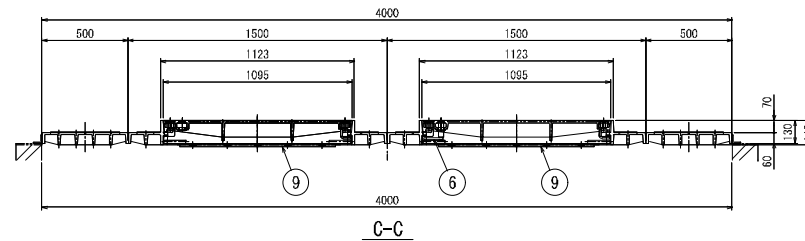
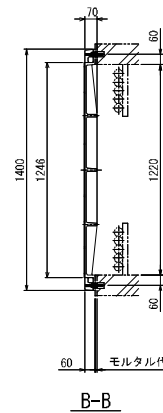
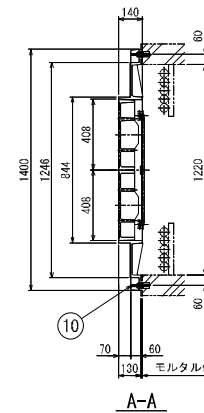
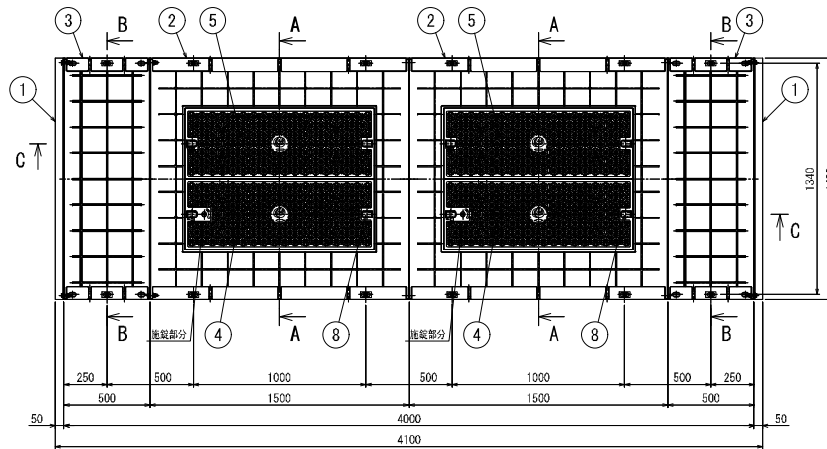
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部蓋構造図(5)

ユニット型铸铁蓋(歩道-As舗装) 1200x4000用

S=1:15

ボックスNo. : U-8



設計条件

設計荷重		
活荷重	1輪	50kN
衝撃	i=0.1	

部番	重量表		
1	エンドフレーム重量	4.3kg	2組
2	点検部ユニット重量	220kg	2組
3	閉塞扉重量(铸铁材)	105kg	2組
4, 6, 8	蓋版重量(铸铁材)	77kg	2組
	(仮) 閉鎖材重量(比重2.3)		
	蓋版重量(樹脂材料含む) 参考	77kg	2組
	(仮) 閉鎖材重量(比重2.3)		
5, 8	蓋版重量(铸铁材)	76kg	2組
	(仮) 閉鎖材重量(比重2.3)		
	蓋版重量(樹脂材料含む) 参考	76kg	2組
	(仮) 閉鎖材重量(比重2.3)		
1, 2, 8	総重量	964.6kg	
	低騒音材含まず		
	低騒音材含む	964.6kg	

注：落下防止金具の重量は含まず。

材料表

部番	品名	数量	材質	備考
1	エンドフレーム	2	SS400	HD2T63
2	点検部ユニット	2	FC0700-2	
3	閉塞扉	2	FC0700-2	
4	蓋 (流動用)	2	FC0700-2	
5	蓋 (スライド用)	2	FC0700-2	
6	閉塞扉	2	SCS13	
7	シリンドー錠	(2)		別途施工
8	ゴムキャップ	8	CR	
9	落下防止金具	2	SS400	HD2T63
10	高さ調整ボルト M12	2	SUS	Nx2, Pw2

* 施錠部分箇所以外は、スライド方式とする。

<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	特殊部蓋構造図(5)		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	49 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

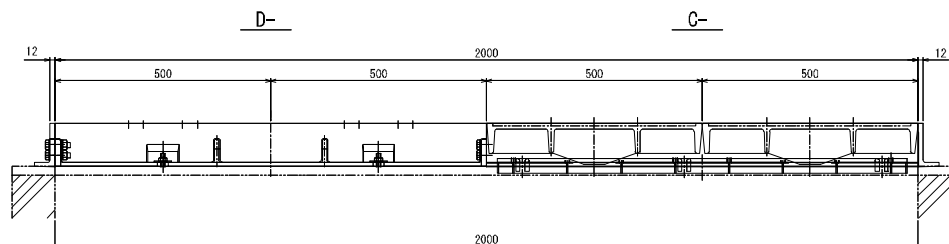
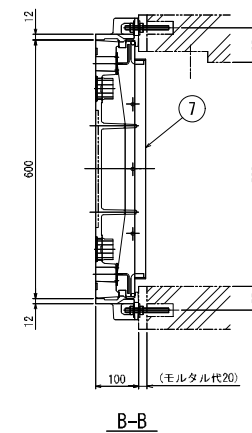
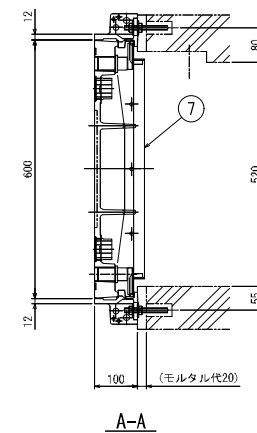
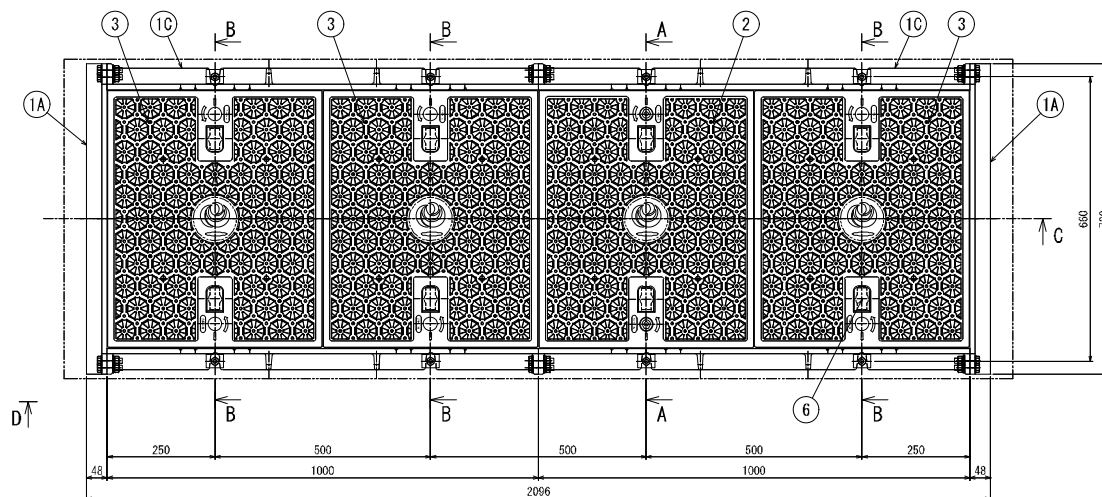
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

特殊部蓋構造図(6)

通信接続用用鉄蓋(歩道-As舗装) 500x2000用

S=1:6

ボックスNo. : U-6、9



材料表

部番	品名	個数	重量	材質	備考
1A	端枠1A	2	7.4	FC0600-3	
1C	継枠1C	4	13	FC0600-3	
2	蓋(施設用)	1	44	FC0700-2	
3	蓋(スライド用)	3	44	FC0700-2	
4	施設設置	2	1.0	SCS13	
5	シリコンダー錠	(2)			別途施工
6	ゴムキャップ	8		CR	
7	落下防止金具	2	6.2	SS400	HDZ177
8	高さ調整ボルト M10	8		SUS	Nx2, PWx2

* 継縁部分箇所以外は、スライド方式とする。

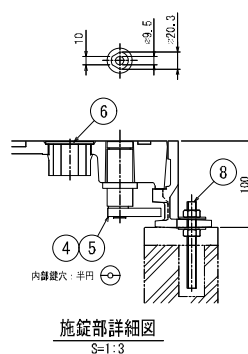
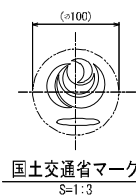
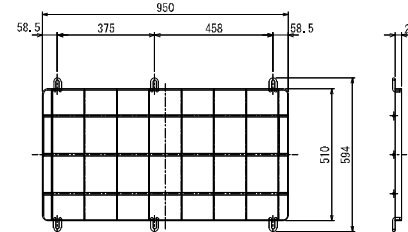
設計条件

設計荷重
活荷重 1輪 50kN
衝撃係数 i=0.1

部番	重量表
1A, C	受枠重量 88.8kg 1組
2, 4, 6	蓋版重量(鋼鉄材) 46kg 1組
	(板)鋼鉄材重量(比重2.3) 46kg
	蓋版重量(仮置架材等) 参考
3, 6	蓋版重量(鋼鉄材) 44kg 3組
	(板)鋼鉄材重量(比重2.3) 44kg
	蓋版重量(仮置架材等) 参考
7	鋼鉄材のみ 244.8kg
8	総重量 参考 244.8kg
	仮置架材等含まず
	仮置架材含む

注：落下防止金具の重量は含まず。

⑦ 落下防止金具 S=1:10



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

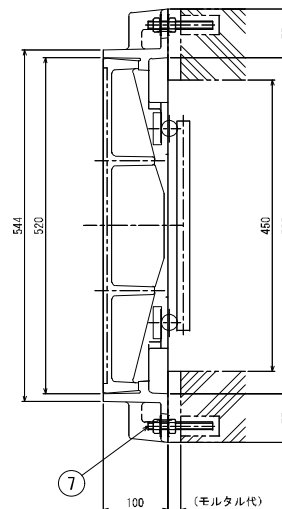
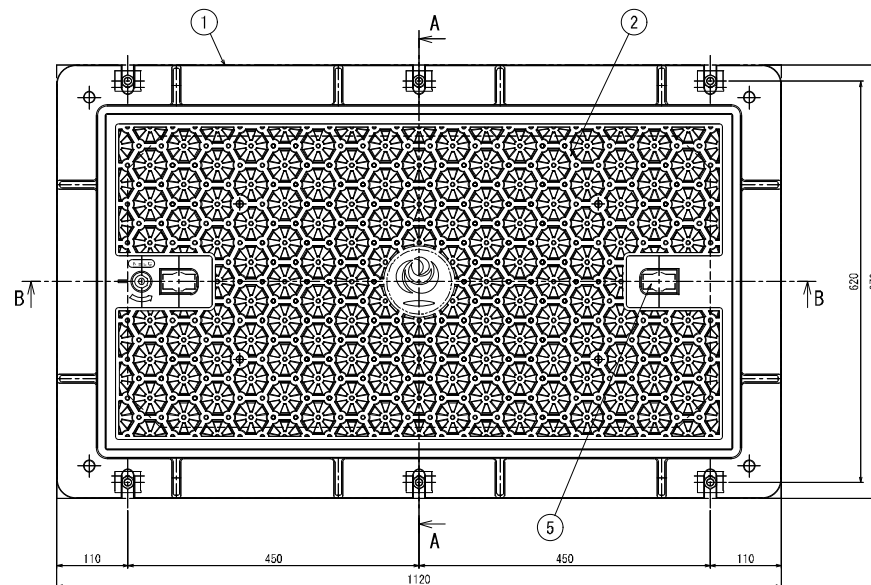
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事
図面名	特殊部蓋構造図(6)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	図示 図面番号 50 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

電力分岐用蓋構造図

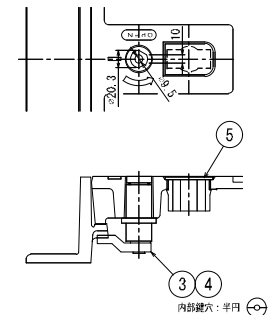
電力分岐用鉄蓋（歩道-As舗装）450x900用

S=1:4

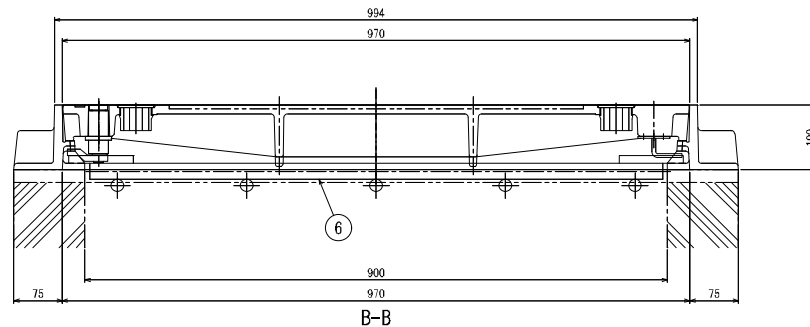
ボックスNo. : U分-1~12



A-A

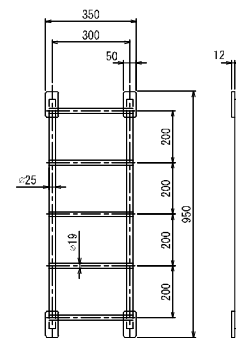


施錠部詳細図
S=1:3



B-B

⑥ 落下防止金具 S=1:10



設計条件

設計条件
設計荷重
活荷重 1輪 50kN
衝撃 i=0.1

部番	重量表
1	受付重量 66kg 1組
2,3,5	蓋版重量 (鋼鉄材) 77kg
	(仮) 舗装材重量 (比重2.3) 77kg
	蓋版重量 (仮舗装材含む) 参考
1,5	鋼鉄材のみ 143kg
	仮舗装材含まず 参考
	仮舗装材含む 143kg

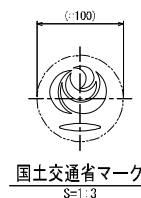
注：落下防止金具の重量は含まず。本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

材料表

部番	品名	数量	重量	材質	備考
1	受付	1	66	FC0500-3	
2	蓋	1	76	FC0700-2	
3	施錠装置	1	1.0	SCS13	
4	シリンダー錠	(1)			別添施工
5	ゴムキャップ	2		CR	
6	落下防止金具	1	8.0	SS400	HD2163
7	高さ調整ボルト	M12 6		SUS	Nx2, Pw2

<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	電力分岐用蓋構造図
作成年月日	令和8年6月 日
縮尺	図示 図面番号 51 / 99
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所



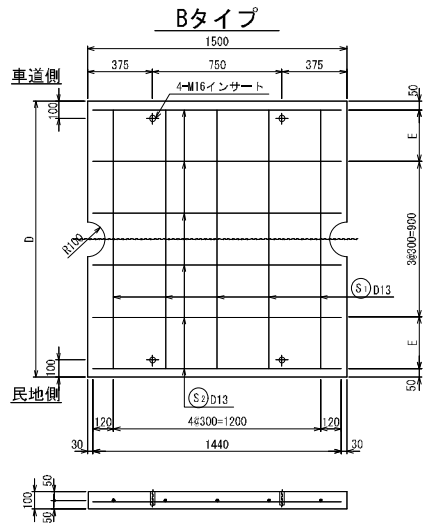
敷板構造・配筋図(1)

S=1:15

(1200用)

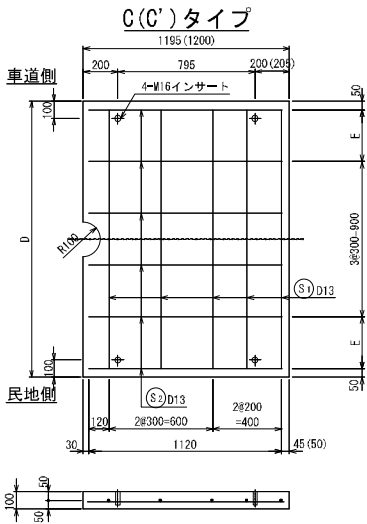
設計仕様

構造形式	工場製品鉄筋コンクリートスラブ
使用材料	コンクリート 鉄筋
	設計基準強度 $f'_{ck}=21\text{N}/\text{mm}^2$ SD295



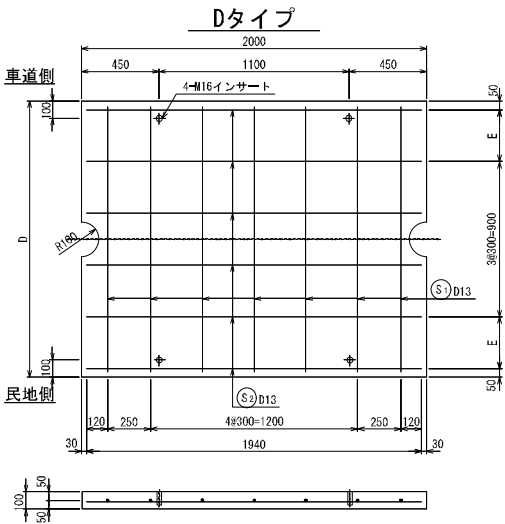
Bタイプ材料表

本体の外 幅	D	E	コンクリートの体積 (m^3)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)	
1460	1560	280	0.231	16.07	580	
1480	1580	290	0.234	16.16	590	
鉄筋表						
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)
本体の外幅 1460 タイプ						
S1	D13	1500	5	0.995	1.493	7.47
S2	"	1440	6	"	1.433	8.60
本体の外幅 1480 タイプ						
S1	D13	1520	5	0.995	1.512	7.56
S2	"	1440	6	"	1.433	8.60
吊り用インサート M16					4	個



C(C')タイプ材料表

本体の 幅	D	E	コンクリート の体積 (m^3)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)	
1460	1560	280	0.186	14.27	460	
1480	1580	290	0.188	14.36	470	
鉄筋表						
符号	径	1本当り 長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量 (kg)	質量 (kg)
本体の外幅 1460 タイプ						
S1	D13	1500	5	0.995	1.493	7.47
S2	"	1440	6	"	1.134	6.80
本体の外幅 1480 タイプ						
S1	D13	1520	5	0.995	1.512	7.56
S2	"	1440	6	"	1.134	6.80
吊り用インサート M16				4 個		



Dタイプ材料表

本体の外幅	D	E	コンクリートの体積 (m^3)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)	
1460	1560	280	0.309	22.03	770	
1480	1580	290	0.313	22.17	780	
鉄筋表						
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)
本体の外幅 1460 タイプ						
S1	D13	1500	7	0.995	1.493	10.45
S2	"	1940	6	"	1.930	11.58
本体の外幅 1480 タイプ						
S1	D13	1520	7	0.995	1.512	10.59
S2	"	1940	6	"	1.930	11.58
吊り用インサート M16				4		

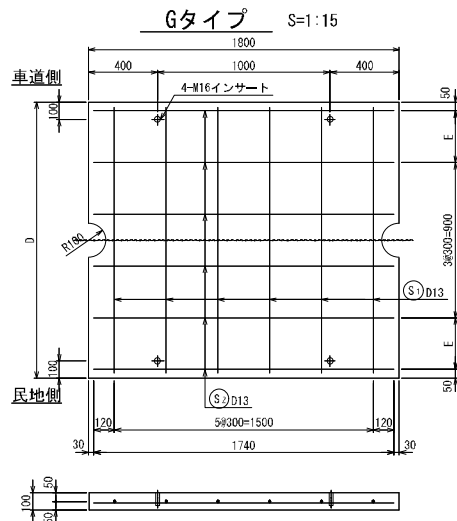
<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	敷板構造・配筋図(1)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:15	図面番号	52 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

敷板構造・配筋図(2) S=1:25
(1200用)

敷設図 S=1:25



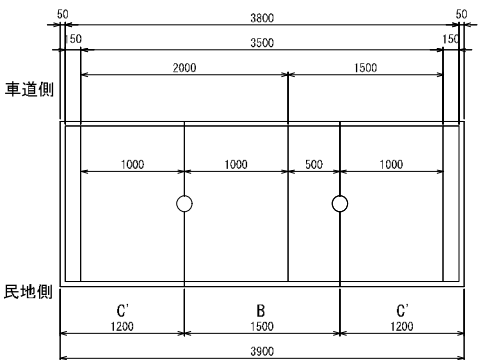
Gタイプ材料表

本体の外幅	D	E	コンクリートの体積 (m ³)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)
1460	1560	280	0.278	19.35	700
1480	1580	290	0.281	19.46	700

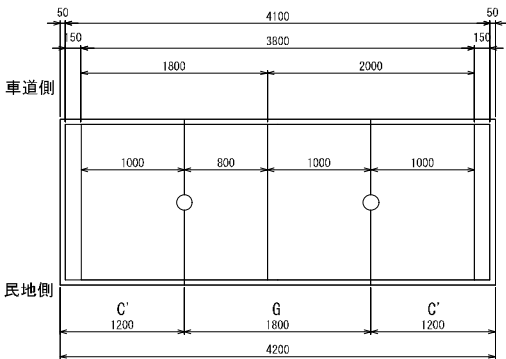
鉄筋表	符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)
本体の外幅 1460 タイプ	S1	D13	1500	6	0.995	1.493	8.96
	S2	"	1740	6	"	1.731	10.39
本体の外幅 1480 タイプ	S1	D13	1520	6	0.995	1.512	9.07
	S2	"	1740	6	"	1.731	10.39

吊り用インサート	M16	4	個
----------	-----	---	---

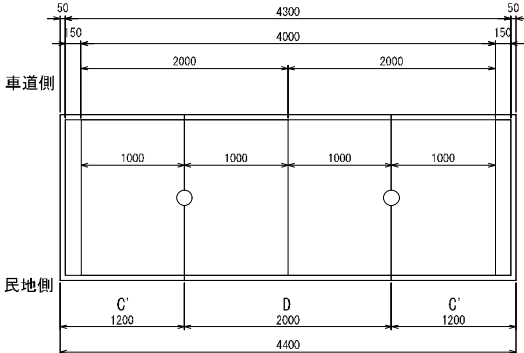
特殊部 L=3500 (L=2000+1500) の場合



特殊部 L=3800 (1800+2000) の場合



特殊部 L=4000の場合



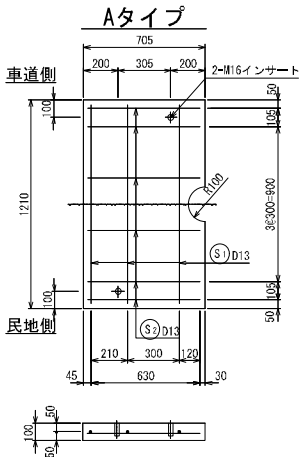
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>			
工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	敷板構造・配筋図(2)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	図示	図面番号	53 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

敷板構造・配筋図(3) S=1:15

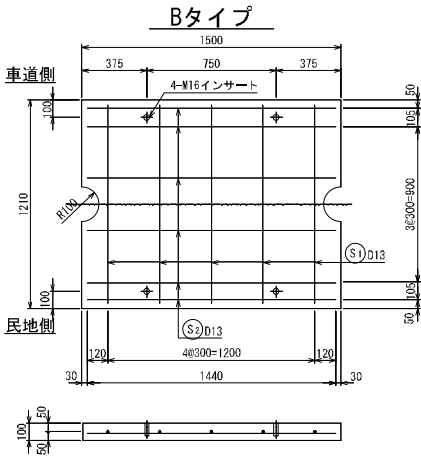
設計仕様

構造形式	工場製品鉄筋コンクリートスラブ	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck}=21\text{N}/\text{mm}^2$
	鉄筋	S0295



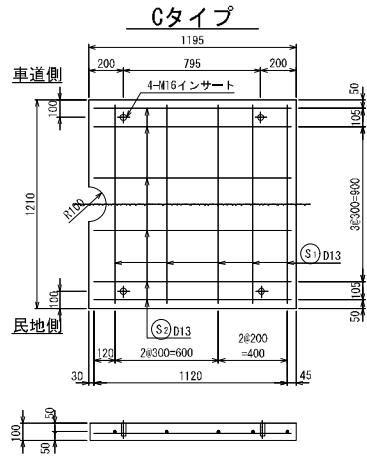
Aタイプ材料表

鉄筋表					
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
S1	D13	150	3	0.995	1.144
S2	"	650	6	"	0.647
				鉄筋質量	7.31 kg
				コンクリートの体積	0.084 m ³
				参考質量	210 kg
				吊り用インサート M16	2 個



Bタイプ材料表

鉄筋表					
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
S1	D13	150	5	0.995	1.144
S2	"	1440	6	"	1.433
				鉄筋質量	14.32 kg
				コンクリートの体積	0.178 m ³
				参考質量	450 kg
				吊り用インサート M16	4 個

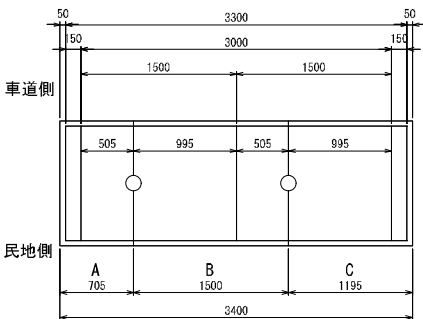


Cタイプ材料表

鉄筋表					
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
S1	D13	150	5	0.995	1.144
S2	"	1140	6	"	1.134
				鉄筋質量	12.53 kg
				コンクリートの体積	0.144 m ³
				参考質量	360 kg
				吊り用インサート M16	4 個

敷設図 S=1:25

特殊部 L=3000の場合



<見沼地区>

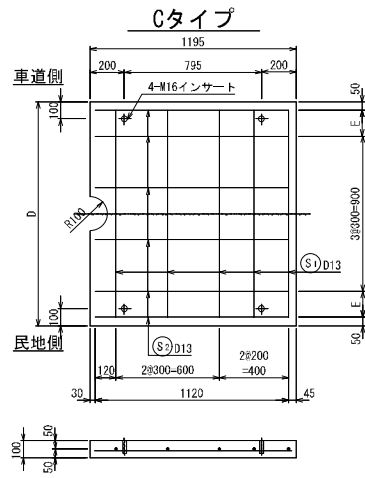
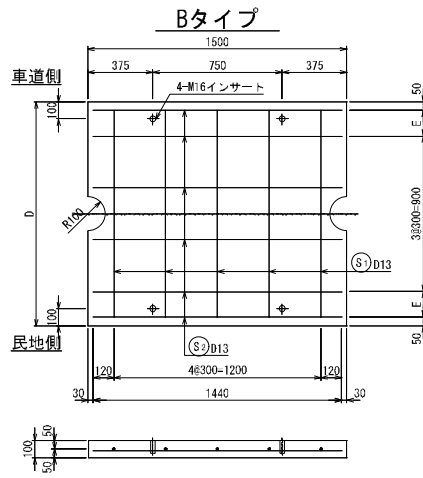
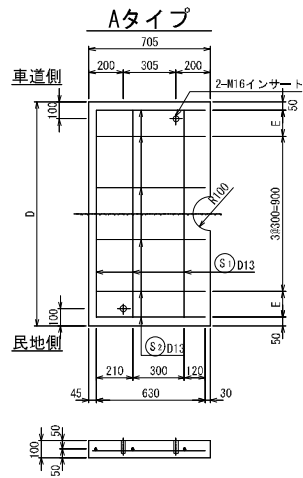
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	敷板構造・配筋図(3)		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	54 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

敷板構造・配筋図(4) S=1:15
(900用)

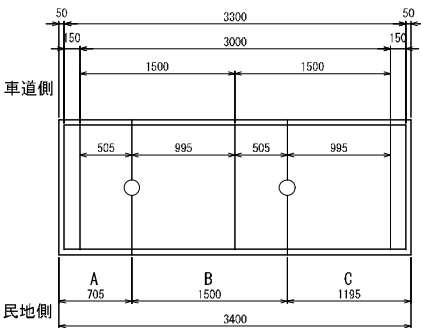
設計仕様

構造形式	工場製品鉄筋コンクリートスラブ	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f_{ck} = 21\text{N/mm}^2$
	鉄筋	S10295



敷設図 S=1:25

特殊部 L=3000の場合



Aタイプ材料表

本体の 外 幅	D	E	コンクリート の厚み(mm)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)
1160	1260	130	0.088	7.46	220
1180	1280	140	0.089	7.52	220
鉄筋表					
本体の外幅 1160 タイプ					
符号	径	1本当り 長さ(mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
S1	D13	1200	3	0.995	1.194
S2	"	650	6	"	0.647
本体の外幅 1180 タイプ					
S1	D13	1220	3	0.995	1.214
S2	"	650	6	"	0.647
吊り用インサート M16				2	個

Bタイプ材料表

本体の 外 幅	D	E	コンクリート の厚み(mm)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)
1160	1260	130	0.186	14.57	470
1180	1280	140	0.189	14.67	470
鉄筋表					
本体の外幅 1160 タイプ					
符号	径	1本当り 長さ(mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
S1	D13	1200	5	0.995	1.194
S2	"	1440	6	"	1.433
本体の外幅 1180 タイプ					
S1	D13	1220	5	0.995	1.214
S2	"	1440	6	"	1.433
吊り用インサート M16				4	個

Cタイプ材料表

本体の 外 幅	D	E	コンクリート の厚み(mm)	鉄筋質量 (kg)	参考質量 (kg)
1160	1260	130	0.150	12.77	380
1180	1280	140	0.151	12.87	380
鉄筋表					
本体の外幅 1160 タイプ					
符号	径	1本当り 長さ(mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
S1	D13	1200	5	0.995	1.194
S2	"	1140	6	"	1.134
本体の外幅 1180 タイプ					
S1	D13	1220	5	0.995	1.214
S2	"	1140	6	"	1.134
吊り用インサート M16				4	個

<見沼地区>

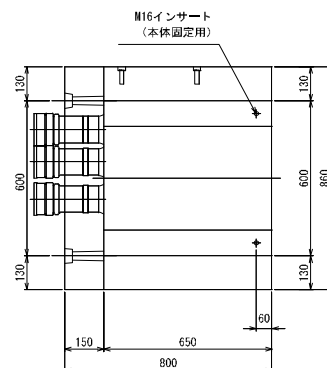
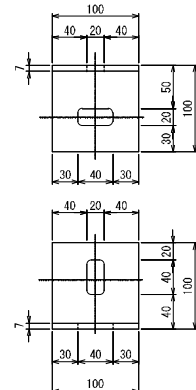
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	敷板構造・配筋図(4)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	図示	図面番号	55 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

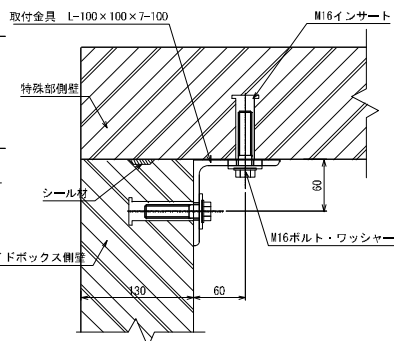
1000×600×650(端壁取付タイプ)

設置箇所：U-4

SS400	HDZT63	L-100×100×7-100
-------	--------	-----------------



サイドボックス取付詳細図 S=1:3



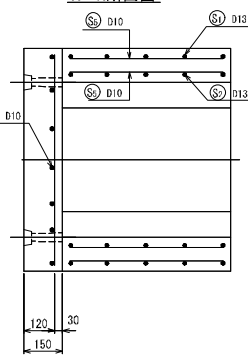
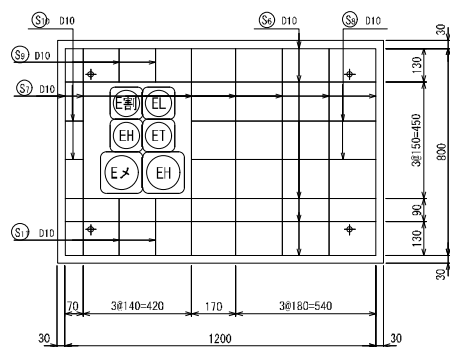
設計荷重	活荷重 衝擊	1輪 100kN 側壁=0 底板=0.4
構造形式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型斷	
内空寸法(幅×高さ)		1000×600
土の単位重量		$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$
土圧係数		$K=0.5$
使用材料	コンクリート 鉄筋	設計基準強度 $f'_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$ SD295

種 別	規 格	数 量
インサート 取付金具用	SUS304 M16×75	4 個
インサート （埋設用・定尺）	メッキ M16×75	4 本
〃 （竣工用）	メッキ M16×70	6 本
六角形鉄板 クランプ用	SUS304 M16×40 M16用底金	8 本
六角形鉄板 クランプ用	メッキ M16×150	4 本
取付金具	SS400 HDZ163 L=100×100×7=100	4 種
シール材	10/20×15	3.7 ㎡

[illegible]

Technical drawing of a U-shaped structural member. The overall width is 690 mm. The top and bottom horizontal flanges are 450 mm wide. The vertical stem has a total height of 570 mm, with 220 mm of height on the left side and 140 mm of height on the right side. The drawing includes reinforcement details: 140R for the top and bottom reinforcement bars, and 10-Ø13 x 2340 for the vertical reinforcement bars. The reinforcement bars are shown as solid lines within the U-shape.

A—A断面图



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

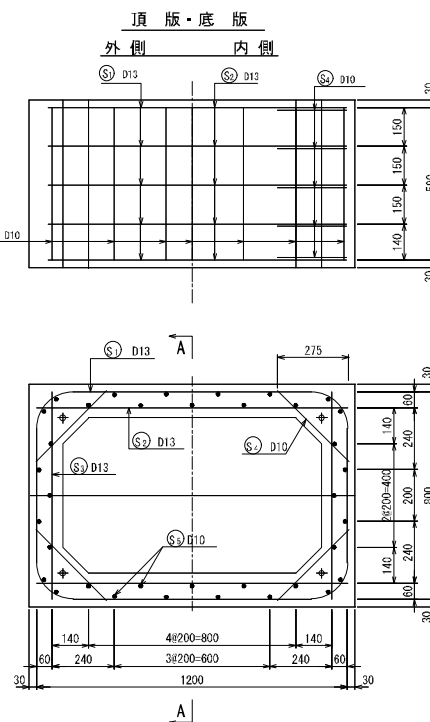
＜見沼地区＞

工事名	R8 国道 16 号見沼外環線共同溝工事		
図面名	サイドボックス精述図 (1)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	図示	図面番号	58 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

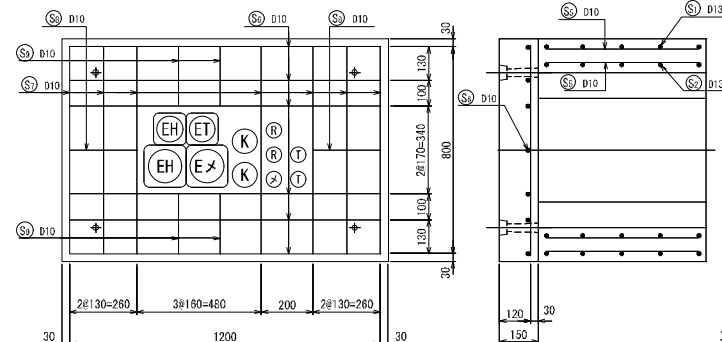
1000×600×650(端壁取付タイプ)

設置箇所：U-5

SS400 HDZT63 L-100×100×7-100



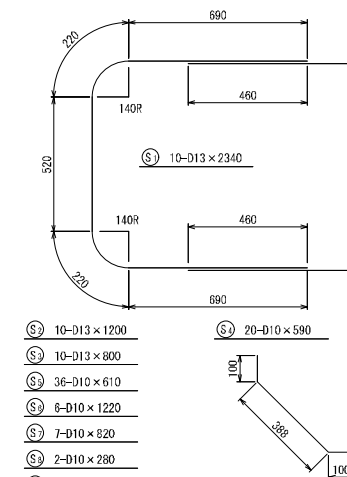
サイドボックス取付詳細図 S=1:3



鉄筋表

符号	径 (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	2 340	10	0.995	2.328	23.3 □
S2	"	1 200	10	"	1.194	11.9 —
S3	"	900	10	"	0.796	8.0
S4	D10	590	20	0.560	0.330	6.6 ∪
S5	"	610	36	"	0.342	12.3 —
S6	"	1 220	6	"	0.683	4.1 —
S7	"	820	7	"	0.459	3.2
S8	"	280	2	"	0.157	0.3 —
S9	"	250	4	"	0.140	0.6
D13					43.2	kg
D10					27.1	m ³
鉄筋					70.3	m ³
コンクリート(本体)					0.327	m ³
コンクリート(端壁)					0.146	m ³
製品重量					1 180	kg

鉄筋加工図 S=1:10



<見沼地区>

工事名	R8 国道 16 号見沼外濠橋共同溝工事		
図面名	サイドボックス精造図 (2)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	図示	図面番号	59 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

サイドボックス構造図 (3)

1000×600×650(端壁取付タイプ)

S=1:10

設置箇所: U-13

設計条件

設計荷重	活荷重	1輪 100kN
構造形式	側壁 i=0 底版 i=0.4	
内空寸法(幅×高さ)	工場製品 鉄筋コンクリート配筋断面	
土の単位重量	$\gamma=19.0 \text{ kN/m}^3$	
土圧係数	$K=0.5$	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
	鉄筋	SD295

材料表

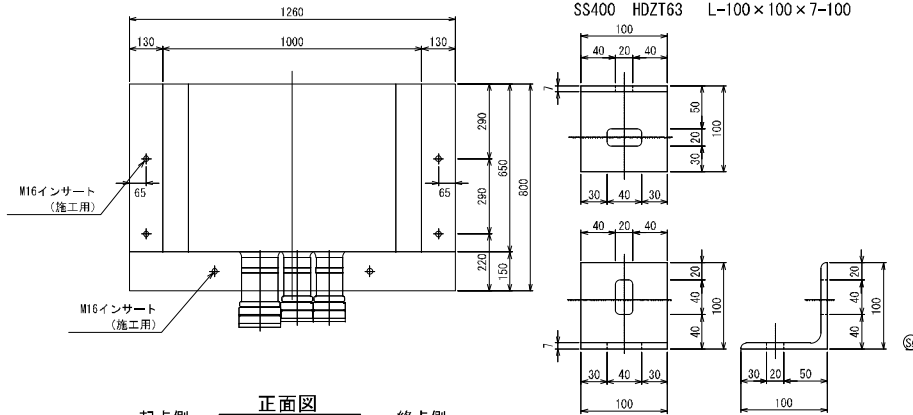
種別	規格	数量
インサート	SUS304 M16×75	4 個
インサート	メッキ M16×75	4 個
メッキ	M16×70	6 個
メッキ	M16×40 M16用座金	8 個
メッキ	M16×150	4 個
取付金具	SS400 HDZT63 L=100×100×7-100	4 組
シール材	10/20×15	3.7 m

鉄筋表

符号	径	本数	単位質量	本数	単位質量	質量	形状
S1	D13	2 340	10	0.995	2 328	23.3	□
S2	"	1 200	10	"	1.194	11.9	—
S3	"	800	10	"	0.796	8.0	—
S4	D10	590	20	0.560	0.330	6.6	—
S5	"	610	36	"	0.342	12.3	—
S6	"	1 220	6	"	0.683	4.1	—
S7	"	820	6	"	0.459	3.2	—
S8	"	380	2	"	0.213	0.4	—
S9	"	270	4	"	0.151	0.6	—
D13						43.2	kg
D10						26.8	kg
鉄筋						70.0	kg
コンクリート(本体)						0.327	m ³
コンクリート(端壁)						0.150	m ³
製品質量						1 190	kg

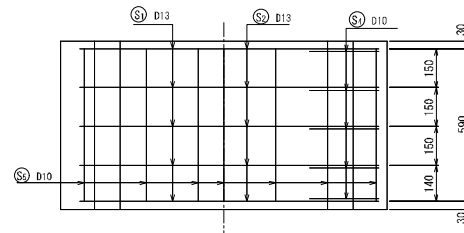
サイドボックス 取付金具詳細図 S=1:3

SS400 HDZT63 L=100×100×7-100

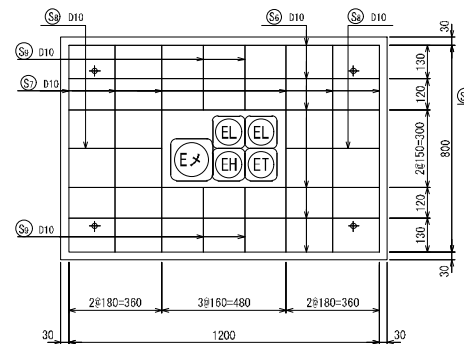


頂版・底版

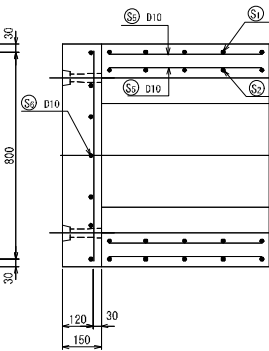
外側 内側



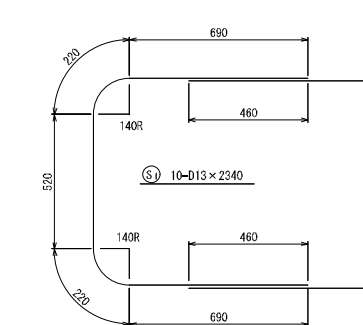
端壁



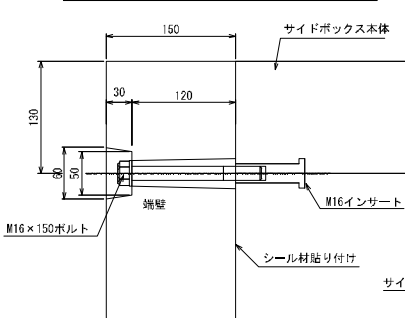
A-A断面図



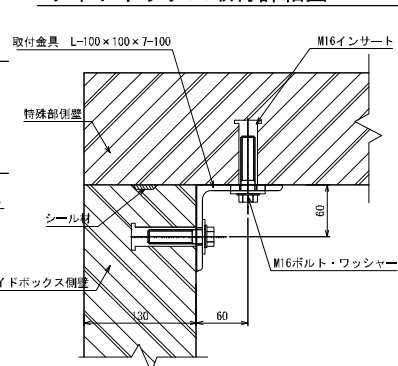
鉄筋加工図 S=1:10



端壁取付詳細図 S=1:3



サイドボックス取付詳細図 S=1:3

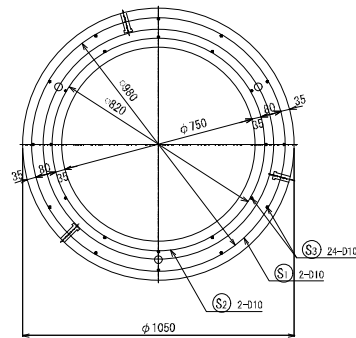


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

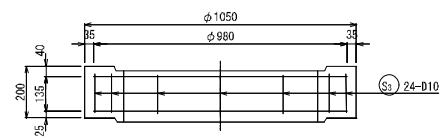
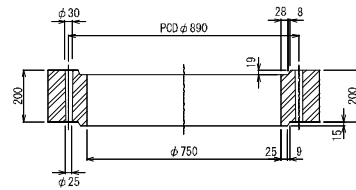
工事名	R 8 圃道 1 6号見沼外電線共同溝工事
図面名	サイドボックス構造図 (3)
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	図示 図面番号 60 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業名	国土交通省 大宮国庫事務所

S=1:10



構造形式	工場製品鉄筋コンクリート調整ブロック	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD295

Figure 1 shows two circles, each with a diameter of 800 and a height of 350. The left circle is labeled S1 and the right circle is labeled S2. To the right of the circles are three equations: S1: $2-010 \times 3430$, S2: $2-010 \times 2930$, and $24-010 \times 150$. Below these equations are three diagrams: a rectangle with height 150, a rectangle with height 100, and a rectangle with height 50.



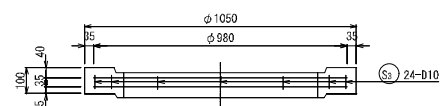
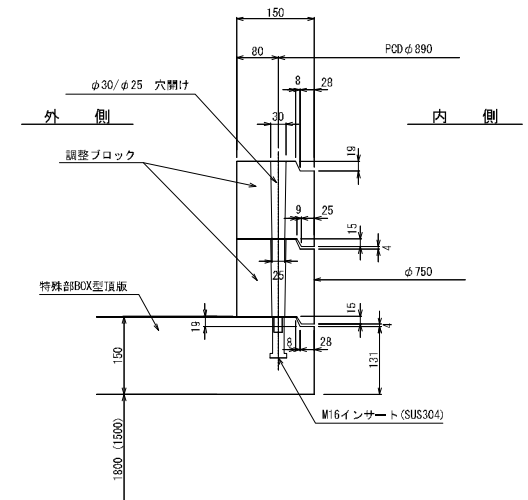
1 個 当 り

符号	径	1本当り 長さ(mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)
S1	φ10	3 430	2	0.560	1.921	3.8
S2	"	2 930	2	"	1.641	3.2
S3	"	150	24	"	0.084	2.0
鉄鈹質量						9.14
コンクリートの体積						0.095
参考質量						210
吊り用インサート			M16			3

1 個当り

符号	径	1本当り 長さ(mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)
S1	Φ10	3 430	2	0.560	1.921	3.8
S2	"	2 930	2	"	1.641	3.2
S3	"	50	24	"	0.028	0.6
鉄筋質量					7.79	
コンクリートの体積					0.042	
参考質量					110	
吊り用インサート			M16		3	

S=1:5



工事名	R8国道16号見沼外環線共同溝工事		
図面名	調整ブロック構造・配筋図		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	61 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

嵩上げ材詳細図(1)

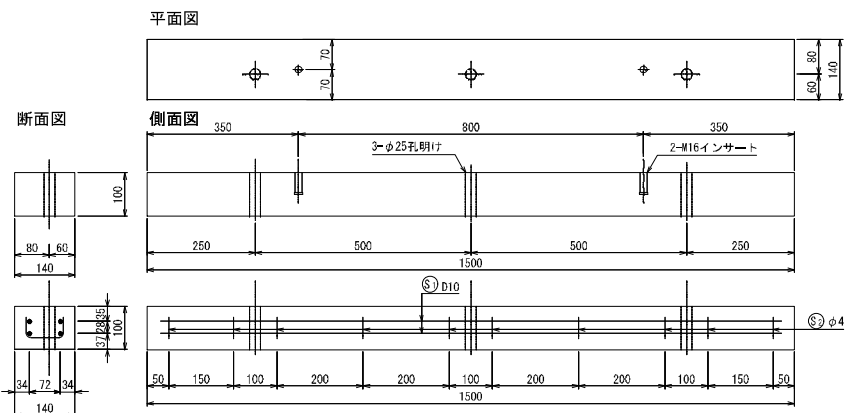
(H=100) 1200×1350用

S=1:6

(L=1500用)

鉄筋表 (140×100×1500)

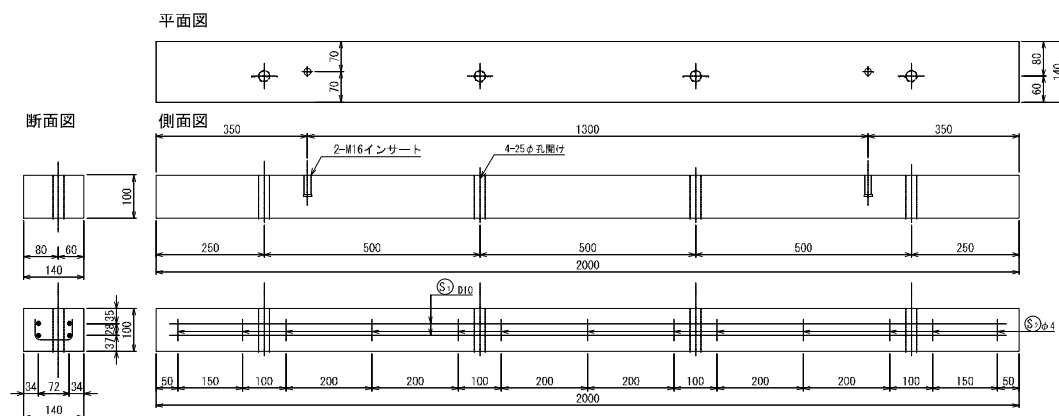
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D10	1440	4	0.560	0.806	3.2	—
S2	φ4	180	10	0.099	0.018	0.2	U
D10						3.2 kg	
φ4						0.2 kg	
鉄筋						3.4 kg	
コンクリート						0.021 m ³	
総質量						52 kg	



(L=2000用)

鉄筋表 (140×100×2000)

符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D10	1940	4	0.560	1.086	4.3	—
S2	φ4	180	13	0.099	0.018	0.2	U
D10						4.3 kg	
φ4						0.2 kg	
鉄筋						4.5 kg	
コンクリート						0.028 m ³	
総質量						70 kg	



<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	嵩上げ材詳細図(1)		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	1:6	図面番号	62 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

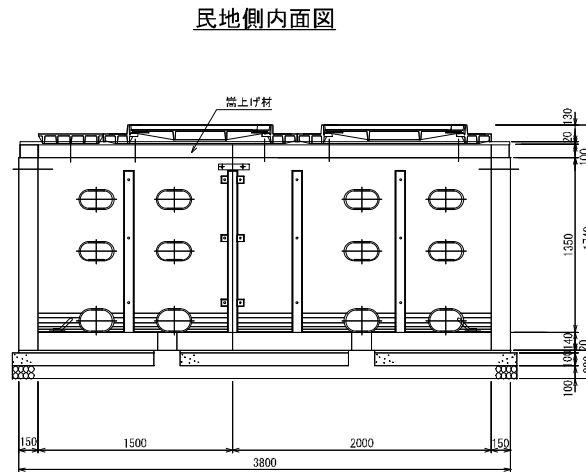
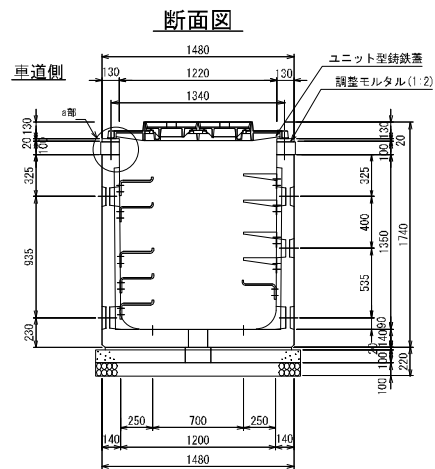
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

嵩上げ材詳細図(2)

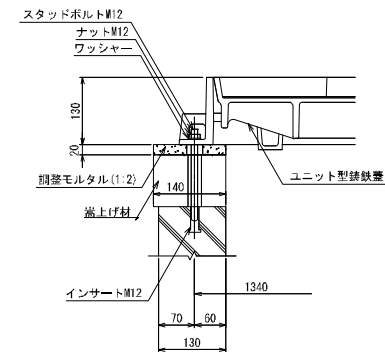
(H=100) 1200×1350用

S=1:20

取付参考図 S=1:20



a部詳細図 S=1:5



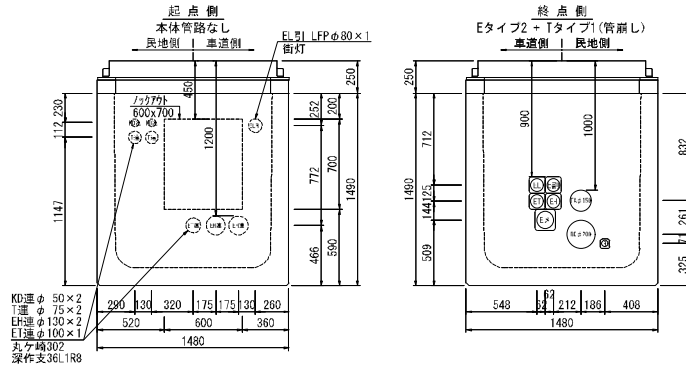
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>			
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	嵩上げ材詳細図(2)		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	63 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

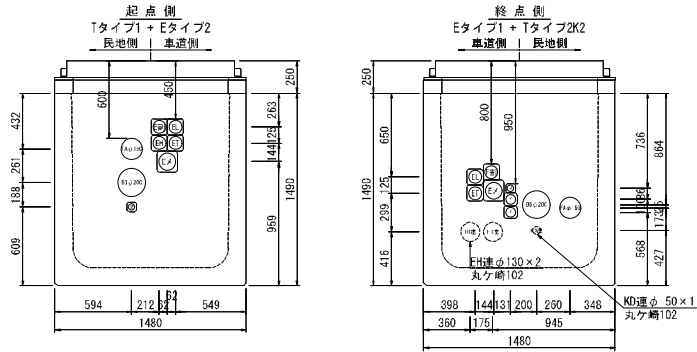
端壁管路配置図(1)

S=1:20

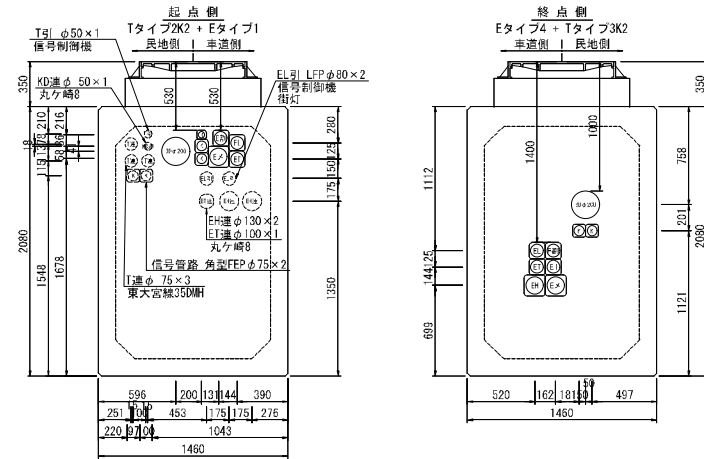
U-1
I型1200x1350(直上1基)



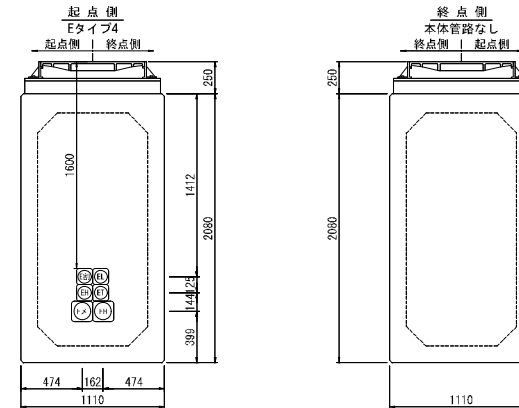
U-2
I型1200x1350



U-3
I型1200x1800



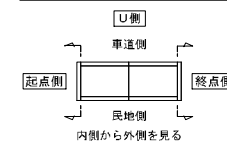
U-4
電力II型850x1800(横置2基)



凡例

種別	参画事業者名	記号	管種
電力	東京電力PG(株)	幹線・高圧用	EH・E割 角FEPφ130, φ100
		幹線・低圧用	EL 角FEPφ100
		幹線・保安通信用	ET 角FEPφ100
		幹線・ケーブル・機器用	Eメ 角FEPφ130, φ100
通信	NIT東日本(株)	幹線用(ボテノ管内)	T SUφ50, φ30
	KDDI(株)	幹線用(ボテノ管内)	KD SUφ50
	(株)ジエム地玉・東日本	幹線用(ボテノ管内)	JC SUφ30
	通信メンテナンス	幹線用(ボテノ管内)	メ SUφ50
	埼玉県営	単管路	K 角FEPφ75, 50
	大宮国道事務所	予備管	予 SUφ50
		道路管理者	R SUφ50
		単管路	R 角FEPφ50

端壁管路取付位置図の見方



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事			
図面名	端壁管路配置図(1)			
作成年月日	令和	8年	6月	日
縮尺	1:20	図面番号	64	/ 99
会社名	株式会社 長大			
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所			

Tタイプ1 さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



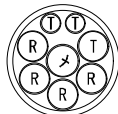
Tタイプ2K2 さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



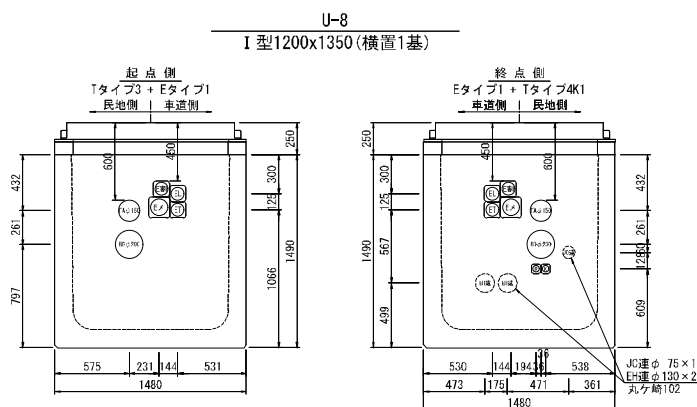
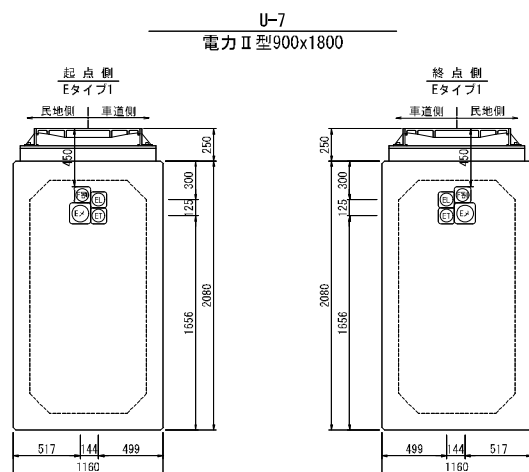
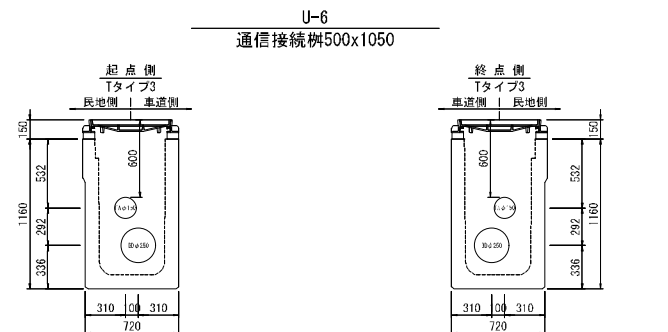
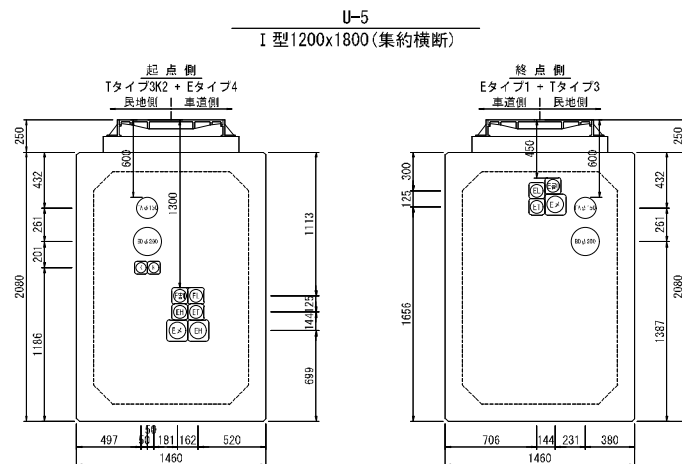
Tタイプ3K2 さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

車道側 民地側



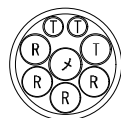
端壁管路配置図(2)

S=1:20



Tタイプ3, 3K2 さや管
φ200(φ50×6, φ30×2)

車道側 民地側



Tタイプ4K1 さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

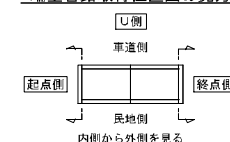
車道側 民地側



凡例

種別	参画事業者名	記号	管種
電力	東京電力PG(株)	幹線・高圧用	EH・E割 角FEPφ130, φ100
		幹線・低圧用	EL 角FEPφ100
		幹線・保安遮断用	ET 角FEPφ100
		幹線・トラフ引込機用	Eメ 角FEPφ130, φ100
通信	NTT東日本(株)	幹線用(ボディ管内)	T SUφ50, φ30
	KDDI(株)	幹線用(ボディ管内)	K SUφ50
	(株)フレッツ埼玉・東日本	幹線用(ボディ管内)	JC SUφ30
	通信メンテナンス	幹線用(ボディ管内)	メ SUφ50
	埼玉県営	単管路	K 角FEPφ75, 50
	大宮国道事務所	予備管 幹線用(ボディ管内)	予 SUφ50
		道路管理者 幹線用(ボディ管内)	R SUφ50
		単管路	R 角FEPφ50

端壁管路取付位置図の見方



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

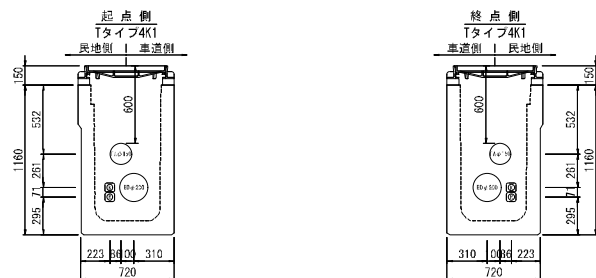
<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	端壁管路配置図(2)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:20	図面番号	65 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

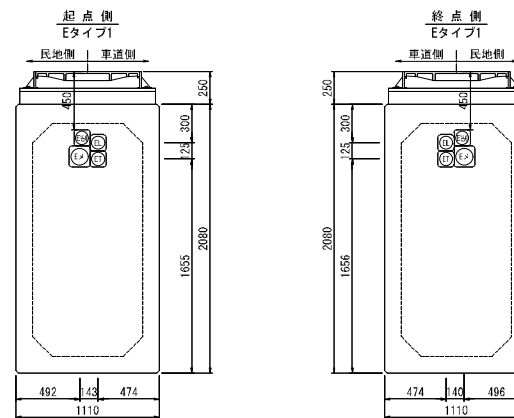
端壁管路配置図 (3)

S=1:20

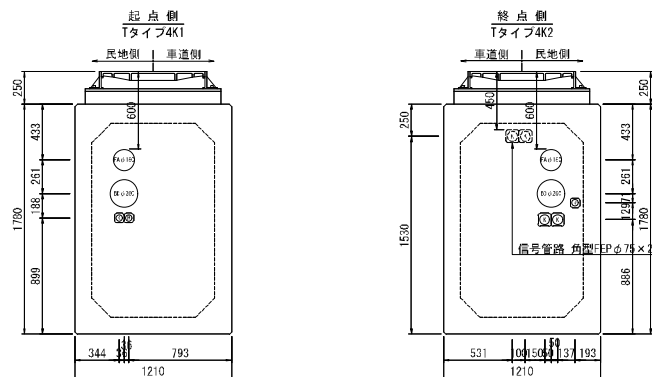
U-9
通信接続機500x1050



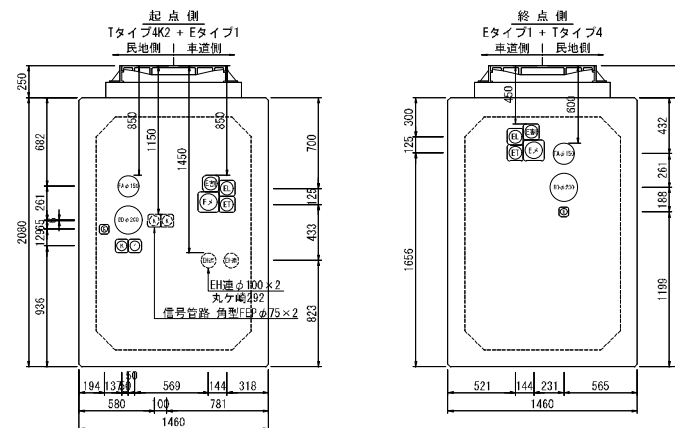
U-10
電力Ⅱ型850x1800(横置2基)



U-11
通信Ⅱ型950x1500



U-12
Ⅰ型1200x1800(横置1基)



Ⅰタイプ4, 4K1, 4K2 さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

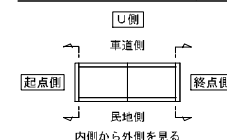
車道側 民地側



凡例

種別	参画事業者名	記号	管種
電力	東京電力PG(株)	幹線・高圧用	EH・E割 角FEPφ130, φ100
		幹線・低圧用	EL 角FEPφ100
		幹線・保安通信用	ET 角FEPφ100
		幹線・ケーブル引込用	Eメ 角FEPφ130, φ100
通信	NTT東日本(株)	幹線用(ボディ管内)	T SUφ50, φ30
	KDDI(株)	幹線用(ボディ管内)	KD SUφ50
	(株)ソニコム埼玉・東日本	幹線用(ボディ管内)	JC SUφ30
	通信メンテナンス	幹線用(ボディ管内)	メ SUφ50
	埼玉県警	単管路	K 角FEPφ75, 50
	大宮国道事務所 道路管理者	予備管	予 SUφ50
		幹線用(ボディ管内)	R SUφ50
		単管路	R 角FEPφ50

端壁管路取付位置図の見方



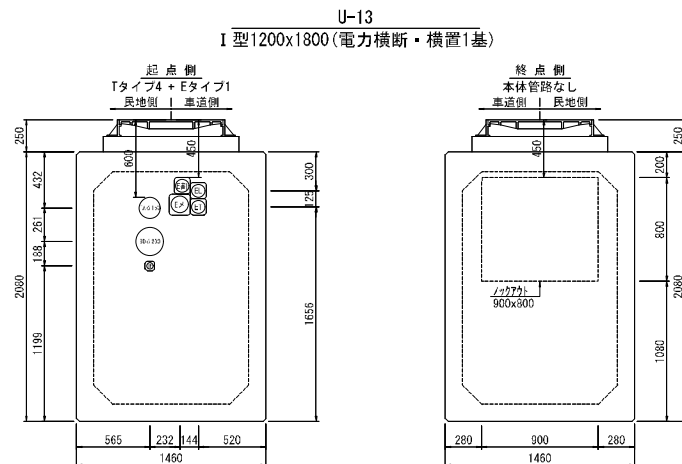
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	端壁管路配置図(3)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:20	図面番号	66 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

端壁管路配置図(4)

S=1:20



Tタイプ3 さや管
φ200(φ50×6, φ30×2)

車道側 民地側



Tタイプ4 さや管
φ200(φ50×5, φ30×5)

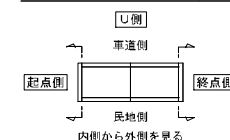
車道側 民地側



凡例

種別	参画事業者名	記号	管種
電力	東京電力PG(株)	幹線・高圧用	EH・E鋼 角FEP φ130, φ100
		幹線・低圧用	EL 角FEP φ100
		幹線・保安通信用	ET 角FEP φ100
		幹線・ケーブル引機用	Eメ 角FEP φ130, φ100
通信	NTT東日本(株)	幹線用(ボディ管内)	T SU φ50, φ30
	KDDI(株)	幹線用(ボディ管内)	KD SU φ50
	(株)フレッツ埼玉・東日本	幹線用(ボディ管内)	JC SU φ30
	通信メンテナンス	幹線用(ボディ管内)	メ SU φ50
	埼玉泉管	単管路	K 角FEP φ75, 50
	大宮国道事務所	予備管	幹線用(ボディ管内) 予 SU φ50
		道路管理者	幹線用(ボディ管内) R SU φ50
		単管路	R 角FEP φ50

端壁管路取付位置図の見方



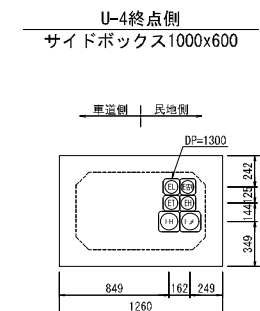
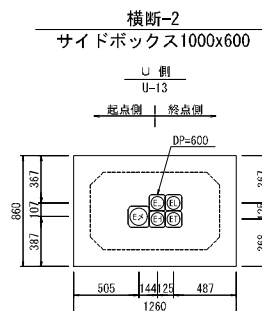
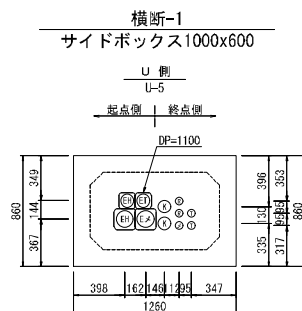
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	端壁管路配置図(4)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:20	図面番号	67 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

端壁管路配置図(5)

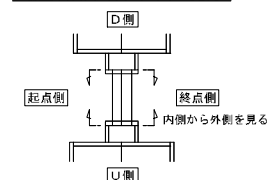
S=1:20



凡例

種別	参画事業者名	記号	管種
電力	東京電力PG(株)	幹線・高圧用	EH・E側 角FEPφ130、φ100
		幹線・低圧用	EL 角FEPφ100
		幹線・保安通信用	ET 角FEPφ100
		幹線・ケーブル引機用	Eメ 角FEPφ130、φ100
通信	NTT東日本(株)	幹線用(ボディ管内)	T SUφ50、φ30
	KDDI(株)	幹線用(ボディ管内)	KD SUφ50
	(株)フレッツ埼玉・東日本	幹線用(ボディ管内)	JC SUφ30
	通信メンテナンス	幹線用(ボディ管内)	メ SUφ50
	埼玉泉管	単管路	K 角FEPφ75、50
	大宮国道事務所	予備管	予 SUφ50
		道路管理者	R SUφ50
		単管路	R 角FEPφ50

端壁管路取付位置図の見方



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

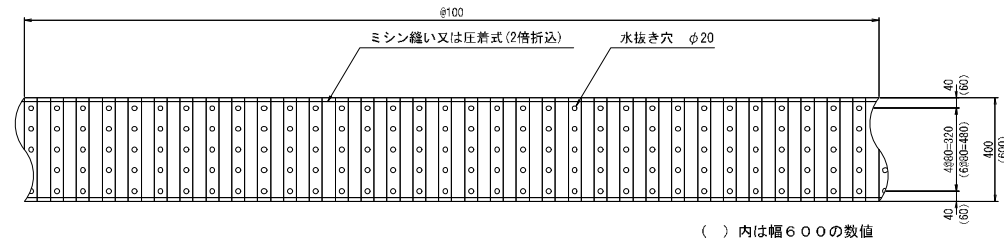
<見沼地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	端壁管路配置図(5)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:20	図面番号	68 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

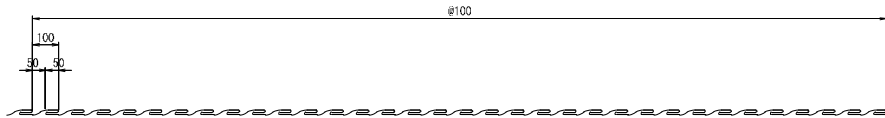
埋 設 表 示 シ ー ト 詳 細 図 S=1:10

埋設表示シート

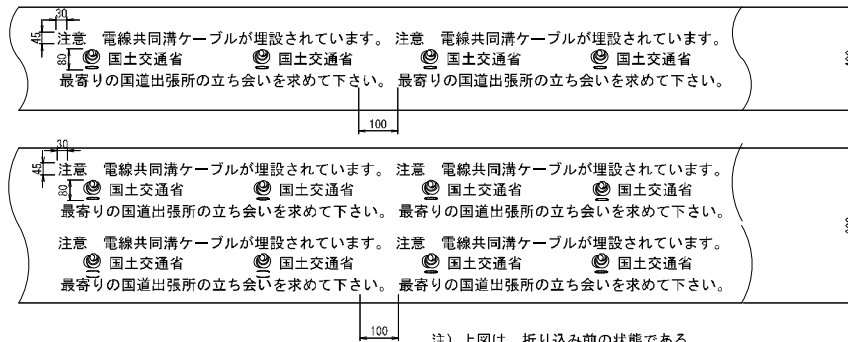
平 面 図



断 面 図



印 刷 表 示 図

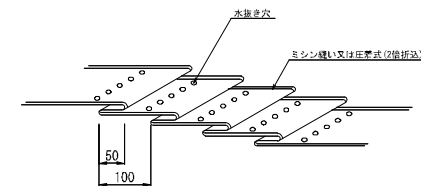


注) 上図は、折り込み前の状態である。

備 考

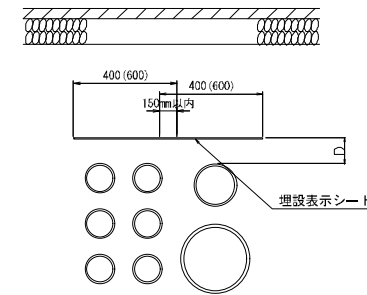
- 1 折込倍率は、2倍とする。
- 2 折込の固定方法は、マシン縫い又は圧着式とする。
- 3 色は、地色をピンクとし、文字色を黒とする。
- 4 幅は、400mmを標準寸法とする。
- 5 1巻の長さは、50mを標準寸法とする。
- 6 文字は、フィルムに裏面印刷とする。
- 6 材質は、ポリエチレンクロスとする。
- 7 表示寸法は、標準寸法とする。
- 8 表示文字は、実際の字体とは多少異なります。
- 9 水抜き穴の径は、約20mmとし、シート巾400mmは5ヶ所、600mmは7ヶ所設ける物とする。

折 込 構 造 図



埋設表示シート設置位置標準図

(管路部)



- ・埋設表示シートは管路の外側に合わせ400mm、600mmを組合せて布設する。
- ・埋設位置は、歩道部では管上20cm、車道部では管上30cmを標準とする。

D: 歩道部 200mm
車道部 300mm

<見沼地区>

工事名	R8 圃道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	埋 設 表 示 シ ー ト 詳 細 図		
作成年月日	令和 8 年 6 月	日	
縮 尺	1:10	図面番号	69 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

数量総括表

管路部数量表

名 称	単位	電力管					通信管								安全施設用管				
		埋設管					埋設管								埋設管	埋設管	埋設管	埋設管	露出管
		角形 FFP φ130	角形 FFP φ100	φ130	φ100	φ80	VF φ200 (φ50×12, φ30×12)	VF φ200 (φ50×12, φ20×2)	φ150	φ100 (平力鋼管)	角形 φ75	角形 φ50	φ75	φ50	φ80	φ75	φ50	角形 φ75	φ80
直埋	m	664	1,893	94	77		341	155	454	11	232	470	49	92	156	17	64	29	1
口埋	m			17	11					6				8					
さや埋 φ50	m						1,617	912											
さや埋 φ30	m						1,677	304											
圧入埋	m						35	12											
EB埋	m							31											
ダクトスリーブ (上通取付)	m	25	66	8	2	3	12	6	16	2	12	16	8	5			1	4	
ダクトスリーブ (別巻取付)	m		24												29	2	6	14	
戸当埋	m			145	40				240	21			8			2			
ヤリトリ埋	m	15	50						7		4	1		32				6	
コータス等 (引込用)	m						12	6											
スライダ埋	m						6	3											
留止めキャップ	m							2											
路末部用短管 φ50	m						60	36											
路末部用短管 φ30	m						60	12											

※ダクトスリーブにはベルマウス、ロングベルマウスを含む

特殊部数量表

名 称	規 格	単位	数量
プレキャストボックス U-1	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器直上1基付	個	1
プレキャストボックス U-2	I型 U型 1200×1350×3500	個	1
プレキャストボックス U-3	I型 BOX型 1200×1800×3500	個	1
プレキャストボックス U-4	電力E型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	個	1
プレキャストボックス U-5	I型 BOX型 1200×1800×3800 車道横断付	個	1
プレキャストボックス U-6	通信縦線用 BOX型 500×1050×2000	個	1
プレキャストボックス U-7	電力E型 BOX型 900×1600×3000	個	1
プレキャストボックス U-8	I型 U型 1200×1350×4000 地上機器横置1基付	個	1
プレキャストボックス U-9	通信縦線用 BOX型 500×1050×2000	個	1
プレキャストボックス U-10	電力E型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	個	1
プレキャストボックス U-11	通信E型 BOX型 950×1600×2200	個	1
プレキャストボックス U-12	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基	個	1
プレキャストボックス U-13	I型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器側方1基 車道横断付	個	1
プレキャストボックス U分-1～12	電力分岐用 450×500×800	個	12
プレキャストボックス U-8	地上機器ハンドホ-ル 395×880×995 開口(900×450)	個	1
プレキャストボックス U-4×2、10×2、12、13	地上機器ハンドホ-ル 395×850×995 開口(900×450)	個	6
安全施設ハンドホ-ル	600×600×600(鉄筋を含む)	個	9
安全施設ハンドホ-ル	600×600×900(鉄筋を含む)	個	2
基礎砕石 (基礎材)	R0-40 t=100	m ²	90

特殊部蓋数量表

名 称	規 格	単位	数量
蓋 U-3	鉄鉄蓋 (受付含む) φ750 車道用 (調整ブロック H=200)	組	1
蓋 U-4、5、7、10～13	鉄鉄蓋 (受付含む) φ750 歩道用 (調整ブロック H=100)	組	7
蓋 U-1	鉄鉄蓋 (受付含む) x-yt型 1200×4000用 地上機器設置側直上1基(歩道用)(高上げH=100)	組	1
蓋 U-2	鉄鉄蓋 (受付含む) x-yt型 1200×3500用 (歩道用)(高上げ H=100)	組	1
蓋 U-8	鉄鉄蓋 (受付含む) x-yt型 1200×4000用 (歩道用)(高上げ H=100)	組	1
蓋 U-6、9	鉄鉄蓋 (受付含む) 通信縦線用 500×2000用 (歩道用)	組	2
蓋 U分-1～12	鉄鉄蓋 (受付含む) 電力分岐用 450×900用 (歩道用)	組	12
蓋 U-4×2、8、10×2、12、13	地上機器ハンドホ-ル蓋 1085×445用 (T-25仕様)	組	7

埋設シート数量表

名 称	規 格	単位	数量
埋設シート	W=600	m	414
埋設シート	W=600	m	338

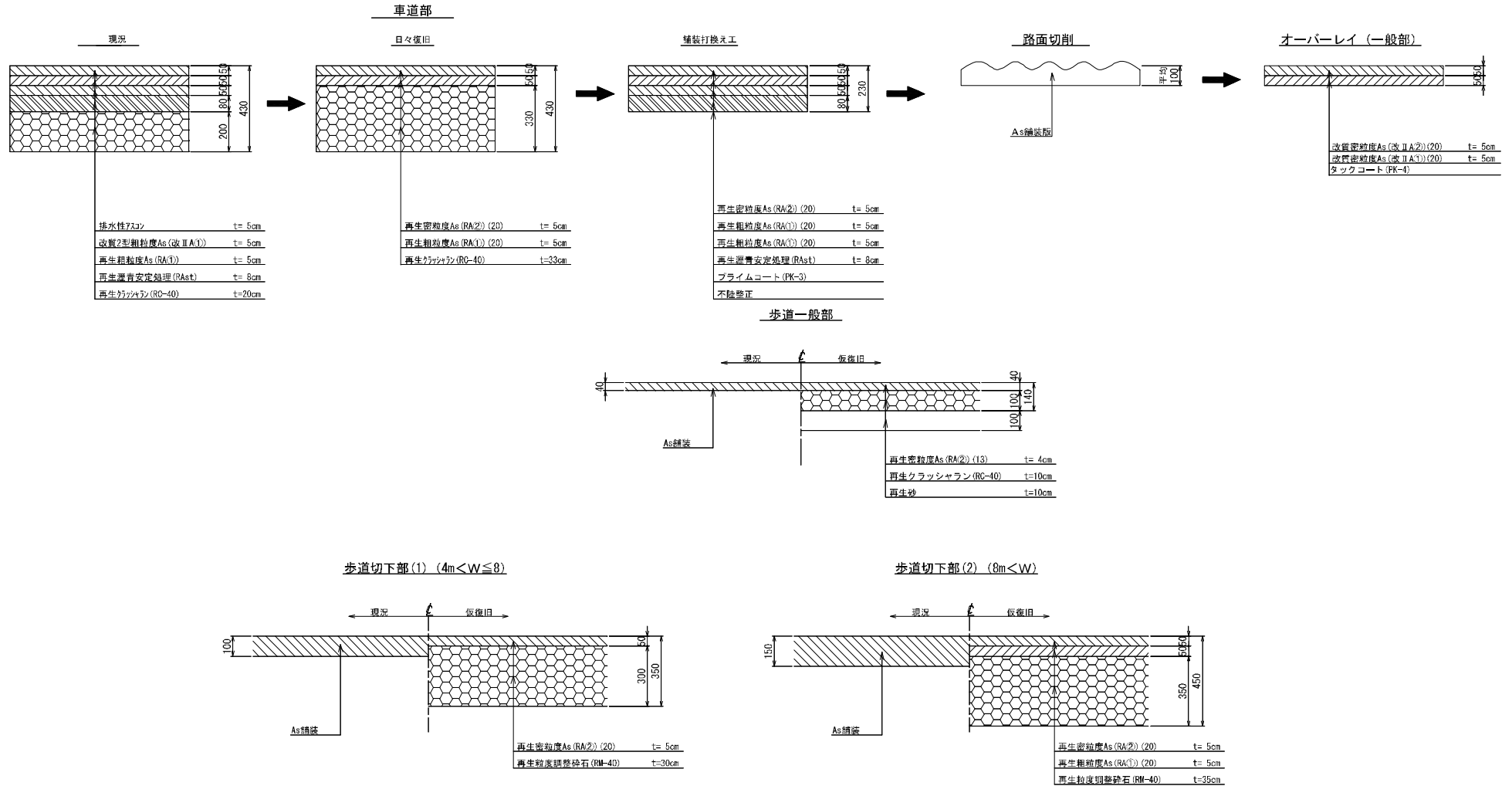
＜見沼地区＞

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	数量総括表		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	——	図面番号	70 / 99
会社名			
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

舗装構成図

S=1:10

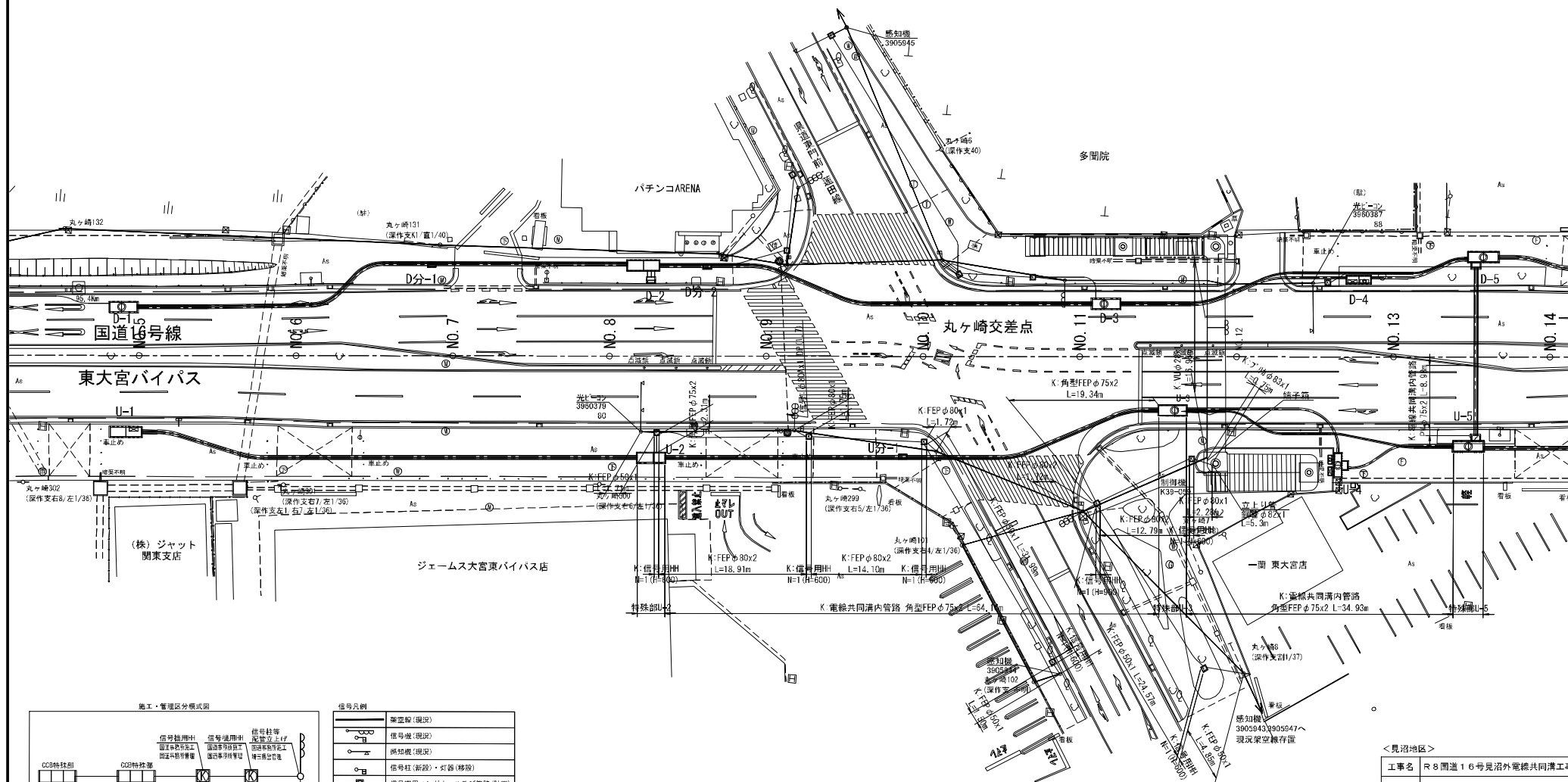
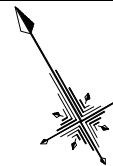


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

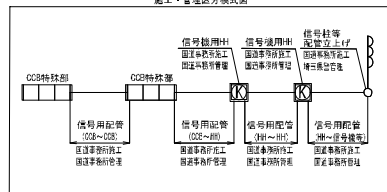
<見沼地区>			
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	舗装構成図		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	1:10	図面番号	71 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

安全施設地中化平面図 (1)

S=1:250



施工・管理区分模式図



信号凡例

	信号柱(現況)
	信号柱(新設)
	信号柱(新設)・灯器(移設)
	信号柱用ハンドホール及び配線(計画)
	信号柱用配線(計画)
	信号柱用配線(計画)

注) 工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。
施工前に特殊部・信号ハンドホール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

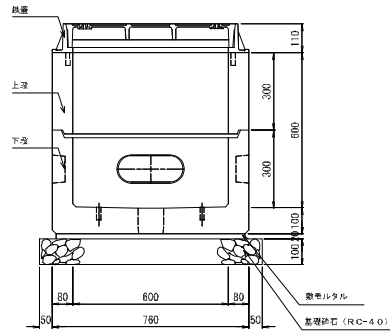
<見沼地区>

工事名	R 8 国道 16 号見沼外電線共同溝工事
図面名	安全施設地中化平面図 (1)
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮尺	1:250 図面番号 72 / 99
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

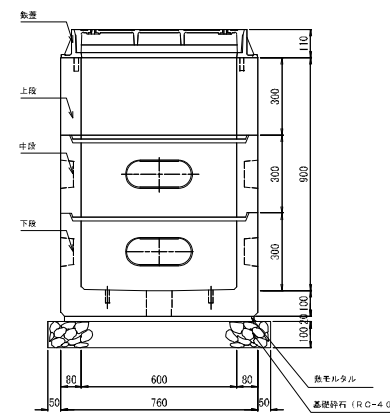
安全施設ハンドホール構造図

S=1:10

ハンドホール (1)
(H-600 用)



ハンドホール (2)
(H-900 用)



設計条件

設計荷重	活荷重	1輪 50kN
	側壁 i=0 底版 i=0.1	
構造型式	工場製品 鉄筋コンクリート箱型断面	
内空寸法 (幅×高さ)	600×600~1200	
土の単位重量	$\gamma = 19 \text{ kN/m}^3$	
土圧係数	$Ka = 0.251$	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
	鉄筋	SD295A
参考質量	上・中段 (H-300)	150kg
	上・中段 (H-150)	75kg
	下段	308kg

ハンドホール (1) 材料表 (H-600)

1箇所当たり

種 別	規 格	数 量
ハンドホール本体 (上段)	600×600×300	1個
ハンドホール本体 (下段)	600×600×300	1個
鉄蓋	φ600	1個
インサート	M16	4個
〃 (吊り用)	M16	4個
基礎工	敷モルタル	1:3 0.012 m ³
	基礎砕石	RC-40 0.740 m ³

注) プレキャスト製品とする。

注) 埼玉県道仕様とする。

ハンドホール (2) 材料表 (H-900)

1箇所当たり

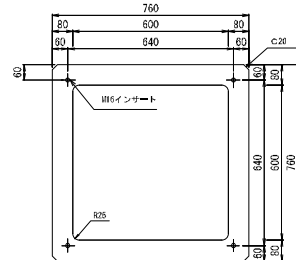
種 別	規 格	数 量
ハンドホール本体 (上段)	600×600×300	1個
ハンドホール本体 (中段)	600×600×300	1個
ハンドホール本体 (下段)	600×600×300	1個
鉄蓋	φ600	1個
インサート	M16	4個
〃 (吊り用)	M16	4個
基礎工	敷モルタル	1:3 0.012 m ³
	基礎砕石	RC-40 0.740 m ³

注) プレキャスト製品とする。

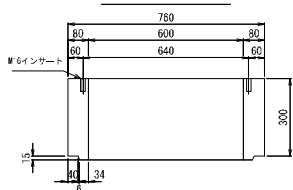
注) 埼玉県道仕様とする。

上段構造図

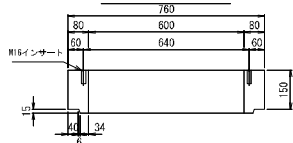
平面



断面 (H=300)

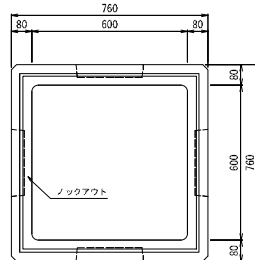


断面 (H=150)

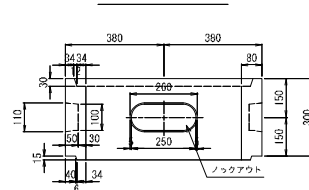


中段構造図

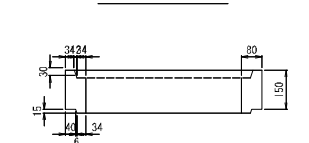
平面



断面 (H=300)

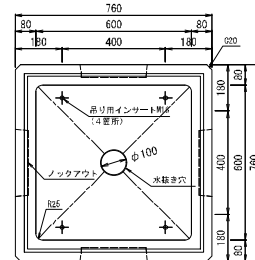


断面 (H=150)

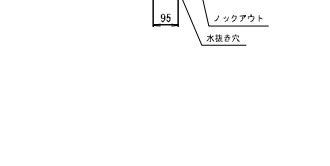
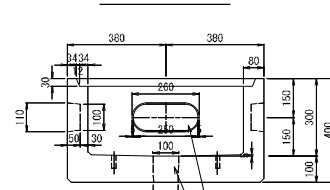


下段構造図

平面

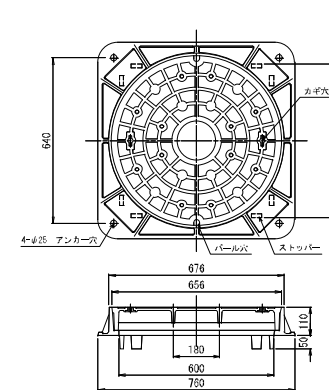


断面



蓋構造図

平面



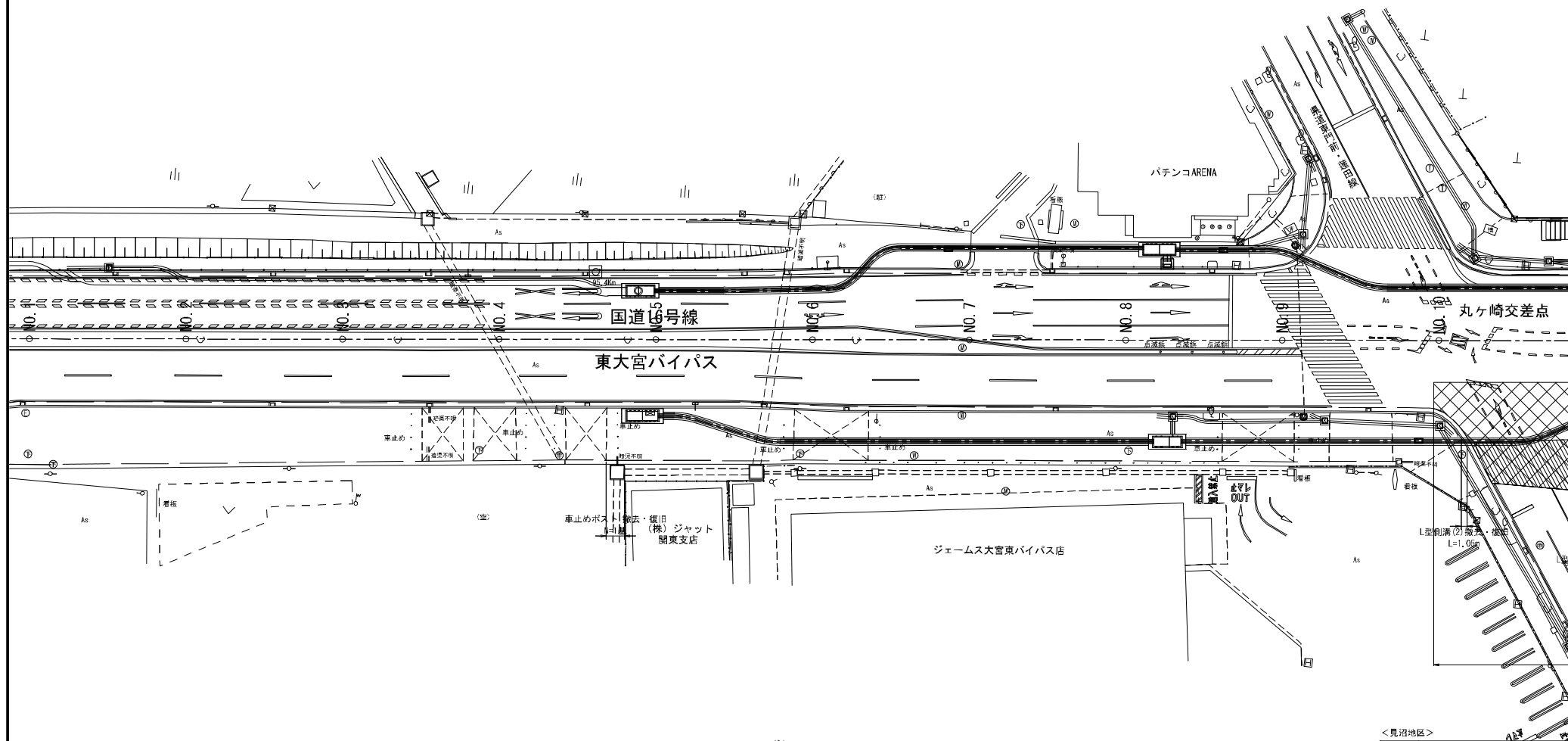
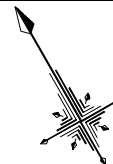
<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	安全施設ハンドホール構造図		
作成年月日	令和 8年 6月	日	
縮 尺	1:10	図面番号	74 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

撤去・復旧平面図(1)

S=1:250



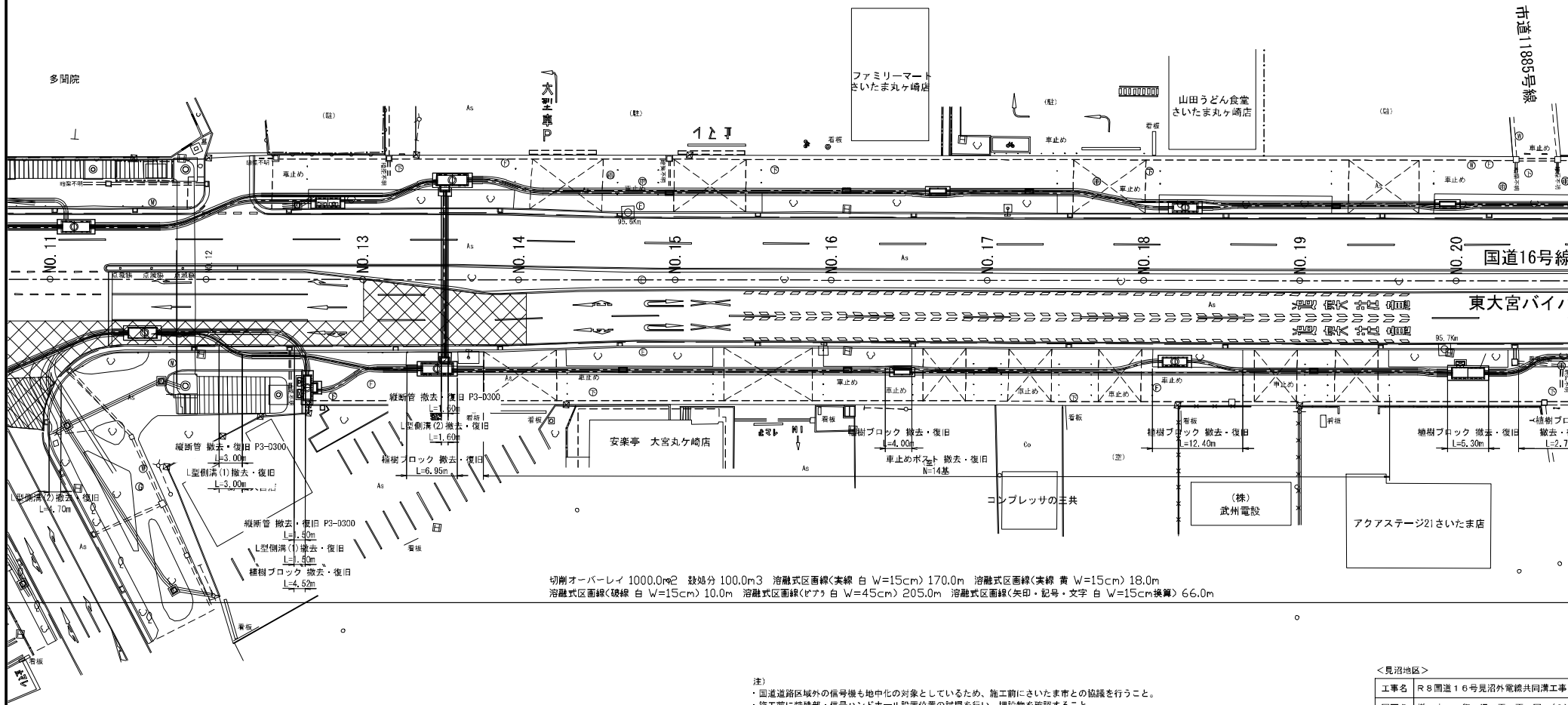
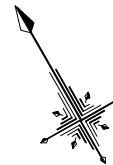
注)
・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
・施工前に特殊車・信号ハンドホル設置位置の試掘を行い、埋設物を確認すること。
・本体工事内で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
・本体工事内で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
・本体工事(本管、特殊車)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

＜見沼地区＞			
工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤去・復旧平面図(1)		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮尺	1:250	図面番号	75 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業省名	国土交通省 大宮国道事務所		

撤去・復旧平面図(2)

S=1:250



切削オーバーレイ 1000.0m² 敷地外 100.0m³ 溶融式区画線(実線 白 W=15cm) 170.0m 溶融式区画線(実線 黄 W=15cm) 18.0m
溶融式区画線(破線 白 W=15cm) 10.0m 溶融式区画線(ピアノ 白 W=45cm) 205.0m 溶融式区画線(矢印・記号・文字 白 W=15cm換算) 66.0m

(注)

- ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
- ・施工前に特殊部・信号ハンドホール設置位置の試験を行い、埋設物を確認すること。
- ・本体工事内で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
- ・本体工事内で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
- ・本体工事(本管、特殊部)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。

特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
・工事により距離機や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

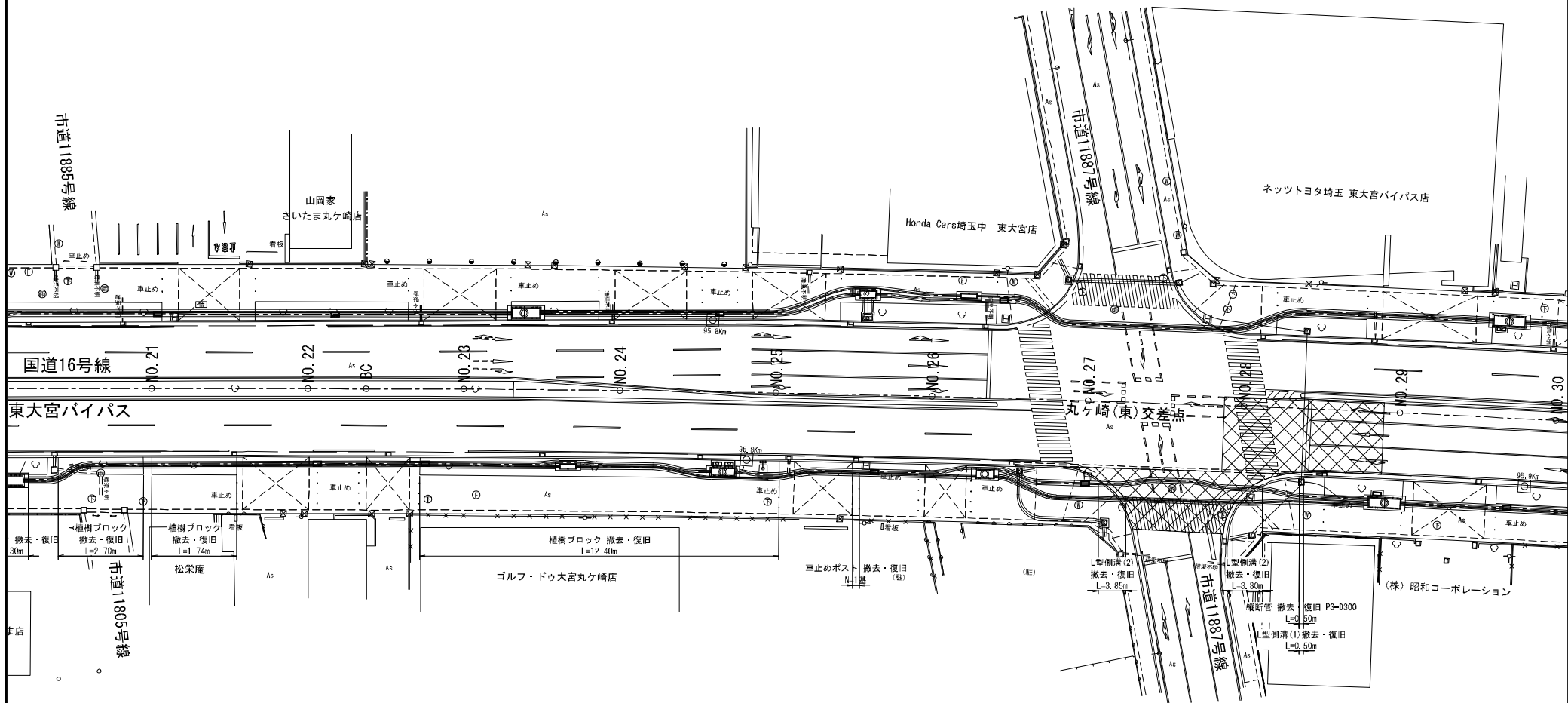
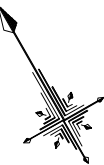
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤去・復旧平面図(2)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:250	図面番号	76 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

撤去・復旧平面図(3)

S=1:250



注)

- ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
- ・施工前に特殊部・信号ハンドポール設置位置の試擺を行い、埋設物を確認すること。
- ・本体工事内で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
- ・本体工事内で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
- ・本体工事(本管、特殊部)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。

特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。

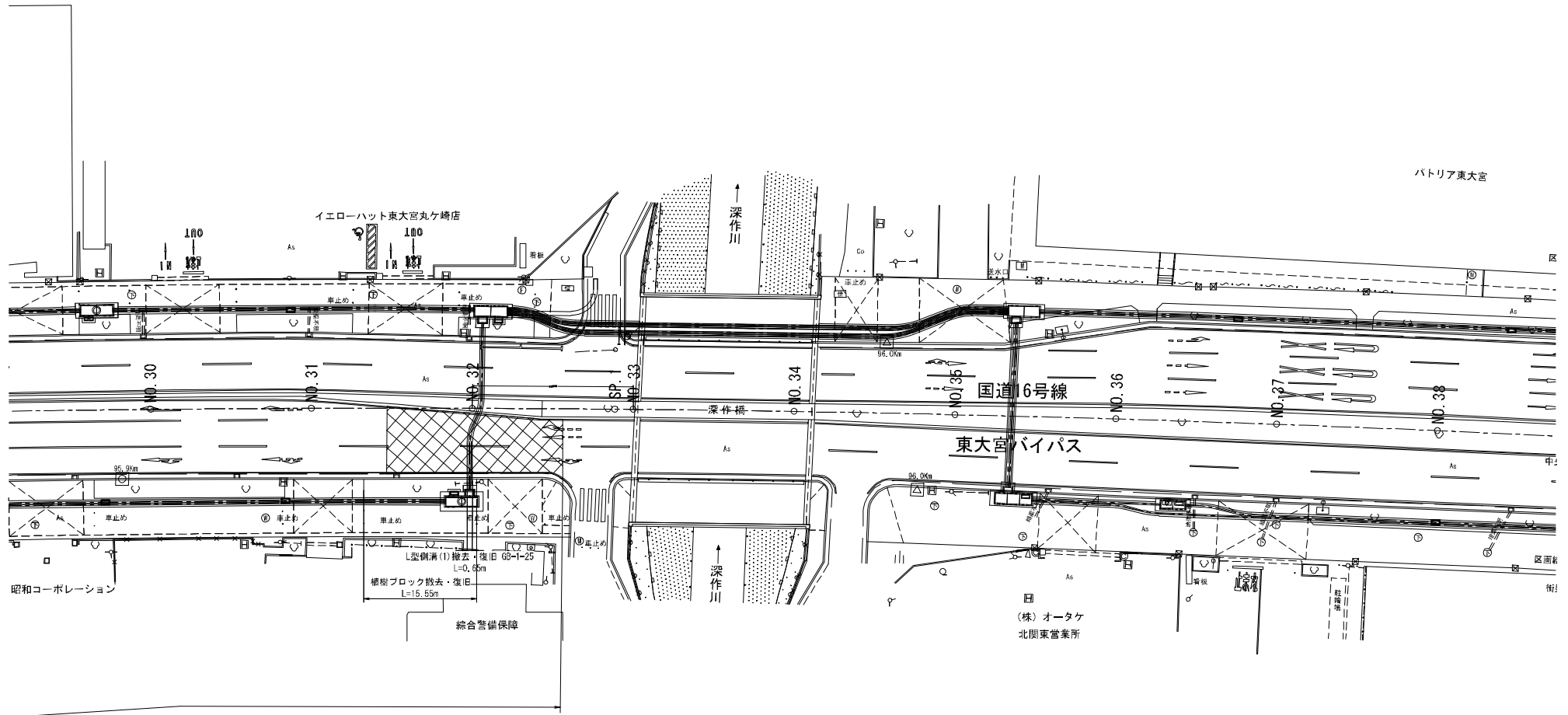
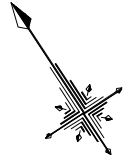
・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<見沼地区>

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤去・復旧平面図(3)		
作成年月日	令和 8年 6月	日	
縮尺	1:250	図面番号	77 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

撤去・復旧平面図(4) S=1:250



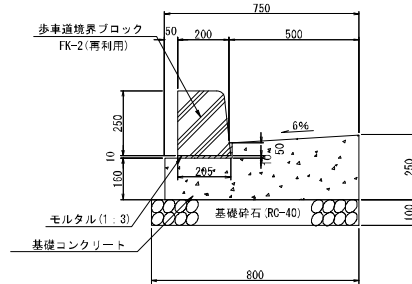
注)
 ・国道道路区域外の信号機も地中化の対象としているため、施工前にさいたま市との協議を行うこと。
 ・施工前に特殊部・信号ハンドホル設置位置の試擺を行い、埋設物を確認すること。
 ・本体工事内で「照明の契約方式の変更」、「架空配線による引込みへの変更(暫定措置)」を行うこと。
 ・本体工事内で引込管を施工する際には、委託工事に支障がないよう、東電、NTTと調整すること。
 ・本体工事(本管、特殊部)や引込管工事の際に既設埋設物と近接する場合、埋設物管理者に立会いを依頼すること。
 ・特に水道と近接となる箇所は、さいたま市水道局維持管理課に立会いを依頼すること。
 ・工事により距離標や測量基準点・水準点を撤去する場合は、現況復旧すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

＜見沼地区＞			
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤去・復旧平面図(4)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:250	図面番号	78 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

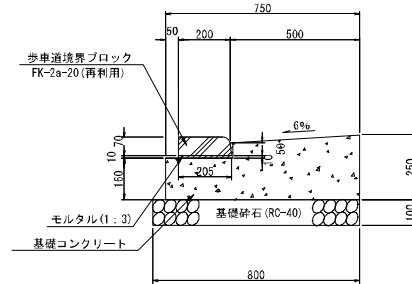
撤 去 ・ 復 旧 構 造 図

S=1:10

L型側溝(1)撤去・復旧
(一般部)

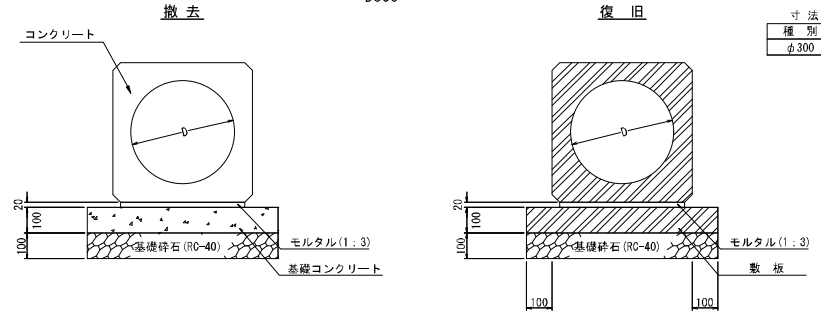
L型側溝(1)撤去 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
歩車道境界ブロック撤去	FK-2	m	10.0		
エプロンブロック撤去	T-25	m	10.0		

L型側溝(1)復旧 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
歩車道境界ブロック	FK-2	m	10.0	再利用	
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	1.58		
モルタル	1:3	m^3	0.02		
型 枠		式	1		
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	8.00		

L型側溝(2)撤去・復旧
(歩道切下部)

L型側溝(2)撤去 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
歩車道境界ブロック撤去	FK-2a-20	m	10.0		
エプロンブロック撤去	T-25	m	10.0		

L型側溝(2)復旧 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
歩車道境界ブロック	FK-2a-20	m	10.0	再利用	
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	1.58		
モルタル	1:3	m^3	0.02		
型 枠		式	1		
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	8.00		

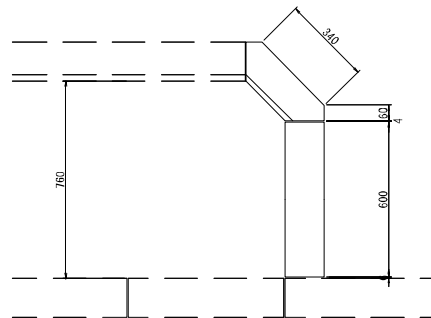
縦断管撤去・復旧
D300

縦断管 撤去 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
縦断管	$\phi 300$	m	10.0		
コンクリート取壊し	無 筋	m^3	1.68		

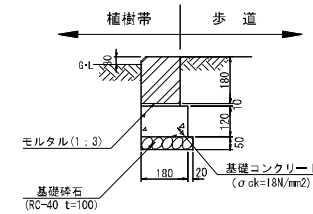
縦断管 復旧 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
縦断管	$\phi 300$	m	10.0		
モルタル	1:3	m^3	0.07		
敷 板	300用	m	10.0		
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	5.80		

寸 法 表 (単位 mm)		
種 別	D	摘 要
$\phi 300$	300	

植樹ブロック撤去・復旧



植樹ブロック撤去 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
植樹ブロック撤去	150×180×600	m	10.0		
コンクリート取壊し	無 筋	m^3	0.22		



植樹ブロック復旧 材料表 10m当り					
種 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	
植樹ブロック	150×180×600	m	10.0	再利用	
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.22		
型 枠		式	1		
モルタル	1:3	m^3	0.02		
基礎砕石	RC-40, t=50	m^2	1.80		

<見沼地区>

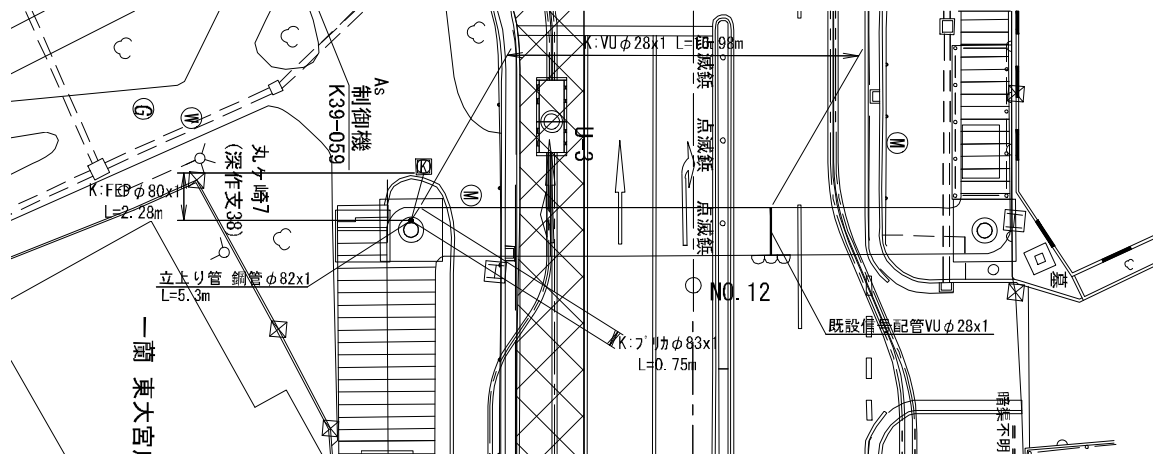
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤 去 ・ 復 旧 構 造 図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:10	図面番号	79 / 99
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

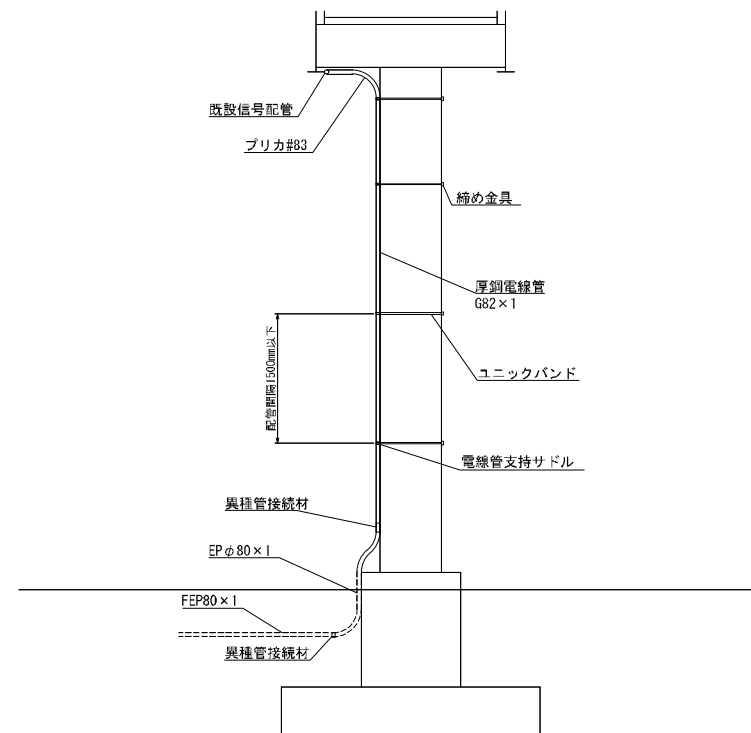
歩道橋配管要領図

＜丸ヶ崎交差点歩道橋信号配管＞

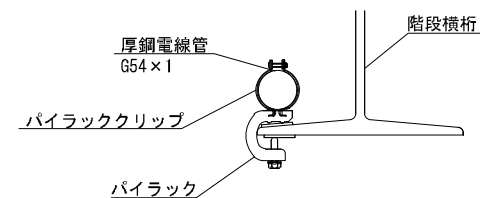
平面図 S=1:100



配管取付参考図 S=1:30



拡大図 S=1:3

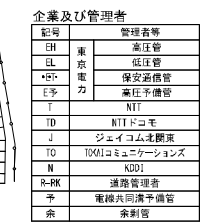


＜見沼地区＞

工事名	R8 国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	歩道橋配管要領図		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	80 / 99
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:250

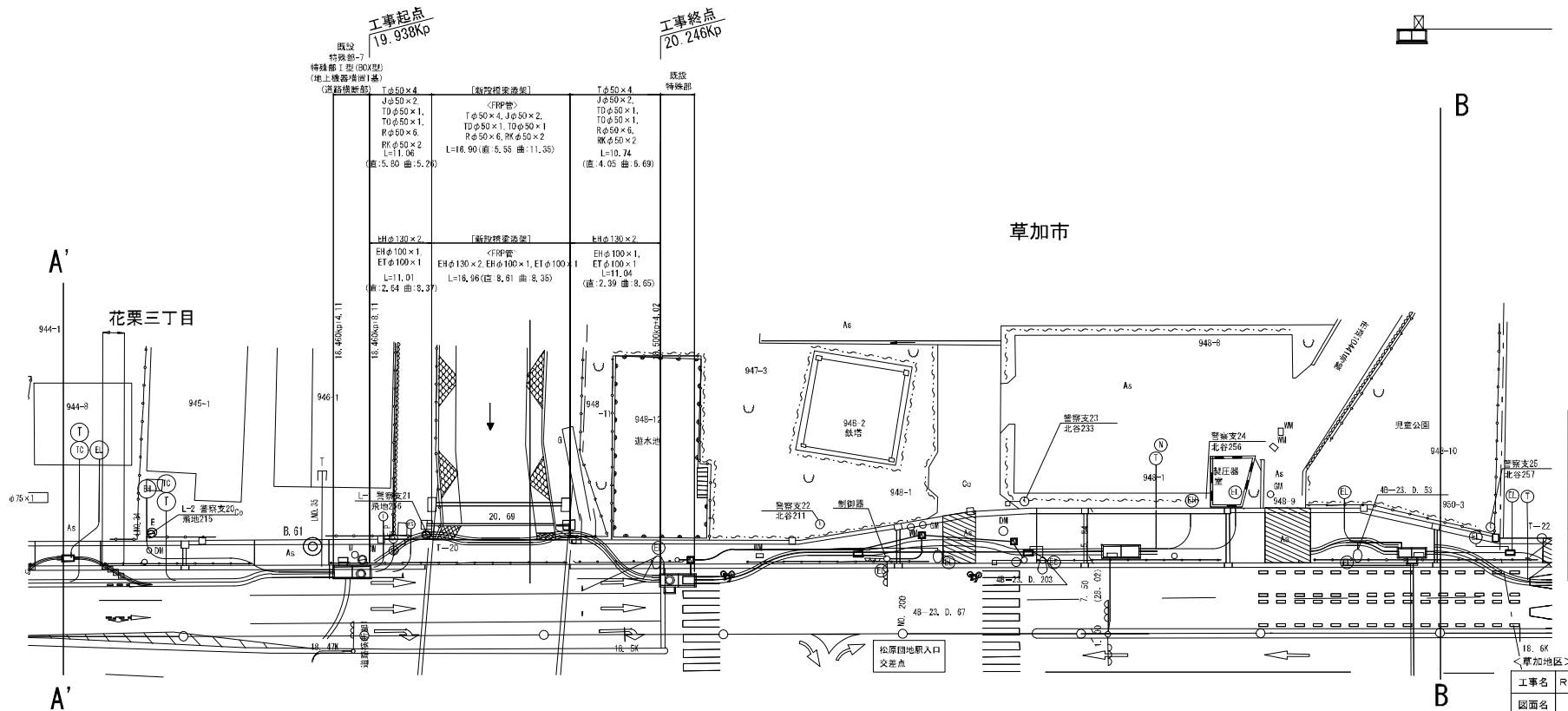
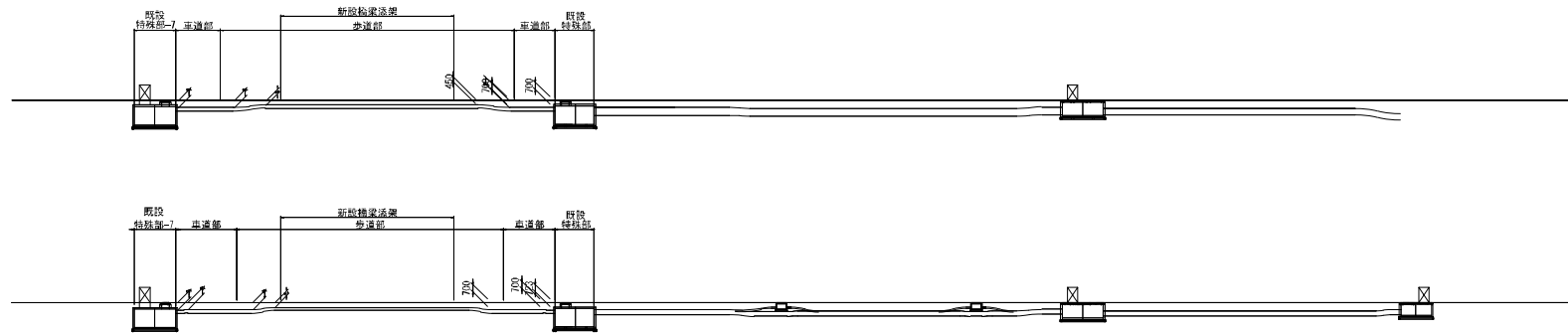
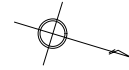


工事名	R8 国道 16 号 見沼外電線共同溝工事		
図面名	平面 図		
作成年月日	令和	8 年	6 月 日
縮 尺	1:250	図面番号	81 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

縦断図

S=1:250



企業及び管理者	
記号	管理番号
ET	高圧管
EL	低圧管
ET	保安通信管
E予	高圧予備管
T	NTT
TD	NTTドコモ
J	ジュイコム北関東
TG	10KAIコミュニケーションズ
N	KDDI
R-RK	道路管押替
予	電報共同溝予備管
余	余剰管

注1) 特殊部車道内設置時の漏水管及び引込管本体同時施工は、歩道内まで0.50m突き出しを行う。

注2) 地上機器用州に引込管用ノックアウトを設置

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

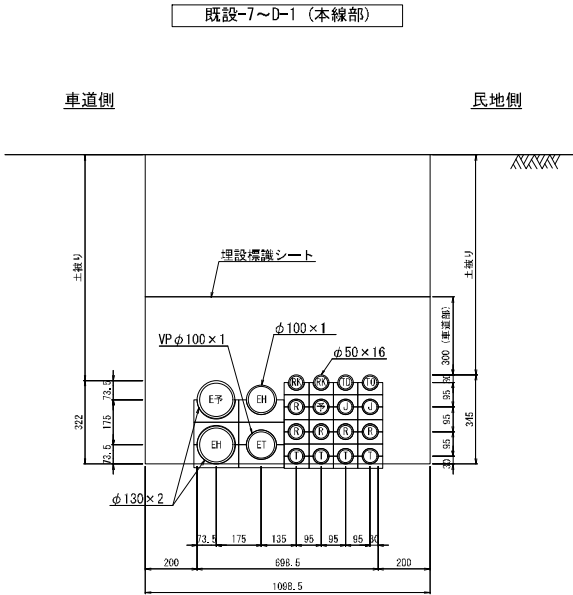
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	縦断図		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:250	図面番号	82 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国庫事務所		

管 路 部 収 容 形 態 図

S=

一般国道4号＜收容ケーブル規格及び收容条件表＞

	企 業 者 名	種 別	記 号	入 溝 ケ ー ブ ル								收容箇所	備 考	
				種 類	径 D (mm)	条 数	最小曲げ半径 (m)	管 種	管径 φ (mm)	条 数	最小曲げ半径 (m)			
①	道路管理者	国土交通省	R					SU	φ50	(下り線)4		ボディ管	道路管理者	
			R					SU, PV	φ50	1		ボディ管, 単管路	道路管理者予備管	
			予					SU, PV	φ50	1		ボディ管, 単管路	共通共用溝予備管	
								SU	φ30	1		ボディ管		
								FEP	φ80	1		単管路		信号機の配管
								FEP	φ50	1~2		単管路		認知時の配管
	RK					PV	φ75	1~2		単管路				
					PV	φ50	1~2		単管路					
②	東京電力		高圧	EH	CVT325	86.0	1	1,300		φ130	1	5.00	単管路	
			高圧割管	EH割	CVT150	64.0	1	1,000		φ100	1	5.00	単管路	
			低圧	EL	CVQ250	64.0	2	1,000		φ100	2	5.00	単管路	
			保安通信	ET	光	21.5	2	0,215	VP	φ100	1	5.00	単管路	
					メタル	35.0	1	0,210						
			予備	E予						φ130	1	5.00	単管路	
③	NTT東日本	通 信	T	メタル	33.0	0~2	0,198	SU	φ50	0~2	5.00	ボディ管		
				メタル	24.0	1~2	0,144	SU	φ50	1~2	5.00	ボディ管		
				光	12.5	1	0,300	SU	φ30	1	5.00	ボディ管		
				光	10.5	1	0,300	SU	φ30	1	5.00	ボディ管		
④	NTTドコモ	通 信	TD	光	21.5	1	0,300	SU	φ50	1	5.00	ボディ管		
⑤	ジェイコム北関東	通 信	J	光	21.0	1	0,210	SU	φ50	1	5.00	ボディ管		
				メタル	15.3	1	0,153	SU	φ30	1	5.00	ボディ管		
⑥	TOKAIコミュニケーションズ	通 信	TO	光	21.0	1	0,420	SU	φ50	1	5.00	ボディ管		
⑦	KDDI	通 信	N	光	24.0	1	0,240	SU	φ50	1	5.00	ボディ管		

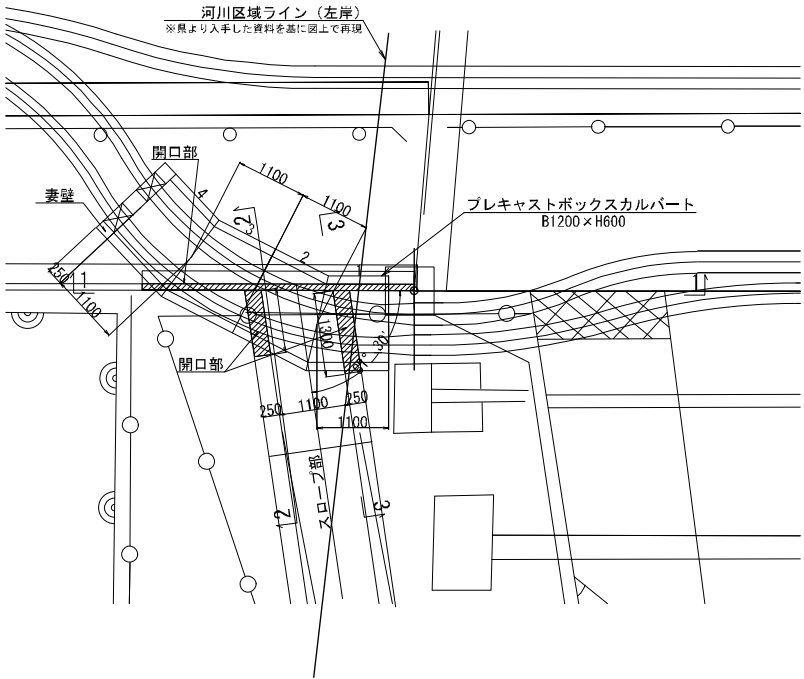


＜草加地区＞

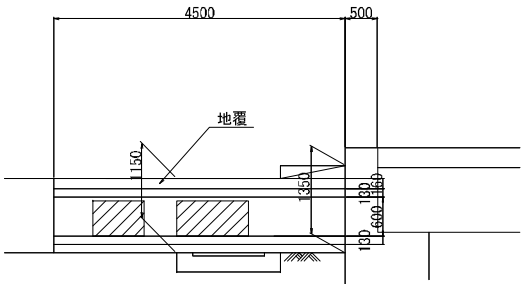
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	管 路 部 収 容 形 態 図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	—	図面番号	84 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

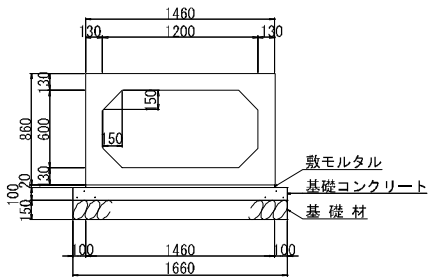
平面図



1-1 断面



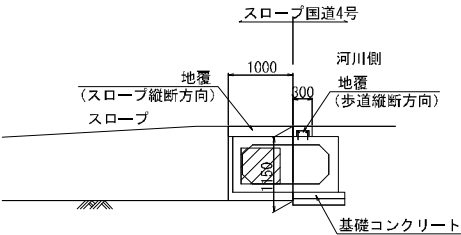
ボックスカルバート
(内幅B) 1200×(内高H) 600



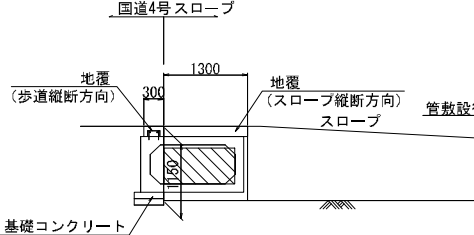
製品数量表 一式当り

製品番号	サイズ B × H × L	規格	数量	参考質量	摘要
全国ボックスカルバート協会型 RC型 T-245					
1	1200 × 600 × 919 1271	調整用	1本	1590 kg	
2	× × 919 1271	調整用	1本	1590 kg	
3	× × 968 1222	調整用	1本	1590 kg	
4	× × 968 1222	調整用	1本	1590 kg	
合計			4本		

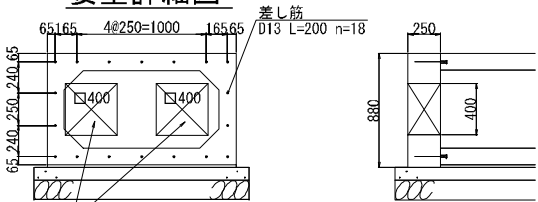
2-2 断面（遊水池側）



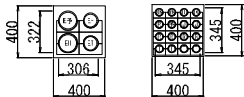
3-3 断面（河川側）



妻壁詳細図



土工部管路断面図



材料表 一式当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ ck=24N/mm ²	m ³	0.321
同上型枠		m ²	1.725
後打ちアンカー	W12	本	18
差し筋	D13 L=200	本	18

<草加地区>

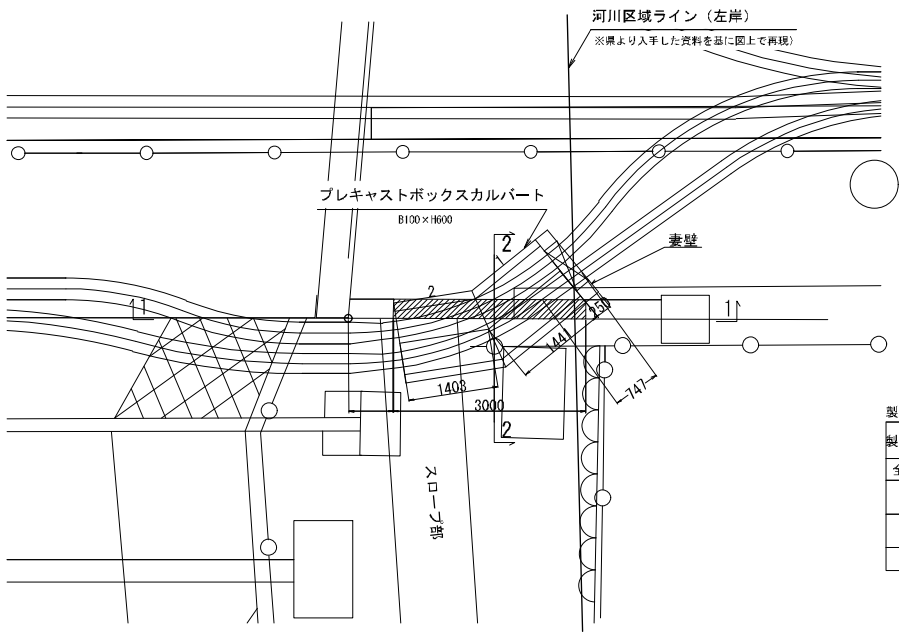
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	函渠工（左岸側）詳細図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:40	図面番号	85 / 99
会社名	株式会社 ニュージェック		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

※開口部の位置については、現場で確認の上設定すること

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

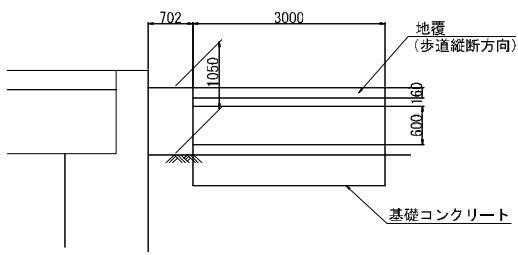
重力式擁壁開口部 S=1:40

平面図

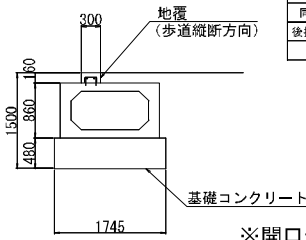


- ステップ0: 本線歩行者切り回し
ステップ1: 本線歩道部土工掘削
ステップ2: 本線擁壁一部撤去及びスロープ部の撤去・補強
ステップ3: ボックスカルバート敷設・上部地覆設置
ステップ4: 管路敷設
ステップ5: 妻壁開口部の隙間にモルタル充填
ステップ6: 埋戻し・舗装復旧

1-1 断面

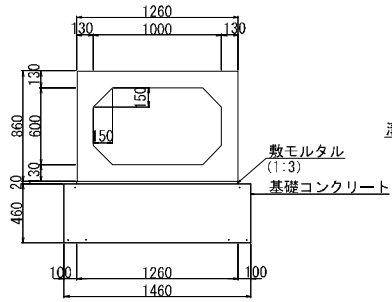


2-2 断面



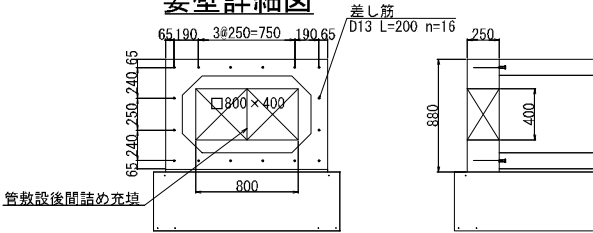
ボックスカルバート

(内幅B) 1000 × (内高H) 600



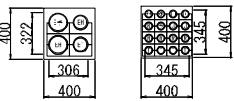
製品数量表		一式当り			
製品番号	サイズ B × H × L	規格	数量	参考質量	摘要
全国ボックスカルバート協会型 RC型 T-245					
1	1000 × 600 × 1267 1606	調整用	1本	1900 kg	溝型鋼 75 × 40 × 5 × 7
2	× × 1228 1567	調整用	1本	1850 kg	
合計			2本		

妻壁詳細図



材料表		一式当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ _{ok} =24N/mm ²	m ³	0.277
同上型枠		m ²	1.949
後打ちアンカー	M12	本	16
差し筋	D13 L=200	本	16

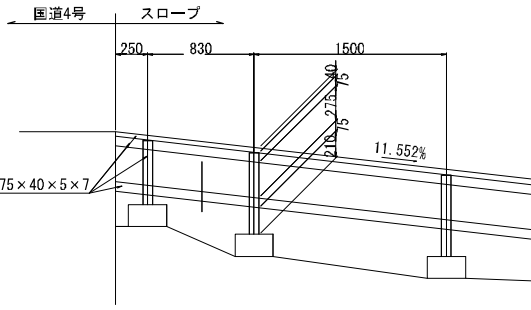
土工部管路断面図



※開口部の位置については、現場で確認の上設定すること

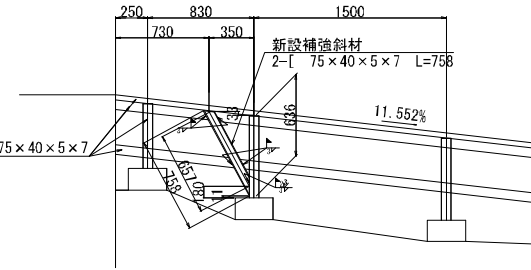
スロープ部改良詳細図 S=1:20

現況



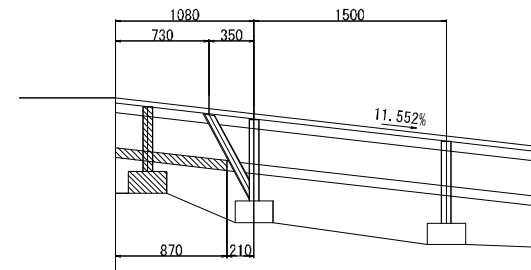
ステップ-1

斜材の取付 (現場溶接)



ステップ-2

斜線部撤去 → 完了



<草加地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	函渠工（右岸側）詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月	日	
縮尺	図示	図面番号	86 / 99
会社名	株式会社 ニュージェック		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

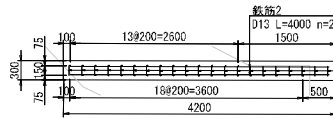
函 渠 工 地 覆 詳 細 図

S=1:40

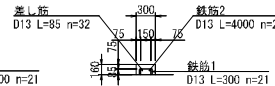
地覆（左岸側函渠）

地覆（右岸側函渠）

地覆平面図

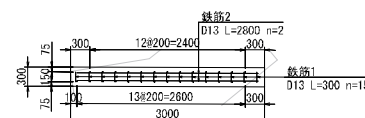


地覆断面図

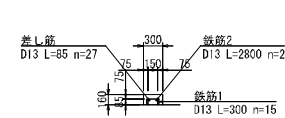


材 料 表					一式当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	
コンクリート	α dk=24N/mm ²	m ³	0.292		
同上 型 枠		m ²	1.440		
鉄筋 1	D13 L=300 n=21	kg	6.268		
鉄筋 2	D13 L=4000 n=2	kg	7.890		
後打ちアンカー	W12	本	32		
差し筋	D13 L=85	本	32		

地覆平面図

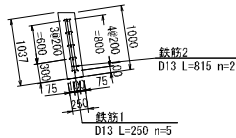


地覆断面図

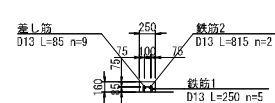


材 料 表					一式当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	
コンクリート	α dk=24N/mm ²	m ³	0.144		
同上 型 枠		m ²	1.056		
鉄筋 1	D13 L=300 n=15	kg	4.478		
鉄筋 2	D13 L=2800 n=2	kg	5.572		
後打ちアンカー	W12	本	27		
差し筋	D13 L=85	本	27		

地覆平面図

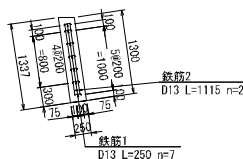


地覆断面図

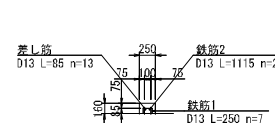


材 料 表					一式当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	
コンクリート	α dk=24N/mm ²	m ³	0.041		
同上 型 枠		m ²	0.440		
鉄筋 1	D13 L=250 n=5	kg	1.244		
鉄筋 2	D13 L=815 n=2	kg	1.622		
後打ちアンカー	W12	本	9		
差し筋	D13 L=85	本	9		

地覆平面図



地覆断面図



材 料 表					一式当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	
コンクリート	α dk=24N/mm ²	m ³	0.063		
同上 型 枠		m ²	0.496		
鉄筋 1	D13 L=250 n=7	kg	1.741		
鉄筋 2	D13 L=1115 n=2	kg	2.219		
後打ちアンカー	W12	本	13		
差し筋	D13 L=85	本	13		

< 草加地区 >

工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	函 渠 工 地 覆 詳 細 図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:40	図面番号	87 / 99
会社名	株式会社ニュージェック		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:40

埋戻し断面図

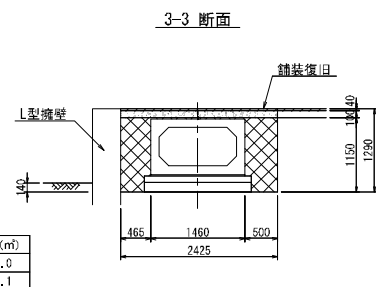
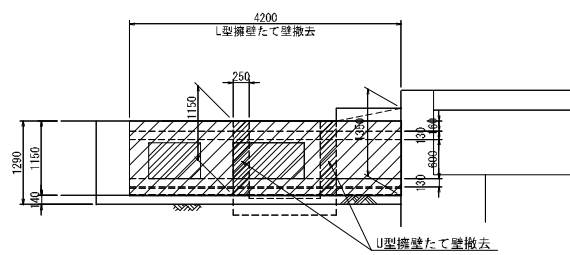
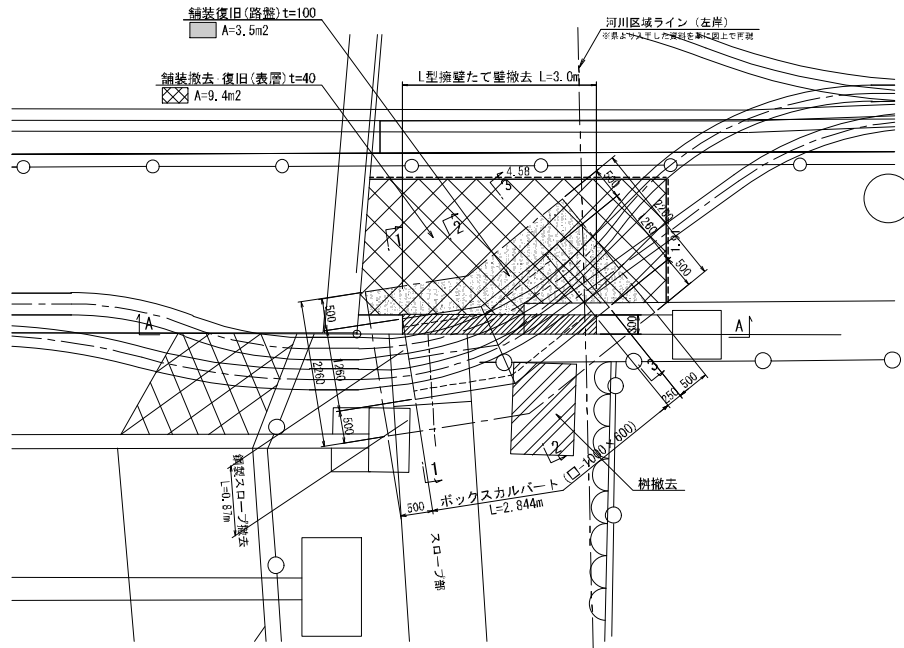


Figure 1: Cross-section of a road structure. The diagram shows a cross-section of a road with a total width of 140 units. The top layer is a 40-unit thick permeable asphalt (表層(透水性アスコン) t=40). Below this is a 100-unit thick road base (路盤(再生切込碎石 RC-40) t=100). The road is shown on a subgrade.

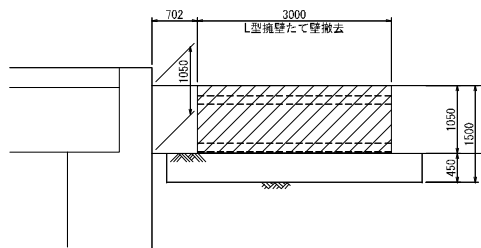


＜草加地区＞			
工事名	R8国道16号見沼外環線共同溝工事		
図面名	依右川左岸側渠瓦工 土工図		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:40	図面番号	38 / 99
会社名	株式会社ニューゼック		
事業者名	国土交通省 大宮国造事務所		

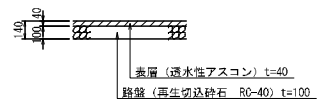
平面図



A-A 断面

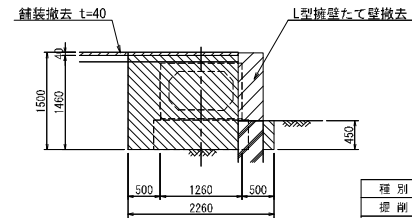


歩道舗装構成



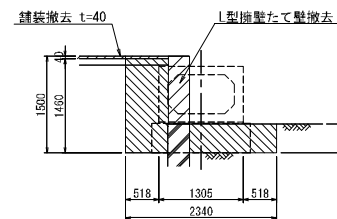
掘削断面図

3-3 断面



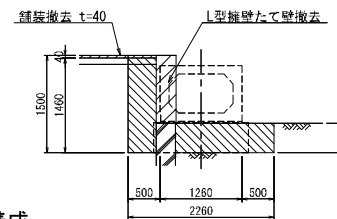
種別	数量(m ²)
掘削	2.6
埋戻し	0.7

2-2 断面



種別	数量(m ²)
掘削	1.6
埋戻し	0.8

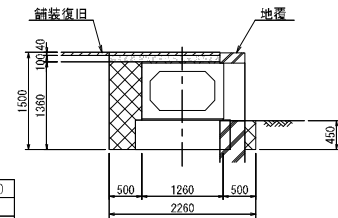
1-1 断面



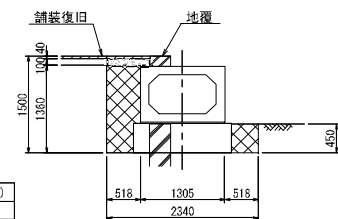
種別	数量(m ²)
掘削	1.3
埋戻し	0.8

埋戻し断面図

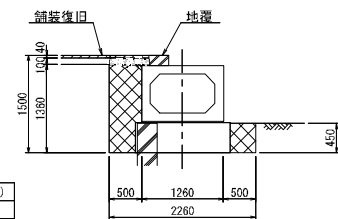
3-3 断面



2-2 断面



1-1 断面



<草加地区>

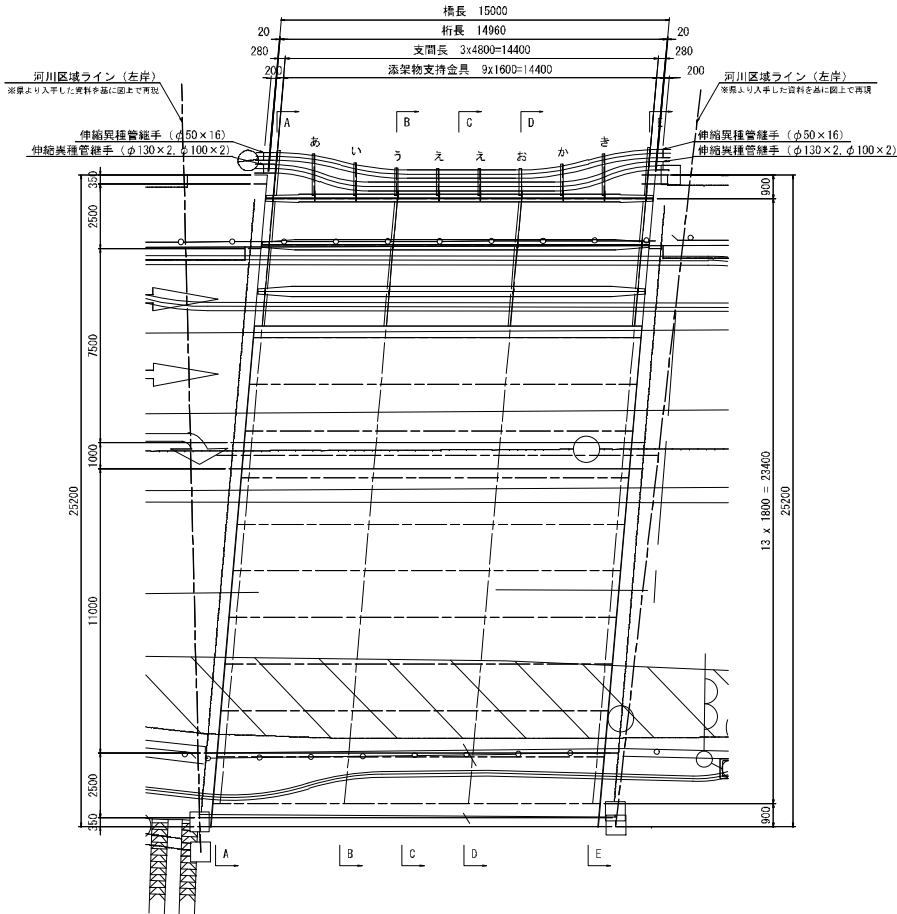
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	伝右川右岸側函渠工 土工図		
作成年月日	令和 8 年 6 月	日	
縮尺	1:40	図面番号	89 / 99
会社名	株式会社ニュージェック		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

橋梁添架支持金物一般図

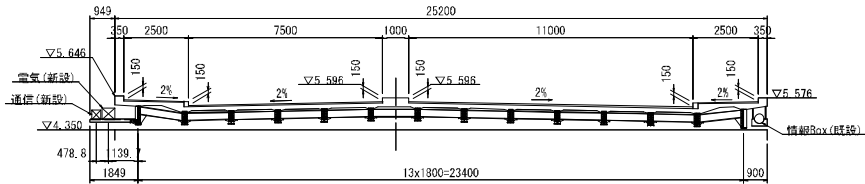
S=1:100

平面図

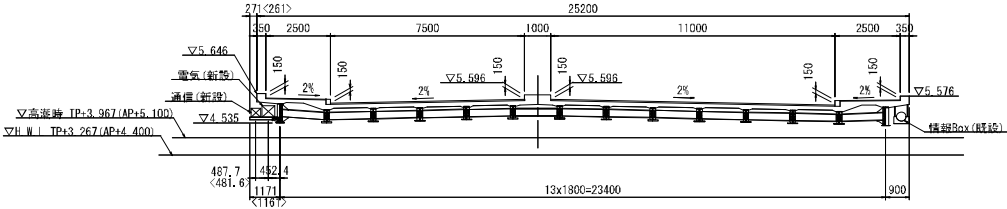


断面図

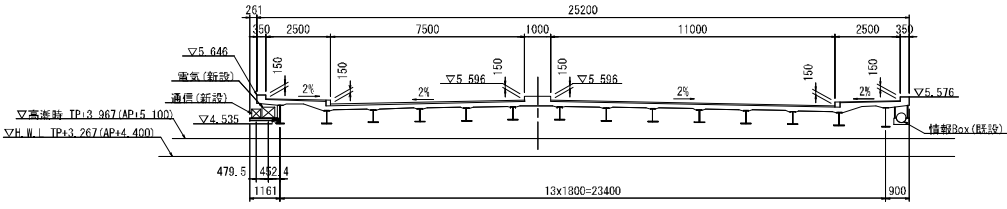
A-A (A1側端部・直角方向)



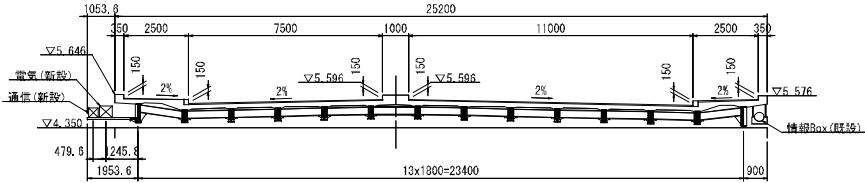
B-B (D-D) (中間横析部)



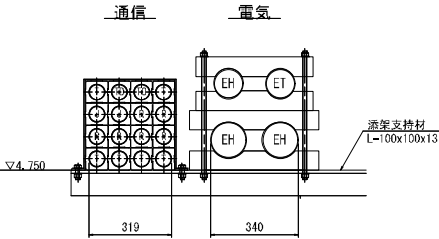
C-C (中央部)



F-F (A2側端部・直角方向)



添架物詳細図 S=1:10

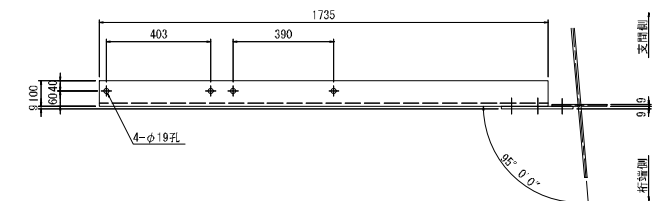
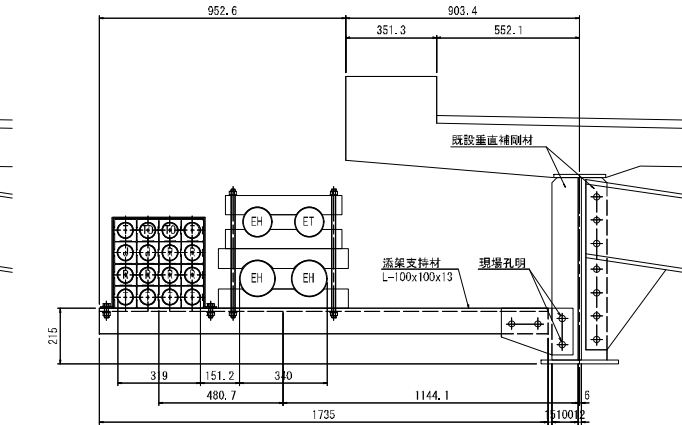


＜草加地区＞	
工事名	R 8 国道 1 6 号沿外電線共同溝工事
図面名	橋梁添架支持金物一般図
作成年月日	令和 8 年 6 月 日
縮 尺	図示 図面番号 90 / 99
会社名	株式会社 近代設計
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

S=1:10

A1側端部



- ※ 1 - L 100x100x13x1735 (SS400)
- ※ 1 - GUSS PL 180x9x275 (SS400)
- ※ 2 - HTB M22x65 (F8T)
- ※ 2 - HTB M22x60 (F8T)

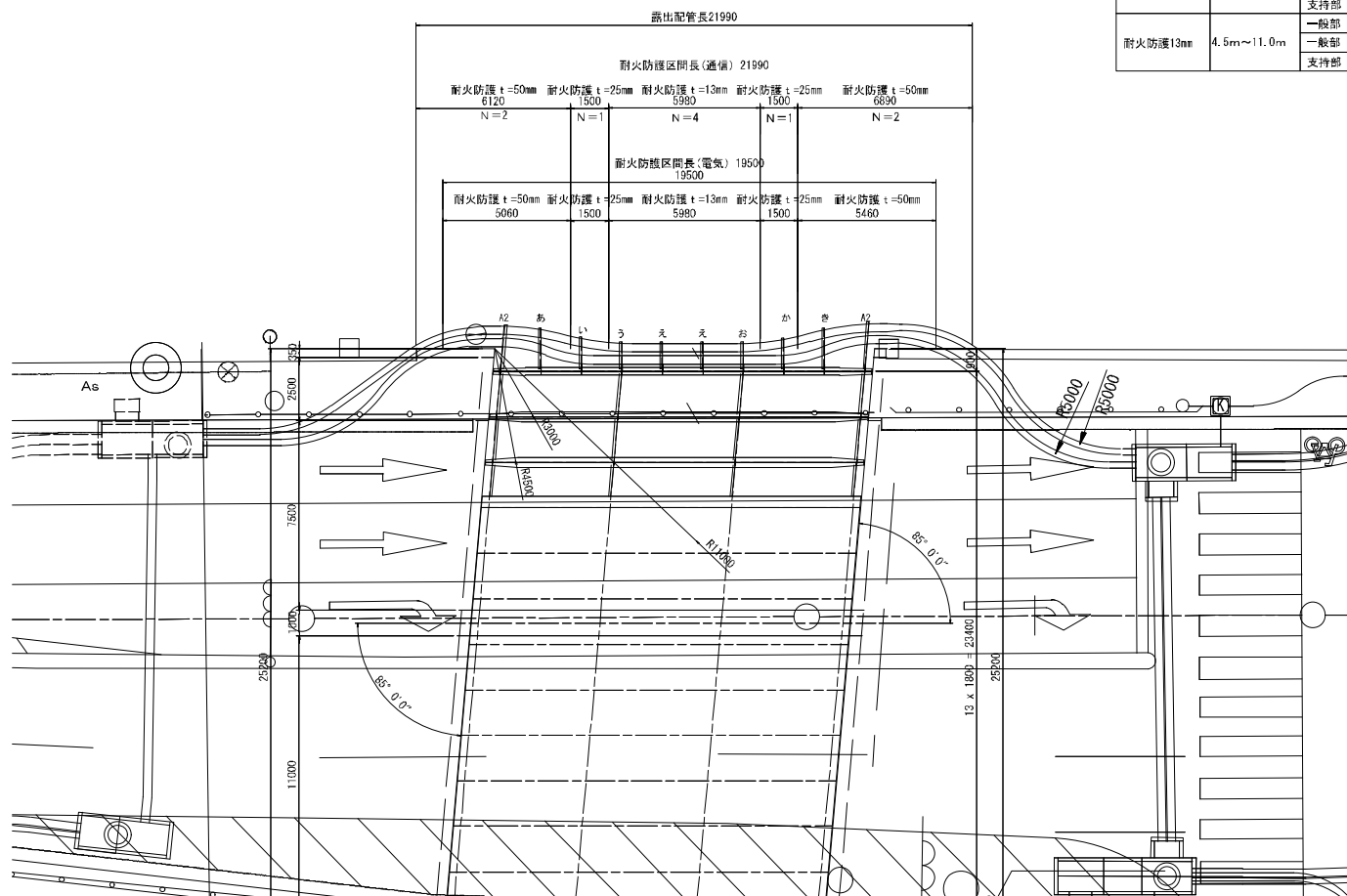
タイプ	n	L1	L2	L3	L4	L5	LL
あ	1	1600.0	598.7	892.7	269.2	821.0	1600
い	1	1245.0	658.2	476.6	328.7	466.0	1245
う	1	1050.0	487.7	452.4	158.2	271.6	1050
え	2	1040.0	479.5	452.4	150.0	261.0	1040
お	1	1040.0	481.6	452.4	152.1	261.0	1040
か	1	1205.0	635.0	461.3	305.5	426.0	1205
き	1	1595.0	662.5	826.6	333.0	816.0	1595

- ※印部材は、溶融亜鉛めっきを施すものとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777 とする。
ただし、ボルト・ナット類は、HDZ763 とする。
- 中間部のタイプ分けは「溶接部支持金具配置図」参照のこと。
- 特記なきスカラーは3SRとする。
- 溶接部取付金具のボルト孔の形状および位置は、製作前に溶接物業者に確認すること。

工事名	R8 国道 16 号見沼外電橋共同溝工事		
図面名	添加物支持金物詳細図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:10	図面番号	91 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

S=1:100

品 名	規 格	區 分	數量	單位	備 考
耐火防護50mm	0m~3.0m	一般部 (通信)	18.7	m2	L=12.2m
		一般部 (電氣)	15.1	m2	L= 9.72m
		支持部 (共通)	5.8	m2	N=4箇所
		一般部 (通信)	3.7	m2	L= 2.70m
耐火防護25mm	3.0m~4.5m	一般部 (電氣)	3.8	m2	L= 2.70m
		支持部 (共通)	2.5	m2	N=2箇所
		一般部 (通信)	7.1	m2	L= 5.47m
耐火防護13mm	4.5m~11.0m	一般部 (電氣)	7.2	m2	L= 5.47m
		支持部 (共通)	3.9	m2	N=4箇所



工事名	R8 国道 16 号見沼外営橋共同溝工事		
図面名	耐 火 防 護 一 般 図		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	1:100	図面番号	92 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

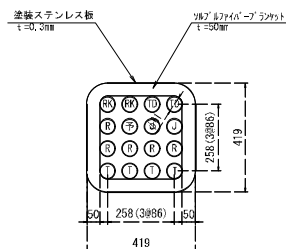
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

耐火防護詳細図(1)

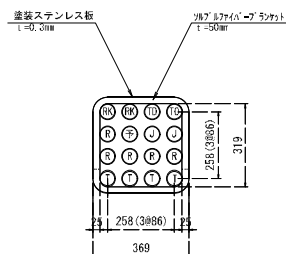
S=1:10

一般部(通信)

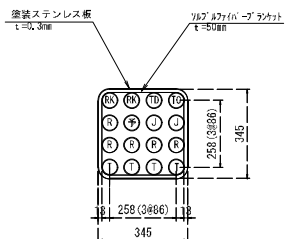
耐火50mm厚



耐火25mm厚

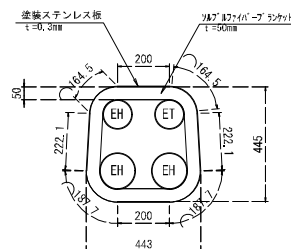


耐火13mm厚

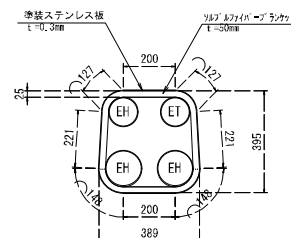


一般部(電気)

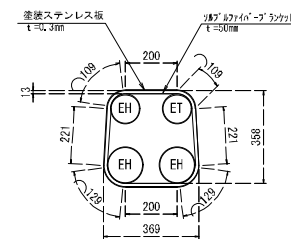
耐火50mm厚



耐火25mm厚

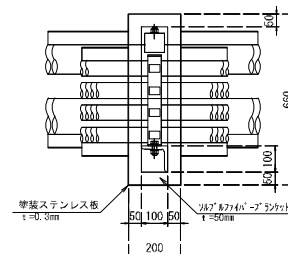


耐火13mm厚

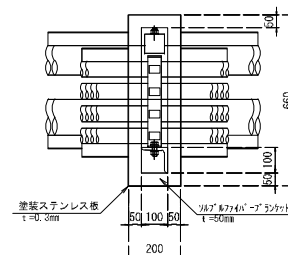


支持部(通信・電気)

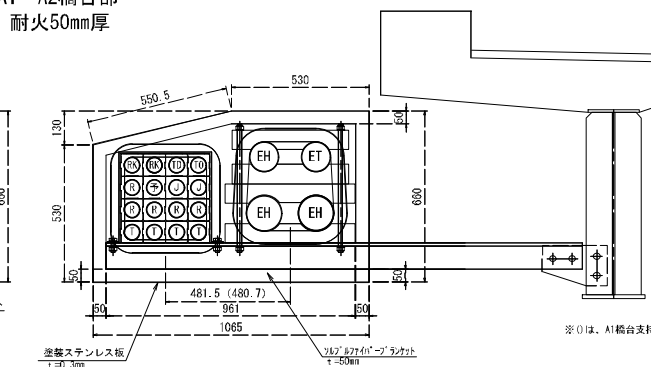
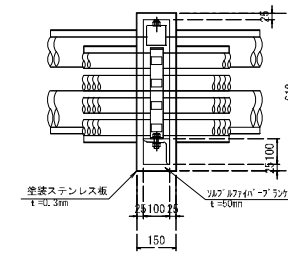
A1・A2橋台部
耐火50mm厚



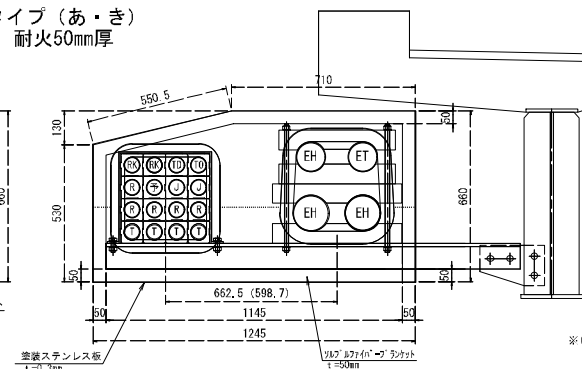
タイプ(あ・き)
耐火50mm厚



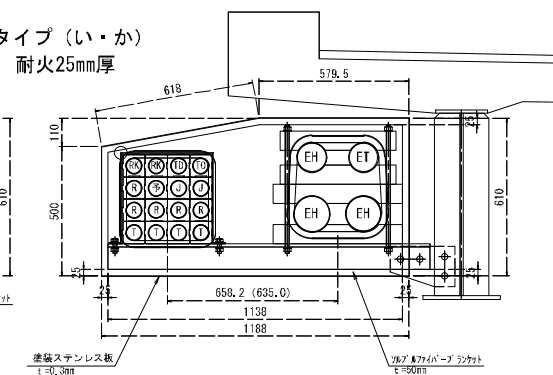
タイプ(い・か)
耐火25mm厚



※0は、A1橋台支持部



※0は、タイプ(あ)支持部



※0は、タイプ(か)支持部

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

<草加地区>

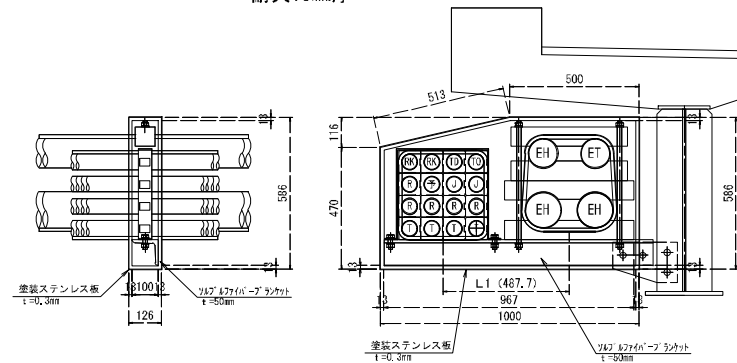
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	耐火防護詳細図(1)		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:10	図面番号	93 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

耐火防護詳細図(2)

S=1:10

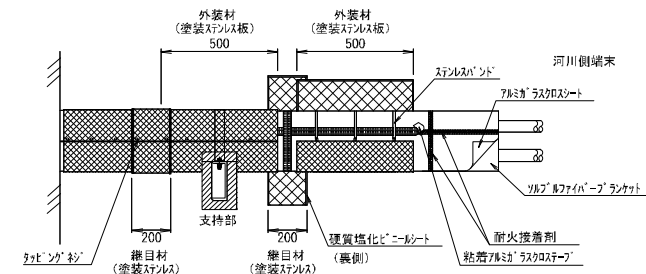
プレキャスト耐火防護標準図

タイプ(う・え・お)
耐火13mm厚



※L1寸法

タイプ	L1
タイプ(う)	487.7
タイプ(え)	479.5
タイプ(お)	481.6



耐火防護50mm 使用材料表

品名	規格	数量	単位	単位重量(kg)	重量(kg)
バイオソルブルファイバーブランケット	t=50 w=600	1.92	m	3.900	7.488
塗装ステンレス板	t=0.3 w=914	1.40	m	2.175	3.045
緩質塩化ビニルシート	t=0.3 w=1000	0.85	m	0.400	0.340
アルミガラスクロスシート	w=1000	2.20	m	0.086	0.189
粘着アルミガラステープ	w= 75	10.80	m	0.006	0.064
ステンレスバンド	t=0.25 w= 7.9	6.00	m	0.019	0.114
耐火接着剤	330cc	0.60	本	0.350	0.210
シーリング材	333cc	0.40	本	0.300	0.120
タッピングビス	φ=4	6.00	本	0.010	0.060
合計					11.630 kg

耐火防護25mm 使用材料表

品名	規格	数量	単位	単位重量(kg)	重量(kg)
ソルブルファイバーブランケット	t=25 w=600	1.92	m	1.950	3.744
塗装ステンレス板	t=0.3 w=914	1.40	m	2.175	3.045
緩質塩化ビニルシート	t=0.3 w=1000	0.85	m	0.400	0.340
アルミガラスクロスシート	w=1000	2.20	m	0.086	0.189
粘着アルミガラステープ	w= 75	10.80	m	0.006	0.064
ステンレスバンド	t=0.25 w= 7.9	6.00	m	0.019	0.114
耐火接着剤	330cc	0.60	本	0.350	0.210
シーリング材	333cc	0.40	本	0.300	0.120
タッピングビス	φ=4	6.00	本	0.010	0.060
合計					7.886 kg

耐火防護13mm 使用材料表

品名	規格	数量	単位	単位重量(kg)	重量(kg)
ソルブルファイバーブランケット	t=50 w=600	1.92	m	0.975	1.872
塗装ステンレス板	t=0.3 w=914	1.40	m	2.175	3.045
緩質塩化ビニルシート	t=0.3 w=1000	0.85	m	0.400	0.340
アルミガラスクロスシート	w=1000	2.20	m	0.086	0.189
粘着アルミガラステープ	w= 75	10.80	m	0.006	0.064
ステンレスバンド	t=0.25 w= 7.9	6.00	m	0.019	0.114
耐火接着剤	330cc	0.60	本	0.350	0.210
シーリング材	333cc	0.40	本	0.300	0.120
タッピングビス	φ=4	6.00	本	0.010	0.060
合計					6.014 kg

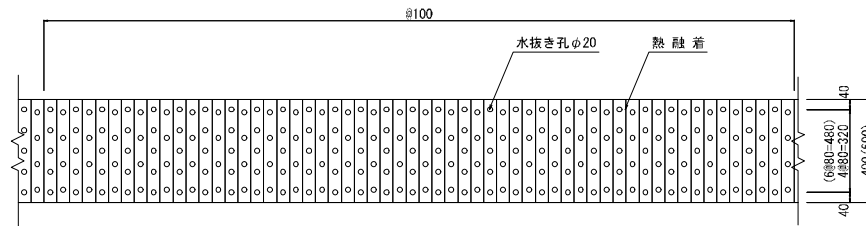
<草加地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号沿外電線共同溝工事		
図面名	耐火防護詳細図(2)		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮尺	1:10	図面番号	94 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

埋 設 表 示 シ ー ト 詳 細 図 S=1:20

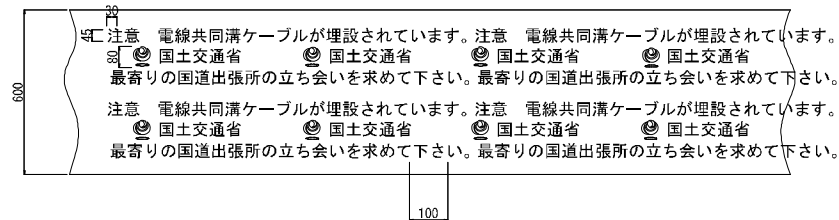
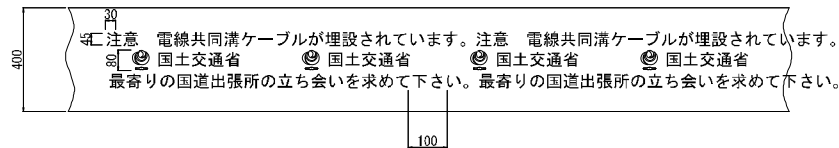
埋 設 表 示 シ ー ト
平 面 図



断 面 図

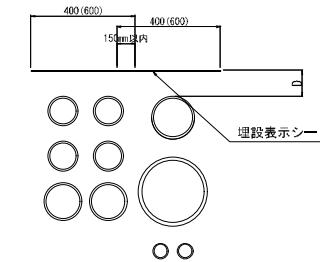


文字表示詳細図



埋設表示シート設置位置図

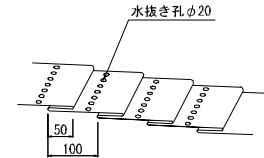
(単管部)



- 埋設表示シートは管路の外側に合わせ400mm、600mmを組合せて布設する。
- 埋設位置は、歩道部では管上20cm、車道部では管上30cmを標準とする。

D : 歩道部 200mm
車道部 300mm

折込構造図



備考

- 材質：ポリエチレンクロス
- 折込倍率は、2倍とする。
- 色は、地色をピンクとし、文字色を黒とする。
- 1巻の長さは、50mを標準寸法とする。
- 文字は、フィルムに裏面印刷とする。
- 表示寸法は、標準寸法とする。
- 表示文字は、実際の字体とは多少異なります。
- 折込みの固定寸法は、ミシン掛けとする。
- 水抜き穴の径は、約φ20mmとし、シート巾に対し400mmは5ヶ所、600mmは7ヶ所設ける物とする。

<草加地区>

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	埋 設 表 示 シ ー ト 詳 細 図		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮 尺	図示	図面番号	95 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

数量総括表

管路部数量表

名 称	単位	電力管					通信管	
		埋設管			露出管		埋設管	露出管
		φ 130	φ 100	φ 100 (電力通信管)	φ 130 (FRP)	φ 100 (FRP)	φ 50	φ 50 (FRP)
直管	m	10	5	5	17	17	157	88
曲管	m	34	17	17	16	16	191	181
伸縮異種管継手 FRP/VP φ130	本				4			
伸縮異種管継手 FRP/VP φ100	m					4		
伸縮異種管継手 FRP/VP φ500	個							32
管路受台	個	80	20	20			561	
支持金具	個				10			
高力ボルト F8T M22×65	個				20			
高力ボルト F8T M22×60	個				20			

※「外張り」にはベーマス、ロングベーマスを含む

埋設シート数量表

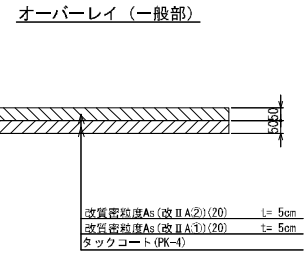
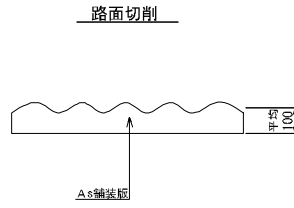
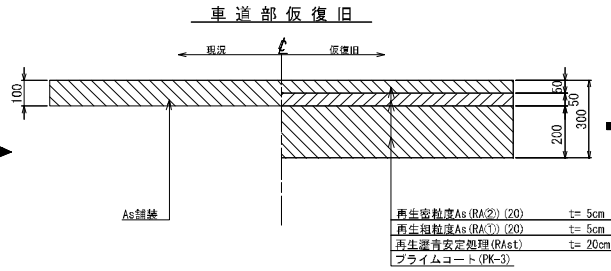
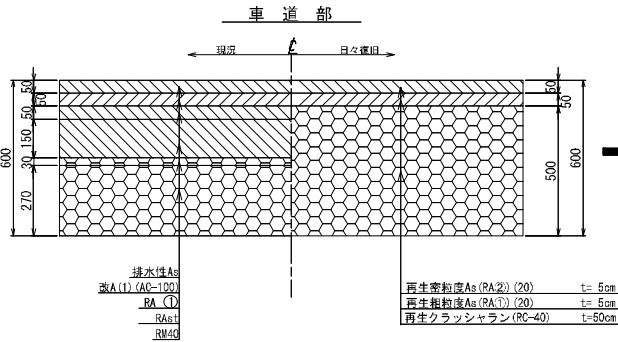
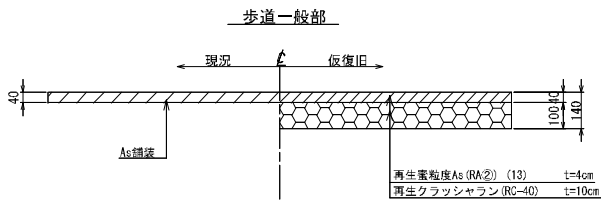
名 称	規 格	単位	数量
埋設シート	W-400	m	72

<草加地区>			
工事名	R 8 国道 1 6 号見沼外電線共同溝工事		
図面名	数 量 総 括 表		
作成年月日	令和 8 年 6 月 日		
縮 尺	—	図面番号	96 / 99
会社名			
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

舗装構成図

S=1:10



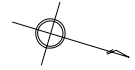
<草加地区>

工事名	R 8 国道 1 6 号 見 沿 外 電 線 共 同 溝 工 事		
図面名	舗 装 構 成 図		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	1:10	図面番号	97 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

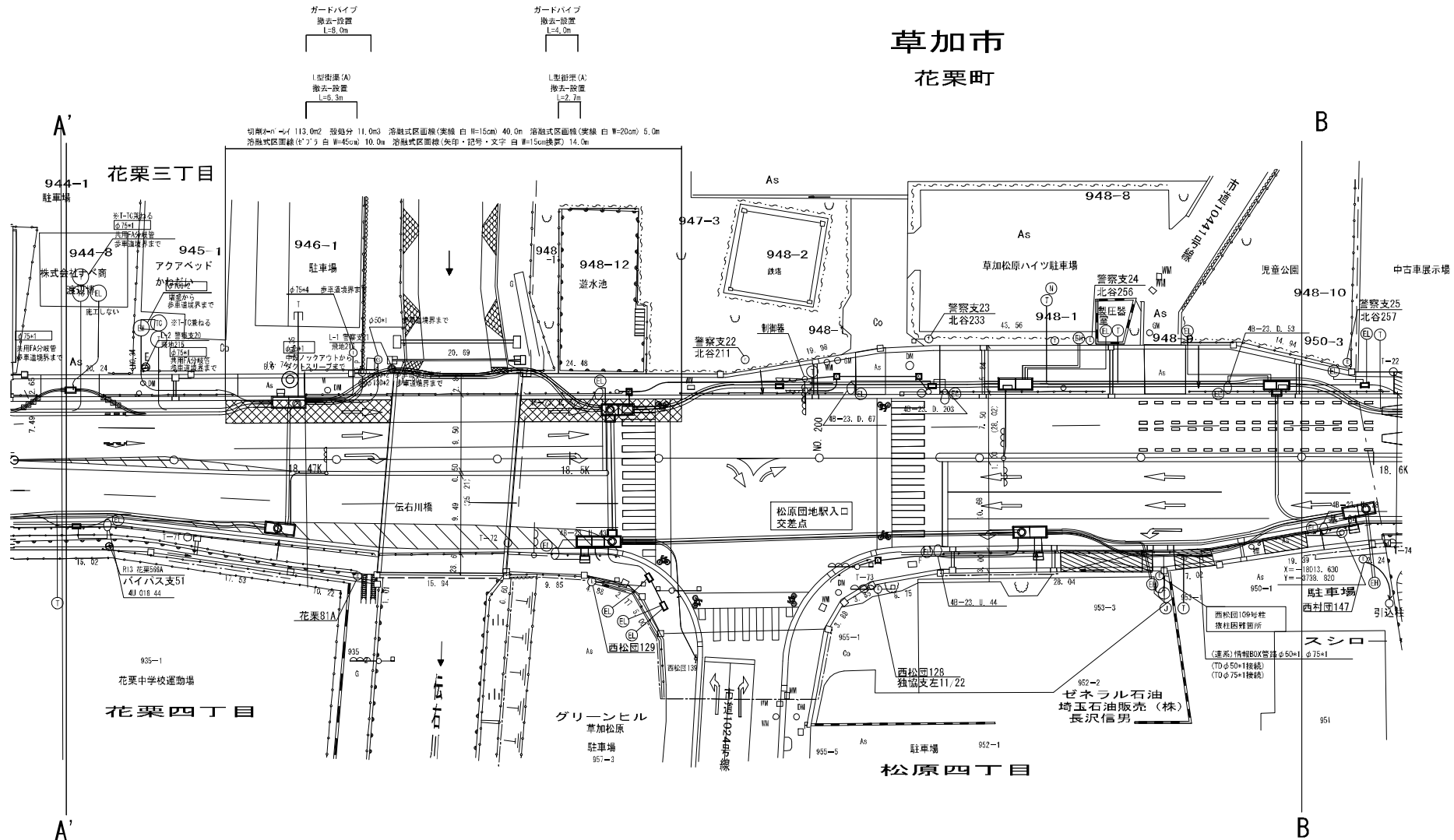
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

撤去・復旧平面図

S=1:250



草加市 花栗町



<草加地区>

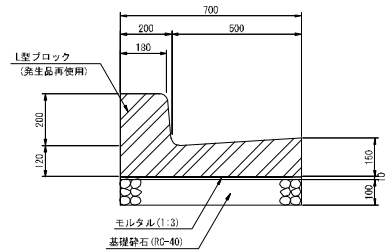
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤去・復旧平面図		
作成年月日	令和 8年 6月 日		
縮尺	1:250	図面番号	98 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

撤去・復旧構造図

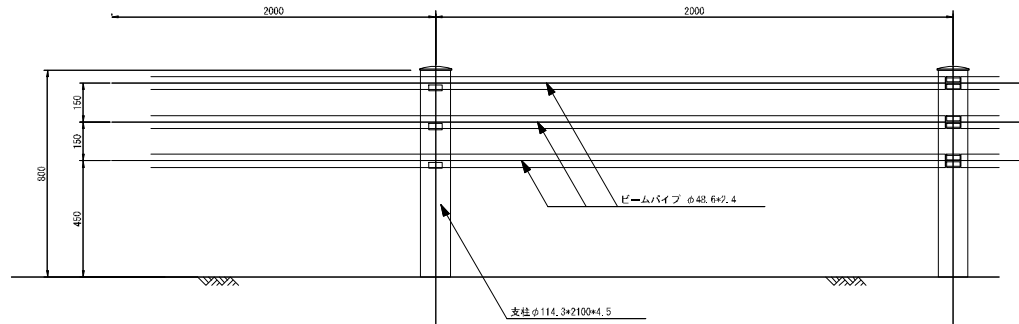
S=1:20

L型街渠 (A) 撤去-設置 S=1:20
(一般部)

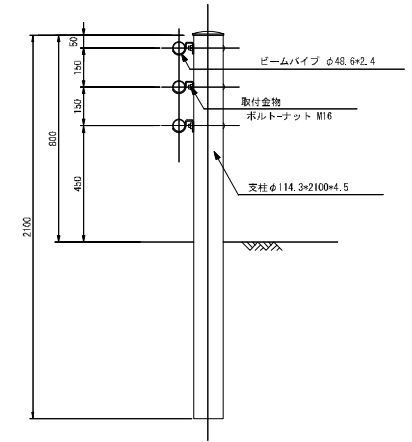


数量表 (10m当り)				
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
L型ブロック	L=2.0m	m	10.0	再利用
モルタル	1:3	m ³	0.07	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	7.00	

ガードパイプ撤去-設置 S=1:10



数量表 (10m当り)				
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
ガードパイプ	土中 L=2.0m	m	10.0	再利用



<草加地区>

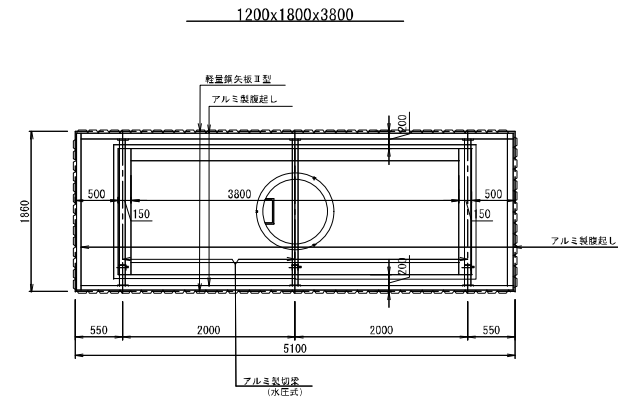
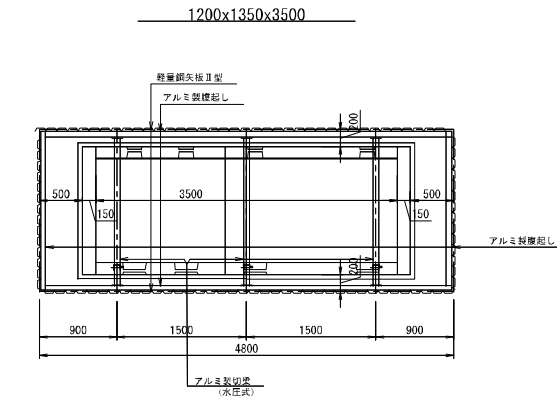
工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	撤去・復旧構造図		
作成年月日	令和	8年	6月 日
縮尺	図示	図面番号	99 / 99
会社名	株式会社 近代設計		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

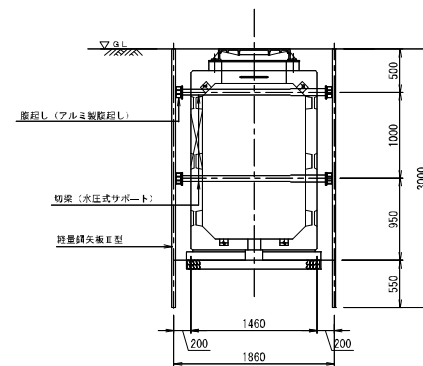
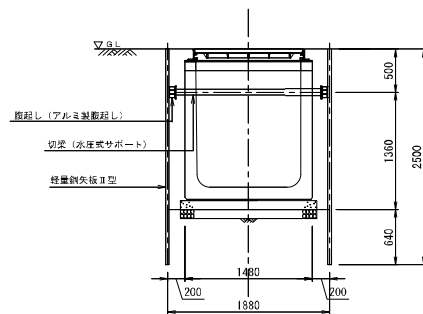
標準仮設図（参考図）

S=---

平 面 図



断 面 図

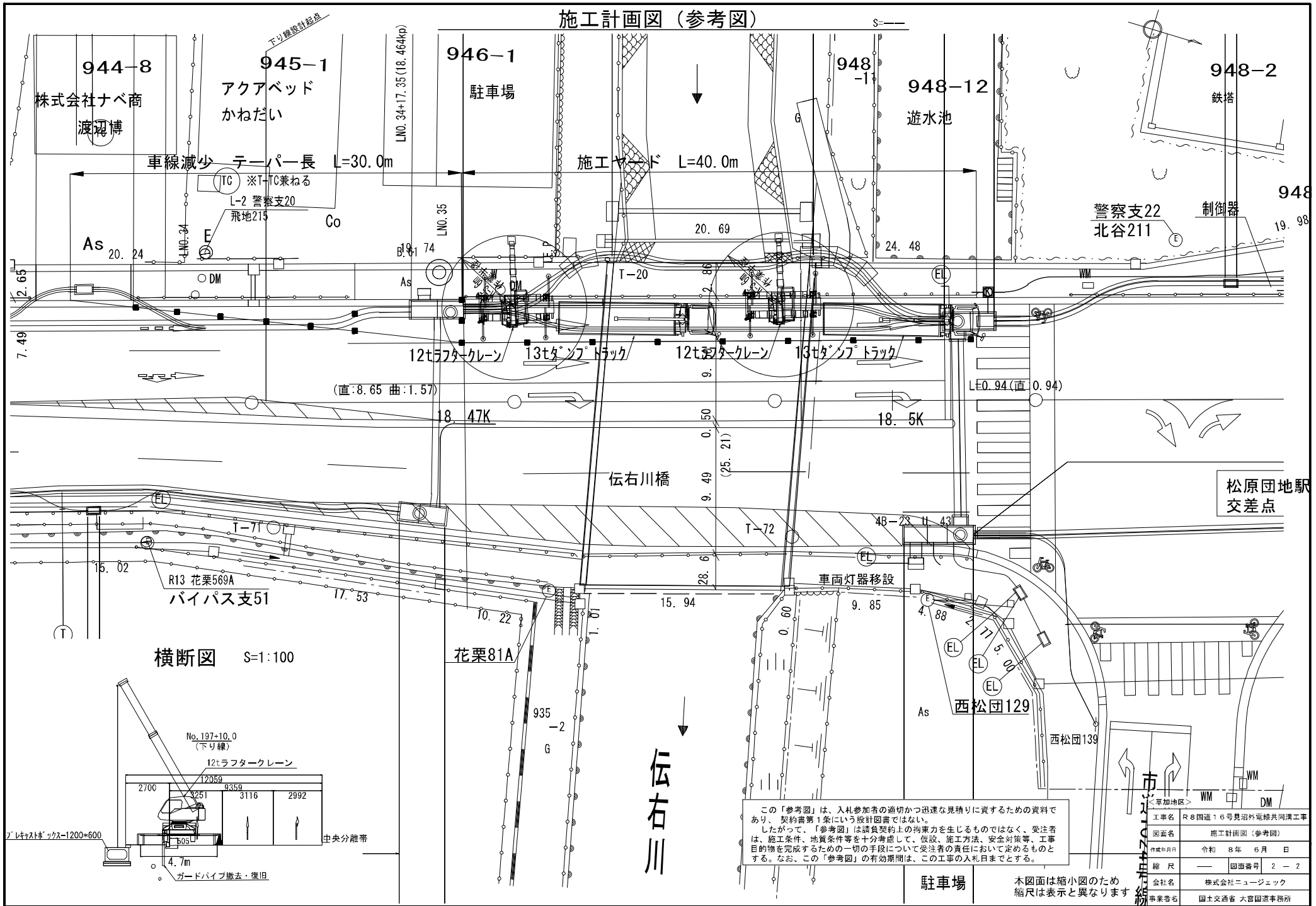


この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

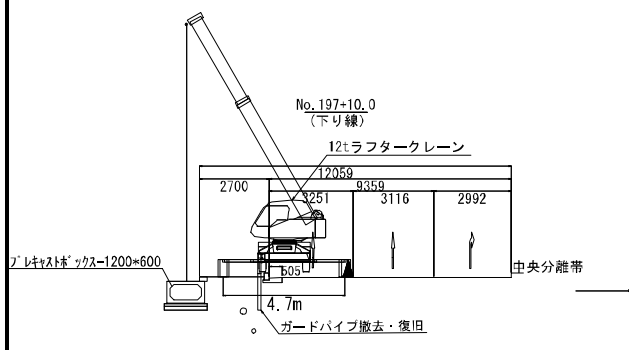
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事		
図面名	標準仮設図（参考図）		
作成年月日	令和 8 年	6 月	日
縮 尺	---	図面番号	1 - 2
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

施工計画図（参考図）



横断面図 S=1:100



この「参考図」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

工事名	R8国道16号見沼外電線共同溝工事
図面名	施工計画図（参考図）
作成年月日	令和 8年 6月 日
縮尺	縮尺 図面番号 2-2
会社名	株式会社ニュージェック
事業名	国土交通省 大宮国道事務所